武藤敬司、本誌初登場!! "黒幕"馳先生も登場だ!!

紙のプロレス RADICAL

2002 47

初心者からマニアまで――

3・1横浜アリーナ 『紙プロ』なりの WWF観戦ガイド

激動の2・1～2・16 新日本 怒りの 急展開を読む!!

2・15横浜大会大特集!

V・ハンが"怒り"のラスト・メッセージ

ザ・ラスト・オブ・リングス!!

覚悟はいいかい? 日本プロレス界?

WWF、日本侵攻5秒前!!

邪悪なる足音!!

これぞ"ナチュラル・ボーン・プロレス"!!

K-1中量級、驚異の大爆発!!

風雲急の『PRIDE』!!

2・24が終わっても考え抜けッ!!

シウバvs田村戦の意味

&『PRIDE.19』 3秒前直前ガイド

どうなる3・2旗揚げ1周年 ZERO-ONE特集&大展望

プロレス界を熱くするのは本当なのか?

大谷晋二郎

極真を"破門"になっても大炎上!!

小笠原和彦

往年の名レスラーかく語りき カミングアウトは是か非か?

ストロング金剛

俺っちが答えてやっからよぉ!!

葛西純の"おサルの"人生相談

ブルガリアのプロレス学校学長に! 仰天プロジェクトが始動!!

ザ・グレート・サスケ

紙のプロレスRADICAL 2002 NO.47 WWF上陸5秒前!! 邪悪なる足音!!

発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-335
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3405-5188

付録がうれしい。みんながうれしい。親子でうれしい。

情操教育に最適?
3〜70歳／親子用

さくぼん

[別冊] 紙のプロレスRADICAL

桜庭和志公式マガジン

スーパー紙おもちゃ 組み立てますかーッ!

貼りますかーッ!
さくぼん さくぼん

←特製サクシール

←サクマシン立体お面

←動く必殺技

こんなについて
1000円ポッキリ!
(税込)

◎炎のコマ◎

◎炎の人力車◎

おもしろ豪華付録大紹介!!

サクの「元気ですよーッ!」が聞けるまでこれで遊んで待ちましょう。

『オンラインブックストアbk1』(http://www.bk1.co.jp/)などのネット上の書店でも買えます。
また、本屋さんにない場合は、「ワニマガジン社発売の『さくぼん』を注文します!」と大きな声でハッキリと言いましょう!! 取り寄せてくれます。

『さくぼん』はサク初のインタビュー集
この笑顔が表紙です(ニコニコ)

通販も、やりますかーッ!!

全国書店やコンビニでバラ撒いても、絶賛品切れ中でなかなか手に入らないという声が出まくりの『さくぼん』。そこで地球の優しい、みんなに優しい(株)ダブルクロスでは、通信販売を行っております。『さくぼん』と明記の上(冊数も)、現金書留か郵便振替でお申し込みください。代金は1000円+送料500円です。

【郵便振替】
00130−3−769154 (株)ダブルクロス

【現金書留】
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ケ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス「さくぼん」係

※なお、『紙プロ』バックナンバーや『紙プロ』グッズと併せての注文もOKです!
送料は、どんなにたくさん注文しても500円です。必ず購入商品の記入漏れがないようにしてください。

発売:ワニマガジン社 03·3357·2911 発行:ダブルクロス 03·3403·5188

「プロレスとは何か？」——
〝戦路〟は続くよ、
どこまでも……

武藤らの離脱により大揺れに揺れる新日本マットに〝猪鬼〟が降りてきた。そして蝶野が自分を奮い立たせた。2・1北海道立総合センター。札幌では何かが起こると言われているが、やっぱり何かが起こった。

17～18年前、ドラゴンは「こんな会社やめてやる！」と言いながら雪降る札幌の街に飛び出したが、またも今回「こんな会社やめてやる！」とドラゴンが思わなかったとは限らない政変劇が起きたのだ。

蝶野が猪木を呼び込んだ。

そこには、アングル、タテマエ、ビジネス、焦り——それらが交錯するなかで、本気や本音や怒りや恨みが、怒濤のように滲み出る瞬間があった。

昔、村松友視さんは、プロレスを「他に比類なきジャンル」と言ったが、まさに2・1札幌の「猪木vs蝶野劇場」は、マイクパフォーマンスという名の〝プロレス〟そのものだった。

その日、決行された長州力の復帰にも、安田vsG・シルバにも、もちろん永田vs中西にも、まったく〝プロレス〟を感じられなかったのに、「猪木vs蝶野劇場」には〝プロレス〟をビンビン感じた。

蝶野が「俺はこのリングで〝プロレス〟がやりたいんですよ！」と猪木に突きつけた〝プロレス〟とは何か？　猪木が「本当の〝プロレス〟をやってほしい」と言い返したときの〝プロレス〟とは何か？

正反対の「プロレス観」を持つ猪木と蝶野が結びついたことで、まさにこの〝プロレスとは何か？〟という命題をテーマにして、〝戦路は続くよ、どこまでも〟状態に拍車がかかった。

2・1は新日本or全日本だけに限らず、マット界全体に突きつけられている問題を浮き彫りにしたといっていい。

そういうわけで、もう一度、活字の上で「猪木vs蝶野劇場」で展開された言葉の意味を追ってほしい。

は？　もう古い？　テレビで見たからもういい？　そうか。まぁ、オメェはそれでいいや（アントン調）。

る、2・1札幌事変——。
蝶野」の心理戦が
た“プロレスとは何か？”

【長州の復帰戦となった6人タッグを制した蝶野が、マイクを握る】

蝶野　おい、新日本!!　よ～く聞けよ、オラッ!　俺に納得できる説明できるヤツいるのか、オラッ!!　おい、オマエらに教えといてやる。新日本プロレス!　このリング!　**我々の上にひとり神がいる!　ミスター猪木ッ!!**

【場内が騒然とするなか、『猪木ボンバイエ』にのってアントン総帥登場!】

猪木　（猪木リングイン。怒りの表情をしながら）元気ですかーーーーッ!!　（一拍置いて）**俺は怒ってる、今日は!!**

【どよめく場内】

猪木　その前に、かつてスキャンダルがあった時に、札幌のみなさんが最初に受け入れてくれた。いまでもその思いは変わりません。ひと言、ありがとう。

【場内大拍手】

猪木　そして新日本からしばらく離れている間に、いろんなことが起こった。今回、アメリカから帰って来ましたら、肝心かなめの……**武藤がどうしようと馳がどうしようと、そんなことはどうでもいい。新日本プロレスの心臓部、機密を全部持って行かれて、指をくわえてる。こんな奴ら許せんゾーーッ!!**

【再び、どよめく場内】

猪木　ということで、俺は怒りまくった。そうしたら蝶野が立ち上がってきた。いま、世の中が怒りを忘れてしまった時代に、俺たちがリングで本当の怒りをぶつける!　それがみんなに伝えるメッセージなんだ。新日本イズムとはそういうことだと思う。（場内に向けて）違いますかッ!?

【場内「そうだーっ!」の大合唱】

猪木　蝶野ッ!!　怒ってるかオメエは?

【猪木と蝶野がニラミ合う。場内からは大「蝶野」コール】

猪木　聞いたか!?　この声を。オマエに期待をしてるんだぞ。

【場内から「そうだそうだぁ」の声。汗を拭く蝶野】

蝶野　会長、俺まず先にひとつ。俺も新日本で闘うレスラーとして、新日本にも、それからオーナーの猪木さん、それから新日本の象徴の俺らの神であるアントニオ猪木に聞きたい。

【うなずく猪木】

蝶野　ここのリングは……ここのリングで俺は、俺はプロレスをやりたいんですよ!

いま一度考える、2
「猪木vs蝶野
突きつけた“

元現場監督・長州は、蝶野への現場全権委任に、いま何を思うのか？ 試合前には猪木の控え室を訪ねたが数分で退室

中西の角度の違いぶりには、アントン総帥もバカ負け。「まぁ、オメェはそれでいいや」は、早くも今年の流行語大賞候補？

【場内大歓声】

猪木 （無視して）ちょうど俺は引退してからもうすぐ4年が経ちます。憶えてるかな？ この道をゆけばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となる。迷わずいけよいけばわかるさ。（蝶野に向かい）いいか、いまの世の中はな、みんな縮こまってしまって夢も希望も潰れてしまった。だからこそ！ 俺たちは**力道山が戦後に、敗戦の中で夢をなくした国民に闘いを通じて夢を与えてくれた。それが猪木イズムじゃない、力道山イズムそして猪木イズム。お前たちが継いでくれなくて誰が継ぐッ!!**【場内拍手】今日は俺は素直な気持ちで……なぁ。出てったヤツは構わない！ 災い転じて福となすじゃないが、ね？ ホントにいま、世界に発信しなきゃいけないプロレスの時代が来てる。**インターネットを通じて世界の隅々までプロレスを観てくれる時代が、もうそこまで来ている！ そのために本当のプロレスをやってほしい。**そのために俺は外に旅に出てメッセージを送り続けた、この4年間！ 小川と橋本の試合、そしてこの前も10月にいろんなことで俺に相談に来たから「三つ巴戦」という試合を提案してあげた。それも拒否した。12月31日、いままで歴史になかった紅白と同じ時間帯で最高の視聴率を取った。

【会場から「エライッ！」との掛け声。大歓声】

猪木 **（蝶野に向かい）いまオマエに教えよう！ オマエはただの選手じゃねえぞ、これから。いいかッ！ プロレス界を全部仕切っていく器量になれよッ!!**

【どよめく場内、次いで大「蝶野」コール】

蝶野 猪木さん、俺にすべて任せてほしい。この現場作りのすべてを。俺が全部やりますよ！ **藤波ィ、おい、長州ッ!! ここは俺に任せろ、オラッ!! リングの上は俺が仕切るッ！ いいか!! 武藤ーッ、全日本ッ、クソッタレ、オラッ!!** エーッ!! オマエら誰か他にやるヤツいねぇのか!? エーッ！ オイッ!! 俺と天山が……??

【ここで中西、永田、棚橋、鈴木健想が入ってくる】

猪木 **（中西にマイクを向け）オメェも怒ってるかッ!?**

中西 **（なんだか凄い表情で）怒ってますよっ！**

猪木 **誰にだい？**

中西 **全日に行った武藤です!!**

猪木 **……そうか。まぁ、オメェはそれでいいや（サラリと）。**

2・1「猪木vs蝶野劇場」後、バックステージでのアントン総帥怒りの談話

――（蝶野が立ち上がったことについて）

猪木 やってくれるだろうな。その期待をして今日はわざわざ札幌まで乗り込んできたんだから。誰がいい悪いはさておいて、この流れの中に身を置いてしまった時に、それが当たり前になってしまう。これは強いて言えば俺の責任だから、そういう姿勢も含めてね、誰がいい悪いとは言いたくないんだけれども。でも、いまさっきもリングで言ったように、こんなブザマな格好してて、ねぇ、俺の部屋にチョロチョロチョロチョロ来るな！ みんな。責任は自分でとれよ。本当は今まで俺が4年間メッセージを送り続けても受けつけない。俺も本当に自分が懸けてる夢があって忙しいんで、それは俺にも責任あるかもしれないけど、オマエら事があるたびにな……まあ、コイツらも本気で新日本を蘇らせるっていうことはやっぱり、今回の事件を通じてそれをいいように受け取るとすれば、そこには問題があることは事実なんでね、いろんなことが。だからこれでみんなが、リングは闘いだけど、そういうひとつの新日本としての誇りを取り戻せば非常に期待が持てると思うし、またサンタモニカに今度は道場が開いたんで、彼らがそこにもっともっと出ってね、いろんな選手と交わる機会を持ってもらいたいと思うし。根本的な構造を変えなきゃいけないと思う。まずは普通の企業で言えば心臓部を全部持っていかれて、ニュース全部、情報から全部持っていかれたわけだから、ねえ、そういうものでシステムを全部変えなきゃいかん。我々は闘いに勝っていかなきゃいけないからそういう意味では中身を全部変えなきゃいけない。

永田は戸惑いながらも、怒りをブチまけた。「ヤツらに気づかせろ」というアントン流の投げっ放しメッセージは届いたか？

こんな修羅場でも、強引に「ダーッ!!」で締めるアントン総帥。一足踏み込んだら、モチベーションを上げるのが猪木イズムだ

【場内爆笑】

猪木（永田に向かって）オメェは!?

永田　すべてに対して怒ってます!!

猪木　すべてってどれだい？　言ってみろ。俺か？　幹部か？　長州か？

永田（一瞬ひるみながら）上にいるすべてです！

猪木　そうか。ヤツらに気づかせろ。オメェはッ!?（健想にマイクを向ける）

健想　ぼ、僕はぁ、じ、自分の明るい未来が見えませーん！

猪木（冷たく）見つけろ、テメェでッ！

【場内またも爆笑、続いて棚橋にマイクを向ける】

棚橋　俺は、新日本のリングでプロレスをやりますッ！【場内、拍手】

猪木　まあ、それぞれの思いがあるからそれはさておき（アッサリ）、テメェたちがホントに怒りをぶつけて、ホントの力を叩きつけるリングをオマエたちが創るんだよ。俺に言うな！（自分で聞いておきながら）俺は3年、4年か、引退して。**テメェたちの時代、テメェらのメシの種はテメェでつくれよ!!**　いいか！　今日は、ここんとこは、テメェらみんな握手しろ。

【戸惑いながらも蝶野、天山が中西、永田、棚橋、健想とガッチリ握手を交わしていく】

猪木（蝶野に向かい）それじゃあ、俺に代わってオマエがひと言、みなさんにメッセージを送ってくれよ。

蝶野　おい、札幌!!　おい、それから電波を通じて……オイッ！　全国の新日本ファン、プロレスファン、よ～く聞け！　**新日本プロレス、もう一度、ここで、最高のプロレスラーの、レスリングを、もう一度甦らせる!!**

【場内大歓声】

猪木　オメェらに言っとくぞ！　俺がチョロチョロ出てくるような場をつくるなよ！　な！（客席に向かい）やるかーーーーッ!!

【場内大歓声、猪木、上着を脱ぐ】

猪木　それぞれの怒りも、すべてをぶつけてくれ。俺たちはそんな思いを、日本に元気をつけるために、力を合わせて頑張っていきます。いくぞォッ!!!!!　イィーチッ、ニィーイイッ、サァンッ、ダァーーーーッ!!!!!!

【リング上も全員そろってダーッ。『ワールド・プロレスリング』のテーマが流れる。猪木が中西、永田、棚橋、健想、さらに飛び込んできた柴田に闘魂ビンタで闘魂注入をしていく】

――ということは現在社長の藤波さんから、蝶野社長が誕生すると……？

猪木（TVインタビューの質問をさえぎり）そんなこたあオマエらが聞くことじゃねえや、まだ。すぐオマエ、話をそういうふうに持っていく。もうちょっと勉強してこいよ！（怒）

――……選手が一番最初に目が覚めたという見方でしょうか。

猪木　そうだね。俺が帰ってくるまで報告は二の次にしやがってよ、武藤たちの契約を切りますとか、肝心かなめの経理の担当なんかが抜けるなんて報告もしねえんだよ。本当に昔だったら叩き殺すぞコノヤロー！って言ったけどさ、そういう俺も大人になってっから。（TVスタッフに）お互い真剣勝負でいくからな！聞くときはもっと勉強してこい、オマエ！（怒）

――蝶野選手との個人的な会話は今日されたんですか。

猪木　この間来たから、それはそれでいいと。猪木をガナったって、そんなパフォーマンスじゃねえんだ、立ってる位置が違っちゃったんだって、もう一瞬にして。人間はいつ何が起きるかわかんない。昨日までは、それでいいや、「猪木の野郎、来い」と。でも、新日本という立場に立ったら、全部の選手、あるいはこれから社運を懸けるとか、まあいま、そういう法的には取締とかそういうことじゃなくて、やっぱり全体の選手をまとめていく役割として立ってる位置が違う。自分の立場じゃなくて、みんないま、ひとりひとりの個人がどうなるか。彼らのどういう、いま不満があるかを引き出してあげて、聞き役になるというかな。そういうことで、この間話をしました。

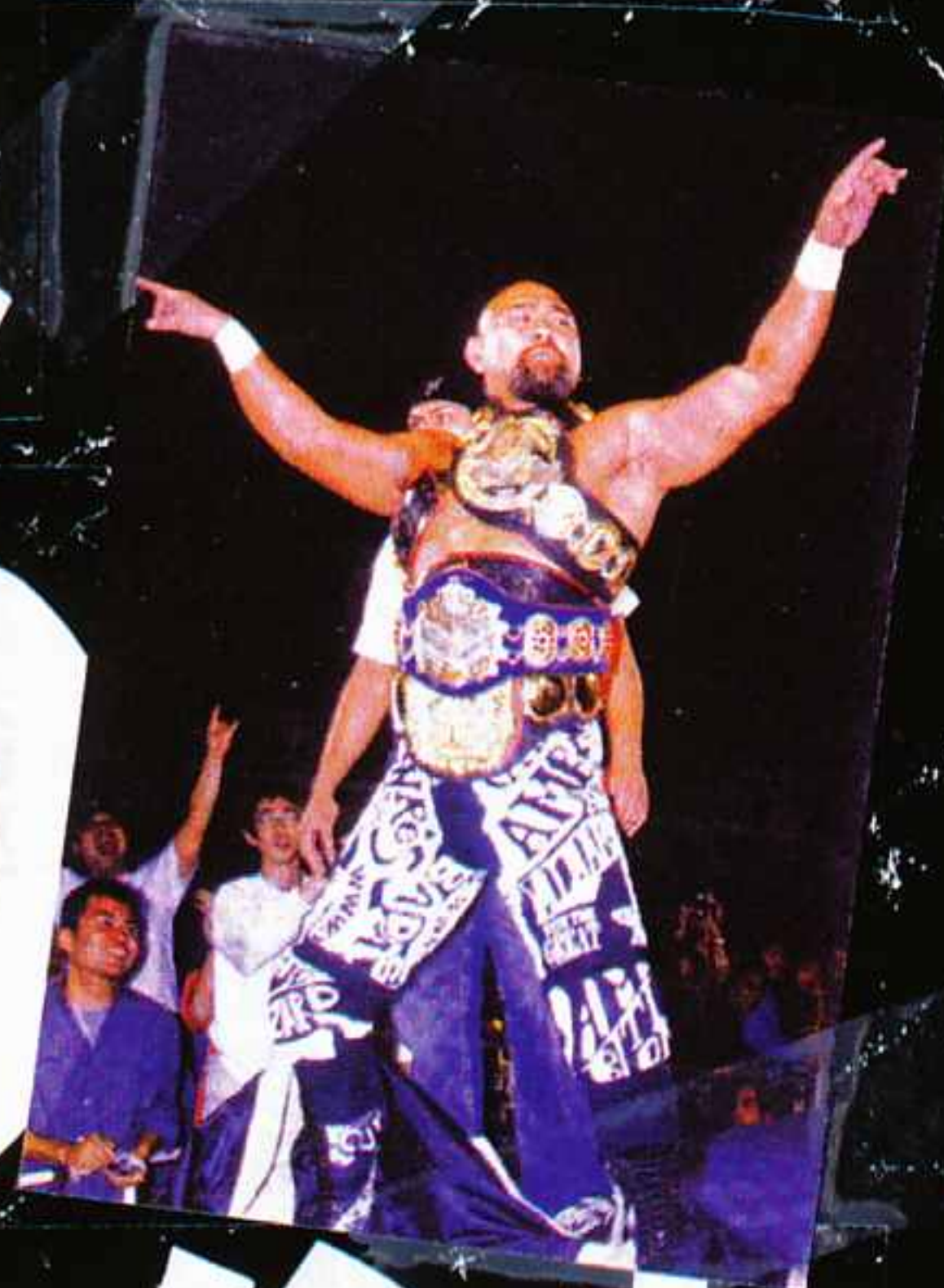
――やっぱり蝶野が一番広く選手を見られるというか、そういう器量があるという感じがしたわけですか？

猪木　いまンとこはね。だからそういう意味ではヤツはやるでしょう。力があるから。〝チョウノ〟ウリョク……。ンムフフフ。

“天才”が『紙プロ』に驚ガクの初登場！

RADICAL SCOOP INTERVIEW

俺、プロレスは究極のエンターテインメントだと思ってるよ

ProWrestling Renaissance

アントニオ猪木も蝶野正洋も、そしてある意味、全レスラーが、結局、この男の新日本退団劇によって“プロレスとは何か？”という命題を突きつけられることになった。渦中のMVP男・武藤敬司が、遂に本誌初登場!! “ナチュラル・ボーン・マスター”はいったい何をやろうとしているのか？

聞き手／山口日昇　撮影／斉藤ユーリ　構成／堀江ガンツ
協力／“show”大谷泰顕　撮影協力／ロックウエスト　designed by hisa (Two Three)

2001年「東スポ」プロレス大賞＆「紙プロ」大賞ダブル受賞！

武藤敬司

―武藤さん、『紙のプロレス』って知ってますか？

武藤　いや、たま〜にね、新日本の事務所行ったときに置いてあったから。

―あ、あるんですか⁉　新日本からは絶賛取材拒否中なんですけどね、ウチは。

武藤　エ⁉　新日本に置いてあったよ、こういうの。

―こういうの（笑）。ところがですよ、そんな事情で、ウチは新日本関係はそんなに載ってないんですけど、読者1004人と関係者で選んだ『紙プロ大賞2001』のMVPは武藤さんなんです。

武藤　あぁ、光栄ですね。

―賞金も賞品も権威も何もないですけどね（笑）。実際に純プロレスっていうものを、ウチはあんまり扱う比率が少ないんですよ。

武藤　ふ〜ん。純プロレスっていうものを扱ってないの？　で、プロレスっていうタイトル付いてるの？

―はい（笑）。それは、やっぱりよくないですか？

武藤　いや、レスラーはいま、その辺のテーマにぶつかってんじゃないの？　ねぇ？

―というわけで、今日は武藤さんにそれを聞いてみたい……。

武藤　（遮って）いっや〜、俺もわかんねぇよ（アッサリ）。

―あ、いきなり答え（笑）。で、去年は、武藤さんにとって面白い年でしたか？

武藤　そうですねぇ。去年は面白かったですねぇ。っていうか、やっぱり全日本っていう部分で、改めて"プロレス"っていうものを堪能できたというか。

―いま、総合格闘技といわれるものが、実際に人気がある状況をどう見てますか。

武藤　う〜ん……。ただなぁ、正直言ってね、『PRIDE』とか見てたら面白いけどね‼

―あ、見てたら面白い⁉（笑）。

武藤　うん。でも……それで俺たち、商売してるわけじゃないじゃない？

―「『猪木軍vsK―1』は、俺たちの商売じゃない」とも言ってましたよね？

武藤　うん。

―ほとんどのレスラーは、そう思ってるんですか？

ふ〜ん。純プロレスあんま扱ってないの？　で、プロレスってタイトル付いてるの？

2001年東スポ『プロレス大賞』でブッチギリのMVPを受賞した武藤。それも凄いが、昨年ほとんど武藤の記事が掲載されていない、『紙プロ』大賞のMVPに選ばれてしまったのは、ある意味もっと凄いことである。

武藤　いや、知らねぇ！（笑）。レスラーってやっぱり、みんないろんな考えがあったりするから。その主張のぶつかり合いが楽しいっていうのもプロレスじゃない？

―権威がある東スポ主宰の『プロレス大賞』でも、武藤さんは、ダントツのMVPだったけど、ベストバウトは「藤田vs永田戦」だった。ところがウチの読者が選ぶと、「藤田vs永田戦」はランク外なんですよね。

武藤　あ、ホントですかぁ〜。へぇ〜。

―あの「藤田vs永田戦」というのは、武藤さん的にはどうなんですか？

武藤　あの時ねぇ、日本武道館ね（01・6・6）。俺、馳と試合をしてるんだよ。

―「藤田vs永田戦」のセミで、40何分やった、長い時間の闘いですよね。

武藤　うん。ちょっとなんか、マスターベーションみたいな試合した。

―マスターベーションみたいな試合（笑）。で、「藤田vs永田戦」がこう騒がれて。で、その2日後に、天龍戦があって。

―6月8日の「武藤vs天龍戦」。

武藤　あのときには、正直言って、「勝ったな」っていう気がしたんだよね。

―実感があったわけですか。その「武藤vs天龍戦」は、ウチの『紙プロ大賞』では3位、純プロレスでは実質1位ですよ。

【突然、ダァーンという音が部屋中に響く】

武藤　ウワッ！　な、なに？　いまの音！

―椅子がひっくり返ったんじゃないですか？　蝶野正洋の怨念ですかね？（笑）。

武藤　あ〜、ビックリした……で、なんだっけ？

―ダハハ。いや、武藤さんから見て「藤田vs永田戦」っていうのは、ベストバウトに値する試合に見えるんですか？

武藤　あぁ〜……わっかんねぇなぁ。

―いや、わかんないなっていうことはない。絶対、答えは出てるはずなんだよな、武藤さんのなかでは（笑）。

武藤　っていうか、プロレスって答えなんかねぇじゃん！

―ゴールのないマラソンだと。

武藤　その中で、「藤田vs永田戦」を評価してるファンの人たちも多くいたわけだからね。

―でも、ウチの読者は断然、「武藤vs天龍戦」ですよ。

武藤　（急に怒ったように）じゃ、なんでベストバウト取れなかったの？

2001年「紙プロ」大賞

ノゲイラに1・5倍近い差をつけてのMVP獲得、さらに純プロレスではブッチギリのベストバウトである武藤vs天龍。こうして見ると改めて凄い！

順位	ベストバウト	日付・会場	ポイント
ベストバウト	安田忠夫vsJ・レ・バンナ	(12/31さいたまスーパーアリーナ)	237POINT
2	アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvsヒース・ヒーリング	(11/3東京ドーム)	203POINT
3	武藤敬司vs天龍源一郎	(6/8日本武道館)	133POINT
4	菊田早苗vs美濃輪育久	(9/30横浜文化体育館)	129POINT
5	ドス・カラスJr.vs謙吾	(8/18横浜文化体育館)	89POINT
6	武藤&馳vs秋山&永田	(10/8東京ドーム)	78POINT
7	小川&村上vs三沢&力皇	(4/18日本武道館)	54POINT
8	ミルコ・クロコップvs藤田和之	(8/19さいたまスーパーアリーナ)	39POINT
9	CIMAvs望月成晃	(12/10駒沢オリンピック公園屋内競技場)	27POINT
10	橋本&永田vs三沢&秋山	(3/2両国国技館)	25POINT

順位	MVP	ポイント
MVP	武藤敬司	272POINT
2	アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ	198POINT
3	美濃輪育久	123POINT
4	ドス・カラスJr.	102POINT
5	桜庭和志	89POINT
6	葛西純	76POINT
7	橋本真也	70POINT
8	石澤常光	65POINT
9	ミルコ・クロコップ	57POINT
10	アントニオ猪木	52POINT

――団体の圧力ですよ（笑）。
武藤　（急に納得したように）団体の圧力なの？
――わかんないですけどね（笑）。マスコミの団体への気遣いとか。
武藤　まぁ、若い奴に賞をあげるっていう部分もあるもんねぇ。
――実際、ボクも、永田選手と藤田選手の個々の技量や力量は別にして、試合として見た場合、いまの時代の中では「武藤vs天龍戦」のほうが面白いですけどね。
武藤　あ、そうなんだ。へぇ〜。ヒネくれた目で見てない？（笑）。
――いやいや、純プロレスっていう意味だったら、「武藤vs天龍戦」ですよ。
武藤　あ、ホントッスか。ふ〜ん。
――この間の1・4ドームでも、試合は目立たない位置だったけど、やっぱり武藤さんの動きはバツグンに光ってましたよ。動きひとつ、ムーブひとつで銭が取れるというか。
武藤　あ〜、いいこと言ってくれますね！　いや、レスラー冥利につきますよ。
――だから、おそらく武藤さんの目指すプロレスは、動きひとつで銭が取れるプロレスというのをやっていきたいんじゃないかな、と思って。
武藤　俺がやっていきたいプロレスっていうのは……だから今回、全日本とかに入ったわけだけど……。
――あ、もう入ったんですか!?
武藤　いや、まだ入ってないけど。
――ガハハハハ！　まだ。
武藤　まだ選手の契約はしてないけどね。だから俺は、プロレス・ライフの最初がアメリカなんですよ。で、その時にちっちゃなフロリダっていうテリトリーに行って。で、タンパを中心に、毎週マイアミ行ったり、他を回ったり、毎週同じ会場に同じメンバーで行った。その中でこう、繋げていくプロレス。それがね、基盤にあるんですよ。だから……さっきなんだっけ？　一番最初に言ったの？
――は？　一番最初？（笑）。
武藤　いや、だから、何の質問に答えてたんだっけ？
――ボクも忘れました（笑）。
武藤　俺がやっていきたいプロレス？
――それです！（笑）。
武藤　だから、もう1回ね、なんていうのかなぁ。その昔の、そういう形に戻してぇのかなぁ。っていうかさ、な〜んか新日本なんかは、そういうムードで行ったと思ったら、今度は東京ドームでバーン！っとやって、全部壊しちゃうっていう形？　そういうのは、な〜んかレスラーとして許せなかったっていう部分もあるよね。
――「線」になってないっていうこと？
武藤　線になってない。まぁ、俺が言う問題じゃないけどね、こんなこと。俺らは、いちタレントだから。言われたらパッパッとやるのが、俺らの商売だと思ってるからさ。俺はプロデューサーでも何でもねぇんだから。
――アメリカで、プロレス観という部分で、一番影響受けたのは誰なんですか？
武藤　レスラーとして影響を受けたのは（リック・）フレアーだね！
――あ、リック・フレアー!!
武藤　要はフロリダなんかを、テリトリーで回ってんじゃん。で、当時NWAかな？　フレアーが来るんだよ。
――チャンピオンとして。
武藤　うん、チャンピオンとして。で、バリー・ウィンダムとか、こっちのベビーフェイスのトップどころとやって、きわどいとこで、またベルト持って帰るわけ。
――綱渡り防衛ですね（笑）。
武藤　でもさ、フレアーが来ると、ハウスが上がるんだよ！
――あぁ〜、興行収益が上がる。
武藤　で、向こうはパーセンテージでギャラをもらえるから、俺たちも。
――観客が入れば入るほど、ギャラが上がるわけですよね。
武藤　俺らも、フレアーが来たら（ギャラが）上がるんだよ。「うわ〜、チャンピオンが来てうれしいな」っていう感じ？　そういうさ、客を呼べるレスラーになんなきゃウソっていうかさぁ。
――でも、武藤さんが入団した頃の新日本プロレスは、〝キング・オブ・スポーツ〟〝格闘技最強〟というのを掲げてた。新日本を選んだ武藤さんの中にも、当然、強さへの憧れというのはあったんですよね？
武藤　うん、あったよ。た〜だ、この間、

ProWrestling Renaissance
Keiji Muto

辻（よしなり）さんのラジオ（『プロレスの勝ち！』ＴＢＳ）に出たんですよ。その１週間前に船木（誠勝）がゲストだったらしいの。で、ちょうど一連の騒動の最中じゃない。で、辻さんが俺のことを船木に聞いてね。船木が新弟子時代に道場で全日本プロレスの中継を俺と一緒に見てて、「もしかしたら俺、こっちのほうがふさわしいかもしれない」って俺が言ったらしいのよ。俺は覚えてねぇんだけどさ（笑）。

――そうでしょうね（笑）。

武藤　だから俺、入ってすぐ、アメリカでプロレスっていうものを学んだじゃないですか。ビジネスというか。もしかしたら、そっちが原点じゃないかなぁって。ビジネスっていうか、「プロレスとは？」っていうものは教えないですよね、新日本の中では。たぶん。

――「たぶん」（笑）。新日本は猪木さんからして「テメェで考えろ！」っていう感じですからね（笑）。

武藤　だから、スクワットやったりプッシュ・アップしたりとか、そっちばっかりだよね。

――ビジネスよりも、まず強くなれ、と。アメリカって言えば、３月１日にＷＷＦが日本に来ますよね。ＷＷＦについてはいま、どう思ってるんですか？

武藤　俺ね、去年マジマジと、また日本と違った、"ＴＶプロレス"っていうのを見てきたからね。そこの現場に行って。去年ズッと行ってたんだ。あ、おととしか？　おととしだ！　ズーッと行ってて……どうも好きになれねぇなぁ。

――好きになれない！　なんでですか？

武藤　テレビに支配されすぎてる！　そんなかで、レスラーとしての器量が活かせない部分が多すぎるよ、うん。

――蝶野さんが、「プロレスは、アドリブ。レスラーは個々の力量が問われる職人だと思ってる。それが"レスラー魂"。ＷＷＦにはそれを感じない」というような言い方をしてるんですよね。

武藤　うん。だから俺も、蝶野と似たようなもんだね（アッサリと）。

――「似たようなもん」（笑）。いい！　非常にいいな、このアバウトなところが（笑）。

武藤　まだ一応タレントだからねぇ。その技量を問われる世界にいたいじゃないですか。だからＷＷＦって、逆に言ったら、誰でもスターにできるような団体じゃない？

――誰でもスターにできる（笑）。

ProWrestling Renaissance
Keiji Muto

WWF？「キス・アスしたらスターにしてやる」って世界でもあるじゃない？

武藤　いや、だからもう、「キス・アスしたらスターにしてやる」っていう世界でもあるじゃない？

――ガハハハ。「ケツにキスさえできれば、スターにしてやる！」って（笑）。

武藤　オーナーが一説によるとオ●マかっていう話もあるしさ。知らないけど（笑）。逆に言ったら誰でもできるじゃん？　そこがシステムとしての強さっていうのは、スゲェ驚異だけどね。

――それができるかできないかで、器量を問われる世界（笑）。日本のプロレスラーには、できないですよね、実際。

武藤　俺は日本のプロレスにも良さは感じるんだけどねぇ。もっと深く、なんか感情移入してくれるような世界であるような気がするけどね。アメリカって、カッコよさとか、ちょっと軽いノリだけど、日本のファンって深く入ってきてくれるような気がすんだよね。

――武藤さんなら武藤さんを深く追っていくファンは多いですよね。

武藤　うん……（急に気弱になって）今回、どうなるかわかんねぇけどなぁ。

――いや、追って来ますよ、もちろん。

武藤　いや〜、わっかんねぇよぉ（笑）。

――ガハハハ。でもＷＷＦの直輸入が、ソールドアウトっていう現実に対してはどう思います？「日本のファンの気質も変わってきたな」とか感じないですか？

武藤　ただ、問題は持続性だよなぁ。俺らコレで、ここ（日本）をテリトリーとして商売やってるから。向こうは１回目はいいかもしれないけど、２回目がダウンする可能性もあるしね。ただ、トップどころは器量をみんな持ってるじゃないですか？　やっぱそれだけのもんを残してるからね。なんだかんだ言ってもＷＷＦはね。

――武藤さんも「ロックやストーン・コールドと闘いたい」って、例の辻さんのラジオ番組で言ってましたよね。

武藤　う〜ん……まぁ、タテマエは。

――ガハハハ！　タテマエ（笑）。

武藤　っていうかね、ＷＷＦに行きたいっていうのも、ホントに考えたことあるんだよ、ここ最近も。おととしだって「ＷＷＦ行きたいな」っていう部分もあったのよ。ただね、ＷＷＦってハードなんだよ！　連戦連戦でメチャすっげぇハードだから。俺、正直言ってヒザもよくないし、その中でＷＷＦのシステムの中に組み込まれたら、それに関しては、ちょっと自信がなかったところはあるね。

――ところで、蝶野さんと武藤さんのプロレス観って違うんですか？

武藤　知〜らねぇ！　そ〜れは、わかんねぇよ。

――この間、新日本の札幌大会（２・１）で、蝶野さんが猪木さんに向かって、「猪木さん、俺はこのリングでプロレスがやりたいんですよ！」って言いましたよね。あのあたりも武藤さんの考えに近いんじゃないですか？

武藤　い〜やぁ、だけど蝶野は俺のことを「敵前逃亡だ！」とかなんとか言ってたじゃない？

――言ってましたね！　アントニオ猪木が起こす台風から逃げた、みたいなことを。

武藤　その割には台風に同化されてる気がしないでもないけどねぇ。「台風が来る前に」とか、俺のこと「敵前逃亡だ！」とかどうだとか言って。ただ蝶野の勝負は、その台風といまはまだ上手くつきあってるだけで、どうなるんだろうって。いまからがアイツの器量を問われるところだよね。絶対、摩擦が生じますからね。あの"神"

蝶野？　絶対、摩擦が生じるよね
あの"神"はさぁ、口出してくるからさ

は、口出してくるからね。
──ガハハハハ！　神のお告げがダイレクトにいきますからね。で、武藤さんは敵前逃亡したっていう感覚はあるんですか？
武藤　……あるね（アッサリ）。
──武藤さん、バツグンです！（笑）。
武藤　いや、敵前逃亡かどうかわかんないけど、大きな意味でホントに闘いをしたいのかもしれないじゃない。ホントに外からでも、大きな意味でアントニオ猪木という部分と闘っていかなきゃいけないじゃない。ねぇ？　それは見ようによっては、敵前逃亡にも見えるかもしれねぇじゃん。
──でも、ボクは武藤さんたちのほうが圧倒的に有利だと思いますよ、こと純プロレスなかでの"対猪木"は。
武藤　そうでしょ？
──それでも武藤さんの中では、今回の新日退団は冒険？
武藤　ギャンブルですよぉ！　ただ、後悔はないよ。全然後悔はない。
──でも、ある意味チャンスですよね。1月から新聞や雑誌でも、一連の騒動がダントツじゃないですか。総合格闘技やら時代性に押されてるプロレスだけど、この話題をきっかけに試合を観てくれるようになればいいわけですからね。
武藤　そうだね。それで、俺たちには、仕掛けもなにも、猪木さんみたいにできねぇよ！　基本的には。
──「できねぇよ」（笑）。
武藤　まぁ、そういう仕掛けに関してはだよ。だから、俺たちができることは、話題をきっかけに会場に来た人を「面白かった」と、また足を運ばせるような作業しかできないもんな。とりあえずは。
──蝶野さんは猪木さんを"神"っていう言い方をしましたよね。最近、武藤さんは馬場さんを「神だ」みたいに言ってるじゃないですか？
武藤　だって馬場さんは、都合がいいじゃない？っていうか、口は出してこないんだよ。同じ神でも都合がいいじゃない、ホントに（笑）。
──武藤さんにとって（笑）。
武藤　だ～って、なにも口出して来ないんだよ？　猪木さんでも絶対勝てないよ。だってもう、ホントの神様になっちゃってるんだもん。
──猪木さんが"プロレス"の枠を壊そうとすることに対して、馬場さんが生きてる間はニラみを効かして、馬場さんが"プロレス"の枠を守ってた部分があるじゃないですか。
武藤　ふ～ん。
──だから、武藤さんや蝶野さん、それから橋本さん、三沢さん、みんな別々のフィールドを持ちながらも、無意識的に共通認識があって、みんながジャイアント馬場が残した概念というか、「プロレスはプロレス」っていう思想を、もう一度つくろうとしてるようにも見えるんですよ。逆に言えば抑止力を働かせるというのかなぁ。
武藤　う～ん……もしかしたらそうかもしれないけど、ただやっぱり、各々みんな、やっぱりそのなかでも微妙な違いってあるよね……微妙な違いがあるよ。
──その微妙な違いが、上がるリングの違いとなって表れてるんでしょうけどね。ボクなんかは、武藤さんと蝶野さんのプロレス観は、てっきり一緒だと思ってましたからね、今回の件が起こるまでは。
武藤　エ？　一緒じゃないの？
──は？　一緒なんですか！（笑）。
武藤　いや、それはわかんないけどさ。違うって言ったら違うけどね。
──どっちなんですか!?（笑）。
武藤　違うよ！　違うよ！　うん。
──ダハハ。どこがどう違うんですか？
武藤　いや、わかんねぇけどね。
──ズコッ！
武藤　ちょっと違うね。
──ホント微妙なんだなぁ（笑）。蝶野さんは、「両極に『PRIDE』とWWFがあったとしたら、俺たちがやるプロレスは中道、真ん中だ」っていう言い方をしてた。武藤さんはどうなんですか？
武藤　真ん中……真ん中の道じゃないなぁ？　真ん中の道っていうのは、要は、よく新日本でやってる"なんちゃってPRIDE"みたいなヤツ？
──ガハハハハ！　場合によってはそれも含むんでしょうね。
武藤　な～んか違うかもしんねぇなぁ。
──ああいう試合は、武藤さんはやってて面白いんですか？
武藤　いや、わかんない。俺、あんまりや

（写真・上）90年代の新日本プロレスマットを文字通り支えた、武藤、蝶野、橋本の「闘魂三銃士」。それが21世紀に入り、3人ともバラバラの団体に別れ、こんどはそれぞれが一国一城の主として、日本マット界全体を支える存在になりそうだ。これからの闘魂"三国志"に期待！　（写真・中）80年代終わりから90年代始めにかけて、マット界を席巻した「UWF」にある意味、終止符を打ったのが武藤敬司。95・10・9高田延彦に足四の字固めでの快勝は、純プロレス復権に多大なる功績をもたらした。　（写真・下）94・5・1福岡ドーム、新日本プロレスの神（蝶野調）にグレート・ムタとして相対した武藤。今回の武藤新日本離脱には、やはり猪木の存在が多分に影響していることであろう。

ったことないし……。

——ペドロ・オタービオ戦は？

武藤　あ、あ～れはつまんなかった！（キッパリ）。あの試合に備えて、すごいやっぱり2～3週間以上がんばるじゃない？　そのわりには、スッゲェなんかね、虚しかったよ、終わったときに。

——観客の反応も含めて？

武藤　も、含めて。

——武藤さん的には、日本の純プロレスって、どういう方向に向かって行けばいいと思ってるんですか？

武藤　いやぁ～、差し当たって、原点に舞い戻るしかないんじゃない？

——原点？

武藤　っていうか、俺ができるのは、俺が培ったプロレスしかもうできないよ。変な話、もう40歳近くなってね、これから何がやれる、こうやれるって変えるわけにもいかないし。

——現状として、ウチの読者のなかの話ですけど、例えば、（昨年）大晦日の安田vsバンナがベストバウトに選ばれる。そういう現状についてはどう思いますか？

武藤　いや、だ～って、俺もアレは面白かったもん、マジで。ヤスとは知ってる間柄だしね。それは一生懸命応援したよ。ただ、基本的に俺らはそれでメシ食ってるわけじゃないからね。俺ら、プロレスがライフだよ！

——プロレスがライフ！　いい言葉ですねえ。でも、いまは、『猪木祭り』のようなものにも〝プロレス〟を感じているファンもいますよね。

武藤　だから、その両方をこなせるレスラーっていうのはもう……レスラーはスゲェきついよ。

——確かにきついですね。両方やっていくのは。

武藤　だから、猪木さんが求めてるのはスーパーマンを求めてる。ただ、スーパーマンっていないんだよ。いないんだって。

——スーパーマンはいない！

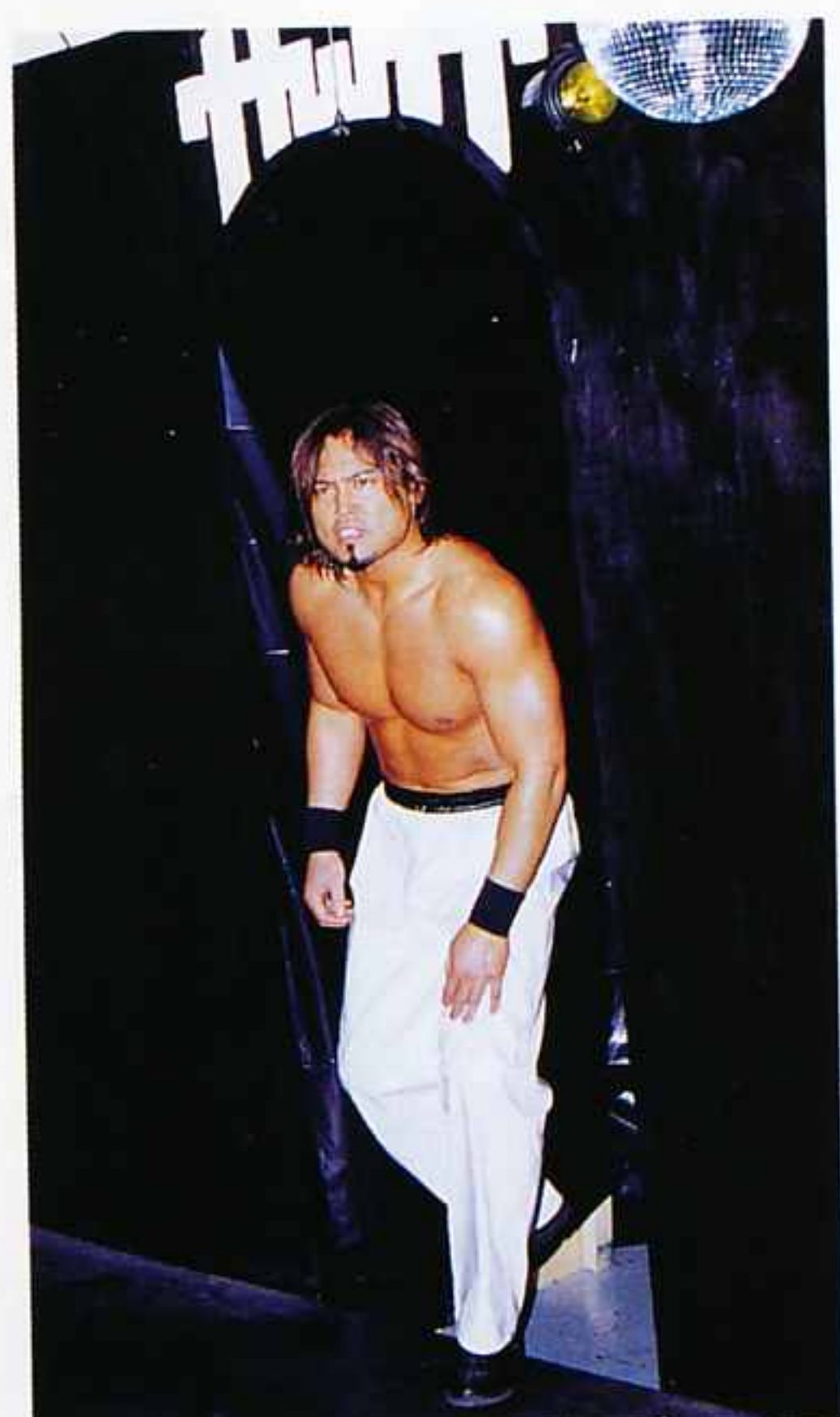
武藤　で、変な話、『PRIDE』とかも、もうプロレスに憧れてんじゃん。逆に言ったら、『PRIDE』のタレントとかはね。でも、『PRIDE』のタレントがキッチリこっちでメイン張れるようなプロレスができるのかっていったら俺は無理だと思うよ。そういう部分でもスーパーマンっていないんだって。

——武藤さんが若い頃に、いまの状況があったらどうしてました？　好奇心としてはあっち方面もやってみたいという風に思ってましたかね？

武藤　ただやっぱり……いまだから言えるのかなぁ。やっぱり〝プロレスの肥やしとして〟になっちゃうよなぁ、きっとね。

——やっぱり純プロレスもメディア戦略やビジネス構造も含めて、変わっていかなきゃいけない時期だと思うんですよ。例えば、その辺は黒幕と言われる馳さんとは話したりするんですか？（笑）。

ProWrestling Renaissance

Keiji Muto

あのWWFとの契約を蹴り、これから武藤一派への参加が確実視されているカズ・ハヤシ。これからこのハヤシとケンドー・カシンが中心となって、全日本に新しいジュニア・ヘビー級王国を作り上げるのか？

武藤　いや、そんなにはしてないですね。ただ、もし仮に全日本に行ったとしても、あの人にお願いしてることは、要は人材育成？　たまたま彼、専修大学のレスリング部の監督になって、なんかアマチュアのほうとも強くなってきてるから、つながりが。要は新しいソフトを作るっていうのは、いま必要じゃないですか。だから、面白いじゃない⁉

——はい。そういう状況の中で、WWFも来るし、ミスター高橋さんがああいう本を出しましたよね？　ズバリ言って、武藤さんはどういう感想を持ってますか？

武藤　いや、基本的には気にしないようにしてるよね。

——あ、気にしない（笑）。

武藤　さっき言ったように、俺はこれが人生だし、フォー・ザ・ライフであり、少なからず、こんな俺でもファンっていうのがいるからね。

——少なからずってことはないですよ（笑）。

武藤　例えばハガキで「妹が大きい病で手術しなきゃいけないんです。妹が武藤さんのファンです。サインしてやってください」とか言われたときなんか、俺はもう医者を超えた、それこそ神に近いような状態なって、すごいレスラー冥利に尽きるなっていう気がしてね。「受験勉強のお守り代わりにサインください」とか。な～んか、そういう人たちを裏切りたくはないよね。こんな俺が提供したプロレスでも、そういう風に感激してくれる人がいるじゃない？　だから、「このスタイルでいいんじゃねぇか」と俺は思ってますよね。で、そういう人たちの後押しも必要だし。

——なるほど。高橋さんの本に関しては、「気にしないようにしてる」っていうことは、気になるのは気になるんですか？

武藤　いやぁ、実際に読んでないからね。

——風の便りには聞きますよね？（笑）。

武藤　うん。ただ、俺の名前もないし、なんか、ほぼ猪木さんのことを……。

——まぁ、猪木さんと藤波さんが、ほぼ主人公ですね（笑）。

武藤　だからな～んか、そんなこと言っても、別に。

——「読んでみたいな」っていう気はないんですか？

武藤　差し当たって、『紙のプロレス』を見るようにしますよ（ウインク）。

——うまい！　シャイニング・ウィザードを喰らったような気分だ（笑）。

武藤　ただ、そうやって楽しんでるのもプロレスじゃないですか？

——懐が深いな、武藤さんは。いま、新日本に残った選手にはどういう想いがあるんですか？

武藤　いや、敢えて考えてない。っていうか、もう決断した時には、未練もクソもなく、振り返らないようにしないと、こっちが進んで行けねぇよ！

——ズバリ言って、新日本を退団した原因っていうのは何なんですか？

武藤　ま、いままで述べたことも全部含めて、全体的なタイミングというか……全日本に去年、ズーッと俺、外様として出てたのよ。その中で全部俺、メインよ。

——そうですよね。

武藤　全部メイン。正直言って、ガタガタなんだよね、足が。変な話、ガタガタ。だから、メインに来るまでの俺に対するプレッシャー？　それは感じるね。組織からもファンからもね。昔の猪木さんじゃねぇけ

ど、一本で行ってる俺？　俺一本で行ってるシステム？　そこにスゲェ存在感？存在価値？　そういうのは大きいよね。存在価値って、レスラーには絶対必要じゃないですか？

――それは何の仕事でもそうですよね。武藤さんには、その重圧が心地よく感じられたんだ。

武藤　そうそう。な～んかね。

――でも、退団の理由はそれだけじゃないんですよね？

武藤　それだけじゃないよ。大きな……いまはしゃべりたくないけど、すごい野望も持ってますよ。

――大きな野望がありますか!!

武藤　うん。野望が90%だよ。

――はぁ～、90%！　これからは総合格闘技や他団体とは全く違う世界を作ろうと思ってるんですか？

武藤　できたらそうしたいよね。変な話、鎖国でできたら、それはスゲェいいことじゃない。新日本みたいに、ノアから借りたりとか、ZERO―ONEから借りたりとか、そうじゃなくて自分たちだけでやったら、それこそよくない？　会社側からしてみたら経費も安上がりだしさ（笑）。

――あ、そこで経費の話が出てくる。武藤さんが経費のことまで考えてるとは思わなかったな（笑）。

武藤　いやぁ、意外と俺は、そういうの緻密ですよ。ハッハッハ。今回の騒動は「用意周到だ」とかみんなに言われてるけど、当たり前だよ！　自分の人生、用意していかなかったら困るよな！　子供じゃあるまいし。

――でも、新車を買ってすぐにブツけても、ケロリとした顔してるっていう噂を聞いたことがありますよ（笑）。

武藤　違うよ、どんな噂だよ（笑）。誰だ、そんなこと言ったの？　精神的ダメージはすごいよ、そういうときは。

――ガハハ！　そういうときはヘコむ？

武藤　ヘコみますよ！　た～だ、忘れやすいけどね。

――ガハハハ。いま、いわゆる純プロレスと言われてるなかで、「コイツとだったらいいビジネスができそうだな」っていうのは誰ですか？

武藤　やっぱり三沢だろうねぇ。これは対戦するか、しないかは別にして、ここのラインだけはピッと、ビジネスとして大事に暖めとかないといけねぇなって思いますよね。

――橋本さんは？

武藤　あれはもう、何回もやってんじゃん。三沢っていうのは未知でしょ。そういう部分でファンの期待感とかを全部相対的に考えると、ここだけは慎重に暖めたいよね。逆に空想の世界で終わってもいいかなってのもあるし。

――なるほど。小川直也に対してはどう思ってるんですか、いまは？

武藤　……あんまり、絡まねぇほうがいいなぁって思ってるけどね。

――ガハハハハ！　絡まないほうがいい。

武藤　基本的に、じゃあプロレスができる

見てみ、この馬場元子社長のツラ！　いや、お顔！　王道女神（スポーツ報知調）も武藤の前ではこんなにもチャーミングな表情を見せるのだ。これが生まれながらにしてのスター、武藤敬司の魅力。その存在自体がプロなのだ。

高橋さんの本？　俺はもともと〝究極のエンターテインメント〟だと思ってるよ

のか、できないのかって言ったらわからねぇし。『PRIDE』に行くのかって言ったら違うし。で、どちらかって言ったら、新日本にとってもなんか疫病神みたいな奴じゃない？

――や、疫病神！

武藤　関わった奴、みんな潰されてってんじゃん。プロレスのいいところって、関わった奴がみんな一緒に大成していけるところがじゃん。小川vs橋本戦くらいから、新日本のプロレスっていうのは、なんかちょっと方向が変わったかなっていうのもあるけどね。まぁ、あれと『PRIDE』が平行して出て来た影響っていうのかな。

――でも現実としてね、その『PRIDE』なりK―1なり、『猪木祭り』に多くのファンが集まってる。で、昨日（2・11）もK―1中量級の大会がものすごい盛り上がりを見せた。そういうなかで、純プロレスは何を武器にやっていったらいい

と思います？

武藤　武器？　差し当たって武器なんてねぇよ（アッサリ）。培ってきた自分たちの技量でぶつかるしかないんじゃないの？　それはもう、隠しようがないじゃん。いちタレントとしてみたら、それで勝負するしかないんじゃない？

――驚異には感じ……。

武藤　（さえぎって）ねぇ、正直言っていい？　生きてくのに段々難しくなってることは事実だよね。

――プロレスラーが？

武藤　うん。でもさ、だ～って俺はUWFが出てきたときだって、スタイルは変わってなかったよ。俺だけ。みんなああいうスタイルに行くのに、俺だけ違ったもん。ヘルメットかぶったりさぁ（笑）。

――ガハハハハ！　スペース・ローン・ウルフ！

武藤　俺だけ、いまのスタイルと大して変わってないと思うよ。技とか減ったけどね、いまは。だけど、基本的なベースは変わってない。またこれが経営者側になってきたら、またわからないけど。これから変わんなきゃいけない自分もいるよ。でも、やっぱりこれをライフとして生きていくから。何らかの形でプロレスというものに携わっていかなきゃ生きていけねぇから。生きる道として、コレでしか勝負できないし。で、意外と、一歩ヨソの世界に行くと頭コレだけど（手でパーのポーズ）、プロレスに限っての才能は自分で自信持ってるじゃない？

――それはそうでしょう。

武藤　いままで培ってきたことにしろなんにしろ、渉外やらしたって俺に勝てる人はいないよ、絶対に！　そこは日本の誰にだって……プロレスに関しては、渉外で俺にかなう奴はいないと思うよ。もし俺が本気でそういうのをやりだしたら。営業だって俺は意外とね、飲み屋歩いてるから（笑）。

――ガハハハハ！　今日は意外な一面がたくさん見れるなぁ。辻さんのラジオ番組でも聞かれてましたけど、全日本の社長に武藤さんがなるっていう噂も出てますよね。

武藤　んっ？　それはまだわかんねぇ……っていうか、そういうふうになるように努めるよ。

――おお！　爆弾発言！

武藤　ただ、もし社長になった場合には、今度は猪木さんのできなかった上場みたいなことはしたいよね、会社の。WWFじゃないけどさ。できるかどうかはわかんない。まだ夢というか、希望っていうか、そういうのを含めて言ってる言葉だよ、全部。

――で、話はちょっと戻りますけど、高橋さんは、その本で、「もうプロレスはエンターテインメントだっていうことを打ち出したほうがいい」と言ってますよね。

むとうけいじ■1962年12月23日、山梨県出身。84年の新日本入門当初から将来を嘱望され、90年代には「武藤」と「ムタ」の二つの顔で日本とアメリカ両方でトップを張った、天才。『プロレス・ラブ』を掲げ、純プロレスに邁進する姿はまさに“王道”。

ProWrestling Renaissance

Keiji Muto

武藤　いや、俺は、もともと究極のエンターテインメントだと思ってるけどね。

――ははぁ。すでに思ってる。

武藤　“究極のエンターテインメント”っていう呼ばれ方っていいよね（笑）。

――いいですか（笑）。「勝負論じゃなくて、エンターテインメントだと公言した上で、ビジネス展開をしていったほうがいい」って高橋さんは言ってますよね。

武藤　ただ、その辺に関しては、俺はまだ言えねぇよ。答えが自分の中でも何にも見つかんない。だから、今回の行動は、“プロレスとは何か？“っていうのを探し求める旅じゃねぇけど、そういうテーマもあるからね。こうやってしゃべってることによって、「プロレスとは何かな？」って考えてる自分もいるから。だから、その考えることがプロレスでいいじゃないですか！

――一見、なにも考えてなさそうな武藤さんにそう言われると気持ちいいなぁ（笑）。

武藤　俺、考えてるんだよ、一応！

――ガハハハ。去年、橋本さんが新日本を辞めるときに、永島（勝司）さんとの確執を上げてたんだけど、武藤さんは新日本の中で確執があった人っているんですか？

武藤　ない！　一切ないね。

――へぇ～。例えば長州さんとも？

武藤　いや、大まかでいったら、わからない。ただ確執じゃないよ。文句が言いたいときはいっぱいあったけどね。そういう愚痴はあるよ。いっぱい。細かい愚痴は（笑）。

――ところで、元子さんとは上手くやってけそうなんですか？

武藤　エッ!?

――いや、もし全日本に入ったら（笑）。

武藤　いや～、上手くやっていきますよ。

――辻さんの番組でも元子さんを「チャーミングな女性」って言ってましたね。

武藤　いや、俺はね、みんなが見てない元子社長のことをいっぱい知ってるんですよ。

――ゲ、なんでですか？

武藤　いやぁ、俺の前だけああなのか、ちょっと自分でもわかんねぇんだけどさ（笑）。とにかく俺の前の元子社長は、非常にチャーミング。非常にいい女性ですよ。

――永島勝司の前にいる元子さんとは違う？（笑）。

武藤　いや、それは見たことないからわかんねぇ（笑）。だから俺、初めて会うときに、もう周りがいろいろスゲェ情報を入れるじゃん。最初にそのギャップにすごいビックリしたもんね。

――かわいいっていう感じですか？

武藤　うん。愛らしいというか、かわいらしいというか。

――もしかして熟女キラー？（笑）。

武藤　あ？　わッかんないよ。わかんねえけど……あ！　もう時間だよ。もう行かなくちゃ。のせられてしゃべりすぎちゃったよぉ。

――ダハハハ。武藤さん、思いきり純プロレスを面白くしてください！

【2月12日／渋谷・ロックウエストにて収録】

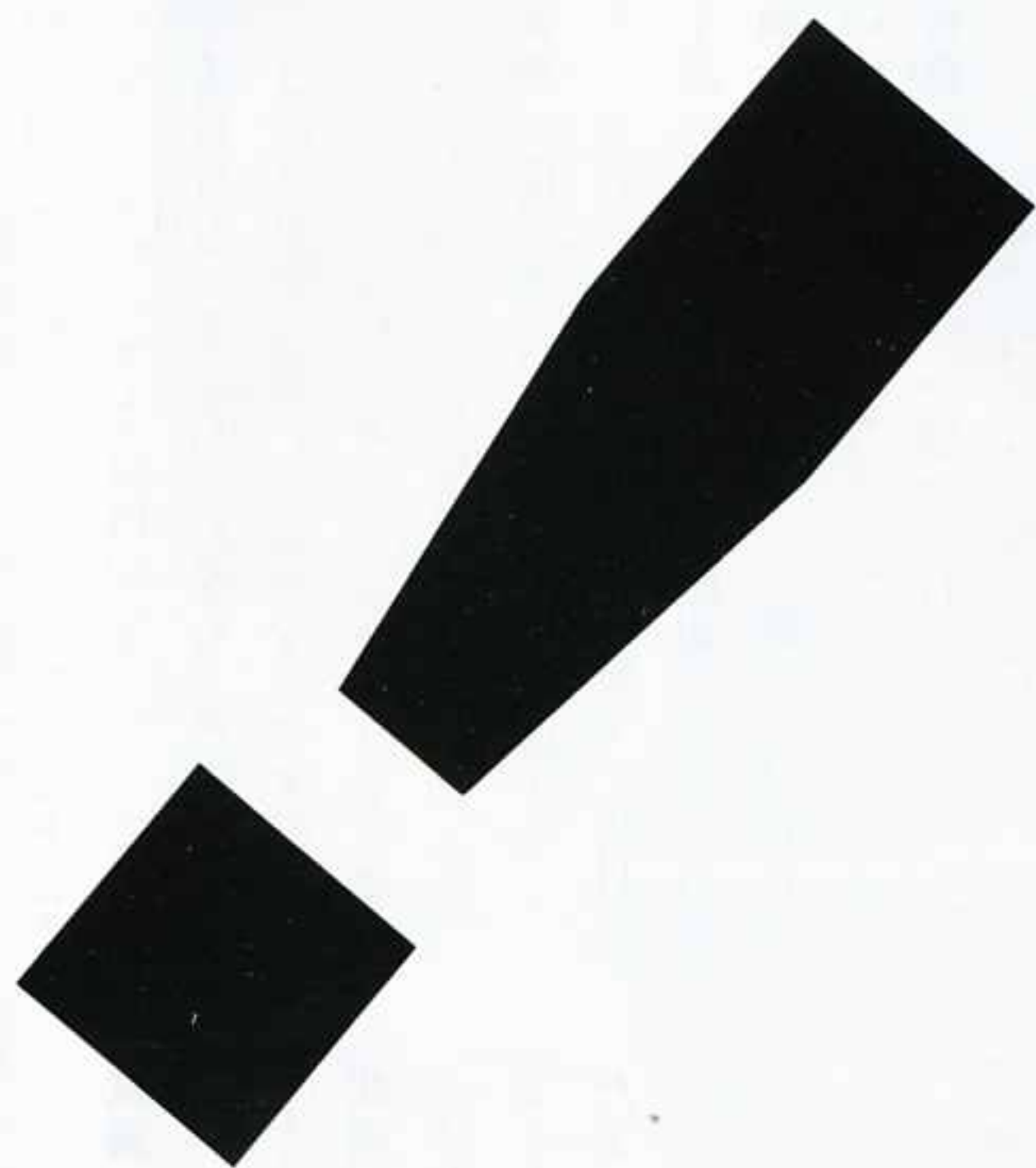
2002チャンピオンカーニバル日程

3月
- 23日（土）18:30～東京・後楽園ホール
- 24日（日）12:30～東京・後楽園ホール
- 26日（火）18:30～富山・富山テクノホール
- 27日（水）18:30～岡山・オレンジホール
- 28日（木）18:30～広島・呉市体育館
- 29日（金）18:30～大阪・大阪市中央体育館
- 31日（日）13:30～石川・石川県産業展示館（金沢）

4月
- 1日（月）18:30～新潟・長岡市厚生会館
- 2日（火）18:30～宮城・宮城県スポーツセンター（仙台）
- 3日（水）18:30～宮城・古川市総合体育館
- 4日（木）18:30～青森・八戸市体育館
- 6日（土）18:00～北海道・函館市民体育館
- 8日（月）18:30～北海道・釧路市鳥取ドーム
- 9日（火）18:30～北海道・北見市立体育センター
- 10日（水）18:30～北海道・札幌月寒グリーンドーム
- 13日（土）18:00～東京・日本武道館

黒幕だろうと、
白幕だろうと、
どうでもいい。

ところで、

馳！

いったいオマエの
野望はなんなんだ!?

武藤敬司に続き、噂の馳先生が、新日分裂問題、今後の全日本、WWF上陸、ミスター高橋本まで、〝問題〟を語りまくった。今すぐP42へGO!!

激動
新日本
全日本

その流れを読む
2002.2.2—2002.2.18

2/3 ドラゴン激怒!! 蝶野に"秘策"あり!!

蝶野正洋vs新日本首脳陣vs新日本離脱組のトライアングル抗争がさらに激化!! 武藤敬司&太陽ケアが保持するIWGPタッグ王座は、武藤が新日本を退団したことにともない、ドラゴンら新日本首脳陣は、タイトルを"ハク奪"という処置を主張(のちに"そんなこと言ってない"とドラゴンは例によってコンニャクぶりを発揮)。一方、"ハク奪"してタイトルを新日本に残すという政治的決着をヨシとせず、リング上での決着を要求しているのが蝶野。そしてこれにはアントン総帥も全面バックアップ。そして蝶野には、武藤が「2月24日まで全日本への入団はない」と語っていることを逆手にとった"秘策"があることが明らかになった。武藤のフリー選手としての空白期間を利用して、契約上の問題をクリアできる第三者のリングを設置しての、自主興行開催をブチ上げたのだ。 この蝶野発言を聞いて怒ったのが、他ならぬドラゴンだ。2月3日には、その蝶野組と「6人タッグトーナメント」の準決勝を争ったドラゴンだが、試合には敗れるわ、蝶野の"秘策"を聞いて怒るわで、まったく神経の休まるヒマがない。「やるんだったらおやりなさいと。裏方の苦労も知らずに、猪木さんと一緒に表面のことばかりとらえてね。新日本でも全日本でも、どこのリングでもやればいい」と、完全にダークドラゴン化していた。

2/4 「小学校でやってやる!」 蝶野が武藤に前代未聞の対戦要求!

武藤敬司&太陽ケアの持つIWGPタッグのベルト奪回を目論む、新日本現場最高責任者の蝶野正洋が、武藤組とのノーピープルマッチをブチあげた! 2月4日、新日本事務所で幹部と会談した蝶野は、今シリーズ中のIWGPタッグ挑戦者決定トーナメント緊急開催を正式要請。しかし、法廷闘争も辞さない覚悟の首脳陣たちは、全日本とのビジネスとなるこの要請を受け入れるわけにはいかなかった。2時間にわたる会談は難航。ベルトは王座を管理するIWGP実行委員会委員長の決定に一任されることになった。「ハク奪とか、返上とか、それがいちばんつまらない。レスラーならわかるだろう」と蝶野はあくまでもリング上で武藤との決着をはかりたい構え。そこで「ノーピープルマッチだ。場所はどこでもいい。武藤の母校の小学校の体育館でもいい」という仰天プランをブチあげた。なにゆえ対戦場所が相手の母校の体育館なのかは、黒の総帥のみぞ知るところだが、とにかくなにがなんでも実力でベルトを奪回する覚悟だ。一方、母校でのノーピープルマッチを要求された渦中の武藤は、2月5日付の日刊スポーツのインタビューで「オレはさ、2月1日付でIWGP実行委員会の坂口会長に王座返上届けを渡したんだよぉ。ちゃんと受け取ってもらったはずだよぉ」とIWGP王座をすでに返上したことを激白! 「もう返上したんだから、そんなことで惑わされても困っちゃうよな。返上したこっちの心意気もわかってほしいよ」と、元6冠王はいつもどおりのマイペース。「いちばんつまらない」と思っていた"返上"が、ノーピープルマッチを提案した時点ですでにされていたと知った蝶野の心中やいかに。武藤のマイペースは最強?

2/7 時は来た! 破壊王、新日本に「潰し合い」宣言!

破壊王が5・2古巣の30周年記念興行への参戦を示唆した!! この日、ZERO-ONE事務所で会見した破壊王は、「やっと改革にたどりついた」と新日本の蝶野新体制を歓迎。続けて「オレを排除した腹黒い悪代官たちを掃除できれば、なんの遺恨もないよ。5・2? 蝶野から言われれば、そりゃあ考えますよ」と、昨年4・9大阪ドーム以来となる新日本参戦の意志を告白した。とはいえ、解雇された古巣のリングにタダで戻る破壊王ではない。「蝶野には、オレが新日本でやろうとしていたことをやってほしい。そうすれば、正々堂々と潰し合いできる。戦争をはじめてもいい」と、エールを送りながらも、あくまで対決姿勢。「最終的に、オレ達は新日本を飲み込んで、業界最大の団体を目指しているからな」と打倒新日本を宣言した。また、アントン総帥が帰国前に「橋本も気になる」ともらしたことにも破壊王は、「猪木さんに頭をさげる気はない」と、一線を画す構えだ。しかし「恨みつらみもひっくるめて飲み込んで、前向きなことをしなくちゃいけないという気が、しないでもない」と、ビミョーな言葉で関係修復の用意もあることを示唆した。5・2参戦の場合は、OH砲の相棒・小川直也と新日本へ乗り込む可能性も高い。OH砲は新日本30周年にデッカイ花火をプレゼントするのか!? それとも破壊力バツグンのデッカイ大砲をブチ込むのか!?

2/2 アントン総帥、"黒幕"&ドラゴンをバッサリ!!

1日、蝶野正洋にリング上の全権を預けたアントン総帥は、一夜明けた2日も、蝶野全面支持を打ち出した。武藤敬司&太陽ケアの持つIWGPタッグ王座を"リング上で奪い返せ"と主張している蝶野を「アイツにその器量があれば俺は力になる」と後押しし、"王座ハク奪"を主張する藤波"ドラゴン"辰爾社長以下の新日本首脳陣を「藤波たちの言うことはもういい。強い新日本をつくるなら、力を結集して取り返せ。蝶野が兵隊を使って取り返すのも手というか」と、バッサリ切り捨てた。また返す刀で、今回の騒動の"黒幕"と言われる馳浩に対しても「アイツがプロレス改革とか言ってるけど、実際にこうやって混乱が起きているわけだから。徹底的に叩き潰す!」と宣戦布告した。一方、注目の藤波社長も、2・2札幌大会前に会見。"王座ハク奪"をヨシとしないアントン号令に対しては「ハク奪するなんて言ってない!! 持って行き方によって、できるできないっていうのが出てくるわけだから」と見事な"コンニャク"ぶりを発揮。その上「猪木さんがそういうことを言ったんだったら、猪木さんに任せましょう」と開き直り、アントン総帥が蝶野にリング上の全権を預けたことについても「いいんじゃないですか、猪木さんのやり方だから。同意? 同意もなにもないですよ。選手みんながヤル気を出せばいいんじゃないですか? 前と変わりはない。自分は会社として動くだけであって、猪木さん自身もすべてを把握してないんじゃない?」と、選手よりも自分のヤル気がすっかり下がったことを露呈してしまった。アントン総帥&蝶野vs新日本首脳陣vs離脱組のトライアングルマッチは、もの凄い勢いで混迷さを増してきた。

2/6 アントン総帥、新日本騒動に終結宣言!

アントニオ猪木が、新日本の一連の離脱騒動に終結宣言を出した。この日アメリカ帰国前恒例の成田会見を行ったアントン総帥は「毒気にやられて、今日は元気がねぇんだ。ンムフフフ」と苦笑いしながらも、「マージャン三昧、ゴルフ三昧やってて、もつわけがない!」と新日本の"ダラ幹"を痛烈に批判したりと、やっぱり元気!! 今回の新日の離脱騒動については「蝶野に任しきらないと。まあ、今回の事件はこれで落着ですよ」と、ひとまず終結を宣言。しかし、話が全日本との法廷闘争に及ぶと「この業界だけが許されるということはない。馳は国会議員なんだから、それくらいのこと勉強しといた方がいいぜ」とあらためて"馳浩 黒幕説"を口にし、宣戦布告した。と、ひとまず終着となったこの騒動だが「これで一気に新日本の体質改善にもっていければね」とアントン総帥は、これも新日本にとっては"荒療治"と考えているようだ。

また30周年記念となる5・2東京ドーム興行には「力を貸しますよ、発展するような企画であればね。亡霊みたいなレスラーがリングに上がってもしょうがねぇだろ」と、自らが"陣頭指揮"をとり"面白く"することも視野に入れた。「(目指すは)21世紀型格闘プロレスっていうかね」というアントン総帥だが、またも武藤派離脱の原因とされる"格闘プロレス路線"が軸になるのか? 今後の方向性が実に注目される。次回の日本帰国はいつか? という報道陣の問いに「まあ、今度帰ってきたときには、世界が猪木を追っかけ回すようになりますから」と相変わらずスケールの大きな予告をし、しかも出発直前、「蝶野へ 小さいことにくよくよせずに でっかく笑って指揮をとれ」と色紙で蝶野に"闘魂エール"を送り、機上の人となったアントン総帥だった。

2/11 健介、破壊王に一騎打ちを要求!!

正直、破壊王と一騎打ち!! "テイク・ザ・ドリーム"佐々木健介が5・2東京ドームで行われる「新日本30周年記念興行」での対戦相手になんと懲りもせず破壊王を指名した!! 健介と破壊王の対戦は、昨年4・9大阪ドーム大会が最後となっている。そこで健介は、破壊王に失神KO負けを喫し、その屈辱からか、試合後に失踪。そして傷心のアリゾナ修行(家族と)に出発。バーリ・トゥード用ラリアットを引っさげて坊主頭で帰国と、ドラマチックな展開で話題を呼んだ。

その後、新日本とZERO－ONEの関係が再度悪化したため、健介はリベンジの機会がなかったが、今回武藤らの新日本大量離脱事件により、蝶野が現場監督に就任。破壊王が再び新日本のリングに上がる可能性が出てきたのだ。「30周年はシングルでやりたい」と語る健介。健介のシングルの相手といえば、1・4の小川直也との遺恨決着戦をうんざりするほどアピールしていたが、突如「ハッキリしないからもういい」とアッサリ断念。対戦候補の1人に破壊王を挙げ「(橋本は) 選択肢の一つ」と前置きをしたものの、「過去にもいろいろあったけど、向こうが応えるなら道はある」と、破壊王自身は健介の名を全く出していない状態で対戦要求を叩きつけた。

おそらく健介は破壊王が本誌で「アホの健介とだけは絶対に話をしないぞ! あいつはチ○カスや!」と、語っていたことを知らないのであろう。

2/13 破壊王激怒! 健介の対戦要求を拒絶!

破壊王は激怒!! 11日に健介が、5・2「新日本プロレス30周年記念興行」での対戦相手に破壊王を指名したことに対し、この日、ZERO－ONE事務所にて、その張本人である破壊王がコメント。嫌悪感を全開させ「あいつとは関わりたくない。名前を出されるだけで迷惑や!! 自分の立場を考えろ! 目線が違うんや! 以上!」と、いまにもチ○カス発言を再現しそうな勢いで一刀両断した。

さらに破壊王は、このあともまだ物足りないとばかりに暴言三昧!「俺は団体のトップとしかやらないし、一流のレスラーとしかやらないぞ!」などと、小結・健介をまるで三流レスラーとでも言わんばかりに、見下した発言を連発した。また、健介と1月4日に対戦し、大きな遺恨を残した小川直也とも、すでに「健介と絶縁」という共同見解を示したことも明言。「どうにかして新日本に上がることになっても、あいつとはやらない。交渉も蝶野としか話をしない」と、どんなことがあっても健介を無視し続けることを改めて強調した。そんな怒り爆発の破壊王だったが、これがノアに関しての話になると急に意気消沈。3・2ZERO－ONE両国大会で参戦が期待されている三沢光晴に関しては、「彼が難しいと言うなら難しいでしょ」としょんぼり発言するにとどまった。この喜怒哀楽の激しさ、やっぱり破壊王最高――ッ!

2/8 橋本に蝶野が応えた!! 新日本vsZERO－ONE全面対抗戦へ!

新日本の"チョウノーリョク者"蝶野が、ZERO－ONE破壊王との関係復活を明言した。2月7日に破壊王が「蝶野から言われれば、そりゃあ考えますよ」と、新日本30周年記念興行への参戦に意欲を見せた事に対し、蝶野は「ZERO－ONEを完全につぶせるプランができれば、手をさしのべる」と蝶野流の言葉で歓迎し、破壊王が提案した"やるなら全面戦争"の姿勢に同意した。ただし、その時期については、「5・2の1点だけで終わらせたくない。その前後にも続く形にしていきたい。だから、橋本にはもう少し待ってほしい」と、慎重な姿勢をとった。改革の必要性も痛感している。「橋本に言われるまでもなく、上の連中は新日本のウミだと思っている。10年間食わせてもらった恩は忘れないが、もっと前向きにすることもできたはずだ」と新日本の"失われた90年代"を総括した。

また蝶野は、「オレの考えが猪木さんの意向とぶつかることもある。まずは5月までのオレの仕事を見てほしい。本来選手間だけの話なら、どこの選手とも交流できるんだ」と、クールに業界全体を見据えた発言をした。

だが話が全日本のことになると、クールではいられないご様子で、大量離脱の黒幕とされる馳に対しては「まだ離脱者が出るって? ふざけるな。名指しで言ってみろ」と先月の馳の講演会の内容までチェックして怒りをぶちまけたのだった。

2/9 武藤、小島、カシンが全日本・後楽園に登場

新日本離脱組の動向が注目されていた、2・9全日本・後楽園大会。この日の第3試合終了後、まず2・24武道館大会で、決定済みだった武藤vs川田の3冠戦の他に、小島vs天龍、カシンvs宮本和志の2試合が追加決定したことがアナウンスされ、カシン→小島→武藤の順で入場。カシン・小島に対しては、場内の全日本ファンも歓迎ムードで、大きな声援が送られたが、最後に入場してきた武藤に対して全日本ファンが送ったのは、声援ではなく…、大ブーイング! それにも屈せず武藤はマイクを握り、「"王道プロレス"の本当の意味を探して、このリングに来ました。…まずは川田! 日本武道館、心して待ってろ!」と発言。小島も「天龍さんに挑戦するため、アイサツに来ました。武道館では、脳ミソ筋肉アタマの挑戦を受けてもらいます」と、天龍への思いを語った。

そして、最後はカシン! そこでカシンは、突如リング・コスチュームになると、「オレはいつでも試合できるぜ! 誰かここでやるヤツはいないのか?」と、カシン節を炸裂!! その挑発的な言葉を受けて、武道館でカシンと対戦する宮本が次に試合を控えているにもかかわらず、リングインし、なんとゴングの音が! それと同時に、レフェリーがリングインし、本当に試合開始!! しかし、一瞬のウチにカシンの飛びつき腕ひしぎ逆十字で宮本はギブアップ! 2月24日の前に決着を付け、"オウドー・カシン"の"デビュー戦"を飾った。

こうして新たなうねりが起こった全日本。しかし、エース川田はというと、武道館で武藤と闘うにも関わらず、「オレには関係ない」と、相変わらずのいじけぶりを見せていたのであった。

ドラゴン、武藤派の行動を予測済み!? 「すべて予想通りの展開」

ドラゴンが、全日本との興行戦争開戦を宣言した! 武藤派3選手が、全日本の後楽園大会のリング上に登場したことを(たぶん東スポで)知ると、ドラゴンはすぐさま「すべて予想通りの展開」と、誰でも予想できたことを鼻の穴を膨らませながら堂々断言。さらに"ダーク・ドラゴン"に変貌し恐怖の報復を予告した。また、あくまで武藤を引きずり出したいとする蝶野とは対照的にドラゴンは「裏で話し合いとかせずに堂々とやれと言いたいが、弁護士に任せてある」と、堂々と弁護士に任せてあることを表明。法的に真相究明を図る方針だ。

2 16 アントン総帥、2・26両国大会6時間前に緊急飛来! しかし、リングに現れず!

30周年を目前にして新日本を揺れ動かした離脱騒動の終結を宣言しアメリカに飛びだったアントン総帥だが、時経たずして新生・新日本プロレスの命運を握る2・16両国大会6時間前に緊急飛来! 新日の全権を掌握した蝶野曰く「リング上への介入はさせない」とされているアントン総帥の、この帰国の意味するものは一体……?

――今日（2月16日）の両国大会には行かれるんですか?

猪木 予定がちょっと入っているんで。試合は見ないんですけど、顔だけ出す。

――先日、世界中が猪木さんを追っかけ回すようなことが進んでいるとおっしゃってましたが?

猪木 順調にいってます。ンムフフフ!

――まだ発表するまでには?

猪木 まあ、スポーツとは関係ねえからよ。ダーッハッハッハ! 元気に繋がるもんだけどよ。迂闊なことは言えなくてゴメンなさい。ンムフフフ! もっと慎重に（進めたいんで）。

――両国には試合前に行かれるということですが?

猪木 最初から両国のことは頭には入ってなかったんで。だから、ホテルに入らないでそのまま（両国に）直行して。その（試合）前に「どうしても（来てくれ）」って言うんで、蝶野も。しょうがないね、もう。ンムフフフ!

――武藤選手ら新日本を離脱した3人が、このあいだ全日本のリングに上がったわけですけど。

猪木 もうそれは俺には関係ないし、それぞれ歩んでいくもんなんで。ただ、（新日本に全日本との）喧嘩の仕方を教えただけで。あとは蝶野に任せたんで。出ていった連中がどうだのは俺に関係ねえことですから。ただ、あとは新日本としてキッチリもう一回ね、建て直さないと。いろんな部分、誰が良い悪いかはさておいて時代がそうなってきちゃって。その中に流されてる状態っていうのは、これは新日本に限ったことじゃなくて日本全体に言えることだからね、前から言ってるように。そこにやっぱり気づいて時代の先取りをするっていうことがプロレスに課せられたっていうか、新日本に課せられた役割だと思うし。そこんとこハッキリ言えなかったんだろうと思うし。それは藤波が良い悪いとかどうこうっていうより、国全体も見えなくなっているんだから（語気を強めて）。そういう意味で元気を作る役割とか気づかせる役割ってことで俺がやってるわけだから。まあ、一件落着というよりは、（新日本を）転覆しようしたあれ（馳?）に対しては、策がなければホントに足をすくわれてちゃうこともあるわけだから。（でも新日本は）みんな一応一丸となったんで問題ない。興行的にもそれほど彼（武藤）らが出ても出なくても関係ないだろうと思うんで。あとは、もっと上昇気流に乗ってないといけない。（ロサンゼルスの）道場のほうもこのあいだ合同練習が（あって）、ドン・フライも来たりしてやってますんでね。外人選手も結構いいのがいるんでね。ちょっと教えないといけない点はいくつかありますけど、ホントにやる気満々というか。そのエネルギーはハングリーというかね、自分たちが職を得ようと必死になって俺に見せようとする姿っていうのは感動しますよ。こないだも20人ぐらいきてましたから。アルティメット系とWCWと両方。蝶野がロス（の道場に）に乗り込みますから、そのときに俺にも来てくださいって言うんで日にちは任せています。

――それはいつぐらいになるんでか?

猪木 このシリーズが終わって、ちょっと日程調整を。俺のほうもいないとマズイんでね。もう、いいですか!?（そして、用意されてあった車に乗り込み両国国技館へ向った）。

2 16 “神”両国に現る!? “フーテンのヤス”IWGP王者に!

2・16、注目の新日本・両国国技館大会が開催。前日、現場責任者の蝶野正洋は「絶対リングには上がらせない。神様にふさわしいキチンとした貴賓席を用意して、おとなしく観戦していただくよ」と、当日帰国する“新日本の神”アントニオ猪木が両国に現れた場合、「絶対にリングに上げない」と宣言した。蝶野は「全選手、全社員で、猪木さんを貴賓席から一歩も外に出さないように、確固たる“猪木シフト”を敷く」と、なにもそこまでの超厳戒態勢。全権を委任されただけに、リング内のことは全て自らの指示で行うという構えを見せた。アントン総帥は、試合開始前に、国技館に来場。控え室に選手を召集して、緊急ミーティングを行った。終了後、「原点に帰れ、初心に帰れと話したよ。新日本の力の違いを見せろと。プロレス界で絶対の力を持っているのは、新日本だけだから、その力の違いを見せろと話した」と、ミーティングの内容を明らかにした。そして帰り際には、なぜか、ブルー・ウルフに闘魂ビンタで気合いを入れ、試合を見ずに、そのまま国技館を後にした。せっかく用意した“貴賓席”と“猪木シフト”もまったく無駄となってしまい、拍子抜けの蝶野。この日、IWGP王座決定トーナメントの準決勝で安田忠夫と対戦したが、アントン総帥に気を使いすぎたせいか(?)、敗れてしまった。そして永田と安田がメインで決勝戦を行い、安田が見事勝利! 第30代IWGP王者に。ベルトを巻いた感想を聞かれ「いやぁ、よくわかんないッス」と絶妙の安田節で喜び(?)をあらわした。第7試合で次期挑戦者に決定した天山は「オレに勝ってから王者と言え!」と、さっそく安田を挑発。アントン総帥不在の今大会だったが、猪木軍の安田が王座に就くなど、やはり結果的には“神”猪木の影響が強く出た大会となった。アントン総帥からの全権委任という形で始動した蝶野新体制。このまま30周年記念興行まで、“神”と“チョーノー”リョク者との連携が、なにごともなく続いていくのだろうか!?

関取時代の思い出の地 国技館で
安田頂点

夢心地 安田 IWGP「獲ったぞーっ」

藤波が引退表明

2 17 “黒髪”小橋復活!! 新日本VSノアの抗争激化!!

昨年の1月18日から欠場していた小橋建太が堂々の復活!! 日本武道館16,500人(超満員札止め)の大コバシコールの中、黒いガウン、黒いタイツ、黒いシューズ、そして金から黒髪に戻った小橋建太が395日ぶりに戻ってきた!! そして永田裕志がノアマットに初登場!! スペシャルマッチとして組まれた小橋健太復活戦は、秋山準&永田裕志VS三沢光晴&小橋健太という、プロレスファンにとってはこの上ない夢の組み合わせとなった。

試合は序盤、三沢と永田から、秋山と小橋にバトンタッチ。張り合い、小橋のヒザを容赦無く攻める秋山に会場が驚くが、小橋は「そんなもじゃ効かない」とでも言わんばかりに「来い!」とアピール。この後も三沢のピンチに永田の顔を睨み返しながらのカット、エルボーとラリアットでダウンをさせるなど復帰戦とは思えないほどの活躍。試合は残念ながら秋山のエクスプロイダーからの体固めで破れてしまったが、試合内容は強く・怖い小橋建太が帰ってきたとファンに知らしめるに十分なものになった。温かく迎えられた永田とは正反対に、大ブーイングで迎えられたのが第6試合の獣神サンダーライガー&井上亘。徹底的な“ヒール”ライガー&井上に対してノアファンから「新日本に帰れ!」「1対1で闘え!!」「(井上に) さがれ、もち肌!」などの野次が容赦なく飛んだ。結果は攻撃を受けつづけた菊地に代わって金丸が井上を押さえ込んでの勝利。試合後はセコンド陣をまじえての乱闘に、新日本リングアナ・ケロちゃんまでがジャージ姿で止めに入る騒ぎに発展。武藤らの全日移籍で新日本とノアの共同戦線を張る姿勢が明らかとなった今大会。両団体とZERO－ONEの関係がどうなるものかも含めて、今後もノアが重要な鍵を握ることは間違いない。

395日ぶり復帰マット 小橋 大の字

1年分の逆水平 小橋

2 16 “エーッ!本当なの!?” ドラゴン引退を決意!

16日、両国国技館で行われた試合の後、“ドラゴン”藤波辰爾社長が、現役引退の決意を表明した(二度目)。この日、越中詩郎と組んで出場したタッグマッチで、勢いに勝る、棚橋&鈴木の若手組に完敗。試合後、ボー然とした表情で「決断の時がきたのかな。こんな調整不足でリングに上がるのはファンに対して失礼だから」と、いまさらながら社長業と選手の二足のワラジにピリオドを打つことを明らかにした。振り返ればドラゴンは、一昨年にも引退を口にして「ファイナル・カウントダウン」に入ったが、“破壊王”橋本真也の退団騒動などでうやむやにしたまま引退の無期限延期を宣言。自身の引退にまでコンニャクぶりを見せた過去がある。今回も、なんだかんだでうやむやにしそうな気もするが「会社が大きくなるためにも、どっちかに絞る必要がある。この時期に社長の大役が回ってきたのも運命的」と、旗揚げ30周年を迎えた会社のために、腹を決めたようだ。しかし、引退試合の場所を聞かれると、旗揚げ30周年記念の5・2東京ドームについては、さっそく否定。「引退の時期や会場についてはこれから。まずは猪木さんがアメリカに帰るまでに話したい」と、アントニオ猪木がアメリカに帰国する21日までに、お伺いをたてる意向だ。「もうカウントダウンはしません。引退したら二度と復帰もしません」と、宣言撤回どころか、今回ばかりは固い決意を見せたドラゴン。「ただ体調を整え、ジュニアの全盛期のような体をつくって(引退試合に) 臨みたい」と、ヤッパリ引退までは当分かかりそうなご様子だった。

2・1"札幌事変"を斬る!!

「プロ格"銀河への拘禁"」あるいは「リテール(個)構造の点描」

文・井上義啓
(元「週刊ファイト」編集長)

I編集長直言

【I編集長とは？】いのうえ・よしひろ■1934年岡山県出身。「週刊ファイト」の編集長を長く務めた、「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。ターザン、GK、ケンファー佐藤等、プロレスマスコミでI編集長に影響を受けた人間は数知れない。

「アイツが言ってる〝団体プロレス〟って何なんだ。プロレス団体がレスラーを所属させ、テレビ局と専属契約を結び、シリーズを何回か打つというのははわかり切った話じゃないか」

アイツとは小生のことだ。なぜ私が〝団体プロレス〟なる珍話を作り出したか。私はしょっ中〝プロレス者〟と〝喫茶店トーク〟を行っているが、「デジタル化が進み、若い連中はパソコンやケータイなどで試合の結果、団体の発表ものなどをその場で入手してしまう。そうなると、何もかもわかってしまったような気になってしまい、翌日のスポーツ紙やプロレス週刊誌（紙）などを読まなくなってしまう。活字プロレスにとっては重大なピンチに陥ってしまうんだ」といった説明を2度も3度も繰り返してはおれないとなる。だから〝デジタル・プロレス〟の一語ですべてを相手に伝え切る手段に代えるのだ。

〝団体プロレス〟にしてもポイントは、「現在の団体経営はいずれ崩壊するのだから、団体関係者は今から、次の手を考えておかねばならない」との警鐘であった。〝デジタル・プロレス〟が活字プロレスを崩壊させることは明白だろう。マスコミでは、どのような方向転換を図るべきか、次なる〝食っていく手段〟を講じておかねばならない、と言ったのと同義語なのである。

この〝団体プロレス〟〝デジタル・プロレス〟の二つがどうしようもない現象として目の前に突きつけられたのが、武藤敬司らによる新日プロ離脱事件であった。私は、水面下での極秘交渉で新日プロ脱退計画が決定したので、それでは新日プロを出ていきましょうとなっただけの話で、全日プロへの移籍交渉が先にあって、それでは新日プロを離脱しようではなかったと見ている。「武藤派にしても全日プロへ移るよりは、自分たちだけでグループを結成した方が金銭的なメリットは大きいくらいのことはわかっている話だ」というのが〝トーク〟の骨子。「武藤が全日プロの社長になるといった考えは、小指の先ほども思い浮かばなかった。では社長になる気で采配を振るっている天龍はどうなるんだ」と話はつづく。

それともう一つ。「猪木が蝶野と同調して、実権を委ねたのではないよ」ということ。坂口会長は退陣、藤波社長に対しても「辞職しろ！」と口にしてしまった以上、「お前がやれ！」と言い渡せる人間は蝶野しかいない。だから仕方なく2月1日の札幌大会に出向いて、リング上で、あのセレモニーを演じただけの話。言ってみれば、猪木と蝶野は水と油、犬と猿の仲なのだ。あるプロレス者が「弘法大師みたいに何もかもお見通しの猪木にしては、山猿みたいな蝶野に、あんな心にもない事を言わねばならなくなるなんて夢にも思わなかったでしょうね」と言った。

あの札幌事変は猪木魔術でも猪木という名の公園でもない。札幌は「何のこっちゃ」の総本山だ

こうした上手の手から水が漏れる事を、私は「弘法も木から落ちる」と称している。

「猪木とY・Iは同じような考え方をする」と言った人がいる。猪木弁護士会の会長に祭り上げられた理由がこれだが、「あいつは何でもかんでもリクツをつけて猪木を擁護する」との非難は当たらない。私が猪木から金を貰ったのは、猪木が新日プロを旗揚げした直後の、たった一回切りなのである。

デイリースポーツのI記者（当時）がやって来て、「（猪木が）猪木が新しい団体を作ったのに何のあいさつもないというのでは収まりがつかん。行って金の5千円も貰おうじゃないか」と言ったんだな。気が進まなかったが、仕方なくI記者の後について行った。猪木は黙って聞いていたが、しばらくして、祝儀袋が私の元に届いた。今の金でいうと5万円ぐらいだったか。猪木にはコーヒー一杯、おごってもらってはい

マット界を震撼させた武藤、小島、カシンらの新日本離脱。しかし、これは全日本への移籍のためというよりも、新日本脱退計画が先だったとI編集長は見ている。

〝平成のデルフィン〟たちに贈る 井上用語の基礎知識

団体プロレス

自前の道場でお金をかけて選手を育て、その選手と年間契約を結び、興行を打っていく従来のプロレス団体運営によるプロレスのこと。新日本、全日本、ノアなど大多数のプロレス団体がこれに当たり、システム的にはリングスもこれに含まれる。今回のリングス活動休止は〝団体プロレス〟が限界に来ていることの証明でもある。これの対極にあるのが道場や所属選手を持たない「PRIDE」、「猪木祭り」となる。

デジタル・プロレス

「活字プロレス」が週刊誌（紙）上で展開される〝活字によるプロレス〟なら、このデジタル・プロレスは朝刊スポーツ紙HPを含めたインターネットや携帯サイトで展開される、速報性にすぐれたWEB上で展開されるプロレスのこと。しかしターザン山本HP「マイナーパワー」はここに含まれない気がする。

パフォーマー

「平成のデルフィン」と「プロレス者」の区別をこれでもかと書いてきた井上さんがその区別をさらに細分化させたもの。プロレスファン、関係者が1万人いたとすると、9700人が「パフォーマー」。その上に280人の「シューター」が存在し、さらに頂点には20人の「フッカー」が存在するという。ちなみに井上さん自身は「シューター」の一番下で、ターザン山本、山口日昇は「パフォーマー」の上の方とのこと。これと類似した区別に田中正志が唱える「マーク」「シュマーク」「スマート」がある。

母艦プロレス

団体内での闘いだけで終わるのではなく、他団体にも積極的に打って出ていく自由度の高いプロレスのこと。秋山準が新日本プロレスのリングにあがったり、ケンドー・カシンが「PRIDE」にあがったりすることがこれにあたる。しかし、「格闘探偵団」を旗印に外に出まくった結果、そのまま帰ってこない選手が続出し、団体休眠に追い込まれたバトラーツの例もあるので、団体内での闘いとのバランスが大事となる。ちなみに「母艦プロレス」なる言葉が生まれたのは、井上さんの戦争体験が大きく影響しているという。

ボンバイエ・プロレス

おそらく「猪木祭り」のようなプロレスのこと。しかし「猪木軍vsK—1」を指しているのか、「PRIDE」ファイターがプロレスをやる第1回「猪木祭り」のことを言っているのかは調査中。

ないのだ。「あいつは完ちゃん（猪木のこと）から相当、金をせしめているんだろう」と、今は亡き大御所が記者連中を前にしてのたもうたそうだが、これも上手の手から……の類（たぐい）。私はこれを「馬も木から落ちる」と言っている。

話を戻すとして、猪木の新日改革の方向は〝プロ格〟化とはっきりしている。ところが藤波社長にすれば、一足飛びに〝プロ格〟化へ走り抜けるわけにはいかない。新日プロの中には〝純プロレス〟が存在しているからで、タッグだのジュニア・ヘビー級だのといった時代に即さない因子も斬り捨てるわけにはいかない。そこで、藤波社長はグズグズしていたわけだが、そこへドカーンと生じたのが武藤らによる離脱劇であった。

猪木は内心「しめた！」と叫んだのに違いない。私がイの一番に感じたのがこれだったからである。だが、新日プロから反猪木分子のすべてが出て行ったのではない。誰もいなくなったというのなら、小川直也や藤田和之をリングに立たせて「お前がやれ！」と、わが世の春がうたえるのだが、そうはいかないとなって、仕方なく、蝶野と向き合ってリングに立つハメとなった。

あの札幌事件はそれだけの話で、猪木魔術でもなければ、猪木という名の公園でもない。藤原喜明が藤波をテロ襲撃したのと同じで、札幌は私にとって、「何のこっちゃ！」の総本山だ。

「猪木と蝶野は考え方がまるで違うのに、どうしてなんだろう」とか「全日を潰して天下を取ろうとしているんだ」などといった〝ビギナー・プロレス〟は〝パフォーマー〟の下部組織での関心事。〝シューター〟をもって自認する紙プロの諸兄は素通りすることである。

今回の新日プロ激震がはっきり指差すものは〝プロ格〟とプロレス（〝純プロレス〟、〝ナンセンス・プロレス〟はこれに含まれる）の二極化だ。3月1日の横浜アリーナを襲うWWFというアメ・プロの大津波が、このことをはっきり天下に公示した。もはや八百長論は花形ではなくなった。あんなもの、新日プロがたどる〝プロ格〟化の中ではクソにもならない。見たまえ。スーパーマーケット、デパ地下食料品売場ですらフーフー言っているのに、八百屋の店先でくだらない事をあれこれ言っても始まらないではないか。

とにかく、これからのプロレス界で八百長なる言葉は死語となる。そうとわかっておれば、もっとひんぱんに使ったものを！　とホゾを噛む思いだ。ノアの行き先は〝母艦プロレス〟と〝プロ格〟の二つだが、そこまで〝純プロレス〟主体の旧プロレスで頑張り抜けるか。

〝プロ格〟の中に〝ボンバイエ・プロレス〟も含まれるのだが、『PRIDE』とK-1の、団体ではない個の選手の集まりが〝プロ格〟銀河を形成することになる。その対極に〝エンタメ・プロレス〟が存在していることは言うまでもない。

（平成14年2月14日脱稿）

2・1札幌で蝶野に現場の実権を任せるパフォーマンスを見せた猪木。しかし蝶野に同調しての行動でないことは明白。今後、両者の間にどんな軋轢が起きるのか？

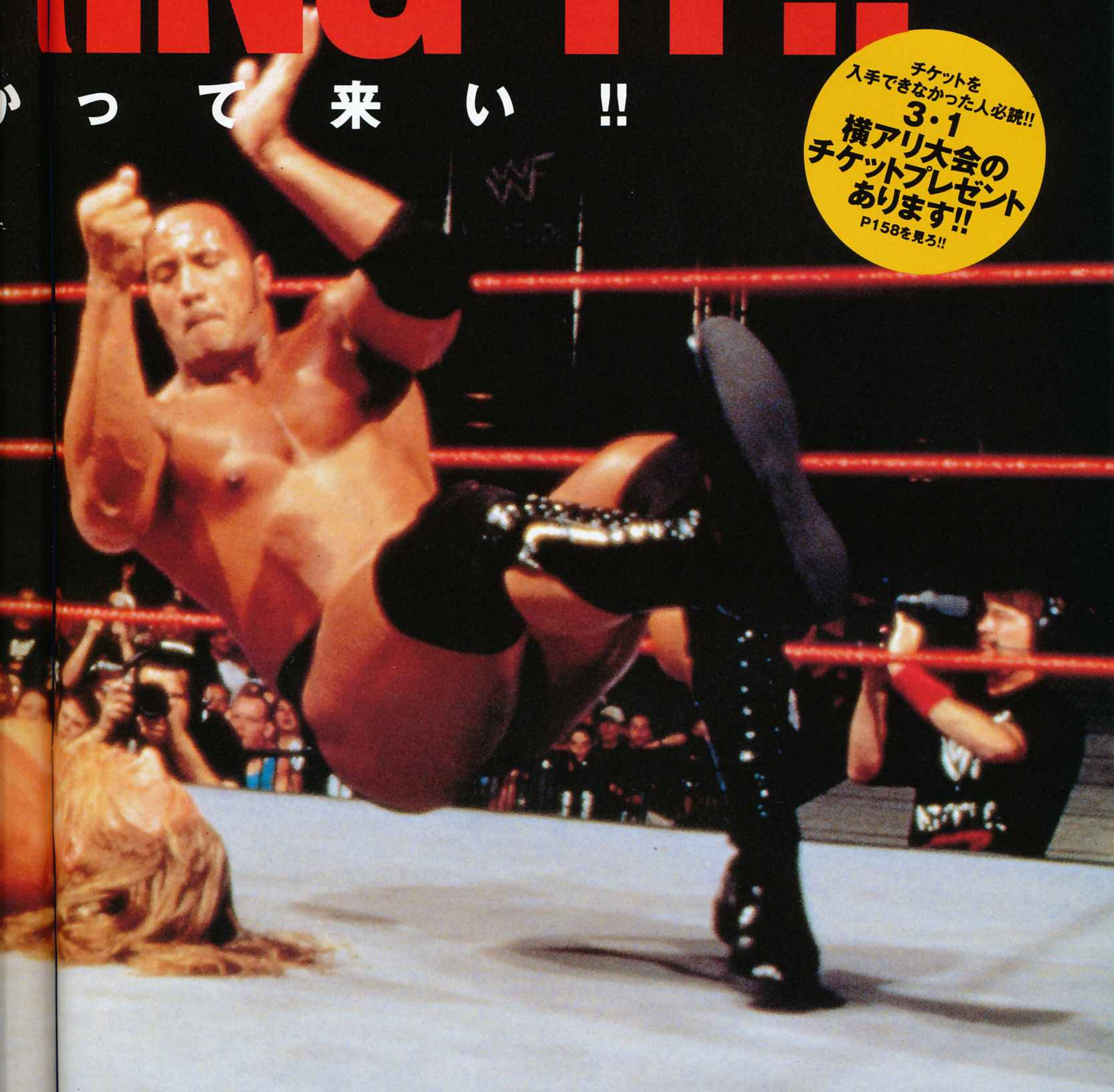
もはや八百長論は花形ではなくなった。あんなもの“プロ格”化の中ではクソにもならない

VI TOUR 2002

構成／スモーノブ designed by matsu (Two three)

RING IT!!"

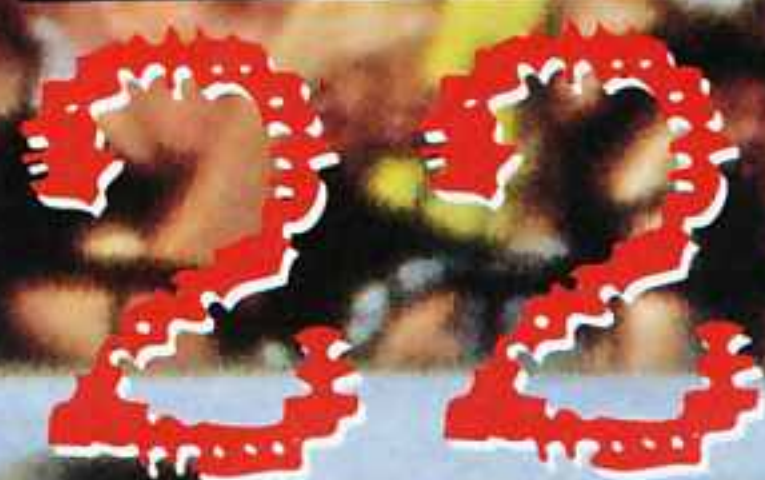
かって来い!!

チケットを入手できなかった人必読!!
3・1
横アリ大会のチケットプレゼントあります!!
P158を見ろ!!

SMACK DOWN

"JUST BR

さあ・かか

WF

3.1 Yokohama Arena
Special Preview

総力特集
22
ページ

骨までしゃぶり尽くす直前観戦ガイド!!

夢のような日が、いよいよやって来る……ついに世界最大のプロレス団体・WWFが日本上陸を果たすのだ！　3・1横浜アリーナ大会のチケットは一瞬でSOLD OUT！　噂によると業界関係者ですら血眼になってチケットを探しまくっているとか。もう、完全に「出来上がった」状態で、我々は3・1を迎えることが出来るわけだ。2年前から煽り続けてきた本誌としては、こんなに嬉しいことはない！　というわけで、本誌は燃え盛るWWF大フィーバーの炎にガソリンをぶっかけるかの如く、爆発的な企画の数々を用意した！　さらにマザー・テレサよりも優しい本誌は、なんと3・1のチケットを入手できなかった人のために特別に1枚プレゼント！(P158参照) さあ、これを読んで、チケットを取れた人は直前気分をさらに盛り上げ、チケットを取れなかった人は一攫千金の夢を見ろ！

WWFは「選手」を「タレント」と呼び、「プロレスラー」とは呼ばずに「スパースターズ」と呼ぶ。まだWWFを見たことのない人は、「ケッ!　お高くとまりやがって!」と思うかもしれないが、写真を見ていただければわかるように誰もが素晴らしくカッコいい。カッコ悪い選手など、一人もいないのだ。本物の「スター」のオーラが漂っている。そんなスーパースターズを余計な情報も盛り込みつつ、紹介してみたい。

PREVIEW

構成／スモーノブ　designed by matsu (Two three)

Nature Boy Ric Flair

今やWWFの株を50％保有する共同オーナーとなったフレアー。1・20の『ROYAL RUMBLE』では遂にビンスと闘ったのも記憶に新しい。しかし、フレアーといえばNWA～WCWの象徴的存在であり、WCWが崩壊するまさに最後の日にビンス・マクマホンに対して「お前に我々を支配することは出来ない!」と渾身のアジテーションを行ったはず。たしかに、その言葉通りビンスと対等な立場で登場したわけだが……やはり、最後の大物を取り込んでしまったWWFの懐の深さは凄い!という一言に尽きるだろう。試合をやるのか、詳細は判明していないが来日は確定している。宿敵・ビンスも「日本での異常なチケットの売れ行きに興味を示して、なんと日本行きを検討中」らしいので是非2人の試合も見てみたい。

sJericho

現在、統合されたWWFとWCWの統一チャンピオンが、このクリス・ジェリコだ。FMW、WARといった日本のインディー団体を渡り歩いてきた実力者なので、日本でも彼の試合を観たことがあるファンも多いだろう。あの大刀光のデビュー戦のタッグ・パートナーだったのだから、世の中何が起こるかわからない。さらに、一時は冬木軍の一員として“ライオン道”というリングネームで活動していたこともある。本人としては封印したい過去なのかもしれないが、日本のファンとしてはむしろ誇って頂きたいものだ。現在はヒール的な立場で王座を連続防衛中だが、そのナイスなルックスに女性ファンの声援が多い。得意技は「ライオン・サルト（ムーンサルト・プレス）」と「ウォール・オブ・ジェリコ（逆エビ固め）」。

SUPER STARS SPECIAL

WWF

3.1 Yokohama Arena
Special Preview

People's Champion

The Rock

アメリカの週刊誌で「世界で最もセクシーな男たち」特集に選ばれた男……洗練されまくったオーラを全身から放つ「皆の王者」ことザ・ロック！　世界規模の人気者で、映画界からも引っ張りダコだ。『ハムナプトラ２』に出演後、今年公開の『スコーピオン・キング』では主演まで張ってしまった！　シビレまくるセリフまわし（P33参照）に、「ロック・ボトム」「ピープルズ・エルボー」などの単純だけどカッコいい必殺技、必要以上にもんどりうつ受身などなど、すべてが絵になる男である。グラサン越しに片眉をピクリと上げた瞬間、横アリで何人をシビレさせてしまうのだろうか？　現在は、WWF＆WCW統一王座をめぐってジェリコと抗争中で、1月の大一番『ROYAL RUMBLE』でも対戦したばかり。もつれる因縁を日本にも持ち込んでの大乱戦は必至！　最近、自伝『THE ROCK SAYS…』（白夜書房）が日本でも発売されたので、大会前に読んでおきたい!!

VS

Y2J

Chris J

Kidman vs Japanese Buzzsaw Tajiri & Torrie

輝ける日本の星・Tajiriが遂に日本のファンの前で、その幻想的なファイトを披露する！　そして、恋人のトーリーちゃんもやってくる！　日本で活躍していた頃の「田尻義博」を知っている人も、今のファイトを見たら度肝を抜かすに違いない。当時と比べると、すべてが洗練されているからだ。本誌前号に掲載されたインタビューを読んで頂ければわかると思うが、Tajiriのすべての主張はリング上に凝縮されている！　最高峰のプロレス団体の牙城に挑戦し続ける男の生き様を全身全霊を込めて見届けよう！『アメリカーナ'02』（ベースボールマガジン社）で、プロレスラーになるまでの経緯から自身の生き様に至るまでを原稿に書いていたので、こちらは試合を観る前に必ず読んでおきたいところだ。

現在Tajiriと抗争中のキッドマン。WCW在籍時は、現在のTajiriの彼女トーリー・ウィルソンと恋仲だったという点も見逃せない。クールな空中殺法で、現在Tajiriが保持しているWCWクルーザー選手権に挑む！

Now Printing!

藤原組、バトラーツ、みちのくプロレスとイバラの道を歩いてきた日本プロレス界屈指のいい人・船木勝一がKAIENTAIとしてＷＷＦに乗り込んだのが98年。あれから４年後、たった一人だがFunakiは堂々の凱旋を果たす！　現在、KAIENTAIの相方TAKAは負傷欠場中だが、一人でもＴＶマッチに出場中。残念ながらKAIENTAIのスマッシュ・ヒットとなった吹き替えの「Indeed!」は聞けないかもしれないが（聞きたいけどね）、体格差を補って余りある世界レベルのテクニックに酔いしれよう！

KAIENTAI Funaki vs Hurricane

Now Printing!

バットマン風のコスチュームに身を包み、WWFvsWCWの抗争中に颯爽と登場したのが、このハリケーン・ヘルムス。WWF登場とともにコスプレでプチ・ブレイク！　Mighty Mollyとともに活躍中!!　横浜アリーナでぼくと握手！

WWF

3.1 Yokohama Arena
Special Preview

Show Stopper

Big Red Machine

Big Show & Kane

身長228センチ、体重230キロの大巨人も日本のリングにやってくる! とはいっても、WCW時代にザ・ジャイアントとしての来日経験はあるのだが。必殺技チョークスラムの破壊力に度肝を抜かれろ! デカさに目を奪われろ! 強さに舌を巻け!

アンダーテイカーの弟・ケインの入場シーンは今大会の大きな見どころのひとつと言えるだろう。両手を天高く突き上げて、振り下ろした瞬間に4つのコーナーから同時に"地獄の業火"が立ち上る! 202センチとこちらも長身で、チョークスラムの使い手。

VS

"Wass up?"

Dudley Boyz

ババ・レイ（左）とディーボン（右）の異母兄弟。タッグ・チームとしては現在WWFでも最高レベルにいるチームだろう。リング下から机を引っ張り出してきて、相手を叩きつけて破壊する凶暴きわまりない合体攻撃が得意技。相手が女だろうと容赦なし! ちなみにダッドリーズの金髪美人マネージャー、ステーシー・キーブラはよくスカートを剥がれてパンツ一丁になってくれるので、この機会にしっかり拝んどけ!

2001年前半はコミッショナーとして重要なポジションにいたリーガル卿。ハウスボーイとしてTAJIRIを最初に登用したのもこの人だ。しかし、ビンスを裏切ってクビになりかけたため、「ビンスのケツにキスする会」に入会。最初にビンスのケツにキスをした男。最近はメリケンサックを多用して、ヒール街道を歩き始めた。

William Regal VS Edge

「カナディアン・ロッキーズ」として新東京プロレスで初来日を果たしたのは、遥か遠い昔の話。クリスチャンとの"バカ兄弟"タッグを解消後、次世代メインイベンター争いでトップを走るのがエッジである。191センチの長身から繰り出されるスピアーは必見!

Billy & Chuck

WWFに登場した久々のオカマ系タッグチームが、このビリー＆チャック。赤いタイツとハチマキ、モッコリ・パンツ、そして暑苦しい抱擁が何とも悩ましげだ。元々は全日に参戦中のマイク・バートン（＝バート・ガン）とタッグを組んでいたビリー・ガンと、WCW崩壊後に参戦してきたチャック・パランボのタッグ・チームなのだが、いつのまにか火がついてしまった模様。ヘタに触るとやけどしそうな勢いである。

VS

Now Printing!

Hardy Boyz

ジェフ（左）とマット（右）の兄弟タッグだが、リタをめぐっての三角関係のもつれからTVマッチから姿を消している。ダッドリーズやエッジ＆クリスチャンとWWFタッグ王座をめぐって激闘を繰り広げ、日本にもファンが多く、その技を盗む日本人プロレスラーも多い。スーサイダルなダイブを連発するファイトは今回のツアーの目玉のひとつ！　特にジェフの得意技、スワントーン・ボムは凄いぞ！

The wrestler formerly known as Prince Tonga

Haku

元ミング、元キング・ハク、そして元福ノ島として日本でも暴れまくったご存知、元プリンス・トンガ。基本的にコスチュームはミング時代と大差ないのだが、驚異的な爆発ヘアが最高にカッコいい！　なかなかTVマッチにも出場する機会がないので、こうして日本で試合をしてくれるのは単純に嬉しい。じつは『Vale Tudo Japan 95』に出場との噂もあったアメリカンプロレス最強の裏番長。

VS

Now Printing!

It's me! It's me!

DDP

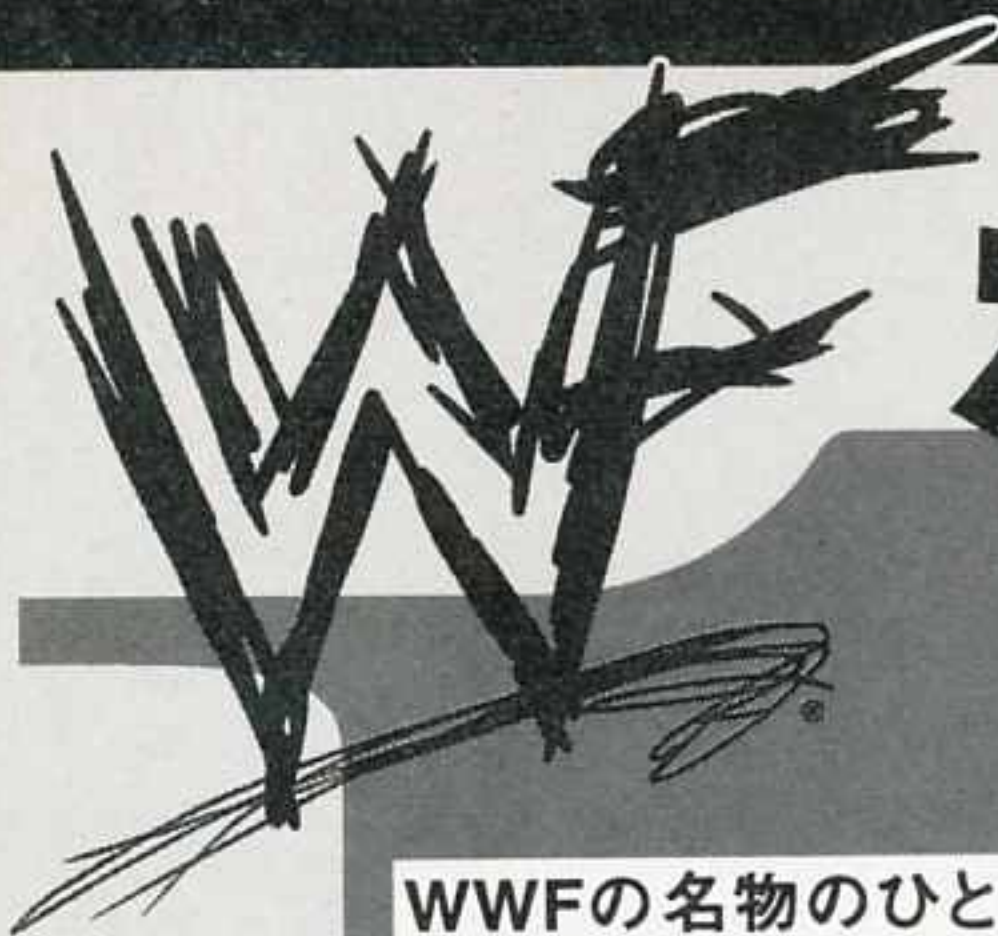
WCW崩壊後、真っ先にWWFへとやってきたDDPことダイヤモンド・ダラス・ペイジ。そして、最初に与えられた仕事がアンダーテイカーの奥様・サラのストーカー役だった。同じくWCWの大物だったブッカーTは屈辱的な役をこなしていくうちにいつのまにか人気者になってしまったが、DDPはあまりの気持ち悪さにホントに嫌われてしまいTVマッチに登場する回数も激減。

Mighty Molly

元々はホーリーズの一員だったが、天敵ダッドリーズの末っ子スパイクと恋仲になるなど、しがらみに縛られない生き方をしてきたモリー。失神中に拉致されたハリケーンに感化されて、ヒーローもののコスチュームを身にまとって生まれ変わってしまった。

VS

Lita

見てみ、この豹柄パンツ！　ここまでやっときながら、エロキャラではないんですけどね。ついこないだまでは、ハーディーズのマットと恋仲だったが破局。それに伴い、ハーディーズ同様TVマッチからは消えてしまったが、日本にもファンが多いだけに嬉しい初来日。豪快なハリケーン・ラナとムーンサルト・プレスは必見！

WWFを楽しむための10の方法

文/イナズマ☆K

WWFの名物のひとつである、選手のカッコいい決めゼリフと会場一丸となった大合唱。「いったいどんなことを言っているのか、意味がわかんな〜い!」って人も、このページを読んでおけばノー問題。皆さん、必読ですよ!

ベルト両手に必死に叫べ!

Never! Ever!!

現在奇跡の?2冠王に輝いてる元ライオン道、ジェリコのベビーフェイス路線時の決めどころ。“絶対!（絶対!）”一時はお客さん全員が『Ever!』をいってくれてたのだ。イジメられっこヒール路線の現在は、残念ながら誰もいってくれないさみしいとこ。

マイク片手にバッチリきめるぜ!

If You Smell What The ROCK Is Cookin'

リングに登場し、対戦相手に対し一通り喋りまくった後、とどめに決めるのが“ロック様の妙技を……味わいな!”。レロレロいってる舌使いとタメ、言い切った後の釣り上がった眉がポイント。舌と眉を鍛えろ!

Just Bring It!

リング上でお喋り中、対戦相手に向かって、手のひらで、おいでおいでした後に“かかってきなさい!”。彼が主役のスマックダウン・ホテルに入ってきた相手なんぞは、何人たりともわき役にすぎんのです。

Millions……And Millions!

自他ともに認めるピープルズ・チャンプであるロック様。お喋り中は会場だけでなく、カメラの向こうのピープル達も魅了しちゃってるんだぜっていう証明だ。“100万人の、100万人の”ロックのファンがいるぞ!

いつみても波乱万丈!

It's me! It's me! DDP!!

WCW時代の男気ヒーローの影は一切無くなってしまったDDP。ストーカーを経て、ヨガのポーズしてたり、変質者テイスト路線をさらにエスカレート中。とにかくイイ顔で歯をむき出しに“オレ、オレだよ! DDP!”。

日本人の一番有名な一言だ

Indeed!!

同時通訳の時間差当てぶり路線が大ヒット。相方、TAKAみちのくの『We Are Evil!』を受けての一言は、“その通〜り!”。ロパクが全然合ってないのがアメリカ人に大ウケ。しかしTAKAが出ないしねえ……。

テーブル破壊の次はコイツだ!

Waaasuup!!

リングに倒れた相手選手の足をババレイがグイッと開き、コーナーに登ったディーボンと目が合って、舌を出しながら“なんぼのもんじゃ〜”で、ダイビングヘッドバッドが股間に命中。連係と石頭のディーボンに拍手だ!

チャンプの意地を見ろ、フウォ〜ウ!

WOOOOOO!!

持ち株半分をゲットし、ヴィンスとともに共同経営者となってる石井館長、ではなくフレアーの、不滅の雄叫び“フウォ〜ウ!”。連発するたび顔が真っ赤っかになっていくので、思わず血圧を心配してしまフウォ〜ウ!

『ケツの穴』ってデッカク叫べ!

ASS HOLE!!

ヒールが出てきた時に会場中で大合唱になる有名なスラング“くそったれ!”。特にこの標的になるのが、ビンス・マクマホンだ。『アスホール!』の大合唱で、あのお得意の顔芸でもある、しかめっ面が飛び出すぞ。

単純明解なきめゼリフが大ヒット!

what?

今回来てない大大物ストーンコールドの最近のヒットきめゼリフ。誰か何かいう度に、会場全体が合いの手状態で『ワット?』。“はっ?なんだって?”って感じで煽りまくり。カート・アングルは『WHAT?』恐怖症だ。

決めゼリフのカッコよさ、大合唱の気持ちよさに酔え!

会場全体が一丸となってスーパースターズ（WWFでは〝選手〟と呼ばんのです）の決めゼリフを叫ぶ、これこそ楽しんでナンボという観客参加型エンターテイメントの面目躍如。

最初は自然発生的に起こったセリフのコール＆レスポンスも、今では団体側も狙ってるわけだ。それで何個も流行り言葉を生むんだから相当なもんだろう。団体が糸井重里級を何人も抱えてなきゃできないワザですよ。とにかくタイミング良く思いっきし騒ぐのが大事だぞ〝WHAT!?〟

イナズマ☆Kプロフィール●WWFは『世界のプロレス』で見始める。その後、間をあけてブレッド・ハート時代にフィギュア収集開始。そこからWWFへの興味再燃。CSが観れない不遇時代をなんとかレンタルビデオでクリアーし、その後ずっと見てますよ。昨年に続き『レッスルマニア』観戦予定!

WF に対する超ド級証言集

プロレスやめますか？

「1年前は『WWFに出たい』なんて話もしてたけど、たった1年でそういう思いっていうのはもう、ゼロ。もう起きないと思うね。（中略）響くものもないし、見ていて全然面白くない」

【紙のプロレスRADICAL・45号】

髙田延彦
（髙田道場総裁）

ミルコ・クロコップ戦というタフな修羅場をくぐり抜けてきた髙田の偽らざる心境だろう。K—1やPRIDEではチャンネルが止まるが、WWFでは止まらないという状態だという。ちなみに、この1年前には「WWFに上がりたい」「（キャラクターは？）パンティーマン！」と冗談交じりに答えていたのだが……それもかなわぬ夢となってしまった。

「（WWFも）時間があれば行ってみたい。自分がいた新日本プロレスとないにがどう違うのかって、いろんなところで感じてみたいんです」

【週刊プロレス・2／5号】

小島 聡（フリー）

新日本とWWF……違う部分ばかりが目に付きそうで、是非3・1横浜アリーナに連れて行ってさしあげたくなる一言だ。もしも、3・1に「行っちゃうぞ、バカヤロー！」と横アリ前で叫んでいる小島選手を見かけた方は編集部までご一報を。

「3月1日まで少しWWFを勉強しておくよ（笑）」と“ぼやき評論の第一人者”門馬忠雄先生は『週刊ゴング2・7号』の三者三様でおっしゃっていた。キャリア36年ながらいまだ探究心を失わないその姿勢、心の底からリスペクトだ！　というわけで、久々にプロレス業界を揺るがす大激震となったWWFの上陸に日本マット界のVIPたちは、いかなる反応を示したのか？　最近、各メディアで発せられた対WWF証言集を味わいやがれ！　構成／スモーノブ

「（3月にWWFが日本に乗り込んでくるんですが？）いいんじゃないですか？、来ようと来まいと。あえて言えば、オレはあんなのレスリングだと思ってないけど」

【1／7　成田会見】

「ケツにキスするプロレスなんて誰が見てぇんだ!?」

【2／6　成田会見】

「西洋と東洋の違い、文化の違いというのがあるというか。だから、それをいくらマネようと、そこまでは行かないし、それを見る側が認めないと思うよね」

【元気があれば猪木軍（エンターブレイン）】

アントニオ猪木
（『PRIDE』エグゼクティブ・プロデューサー）

一貫してビンス・マクマホンの過激なエンターテイメント・プロレスに「NO！」と言える日本人であり続けるアントニオ猪木。「プロレスは闘いである」と言い続けた猪木にしてみれば、「プロレスはエンターテイメントである」と言い切ったビンスは対極の価値観を持つ男。しかし、誰よりも強烈なプロ意識を持つ猪木だけに、WWFやビンスに対してのライバル意識は相当のものがあるはず。今後、日本侵攻が予想されるWWFに対してどのような形で対抗していくのか、動向に気になるところだ。（※ちなみに、猪木が盛んに言い続けている「ケツにキスするプロレス」とは、昨年ビンスが提唱した「ビンスのケツにキスする会」のこと。裏切り者、気に食わないヤツ、元・愛人などをリング上に呼びつけて、自分の尻にキスするよう脅迫したが、結局最後には自分が巨ケツ男・リキシのケツに顔面をうずめる結果となった一連のストーリー・ラインのこと。「これぞ2001年のベストシーンだった」という声も多い）

「（WWFは）世界最大にして史上最強のプロレス団体」

【流血の魔術　最強の演技（講談社）】

ミスター高橋
（元・新日本プロレスレフェリー）

世紀の問題図書「流血の魔術　最強の演技」をドロップしたミスター高橋もWWFを高評価。「情報公開したことによって、入場者も増えて、テレビの視聴率も上がってる」と指摘する。WWFにならい、日本でも情報公開への動きが加速中である。

3.1 Yokohama Arena
Special Preview

「日本マット界にとって、WWFは驚異なんだよ。ヘタしたら、PRIDEやK-1以上に驚異になり得るものだからね」

【週刊ゴング・1／10&1／17号】

武藤敬司（フリー）

崩壊寸前のWCWでアメリカ・プロレス界の現実を嫌というほど見てきた武藤だけに、他のレスラーとは危機意識の持ち方も違うようだ。PRIDEに危機意識（というかコンプレックス？）を感じて「なんちゃってVT」に走る新日と袂を別って正解！　そして、現在WWFに最も近い位置にいる日本の大物プロレスラーでもある。

「利益があったら、どんどん進出してくるのがWWFだよ」

【週刊ゴング・1／10&1／17号】

日本マット界、WWF に

WWF観ますか？ それとも

OBは軒並み激辛採点

キラー・カン（居酒屋カンちゃん・マスター）

本誌前号でたまりにたまったプロレス界に対する怒りを大爆発させたキラー・カン。カン自身がメインを張っていた時期とはすっかり様変わりしてしまった現在のWWFに対しても当然のように違和感……というか怒りを覚えている様子。それにしても恐るべきはビンスだろう。プロレスラーが従来持っていた「誇り」を奪い、業界を一変させてしまったのだから。

「（ビンス・マクマホン）ジュニアは芸能人を上げてみたり、ボディビルダー連れてきてレスラーにしたりね。もう見たくもない（キッパリ）」

【紙のプロレスRADICAL　46号】

テリー・ファンク（フリー）

いったい、どうしてビンスはそこまで嫌われるのか？　その興味は尽きることがない。オールドレスラーで、ビンスのことを悪く言わない選手を探すほうが難しい状況だ。しかし、一度ビンスのもとを離れていった選手も、いつの間にかWWFにひょっこり上がっていたりするから、ビンスの懐の深さは果てしないものがある。ビジネスよりも感情が優先する日本のプロレス界との決定的な差は、こうした部分なんだろうと思う。

「オレはビンスのところでやる気はないよ。逆にブン殴ってやりたいくらいさ（笑）。もう二度と関わりたくないね」

【紙のプロレスRADICAL41号】

マスクド・スーパースター（引退）

いまや6歳の孫を持つおじいちゃんとなった流星仮面。当然、「孫にはとても見せられたもんじゃない」とのこと。他のOBに比べると、より客観的な意見ではあるが、やはり今のファンのニーズは15分の試合よりも15分のトークだろう。アメリカのプロレスそのものが大きく変質してしまった現実を物語る証言である。

「今はトークが15分、レスリングが3分。試合以外は素晴らしいけど、ゴングが鳴ったら見ていられない。毎回、同じような試合ばっかり。レスラーが頭を使わなくなった。確かにビンス・マクマホンはグッドプロモーター。しかし、それがレスリング業界のためによかったのかどうかは何とも言えない」

【週刊ファイト　2／14号】

石井和義（K-1プロデューサー）

常に世界を視野に入れてK―1の海外戦略も積極的に行ってきた石井館長ならではの、さすがの一言。同じプロレスという土俵に立つアントニオ猪木がWWFを一切認めていないのに対して、館長はビジネスの側面からWWFを強烈に意識しているのだ。同じようにWWFを「ライバル」と言い切る人がプロレス界から出てくることを望まずにはいられない。

「僕にとっての一番の危機感っていうのはやっぱりWWFなんですよね」

【週刊プロレス・2／12号】

「WWFはライバルだから」

【週刊プロレス・2／12号】

3・1横浜アリーナ大会のチケットが取れなかった人のために送る

テレビで観るWWFガイド

WWFとは切っても切れない関係にあるメディア……それはテレビである。より多くの人に、瞬時に情報を伝えるこのメディアを駆使してWWFは世界最大のプロレス団体にのし上がってきた。当然、今回の日本上陸でも多くのTV番組がWWFを扱うことになる。そのすべて……じゃないかもしれないけれど、ほとんどの番組を紹介するのでチェキラ!（退会禁止）。

テレビ東京は90分でこってりコッテリ勝負!

たっぷり90分枠を使って放送するテレ東も実況中継スタイルになる。こちらも解説には超大物プロレスラーを検討中。一説によると「最もアメリカに近い男」だということだが……ひょっとすると、あの男？　こちらはテレ東の系列局でも放送するので、全国津々浦々のミリオ〜ンズ………………ア〜ンド・ミリオンズのロック様ファンもご安心を。

ユークスpresents
WWFプロレス
「スマックダウンツアー・ジャパン」
スペシャル!

［放送スケジュール］

テレビ東京
3月10日（日）
26:00〜27:30

テレビせとうち
3月14日（木）
26:05〜27:35

テレビ大阪
3月15日（土）
25:20〜26:50

テレビ愛知
3月17日（日）
24:55〜26:25

Jスカイスポーツは衝撃の解説・小川直也!

WWF放送に関しては他の追随を許さないJスカイスポーツは、3・1横浜アリーナ大会で大きな勝負に出た！　なんと"暴走王"小川直也が、WWFを解説！　ゲストじゃなくて解説……これはじつに興味深い。そして実況アナは辻よしなり。詳細は左ページをご覧頂くとして、気になる放送内容はＴＡＪＩＲＩを中心に据えた構成になる模様だ。こちらは60分枠だが非常に興味深い内容であることは間違いない！

［Jスカイスポーツ今後の初回放送スケジュール］

★現在進行形のWWFをJUST BRING IT!!

3・8（金）19:00〜20:00　JSS 3
■WWFスマックダウンツアー・イン・ジャパン　〜TAJIRIリターンズ！〜

3・11（月）00:00〜03:00　JSS 3
■ワールド・レスリング・フェデレーション・スペシャル
〜ノー・ウェイ・アウト'02〜

★WWFクラシックの妙技を味わいやがれ!

2・26（火）16:00〜18:00　JSS 1
■ワールド・レスリング・フェデレーション'97
〜イン・ユア・ハウス〜「ファイナル4」

3・9（土）14:30〜16:30　JSS 3
■ワールド・レスリング・フェデレーション'97
〜イン・ユア・ハウス〜「テイカーズ・リベンジ」

3・17（日）22:30〜00:30　JSS 3
■ワールド・レスリング・フェデレーション'86（3）
〜ワールドファイティング・クラシック〜

★ WWF以外の格闘技も熱いぜ!

2・24（日）01:00〜03:00　JSS 2
■ワールドファイティング
〜シュートボクシング2・1後楽園大会〜

3・4（月）00:00〜02:00　JSS 3
■ワールドファイティング
〜2001アマレス世界選手権〜

番組の詳細、リピート放送の予定につきましてはJスカイスポーツのホームページにてご確認ください。
http://www.jskysports.com

経済面から考えるWWF!

2月23日(土)テレビ東京で放送される経済ニュース「ウィークエンドサテライト」08:30〜09:25放送)において「日本上陸　WWFビジネス」という特集が組まれ、その中で「日本版WWF」ＤＤＴの高木三四郎インタヴュー、２月14日ＡＴＯＭ大会の模様が取り上げられます。土曜の朝、爽やかな気分で経済面からプロレスを考えるというのはいかが？とはいえ、ＷＷＦが上陸して来なければプロレスが土曜の朝の経済番組に取り扱われることはないだろうが。プロレス雑誌じゃ読めないプロレスの側面が見られるかもしれないぞ！　って今号は23日発売か……発売前日に本誌をGETしたラッキーな人のための情報でした!!

［放送スケジュール］
テレビ東京
2月23日（土）8:30〜9:25
「ウィークエンド・サテライト」

映画で見るWWF!

この映画は、WWFを中心としたプロレス界の世にも不思議な人間模様の一部始終である。「舞台裏」部分ばかりが注目されがちだが、映画は4人のレスラーの人生にも深く踏み込んだ、ヒューマン・ドキュメンタリーとしても非常に完成度の高い作品になっている。チケットを手に入れられた人も、手に入れられなかった人も、ゼヒこの機会にこの映画を見てWWFに触れ、プロレスを感じてほしい!

『ビヨンド・ザ・マット』
［放送スケジュール］
スカイパーフェクTV!　パーフェクトチョイスCh.147
3月1日（金）〜7日（木）　期間中、24時間連続放送
視聴料金：ペイ・パー・ビュー方式　400円/日

【お問合せ先】
スカイパーフェクTV!　カスタマーセンター
TEL.0570-039-888
または　045-339-0202（年中無休／10:00〜20:00）

緊急速報

What?

3・1横浜アリーナ大会に
小川直也登場!!

小川直也が3・1横浜アリーナ大会に登場！　WWFの番組をガンガン放送している本誌読者にはすっかりおなじみJスカイスポーツの中継番組で、この世紀の企画が実現する!!　さらに、小川の周辺でWWFがらみの大きなうねりが起き始めている模様。これから春の嵐が小川を直撃する!

文・スモーノブ

Jスカイスポーツのテレビ解説として3・1横浜アリーナに登場!!

オイオイ冗談じゃねえぞ!!

オイオイオイオイ！　冗談じゃねえぞ！　と、こちらが叫びたくなる仰天発表だった。そう、なんと3・1横浜アリーナ大会のCS・TV解説者にUFOの小川直也が抜擢されたのだ！

アメリカでのWWF中継番組『RAW』『SMACK DOWN』では〝キング〟ことジェリー・ローラーが解説をつとめているが、来たる3・1日本大会の解説には〝暴走キング〟こと小川直也が登場してしまうわけだ。しかし、いくらなんでも危険な人選だろう。〝暴走王〟の異名を取る小川が、何もせずに大人しく解説だけをしているとは考えにくい。よく考えてみれば、これまでリングサイドに小川が陣取って揉めごとが起こらなかった試しがないのだ。平気な顔してビンスのヅラをむしりとってしまいそうで恐ろしい限り。よくWWFサイドもGOサインを出したものだと感心せずにはいられない。

ちなみに、実況は本誌読者にはすっかりおなじみの辻よしなりアナ！　橋本vs小川の因縁対決で何度もマイクを握り、破壊王に同情して涙まで流してしまった辻アナである。この両者が遭遇したら、タダでは済まないだろう。早くも不穏な空気が流れ出すリングサイド、そして中継番組の実況席に注目だ！　この中継は3月8日に放送される予定だ。

果たして、これは小川にとってさらなる暴走へのきっかけとなるだろうか？　昨年末の『猪木祭り』不参加によってアントン総帥から「銭ゲバ」のレッテルを貼られ、1・4の東京ドームでは不明瞭な試合内容やセコンド陣の乱闘騒ぎで「無効試合」となってしまい、小川株は暴落の一途を辿っている。だが、ここでWWFというまったくの異文化と遭遇することによって、新たな化学反応が起こる可能性も大いにある！　まさに桑田佳祐の歌のとおり、「小川よ、君の闘う場所にゃ海より大きな夢がある！」といった具合で、この両者の遭遇はホントに夢がある……と思ったら、ここで衝撃情報が……！　なんと、来月カナダで行われるWWFの年間最大のイベント『Wrestle Mania』に招待されているとの噂が飛び込んできた。ホントかよ？　しかも、「招待したのはWWFらしい」という未確認情報も。これは、つまりWWFが小川に食指を動かしていることを意味するのか？　ひょっとして首から銀メダルをぶら下げて、カート・アングルと金vs銀の五輪メダリスト対決が実現か!?　などなど妄想が頭の中で膨らむばかり。素晴らしすぎる展開だ！　次号で、この模様はご紹介する！

旧来の純プロレスの価値体系の中に収まりきらなかった小川は、『PRIDE』というガチンコの世界に進出して本来の輝きを取り戻した。そして、今回はその対極である究極のエンターテイメント総本山・WWFに乗り込むわけだ。最近のアントン総帥は「誰がケツにキスするプロレスなんか見てぇんだ？」とWWF批判をことあるごとに繰り広げているが、果たして小川は「ケツにキスするプロレス」をどう受け止めているのか？　その輪の中に加わった場合、どんな暴走をしようというのか？　今年の春、最も注目すべき新たな火種であることは言うまでもない！

小川がリングサイドに現れると、それはもう乱闘になるべくしてなるようなものである。過去にも放送席の藤波辰爾・新日本プロレス社長に喧嘩を売ったことがある。危険だ!

オーちゃんが解説!　辻ちゃんが実況!

WWFスマックダウン ツアー・イン・ジャパン
～TAJIRIリターンズ!～

〈放送スケジュール〉※JSS=Jスカイスポーツ

JSS3　3/8(金)19:00～20:00 (初回放送)
JSS3　3/9(土)13:30～14:30 (リピート放送)
JSS1　3/15(金)1:30～2:30 (リピート放送)
JSS1　3/22(金)22:00～23:00 (リピート放送)
JSS2　3/24(日)20:00～21:00 (リピート放送)
JSS2　3/25(月)18:00～19:00 (リピート放送)

※4/6(土)2時間30分のスペシャル枠放送決定!!　詳細は次号にて!!
番組の詳細、リピート放送の予定につきましては
Jスカイスポーツのホームページにてご確認ください。
http://www.jskysports.com

2ページ
れえええ!!

ZERO—ONE
3・2両国大会
仰天カード緊急決定!!

本当かぁ? 本当なのかぁ!?（大谷調）
What? What!?（オースチン調）

このカードで
3・1WWFと興行戦争!!

▶と、とにかく仰天
大谷晋二郎
vs小川直也

▶肉弾相打つ
橋本真也
vs田中将斗

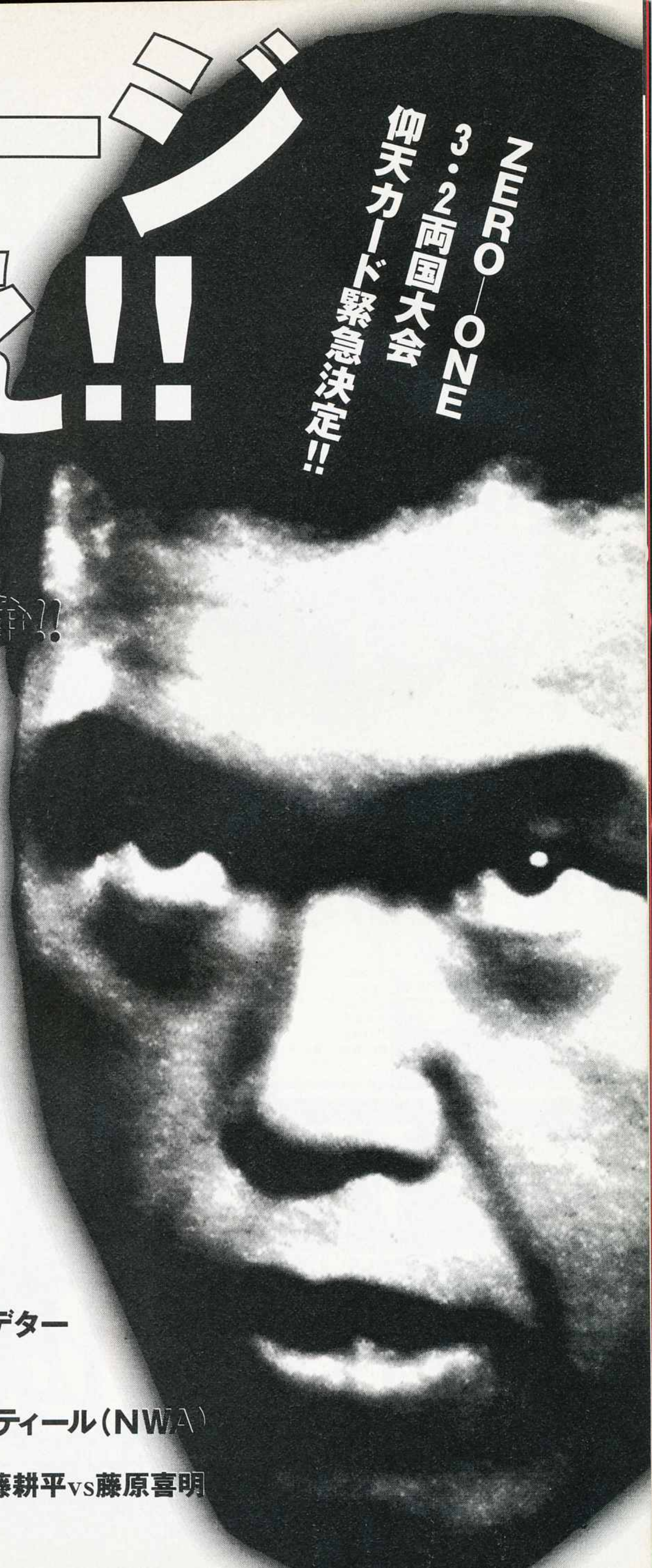
▶ZERO-ONEvsノア
星川尚浩vs丸藤正道
高岩竜一vsKENTA

▶昭和極真殴り込み
崔リョウジvs小笠原和彦

▶女子格闘技戦
高橋洋子vs久保田有希

▶ランバージャックデスマッチ
ジョシー・デンプシーvsザ・プレデター

▶WWFにはNWAで対抗!
トム・ハワード&サモア・ジョー
vsスティーブ・コリノ&ゲーリー・スティール（NWA）

▶導火線に火をつける
ショーン・マッコリーvs坂田亘　佐藤耕平vs藤原喜明

小川ああ!! 2
丸ゴト刈れ

3月1日のWWFで燃えたら、翌日のZERO—ONEでも燃えろ！ 3月2日に行われるZERO—ONE1周年記念大会『真世紀創造'02』（両国国技館）の全対戦カードが決定した。

メインは「本当か、本当なのか？」（大谷調）な仰天カード、大谷晋二郎vs小川直也に決定！

2月18日に行われた記者会見は、破壊王が身内の不幸のために欠席したが、主役の大谷が出席。カードの決定をこの日に聞いたという大谷はひと言、「気持ちが高ぶるね！」と、今大会に向けての熱い想いを語りだした。

大谷は、「なかなかカードが決まらなくてイライラしていた。ノアさんに言いたいことは、ダメな時はダメって早く言ってほしかった」と、再三対戦を熱望していたノア・秋山の参戦が直前で見送られたことに落胆。しかし、「俺、チャンスじゃない？」と気持ちを切り替え、会社に対し、「ここは大谷晋二郎にまかせろ！ 俺にどちらか（橋本&小川）をぶつけさせろ！」と要求し、それを受けて会社側が、大谷vs小川を電撃決定させたということを明かした。

対戦する小川に対して大谷は、「俺がプロレスの怖さ、凄さ、面白さを教えてやる！」と息巻き、そして「俺は日本一のプロレスラー、一番プロレスラー。間違いなく、僕がこれからのプロレスのキーを握ってる」と、いま混沌としたマット界を引っ張っていく意思を見せた。

また今大会では、田中将斗が以前から対戦要求を叩きつけていた橋本と激突！ そして、秋山の参戦はなかったが、ノア・ジュニア勢の参戦が決定！ 丸藤が星川と、KENTAが高岩と対戦する。この他にも、"大山ケンカ空手"小笠原和彦のプロレス初登場や、女子格闘技戦、その上、1・8後楽園大会で壮絶なノーコンテストを繰り広げたデンプシーvsザ・プレデターの因縁深い再戦もある！

WWFの翌日にも"プロレスとは何か？"を問われる大会が行われることになった。

紙のプロレス RADICAL Back Number Information 保存版 01号

緊急告知!!

来月からこのページも心機一転、毎回趣向を凝らした特集を組み、皆様の購買意欲に火を付ける予定。各号の核心にググッと迫った紹介をするので売切れ必至であります。よって、「今度でいいやぁ」な〜んて購入を先送りにしている方々は、今買わないと一生買えない事態に遭遇するでしょう(きっと)。だ・か・ら、急げぇ〜!!

※左の点線に沿って切り取り上図のように保存しましょう。でも裏は小川だぜ。

きりとり

No.5★高田延彦、樹海へ……ヒクソン戦直前大特集号
高田延彦/タイガーキング/長与&飛鳥/藤原vs荒川/Puffyも登場

No.7★田村潔司・「紙プロ」初のロングインタビュー記念号
木村健吾/前田日明/富宅飛駈/垣原賢人/冬木弘道/松永高司/T・アボット

No.10★前田日明vsエンセン井上スクープ対談実現記念号!
高田延彦/谷津嘉章/サスケVS松永高司/北沢幹之/冬木弘道/T・山本

完売間近
No.11★衝撃対談・高田延彦vsエンセン井上が実現!!
前田日明/高田VSヒクソン大予想大会/福田雅一/ザ・グレートカブキ

No.15★小川直也、橋本を破壊! 1・4ドーム大激震号
前田日明/カレリン/馬場さん追悼特集/語ろうマサ・サイトー/佐野なおき

No.16★猪木! 前田! エンセン! ロングインタビュー連発号
田村潔司/坂田亘/高阪剛/山本喧一/M・コールマン/語ろうジャンボ鶴田

完売間近
No.19★今度はM・ケアー! 高田延彦の新たな挑戦!!
小川直也/高田延彦/前田日明/佐山聡/宇野薫/成瀬昌由/ドン荒川

No.24★頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE』GP特集号
桜庭和志/田村潔司/堀辺正史/サスケ×矢追純一UFO対談/守山竜介/WWF

No.25★格闘ロマン続行ーッ!! 藤田和之『紙プロ』初登場記念号
田村潔司/前田日明/小川直也/村上一成/石川雄規&小路晃/ミスター高橋

完売間近
No.26★世紀の大一番ホイス戦直前! やっちゃてくれサク!
前田日明&田村潔司/桜庭和志/小川直也/大仁田厚/村浜武洋/斉藤彰俊

No.29★ノアの鍵を握るのはこの男! 秋山準『紙プロ』初登場記念号
ノア勢フルメンバー/桜庭和志/ジャンボ鶴田夫人/TKおかん/仲野信市/里村明衣子

No.30★『PRIDE10』直前! 燃えよ! 闘魂の火種!!
秋山準/小川直也/村上一成/金原弘光/桜庭あつこ/高阪剛/永源遙

No.31★歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
小川直也/桜庭&TK/永源遥/ユセフ・トルコ/川田語録/田村潔司

No.32★リングスvs新日! 10・9新プロレスvs純プロレス興戦!
小川直也/高田延彦/サク/前田日明/金原弘光/藤波語録/ラッシャー木村

No.34★「猪木祭り」、「長州vs橋本戦」を斬りまくり! 特大号
小川直也/高田延彦/T・オーティズ/金原弘光/ヴォルク・ハン/藪下めぐみ

No.35★「純プロレス」を考え倒せ! 「純プロレス」徹底検証号
橋本真也/大仁田厚/馳浩/杉浦貴/ジョー樋口/リングスKOK大特集

No.36★「面白くなきを面白く! 「純プロレス復興記念号」
橋本真也/三沢光晴/高山善廣/前田日明/桜庭和志/金原弘光/鍋野ゆき江

No.37★小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻号
小川直也/橋本真也/安田忠夫/村上&小路/田村&ヘンゾ/アブダビ大特集

No.38★高田の"忘れ物"は小川!! ラスト・オブ・「もうー丁ッ!!」
高田延彦/小川直也/ジェラルド・ゴルドー/阿修羅原/力皇・杉浦・丸藤

No.39★どうなるんだ! リングス!? 前田isデッド!?
前田日明/山憲・小川襲撃/金原弘光/田村潔司/田上明/藤原敏男/桜庭和志

No.40★猪木軍vsK−1に見たいものは"地上最強のプロレス"
小川直也/金原弘光&高山善廣/三沢光晴/大谷晋二郎/ガチンコ座談会3連発

No.41★Can you カミングアウト? "最後の黒船"WWF襲来!
小川直也/WWF座談会/前田日明/辻よ[/阿修羅原/力皇・杉浦・丸藤

No.42★アントン総裁なら何をやっても許されるのか!?
小川直也/橋本真也&ドン荒川/宮戸&金原&高山/津谷章嘉/仲野信市/辻よしなり

No.43★サクと「PRIDE」のケツに火がついた!!
桜庭和志/ブラジリアン・トップチーム/金原&サスケ/大谷晋二郎/中野達夫/前田日明

ホントかぁ!? 本当なのかぁ!?

No.44★サクの連敗が「PRIDE」に語りかけるものは何か?
ノゲイラ&スペーヒー/橋本真也/高山善廣&杉浦貴/グレート小鹿/シーザー武志

No.45★「K−1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!!
高田延彦/須藤&矢野/ジェラルド・ゴルドー/グレート小鹿/葛西純/闘龍門特集/ミスター高橋

No.46★PRIDE.LOVEをブチ壊す男!!
田村潔司/CIMA/エル・カネック/坂田亘/山本喧一/浅草キッド/リングス解散特集

バックナンバー申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております(バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません)。
【郵便振替】00130-3-769154(株)ダブルクロス
【現金書留】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702(株)ダブルクロス
●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。
●代金はNO.5〜NO.10=680円 NO.11〜NO.19=780円 NO.24〜NO.32・NO.35・NO.36〜NO.39=840円 NO.34・NO.40〜NO.46=880円 送料1冊=310円 2冊=380円 3冊〜4冊=450円 5冊=520円 6冊以上=700円
※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。
●『紙のプロレス・RADICAL』バックナンバー常備店
アイドール新宿店・新宿ファイター・大山アメリカン・プロレスマニア館・チャンピオン東京・チャンピオン大阪・リングスパレス・バディスラム・タコシェ・レッスル渋谷・レッスル池袋・書泉ブックマート・書泉ブックタワー・書泉グランデ・ワールドスポーツプラザKINGS(池袋・渋谷WEST・新宿アルタ・名古屋・大阪・札幌・福岡)・グレート・アントニオ

★NO.1〜NO.4/NO.6/NO.8 NO.9/NO.12〜NO.14/NO.17 NO.18/NO.20〜NO.23/NO.27 NO.28/NO.33は完売!! が、しかし、直販店にはあるやも知れぬ。読者諸君、大志を抱いて、いざ、ショップ!

紙のプロレスRADICAL

2002 No.46 CONTENTS

Cover Model
ビンス・マクマホン

Art Director
出田さん● San Ideta

Design
Two Three
ヒサくん● Kun Hisa
マツくん● Kun Matsu
村松さん● San Muramatsu
グッチー● Gutty
タニやん● Yan Tani

Saotome no jimusho
トメオ● Tomeo
ハナエ● Hanae

ZERO graphics
海老沢勇● Isao Ebisawa

猪木さんがなんで俺のこと怒ってるかって？

馳　（いきなり）オマエら、汚いカッコしてるなぁ。

——これでも今日は頑張ったんですよ。ジャケットも着てるし。

馳　ネクタイぐらい締めて来いよな。俺だって立場ってもんがあるんだからよぉ！（笑）。

——（無視して）さ、馳先生、忙しそうですけど、いまは、何の対策室に詰めてるんでしたっけ？

馳　国会対策委員会控室。俺は国会対策委員会の副委員長の一番下っ端で、同時に議員運営委員会の理事の下っ端なんだよ（笑）。それでね、議院運営委員会っていうのは本会議を始めとして全部の調整をするとこ。

——ほぇ〜、凄いなぁ。ここは、新生・全日本プロレス発足準備室じゃないわけですね？（笑）。

馳　指令塔室かもな（笑）。

——ガハハハ！　で、最近は新聞もプロレス誌も、新日分裂、新生全日本発足で持ちきりですね？

馳　あ、そう？（サラリと）。

——「あ、そう？」なんて言っちゃって（笑）。今日は「俺は黒幕じゃなくて白幕だ」とか、くだらないスカシもいりませんからね。

馳　そう？（残念そうに）。

——でも、そろそろ『黒幕Tシャツ』は作った方がいいですね（笑）。

馳　売れるかなぁ？

——絶対売れますよ！

馳　また、そうやって焚きつけんだ。勘弁してくれよぉ（笑）。

——いや、「焚きつける」って、馳さんがマスコミを焚きつけてるんじ

馳浩

in国会議事堂内、新生・全日本プロレス指令塔室!?

わかんない(笑)
まぁ一般論で言えば男のジェラシーかなと思うけどね

赤いジュウタンが敷き詰められた国会議事堂で、恐れ多くも馳浩国会議員にお話を伺いました。それは、馳先生が「黒幕」とアントン元国会議員が断言した武藤らの新日離脱騒動から、エンターテインメントを高らかに謳いあげ日本マット界に忍び寄るWWF、そして大ベストセラーバク進中の禁断の書「ミスター高橋本」まで、途中、差し歯を外しながら、とうとうと語る馳先生。混迷深まるマット界で、アナタの野望はいったいなんなんだ!? 教えて、馳先生!

聞き手／山口日昇
構成／松澤チョロ
撮影／森鷹博
designed by matsu (Two three)

ゃないですか!

馳 あ、そうか?(笑)。

——黒幕云々はおいといて、今度WWFが来ますよね。

馳 行きたいねぇ。いや〜、もう手に入らないっていうからさ。

——馳先生の政治力で手に入れればいいじゃないですか(笑)。15分でソールドアウトですからね。こういう現状をどう思います? 何年か前までは受け入れられにくかったと思うんですけどね。

馳 そうかなぁ? まあ基本的に衛星放送とかテレビのおかげもあるだろうけど、猪木さんも言ってたように世界中に発信されてて、その中にプロレスの面白さがあるわけだから……猪木さんはWWFの「ケツにキスするようなプロレスは好きじゃない」って言ってるけども……俺は凄い好きだな!(笑)。

——ガハハハ! なるほど、そこらへんで分かれていくんだ(笑)。馳先生はケツにキスさせたい方ですか? それともしたい方?

馳 (嬉しそうに)いや〜、どうせだったらケツにキスするふりして噛みつく方が好きだな!

取材は国会議事堂内の国会対策委員会控室で行われた。馳先生は登場するなり「オマエら、汚いカッコしてるなぁ」と言い放った。かろうじてジャケットを着ている本誌鬼畜編集長・山口はまだしも、チョロはホントに汚ないカッコだ

——かぁ〜。黒幕らしいやり方ですね。

馳　ここには、いろんな大先輩が来るんだけど、その中に派閥の大親分の江藤隆美さんっていてね。俺なんか口もきけないくらいなんだけど、「馳君、ちょっと来なさい」って呼ばれて緊張して腰掛けたら「ところで、今度WWFが日本に来るんだよな？」って言われてさ、ガクッときちゃったよ（笑）。

——きましたか（笑）。

馳　「エッ！　なんで知ってるんですか⁉」って聞いたら、「見に行きたいんだよぉ。ワシは毎日家に帰ってからテレビはプロレスしか見ないんだよ。それもWWFを見るために衛星放送のチューナーを入れたくらいなんだ」って（笑）。

——ほ〜、それは凄い（笑）。

馳　そういう意味で、WWFって、サイドストーリーだけじゃなくて、カート・アングルとかストーンコールドとかって、むちゃくちゃプロレスもウマイじゃない？

——ウマイですよね。

馳　しっかりと腰を入れて殴ってるし、蹴ってるし、アタックしてるし。それにサイドストーリーも絡んできたりしてくるからね。プロレスの技術も素晴らしいけど、格闘家としてもいいコンディションしてるでしょ。昔、力道山で育ったような70歳過ぎの江藤さんにも見に行きたいって思わせる、家に帰ったら見させるだけのものがWWFにはあるんだろうな。

——そういえば、ビートたけしさんもWWF見るためにJスカイスポーツに入ったとかいう話も聞きましたね。

馳　へぇ〜、そうなんだ。だから、俺は猪木さんが言ってる〝プロレス〟って意味がよくわからないんだけど、「こうでなければいけない」って枠に当てはめた時点で、プロレスの価値観ってなくなるんじゃないかって思ってさ。だから大仁田さんみたいに客が30人くらいしかいない所でも、血を流してまで客のために頑張ってる。それもプロレスだしね。東京ドームで3万人、4万人入れて大仕掛けでやるのもプロレスだし。あるいは『猪木祭り』だってプロレスだろうしね。「そういうものをも飲み込んでしまうエネルギーがプロレスにはあるんだよ」って猪木さんが言ってると解釈したいんだけどね。ただ、あんまり猪木さんに「ケツにキスするプロレスなんてプロレスじゃねぇ！」とか言われると「いや〜、でも面白いですよ」って、思わず言い返したくなるよな（笑）。

——言い返してくださいよ（笑）。いや、猪木さんも絶対その面白さはわかってるはずですよ。馳さんみたいに表層的なことだけじゃなく、心理ゲーム的な部分も含めて。

馳　だから、むしろそういうことを言うことが猪木さんなりの哲学、「プロレスってものは、もっと厳しいもので、そんなおちゃらけが入っちゃいけない」って言いたいのかもしれないよね。

——「馳は政治家なんだから、政治を一所懸命やれ！」って猪木さんは激怒してましたけどね。

馳　肝に銘じておきます（ニヤリ）。

——で、いま言ったWWFと、もう一方は『PRIDE』。この2つは見るけど、真ん中のプロレスは見ないっていうファンは現実として多くなってるんですよ。

馳　ああ、だからそういう部分だと、いつも言うけど、技術的に最近のプロレスラーはプロレスがヘタになったよね。粗が目につくんだよな。

——確かに全日本でもメインの武藤さんとかは動きひとつでゼニが取れますけど、正直、そこに行くまでに結構ツライ試合もあるじゃないですか？

馳　ムトちゃん（武藤敬司）とか最近の川田なんかはリングに上がっただけで安心感があるからね。そういうのを踏まえて若いヤツを見ると「お前たちホントに普段努力してるの？　考えて試合やってるの？　どうやって勝ちたいと思ってるの？」って思うんだよな。なんか最近のレスラーの、与えられた、お遊戯をやってるような試合を見てると、プロレスがヘタだなと思うよな。

——たしかに、プロレスを一つの〝芸事〟として捉えた場合に、その一つの芸事を突き詰めていく厳しさみたいな部分はなくなってきてますよね。

馳　そう言われてみればそうだろうな。ただ、俺はプロレスは芸事っていうか芸術だと思うんだよ。プロレスは生き物だから。今日は何試合目で対戦相手は誰かとか、会場の入りはどうかとか、どんな客層が多いかとか、テレビは入っているのかとか、そういうことを瞬間的にパッパッと把握して、自分の全てを出せるような試合をすべきなんじゃないかと。

——例えば、先日K-1中量級の試合があって、これが夜の12時からの放送で平均視聴率が13％という驚異的な数字を出したんですよね。

馳　あ〜れは素晴らしかったねぇ（しみじみと）。あの身体見て、あの蹴りとか間合いとかを見たら、プロレスラーは本当に努力が足りないと思ったな。

——同感です（笑）。で、馳先生、プロレスがそんな状況のときに、ミスター高橋さんが本を出しましたよね。あれは読みましたか？

馳　読みました（キッパリ）。

——ズバリ言って、感想はどうでした？

馳　なんで、いま頃書いたのかな、と。

——あれも一つの時代性でしょうね。

馳　時代性なのかなぁ。個人的な事情もあったのかな？って（笑）。

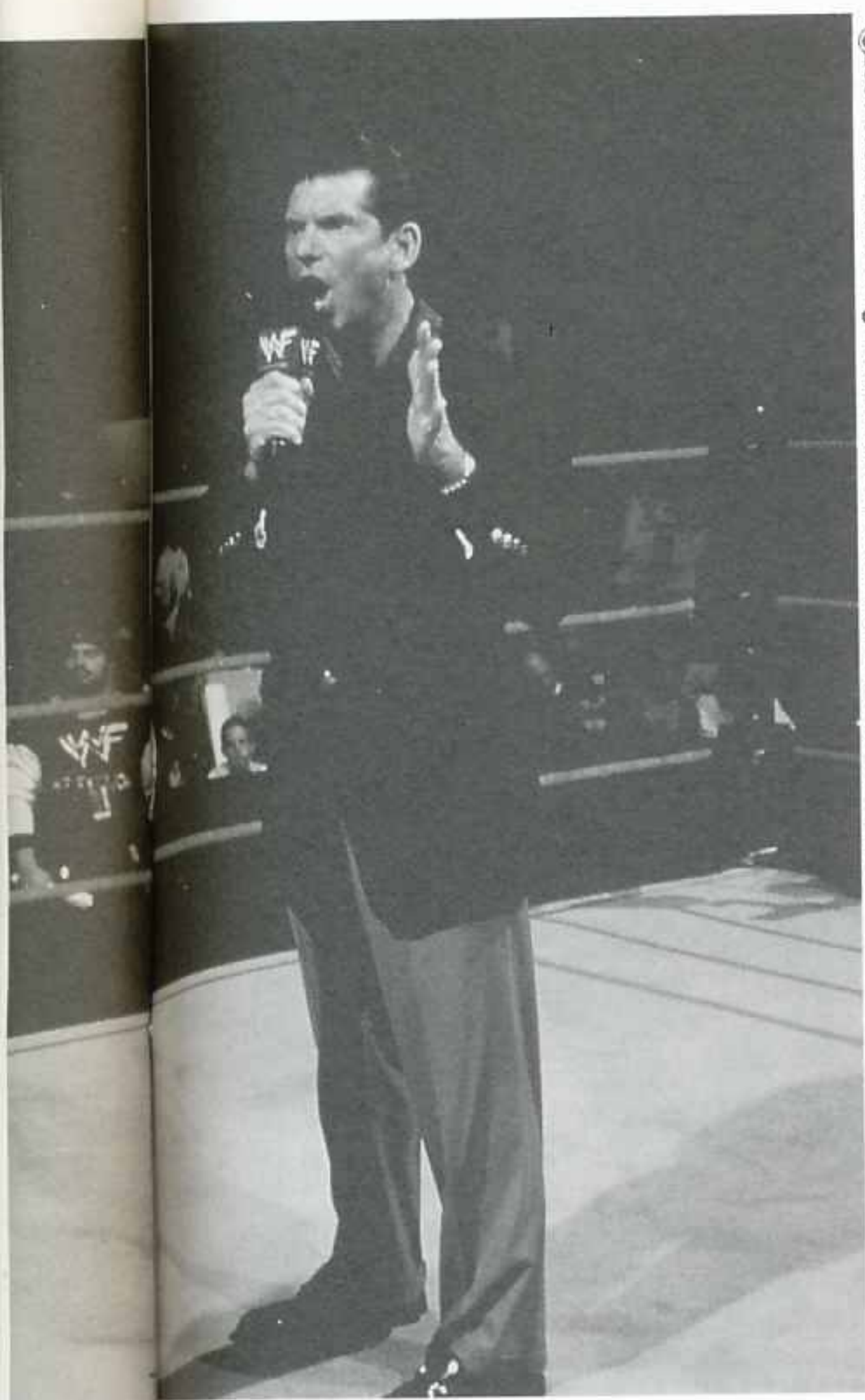
——恨みですか？

馳　いや、それはわからないけどね。二つ目には、もともと高橋さんが文章ウマイのよく知ってるし、俺が新日本にいた頃、高橋さんは最初に俺に原稿を持って来てくれたりしたからさ。

——馳先生が高橋さんの原稿チェックをしていたと（笑）。

馳　そうなんだよ（笑）。でも、俺は高橋さんのこと凄い好きだし、1回、山口さんとも話したことあったけど、別に日本のプロレス界はカミングアウトする必要はねぇんじゃねえかと。

——ああ。確か、1年ぐらい前にそういう話をしましたね。

馳　そういうところは日本の国民性ってあるから、〝秘するが華〟って部分で、そんなことはいちいちカミングアウトする必要もないしね。ただお客さんが「八百長じゃねえか？　手加減してるんじゃねえか？」って指摘されないようなリングを作ることを努力すればいいだけであって、自らそんなことを

猪木さんはWWFのケツにキスするようなプロレスは好きじゃないって言ってるけども、俺は凄い好きだな！

言う必要はないだろうっていうのが俺の意見で、あの頃と変わってない。

——そこは変わってないと。

馳　で、高橋さんがああいう本を出されて、多分、高橋さんが知りうる限りの体験の中でカミングアウトしたと思うんだけど、あの中には俺の知ってる話もあれば知らない話もあるけど、俺はそのことについてはコメントしない方がいいと思うしね。要は俺だったら書くなら現役のうちに書くし、書かないなら一生書かないから。

——じゃあ、商売として考えた場合、あの本を読んで「こんなことを公開されてやばいなぁ」っていう気持ちはないんですか？

馳　どうなんだろう？　別に……（しばらく考えて）。まあ、正直、困ったなぁと（苦笑）。

——ガハハハハ！　困ってるんじゃないですか（笑）。

馳　でも、この間から猪木さんが俺のこといろいろと言ってるみたいだけど、俺を攻撃する前に高橋さんを攻撃した方がプロレスファンは喜ぶのになぁと思ったりね（笑）。俺は、それがよくわからない。猪木さんの口から、ミスター高橋の"ミ"の字も出てこないからね。藤波さんの口からも（笑）。

——もちろん、坂口会長からも出てこないですね（笑）。

馳　ふ～んって思っちゃうよね。（一瞬我にかえったように）なんであの本出したんだろうな？

——いろんなことが線で繋がってますよね。さっきのWWFがこれだけ人気が出るっていうのも……。

馳　（さえぎって）WWFだろ？　あれは面白いもん！　それにWWFだったら、その中で自信を持って提供できるプロレスって、ちゃんとあるからね。まあ、ケツにキスするってのは、ちょっとどうかと思ったりするけど（笑）、でもリングの中での試合を見てるとスゲェなあって思うよ。あのラダーマッチだとかさぁ。

——ジェフ・ハーディーの受け身とか凄いですよね。

馳　あれは俺にやれって言われてもできねぇわな！（キッパリ）。

——あ、できない（笑）。

馳　そんだけ凄いってことよ。4メートルか6メートルから落ちて受け身取るのは一歩間違えたら首の骨折るからね。あと、リタだっけ、リサだっけ？

——リタです（笑）。

馳　リタもいいねぇ（しみじみと）。トップロープからの飛びつきフランケン・シュタイナー！　あれ見たときはショックだったよ。

——やられたい？（笑）。

馳　やられた……いやいやそうじゃなくて（笑）。これは凄い努力をしてるなと思って。

——そのプロレスにおける努力の部分を、例えば格闘家をプロレスのリングに持ってきたときにやらせられるかっていうのは、けっこう重要だと思いますよ。

馳　それは本人次第だと思うよ。石井館長も言ってるけど、おそら

くK－1や『PRIDE』に出てる選手もプロレスは好きだと思うんだよ。例えばプロレスで、「ほ～っ」と唸らせるほどできるようになるまでには、もの凄い感性と努力が必要だし。それができるかできないかってところだろうね。〝プロレスもどき〟じゃダメなんだよ。逆にプロレスラーが〝格闘技もどき〟をやってもダメだろうし。そこなんじゃないかな。

——そこで一つ聞きたいのは、去年の東スポ制定のプロレス大賞のベストバウトだった「永田対藤田戦」なんかは、馳先生から見ると、どうなんですか？

馳　あ、あの試合は目の前で見てた。ほら、俺の凄いしょっぱい試合（vs武藤戦）の後だったから（苦笑）。

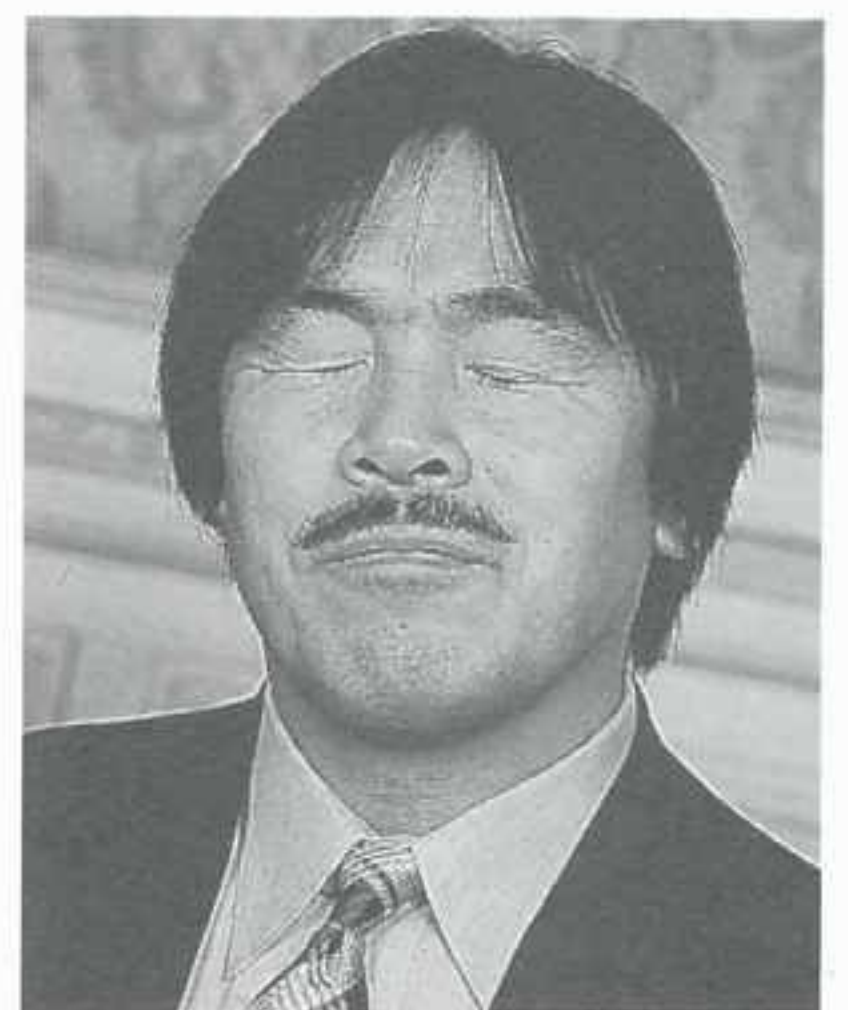
——ガハハハ。自分で言う（笑）。

馳　反省しながら、シャワーも浴びないで見てたけど、いや～、ゾクゾクしたね！（キッパリ）。

——あれは馳先生的にはOKなんですか？

馳　俺としてはOKだよ！　ただ、その2日後に「武藤vs天龍戦」を見たら「これぞプロレス！」って思ったよ。それは好みの問題だから正直、甲乙つけがたいけど、「永田対藤田戦」はホント凄かった。客が鳥肌立てて見てたしね。逆に「武藤vs天龍戦」の試合は藤波さんが、もう少年のような顔で見てたから（笑）。

——ドラゴンが少年のような顔で（笑）。

高橋本の影響？　まあ、正直困ったなあと（苦笑）

馳　あのとき藤波さんが、はじっこの方で見てたね。凄い喜んでるんだよ。俺たちプロレスラーが見て鳥肌が立つような試合だった。確かに異質なんだけど、緊張感とか2人のコンディションの良さっていうのは、やっぱりプロレス界の最高峰と呼ばれてもおかしくないと思うし、逆に「武藤vs天龍戦」は「そこまでやるか」っていう芸の域を超えた芸術だよ。

——ウチの読者からアンケートを取ったらベストバウトは「武藤vs天龍戦」の方が上なんですよ。ボクなんかも、「永田対藤田戦」には乗れないほうですね。

馳　あっそう。俺は「永田対藤田戦」のときはアリーナの一番後ろから客の中に入って見てたのよ。そしたら若いファンなんかが「スゲエ！　カッケェーッ‼」とか言いながら見てたよね（笑）。

——「カッケェーッ‼」ですか（笑）。でも、「永田対藤田戦」は『紙プロ』の読者的にはNGみたいですね。

馳　なんでかなぁ？

——一番痛そうなのがマットだから（笑）。

馳　（ちょっと驚いて）あ～、なるほどねぇ。

——さあ、どうする？（笑）。

馳　そんなふうに思われるってことは選手が未熟なのかもしれないけどね。

——巷では、いわゆるプロ格路線と呼ばれる方向を推し進める猪木さんへの反発として、武藤さんが動いたというふうにも言われてますけど。

馳　へぇ～、そういう図式になっちゃうんだ。別に俺はなんだっていいんだけどな（投げやりに）。

——なんだっていい（笑）。馳先生から見たら、そういうプロレス観の違いが今回の騒動につながったわけではないと？

馳　（首をヒネりながら）俺は、わっかんねぇなぁ。

——記憶にございません、と。ホント、政治家の鏡だなぁ（笑）。

馳　いや、待て！　なぜかというと、一番のポイントは、武藤は新日本にいながら全日本に上がることだってできるわけだよ。そこで猪木さんに対しての反発運動を新日本の中でもやれるはずでしょ。なんで辞める必要があるのかっていうと、それはやっぱり新日本から離脱した方が自分の考えてることを実現できるステージがあるのかないのかって部分で、「ある」と判断したから出たわけだ。じゃあ、新日本の中にいたらできないことは何か？ってことを俺なんかは考えるんだよ。

——武藤さん自身は去年1年間、全日本でメインを張って来て、期待感やプレッシャーとかを全部含めた上で、凄く気持ち良かったと言ってますよね。

馳　それだけかなぁ？（ニヤリ）。それだけだったら、いままでと同じようにやってればいいんですよ。あえて人間関係を壊して批判を浴びてまで動く必要ないじゃん！　そう思わない？

——いや、どうなんでしょうね。

馳　だから、それはなんなのかっていうのが、政治家的に言えば「わかんねぇな」って言ってるんであってね（笑）。

——馳先生は、ホント、政治家の鏡ですよ。悪しき政治家の鏡（笑）。

馳　（無視して）俺はわかるところもあるんだけどね（ニヤッ）。それは新日本プロレスにいたら絶対にできないけど、ステージを変えれば叶うことがあるんだろうなと。そこは凄い、よくわかる！

――だから、それはなんですか？　もったいぶらずに教えてくださいよ！

馳　だって、俺が先に言っちゃうと武藤の立つ瀬がねぇじゃん。

――新日本にいるとできなくて、全日本に行ったらできることが、今回の騒動のキーポイントになってると。

馳　俺は武藤に「新日本プロレスを辞めることないじゃん。辞めなくたってできることあるだろ」って言ったけど、彼は辞めちゃったから。多分、何かがあるんだろうなとは思うけど、それが何かは……俺にはわかるよ（ニヤッ）。

――さすが黒幕！（笑）。それは馳先生の口からは言えないと。

馳　だって、俺が動いたわけじゃないんだから。

――まあ、動かした方ですからね（笑）。

馳　動かしてもいねぇよ！（笑）。俺がやったことといえば、去年6月に元子さんを『プロレスの砦』って番組に連れてったことぐらいで。あれは事実！

――武藤さんと元子さんとの対談ですね。

馳　そうそう。武藤が「呼んでくれ」って言うから「いいよ」って。その後、いかに元子さんと武藤の間に愛が芽生えたかは知らねえけど（笑）。

――武藤さんは、元子さんのことを「チャーミングな女性」って言ってますからね（笑）。それで昨日、武藤さんと話してて、WWFのなかに、これから日本のプロレスにとってヒントになるなと思ったのが、日本の選手って最終的な目標がマッチメイク権だったりするじゃないですか。

馳　そう？

――現場を仕切るというか、選手をコントロールしていくっていうのが出世の一番の目標になってるところもあると思うんですよ。だけどWWFはそういう部分を全て切り捨てさせて、タレントとして、いかに役割を果たしていくかという部分じゃないですか。

馳　いわゆる分社化だよね。経営の中枢であったり現場であったり、あとコスチューム担当とか、分社化して機能的に動いてるって感じだよね。

――余計なことを考えずにすむから、タレントとして芸を磨く土壌もできやすい。これまでの日本のプロレス界での究極の出世の形は現場もマッチメイクもすべてコントロールしたいという欲望ですよね。

馳　つまんねぇよな。わかんねぇけど、もしそういうことを目的にしてるヤツがいるとすれば、ケツの穴ちっちゃい話だなぁと思うよね。

――WWFの凄みの一端には、マッチメイク権をレスラーたちが放棄して、いかにタレントとして自分の芸を表現するかに賭けてる部分もあると思うんですよ。

馳　基本的にそうじゃない？　やっぱりプロレスって、子供から、じいちゃん、ばあちゃんまでがチケット握りしめて会場に足を運んで、試合が終わった後にニコニコしながら家路につくのを見るってのが、プロレスラーが一番追求すべきとこだと思うけどね。

――逆に言えば、日本のプロレスの場合、政治的な闘争があるからこそ面白かったっていう部分もあるんですけどね。

馳　そういえば、今年の1月後半から2月はじめにかけて、普段なら雑誌はあんまり売れないらしいんだけど、かなり売れたらしいね。

――新聞も、ほとんど今回の騒動ネタですよね。

馳　だって、『週プロ』にしても『ゴング』にしても、「馳さんありがとう」って言うから、「なんで俺に振るんだっつうの！」ってさ（笑）。

――ガハハハハ！　ボクはお礼はしませんけどね（笑）。でも、猪木さんは何であんなに馳さんに対して怒ってるんですかね？

馳　わかんない。猪木さんに聞いてよ。俺の方は何にも怒ってない。

――ダハハハ。「馳だけは絶対に許さない！」って猪木さんは言ってるじゃないですか。

馳　（ニコニコしながら）あっ、ここでニコニコしちゃいけないんだよね（まだニコニコ）。でも、猪木さんからそんなに言われるなんて嬉しいよ。光栄だと思わないとね。

――俯瞰的に見ると、なんでだと思います？　変な言い方だけど、同じ仕掛け人としてのプライド？

馳　わかんない（笑）。

――実に政治家らしい答弁です（笑）。

馳　まあ、一般論で言えば、男のジェラシーかなと思ったんだけどね（ニヤリ）。

――男のジェラシー！　大きくでましたね。でも、猪木さんも「長州や藤波じゃ勝てねぇ」って言ってますよ。

馳　猪木さんに？

――いや、馳さんに対してですよ！（笑）。

馳　（突然、差し歯をはずしだし）いやぁ～、めっそうもないですよ。あの方たちになんて、とてもとても……（といって、笑いを必死にこらえる）。

――なぜ、そこで笑う（笑）。

馳　ああ、ここで笑っちゃいけないんだね（と言いつつ、笑いが止まらず）。ホッホッホ。

――じゃあ、猪木さんが怒ってる理由は馳さんにはわからないと。

馳　うん、わからない。

――「新日本の心臓部である経理を引き抜かれた。これは犯罪に値する。なんていう名前の犯罪かはわからないけど」って猪木さんが言ってましたよ（笑）。

馳　あぁ、俺は、そのことに関しては、法的にどうしたらいいかは全部わかってるよ（不敵な笑み）。社会保険労務士や民法全部知ってるんだから。

――なるほど、長州さんや藤波さんじゃ勝てねぇよな。

馳　（突然）民法第709条……。

――ガハハハハ！　いいですよ、そんなの！　覚えたくもないです（笑）。じゃあ、最後に一番肝心なこと聞きたいんだけど、これからプロレスっていうものをソフトとして考えた場合、プロレスはどう変わっていくべきですか？

馳　ひと言で言えば簡単だよ。負けることを恐れちゃダメってことですよ。トップレスラーと呼ばれる、武藤、蝶野、橋本、三沢、小橋、秋山、川田、小川……小川は、まだトップレスラーの中には入ってないか。他にも藤田だとか永田ね。いま名前を挙げたレスラーたちが負けることを恐れないでシングルマッチをドンドン実現したいと思い続けることが大事だよね。

――でも、それだけで〝純プロレス〟は安泰になっていくんですかね？

馳　なる！（力強く）。やっぱり最後はシングルだよ、プロレスは。

――それは非常によく理解できるんだけど、でも、それだと勝ち星のたらい回しにならないですか？

馳　なんで？

――いや単純に、実力者同士がシングルでぶつかって、飛び抜けた人はでにくいでしょ。

馳　わからない。でも、負けを恐れずにレスラーが「俺は小橋とやりてぇな」とか「橋本とやりてぇよ」っていう素直な気持ちを持っ

例えば、元子さんと橋本と蝶野の3人で何か仕掛けたらどう思う？（ニヤリ）

て、それをマスコミに対しても言ってね。三沢とかの場合だと、いつも「会社同士の話し合いが」とか言ってるけど、そんなのじゃ普通の企業と一緒じゃねぇかよと。プロレスは違うじゃん！　そんな日常的なこと言うなよって。「こういうヤツとやりたい！」って気持ちを実現できないのは、なぜなのかと考えると、テレビ局の縛りもあるかもしれないし、会社として興行的に見たら、負けた場合に客が入らなくなるかもしれない。そんなことがネックになっている部分もあるんじゃないの？

——それはまだ、いまの時代でも間違いなくありますね。

馳　そういうものを取っ払って考えてみれば、そういったリスクを負う姿勢をファンの人は見たいんじゃないかと思うんだよ。永田vs三沢とか小橋vs武藤、逆に蝶野vs川田とか小川vs三沢もいいし、川田vs橋本も見たいし。そういうのファンは見たいと思わないの？

——それは見たいでしょうね。ただ、この業界を見てきて思うのは、相手を嫌いだったり、一旦トラブルがあるとビジネスにならない。普通の社会ではそんなのあり得ないですよね。相手が嫌いだから仕事しないっていうのは（笑）。

馳　もし、それが試合としてできるのであれば、こんなに大きなビジネスはないよね。例えば俺は川田とは、たぶん人間的に合わないと思うよ。一緒に酒呑んで肩組めるような人間関係はできないと思う。

——陰気だっていう噂ですよね、川田さんは（笑）。

馳　でも俺は、リングの上では凄まじく川田を尊敬してるんだよ。

——凄まじく（笑）。

馳　それに、この間、川田とやらしてもらって「やっぱり凄いな」と感じてね。「こいつは俺より2枚も3枚も上だな」って思ったね。

——さすがの馳先生でも？

馳　いや～、もう全然上だよ。これじゃ、いま武藤は勝てねぇだろうなと思ったよ。その試合でアゴに、いい蹴りもらったんだけど、あれは痛かった。いまだに口は開かないんだけどな。

——そう言ってるわりには、舌先はなめらかですよ、嫌みなくらいに（笑）。

馳　そうか？　これは舌がよく動いてんの（笑）。

——猪木さんが馳さんを嫌いなわけがなんとなくわかるなぁ（笑）。

馳　俺は大好きだよぉ！　それに俺は猪木さんや馬場さん、長州さんの背中を見てプロレスを覚えたつもりなんだけどな。

——つもり！（笑）。でも、新日本分裂の騒動もこれだけ騒がれて、それもファンは楽しみにしてる。だから、そのあたりはWWFはホントにウマイですよね。

馳　ウマイよねぇ（しみじみと）。

——本音も嫉妬もなにもかも、全部ビジネスとして取り込んでますからね。

馳　ちきしょ～！（心底悔しそうに）。

——な、なんだ？

馳　や～っぱり、あのステファニーの妊娠は嘘だったか！（笑）。

——な、なに、突然。

馳　一杯食わされたぁ!!

——と、単純にダマされる人がたくさんいると（笑）。つまり、日本のプロレス界に足りないのは頭脳と過剰さですよね。

馳　でも架空の話だけど、例えばいま、元子さんと橋本選手と蝶野選手が3人で会って、何かを仕掛けたとしたらどう思う？（ニヤリ）。

——は？　それは、もの凄いことになるでしょうね。

馳　……（意味深にニカッと笑う。しかし差し歯を抜いているので歯がない）。

——ガハハハ！　見てみィ、このツラ！（カメラマンのモーリーに向かって）ダメだよ、こういうの撮らなきゃ！（笑）。

馳　ダメだよ！　いま、歯がないんだから!!（笑）。いま、三沢選手と元子さんが一緒に握手したらどうなる？

——それをファンに見えるようにやってくれれば、それは凄いですよ！

馳　いま、馳浩と猪木さんが手を組んだらどうなる？

——それは闘ってほしい（笑）。

馳　とかね。逆にマスコミのヤツにヒントを与えてるつもりなんだけどな（笑）。あり得ないことが起こり得るような、その裏には何があるのか、そして、それがストレートにリングの上にぶつけられたら面白いよねぇ（しみじみと）。もしかしたら、今回の騒動で一番見たいマッチメイクっていうのは「馳浩vs永島のオヤジ」じゃないかと！

——そ、それは見たい!!　レフェリーはミスター高橋さんで（笑）。

馳　いやいや、レフェリーは藤波さんだよ（笑）。で、藤波さんが永島のオヤジを裏切って俺につくとかね（笑）。

——いやぁ、猪木さんが嫌ってるわけがわかった！（笑）。この策士！　やっぱり、男のジェラシーっていうのは当たってるかもしれないですね。

馳　まあ、さっきのは、あれは一般論で言ったんだよ（笑）。

——いま、ビジネスに〝仕立て上

今回の騒動で一番見たいマッチメイクは馳浩vs永島のオヤジじゃない? レフェリーは藤波さんで(笑)

武藤がリングに登場し、突如カシンが試合を行った2・9全日後楽園大会。馳はリングには姿を現さなかったが、バックステージではカシンを先導するなど、まさしく"黒幕"的な行動をしたのであった。

げる"っていう感覚を持っているのは馳さんぐらいでしょう。

馳　さぁ?……(笑)。

——おそらく。でも、それが姑息に見えちゃうところが猪木さんが嫌いなとこなんだろうなぁ(笑)。

馳　俺はいま、架空の話をしただけであって、いまはやっぱり蝶野選手と元子さんが密談したら、そりゃ面白いでしょ。三沢選手と元子さんにしても。

——それは面白いですよ。ところで、2・1の札幌での猪木さんと蝶野さんの絡みって見ました?

馳　あ、テレビで見たよ。

——猪木さんと蝶野さんがリング上でやりあってるときは視聴率もいいだろうし、ファンも大いに騒ぐわけですよ。だけど、その後の試合は見ないっていうのも現実的にありますよね。

馳　そういう部分もあるわな。でも、俺は思ったんだけど、あそこで、なんで蝶野選手が猪木さんに殴りかからないのかなって。こういうこと言ったら失礼だけど、棚橋なり永田なりが「俺はアントニオ猪木に対して怒ってるんだ! ふざけるな、このリングからとっとと出てけ!!」って言ったら面白かったのになって気持ちはあるよ(笑)。そして、リング上で猪木さんの服をビリビリに破って、赤いマフラーで首絞めたら面白いなぁって思ったのに(笑)。

——それがステファニーの妊娠と同じように、ホントかウソかとファンが想像すると。

馳　でも素直にそう思わないんだったら、新日本は末期症状だなって思うよね。思ってても言えないとするならば、新日本はやっぱり猪木さんの会社なんだから、それはしゃあないよな。猪木さんの言いなり、マインドコントロールされたままでいいんだろうな。ただ、それだったら猪木さんがリングに上がったあとは誰が試合をしたって勝てねぇよってことになっちゃうじゃない?

——昔、猪木さんが全盛期の頃のプロレスって、試合を見て語れる部分とサイドストーリーで語れる両方の部分があった。いまのプロレスは、新日本分裂とかのサイドストーリーには、みんな飛びつくんだけど……。

馳　(さえぎって)あれが、その後の試合に結びついていかないのは、ちょっともったいないって思ったけどね。

——まあ、一連の桜庭の闘いでも、去年の安田vsバンナでも、高田vsミルコなんかも含めて、試合そのものを語るっていうのは格闘技に取られてますよ。純プロレスで、試合を語るっていうことが極端に少なくなってますね。

馳　そういう風に思われる技術的な欠点は間の悪さだよな。例えばロープブレイクした後の間の悪さとか、相手が場外にいる時のリング上の選手の間の悪さとか。あるいはスタンドからグラウンド、グラウンドからスタンドに移っていく間の悪さとかね。「こいつ、勝ちたくねぇのかな?」って思っちゃうんだよ。

——だからプロレスの技術も、もっと情報公開があってもいいと思いますけどね。それが格闘家にできるかっていうドキュメントは見たいですよ。小川直也がホントに受け身を何千回できるのかとか、5メートル上から落ちて受け身が取れるかとか、顔の作り方ができるのかっていうのを見せちゃったとしても、いまのファンならついて来られると思いますよ。むしろプロレスのハードな部分を、格闘技にコンプレックス持たずに見せていくべきだという気もしますね。

馳　顔は作ろうと思っても絶対できないよ。まあ、抜きん出た人なら作ろうと思わなくても作れちゃうだろうけど。でも、それは厳しいスパーリングとかで何回も脱水症状起こすような練習しないとできない。それもやらされるんじゃなくて、自分から率先して厳しい練習をやろうと思って初めてできるもんだから。それこそ「こいつ本当に闘ってるのかな」ってとこだよな。

——芸術を謳うんなら、実際にもっと厳しい世界にならなきゃウソでしょうしね。……そうかぁ。今日は一杯ヒントを貰ったぞ。

馳　(嬉しそうに)マジで? だって、ここの国会対策委員会の部屋には田中真紀子や武部農水大臣とかが来るわけで、プロレス的な要素は渦巻いてるんだから。政治はプロレスだよ(笑)。

——はぁ～ん。じゃあ、いつまでも相手にしてられないので帰ります(笑)。これからも黒幕として暗躍してください!

馳　勘弁してくれよぉ(笑)。

【02年2月13日／永田町・国会議事堂内の国会対策委員会控室にて収録】

CAT FIGHT WORLD

第17回

「キャットファイト・ライブの魅力」

バトル編集部編集長 猫宮さん

キャットファイトの知られざる魅力はお伝えする「キャットファイトワールド」。今回は、盛況を迎える各キャットファイト団体の魅力をお送りします！

ナマが一番！ キャットファイトはライブで味わえ！

猫宮 まずは、あけましておめでとうございます！ 本年度もキャットファイトともども、「バトル」全店をよろしくお願い申しあげます。

――というか、遅いですよ！ もう2月の下旬もいいとこですよ！

猫宮 まあ、今年に入ってはじめての広告ですし。キャットファイト系のホームページを見て回るとこの広告、結構反響があるんですよね。「バトル」が毎月発行している「月刊バトル通信」もチェックが厳しくて……トホホ。

――そんなことより、早くお年玉代わりに最新キャットファイト情報を教えてくださいよ！

猫宮 しょうがないですねえ。今回はイベント情報です！ キャットファイトにはライブイベントを開催している団体もいくつかありますからね。

――キャットファイトに団体ですか？

猫宮 （呆れて）アナタは何も知らないんですねえ。『紙プロ』でもおなじみの「猫の穴」もそうですよ！

――ギョ！ そうだったんですか!?

猫宮 プロレス団体がいくつもあるように、キャットファイト団体もたくさんあるんです。

――「猫の穴」以外にはどんな団体があるんですか？

猫宮 もっともスタンダードな闘いをしているのが「新日本キャットファイト連盟（ＮＣＬ）」という団体です。ほぼ毎月、渋谷などでライブを開催してるんですよ。

――ほぼ毎月ですか！ ンムフフフ！ それは楽しそうですね（笑）。

猫宮 もう、目の前で可愛らしい美少女たちがくんずほぐれつのバトルを繰り広げてますよォオ！

――マ、マニアからすれば、夢のような話じゃないですか！

猫宮 いや、マニアだけじゃなく内容自体もエロ中心ではなく格闘技色が濃いので、女の子のお客さんなんかも来てますよ。ただキャットファイトとして、衣装なんかがセクシーだったり、ルールがそんなに格闘技してなかったりしてますけどね。

――へえ～、なるほどねえ。

猫宮 ほかにもフェチの中で人気が高まってる「くすぐり」をキャットファイトと合体させた「くすぐリングス」！

――「くすぐリングス」ですか！

猫宮 そうですよ（笑）。そして、女子プロレスラーのミス・モンゴルが参戦・プロデュースをする「キャット・パニック・エンターテイメント（ＣＰＥ）」！ どちらも、独自のルールとセンスで魅せてくれてます！

――ウワ～、話を聞いてるだけで見に行きたくなってきましたよ！

猫宮 もちろん、各団体ともライブビデオを販売してますので、行けなかった方も会場にいたときと同じような興奮を味わえるわけですよ。

――会場ではできないことも、自分の部屋ではできますしね……（恍惚の表情で）。

猫宮 その辺に関してはノーコメント（笑）！ ただ、女性にも人気があるライブビデオもあるんですよ。

――ボクなんかはシモ的に、いやらしい目で見てしまうんですよ……（再び恍惚の表情で）。

猫宮 団体によっては、そういった視線を意識している試合もありますよォ（笑）。

――（我に返って）ぜ、ぜひその団体に連れてってください！

猫宮 （無視して）そうそう、チョロさんがリングアナを努めている「女闘密室ライブ」もオススメです！

――チョロ？ そんなリングアナはどうでもいいです！ 早くライブイベント情報を教えてくださいよォ！

猫宮 「バトル」全店ではそういったライブに関する情報やチケット販売、もちろんライブビデオなんかもしっかり揃ってます！ 「月刊バトル通信」でもその辺りの情報満載ですので、重ねて、レッツ・ゴー、ヨロシク！

今月のオススメビデオです!!

くすぐリングス vol.2 旗揚げ興行戦前編

世界初のくすぐり合いによるキャットファイト「くすぐリングス」の旗揚げ戦に、「くすぐり男爵」を名乗る謎の紳士が乱入！ 配下のファイター参戦を要求した！ 「くすぐリングス」の興行権と、王座を賭けた熱きくすぐりがいまここに切って落とされた！

新日本キャットファイト連盟・乱舞バトル!!

新団体が続々集結だ！ 盛り上がりをみせる新日本キャットファイト連盟（ＮＣＬ）！ 謎の忍者も初参戦するぞ！ 3分3Rで行われた華麗なる技の大祭典に、大興奮大熱狂は間違いないなし！ 渋谷がキャットファイトの色に塗りつぶされる！

プロレス界

ターザン山本が
マット界に非常ベル!!

奪われた!!

どうする、

K-1史上最高とも言われる盛り上がりをみせた
2·11『K-1 WORLD MAX～日本代表決定トーナメント～』。
TV視聴率も深夜にも関わらず
13%とK-1の力をまざまざと見せつけられた格好だ。
しかし、この成功の秘密は実は“プロレス”にあり、
K-1をクソ真面目に見ることは、
改めてプロレスの可能性を見直す作業でもあるのだ。
K-1から“プロレス”を取り戻す!
それがマット界の急務となった。

文／ターザン山本

designed by matsu (Two three)

石井館長に全てお株

プロレスのエッセンスをすべて取られた、盗まれた、やられた。もう、その言葉しかない。正直いってショックだ。感動している場合ではない。むしろ「これはヤバイぞ!」と危機感を持つべきだ。

それぐらい2・11代々木大会、K—1中量級のトーナメントは、刺激的な興行だった。私はとにかく凄いものを見たいのだ。ハードルの高いものに出会いたいのだ。それがエンターテインメントの基本コンセプトである。

それ以外のことはどうでもいい。勝手にやってくれという心境だ。まさか70キロクラスのキックボクシングのファイターたちが、あんな試合を見せてくれるとは、まったく予想もしていなかった。別にたかが中量級のクラスと、なめていたわけではない。

トーナメントの7試合のうち5試合までがKOで決まった。あのクラスでは技術がきっこうしていると、判定になるケースが多い。それが普通なのに出場選手が、始めからKO狙いで試合にのぞんでいた。

それ自体がもう異常である。たしかにKOすると30万円の賞金が出る。KO賞30万円というのは、競走馬でいうと〝にんじん作戦〟と同じ。そういうボーナスを考えること自体が今までの興行とは発想が違う。

要するに選手のモチベーションをあおっているのだ。漢字で書くと〝あおる〟は煽るとなる。30万円の賞金につられたわけではないが、選手の気持ち、テンションを上げる効果は絶大だった。

そこで初めて〝負けを辞さない〟精神が生まれる。実をいうと石井館長がK—1

〝にんじん作戦〟ズバリ的中 7試合中5試合がKO決着

に求めていたものはこれなのだ。それがK—1スピリットであると、ずっと心の中で信じてきた。
　やっとその理想が実現した。それはK—1グランプリのヘビー級でもなければ、K—1ジャパンでもなかった。ある意味でノーマークと言ってもいい中量級のクラスだ

プロレス、VT、K-1すべてで非凡な才能を見せる村浜。プロレスファンが誇りに思うべき選手だ。

ったことは皮肉というしかない。本当をいうと館長はK—1ジャパンにそれを期待していたのだ。
　決して負けを恐れないファイト。これによってしかKOは生まれない。しかしそれはキックボクシングにおいては、ある意味で邪道なのだ。そんなリスクを背負った危険な試合はするべきではない。やる必要はない。この判断は正しい。間違っていない。
　試合は体重別に分けられている、そうなると力の差はそんなに出てこない。内容的に紙一重のケースが多い。高度なテクニックを持ったもの同士が試合をすると、ほんのわずかな差で勝敗が決まるか、そうでなかったら引き分けになる。この世界観、価値観が、K—1である。ここにK—1の存在理由がある。負けてもいいから前へ出て闘え。打ち合い、蹴り合うのだ。そんな素人に近い考えというか、キックボクシングからするとそれは無謀な哲学である。
　だから私はK—1とはキックボクシングを、邪道かつ無謀にしたものだと思っている。そこにK—1の新しさとユニークさがある。キックボクシングの関係者、専門家はたぶんそう考えているはずだ。
　石井館長はキックを時代のニーズ、ファンのニーズにあうように変えた。それがK—1である。空手出身の人で〝やる側〟の立場にいる人が、こういう柔軟な発想は普通できない。
　〝見る側〟つまりファンが何を求めているかなんて、みんな無視してきたからだ。無視して当然だ。なぜなら〝見る側〟のファンは素人で、自分たち〝やる側〟はプロだと思っていたからだ。
　石井館長はその壁を超えた。プロデュー

2・11最大の功労者は村浜と須藤元気!

他流試合にちゃんと"策"を練ってきた須藤元気。元気の活躍なくして、この日のここまでの盛り上がりはなかったと言える。

K-1は今、最もプロレス的エッセンスを刺激する磁場となった

サーになるということは、時代とファンのニーズが何であるかを、熟知することにある。ジムや道場の先生たちには、それがどうしても視界に入ってこない。

これではプロデューサーにはなれない。ではどうしたらプロデューサーになれるのか？　答えははっきりしている。プロレスを学ぶことである。たとえていうならキックボクシングを〝プロレス化〟したものがK—1なのだ。

だから私はK—1もプロレスと同じ土俵にあるものと考えてきた。キックボクシングにはキックボクシングの良さがある。それは私も認めている。ただしそれをもっと大衆的なスケールの大きいエンターテインメントにしょうとしたら〝プロレス化〟するしかない。

それを石井館長はやった。見事である。コロンブスの卵である。私は石井館長ほどプロレスから多くのことを学んだ人はいないと思っている。よく言えば学習。悪く言えばパクリ。

この世の中には別に新しいことなんか本当は何もない。そう思っているのは人間の幻想なのだ。「初めにすべてありき」が私の思想である。たまたまある心理を知った時、人は発見という言い方をする。しかしニュートンが万有引力の法則を〝発見〟した時、本来は遅まきながらやっとそれに気付いた、知ったと言うべきなのだ。

発見、発明とは出遅れていたことの証明でもある。だから発見はパクリなのだ。パクリは全然悪くない。

私がK—1中量級のトーナメントに興奮し、アドレナリンが出まくったのは、そこにプロレス的面白さがいっぱい詰まっていたからだ。

ホラ吹きで有名なヒール。しかし圧倒的実力を持ち、宣言通りに優勝してみせた魔裟斗はプロレス的キャラがぷんぷんしてしている男。

久々に現れた銭のとれる日本人ファイター魔裟斗。今度は5月に世界の強豪相手にトーナメントで闘う。プロレスファンも絶対注目だ。

強いのにヒール（悪役）。それだけで商品になる。それに対抗するのが〝ミスター・ストイック〟小比類巻。試合ごとに直前には必ず黒崎健時先生にケイタイで電話して指示をあおいでいたそうである。

その指示は「ローでいけ！」という一点張り。この小比類巻と黒崎氏のやりとりは、劇画にあるようなドラマティックな話だ。決勝で負けた小比類巻は、ボー然とただリングに立ちつくしたまま。

石井館長が気を使ってマイクを渡すと「今度やる時はぶっ殺す」と叫んだ。それを聞いていた魔裟斗が、思わず苦笑いを浮かべた。プロレス顔負けのパフォーマンスの応酬だった。

しかしこの日、最大の功労者はプロレスラーの須藤元気と村浜武洋2人。須藤は小比類巻を、村浜は魔裟斗をあわやというところまで追いつめた。その一発勝負を狙った果敢なファイトは、まさに肉を切らせて骨を断つというやり方。

すご過ぎた。なぜあんなファイトをK—1でやらなければならないのか？　そういう疑問がある。でも、それは違う。K—1が2人のプロレスラーの心に火を付けたのだ。なぜならK—1が最も今、プロレス的エッセンスを刺激し誘発する〝何か〟を磁場として出しているからだ。

石井館長はそのことをわかっているから、須藤元気と村浜武洋をあえて小比類巻と魔裟斗にぶつけた。このカードそのものがもう超プロレス的なのだ。

もう、やられた。悔しいが完敗だ。石井館長に称賛の言葉を贈ると共に、私は〝くそ〟と思ってまたやる気になっている。

石井館長出し惜しみせず！

プロレスファンと言えども

無視はできないこの対決！

“サモアの怪人”

マーク・ハント

vs

“プロレスラー・ハンター”

ミルコ・クロコップ

昨年の「K-1WORLD GP」王者マーク・ハントと、専門外のバーリ・トゥードで輝き放ったミルコ・クロコップが名古屋で激突！ 館長曰く「タイミングを逃すと見たいカードも色あせる」と自信をもってマッチメイクしただけあって、昨年のK-1の象徴的なこの2人の対決はプロレスファンと言えども無視できない

K-1 WORLD GP 2002 in 名古屋 その他のカード

安田に屈したバンナが、安田を敗ったレネ・ローゼを倒した男と激突！

■ジェロム・レ・バンナvs天田ヒロミ■

■マイク・ベルナルドvsレイ・セフォー■

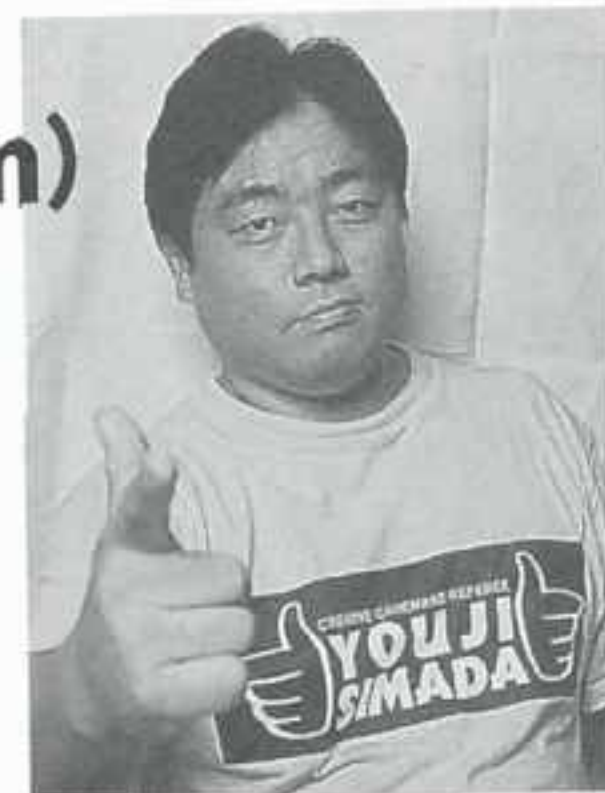
■グラウベ・フェイトーザvs武蔵■

■ユルゲン・クルトvsヤン“ザ・ジャイアント”ノルキヤ■

K-1 WORLD GP 2002 in 名古屋

【日時】3月3日（日）14:30開場／16:00試合開始
【場所】名古屋市総合体育館レインボーホール
【アクセス】JR笠寺駅
【チケット】SRS席¥25000／RS席¥15000／S席¥12000／A席¥6000

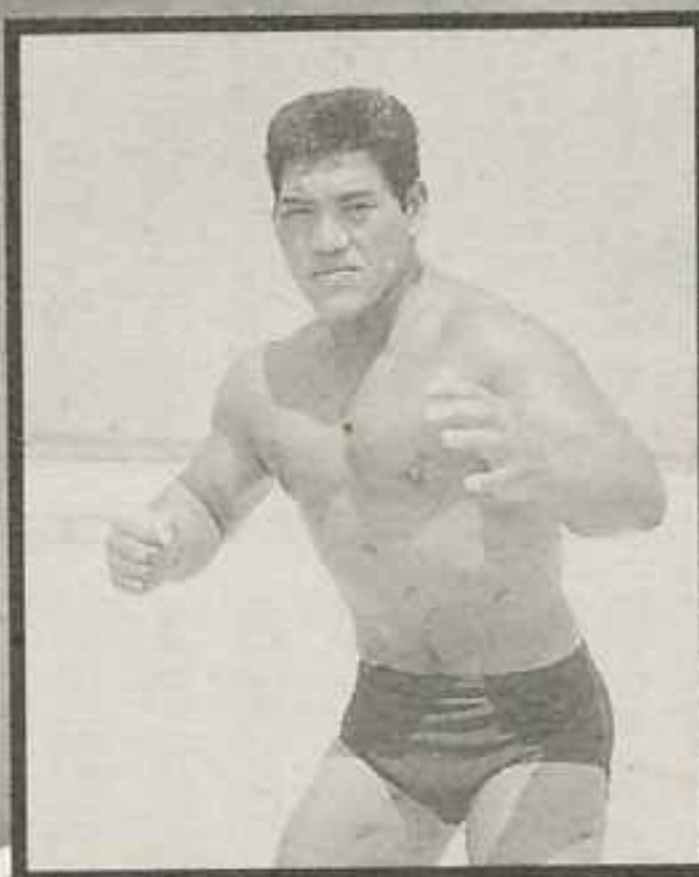
今年はワンマッチ主体 K-1 2002 年間スケジュール

日程	会場	備考
3月3日	名古屋レインボーホール	
4月21日	広島サンプラザ	(K-1ジャパン)
5月3日	会場未定	(K-1 WORLD MAX 決勝戦)
5月25日	フランス・パリ	
6月2日	富山市総合体育館	(K-1ジャパン)
7月14日	福岡マリンメッセ	
8月17日	アメリカ・ラスベガス	(世界最終予選)
9月22日	大阪城ホール	(K-1ジャパンGP 2002)
10月5日	さいたまスーパーアリーナ	(K-1 WORLD GP 2002開幕戦)
12月7日	東京ドーム	(K-1 WORLD GP 2002決勝戦)

笑顔があれば

力道山の肉体美に憧れて
プロレスラーになった男が
怒濤のレスラー人生を語り尽くす!!

笑顔がステキなレスラーに触れる
実録! 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

怒濤の怪力
ストロング金剛

何でもできるよォ!!

登場をあらゆる方面から熱望されていたストロング金剛が、遂にスーパースター列伝に降臨した! かつてはストロング小林として国際プロレスのエースとして活躍し、"昭和の巌流島決戦"と謳われた猪木との試合では大激闘を繰り広げ、芸能界に移っても数々の番組に出演し存在感を示していた金剛だが、そんな華々しい経歴に隠れて私生活はベールに包まれたまま。まだ見ぬ金剛の素顔とは? あのカミングアウト問題にも言及!? ステキな笑顔を持つ男が口を開いたぞ!

聞き手/吉田豪 構成/ジャン斉藤

designed by matsu (Two three)

石井館長出し惜しみせず！

プロレスファンと言えども

無視はできないこの対決！

――（部屋に多数飾られているトロフィーを見回し）いやあ、凄い数ですね！

金剛　そう？　プロレスのだけじゃなくて、ボーリングや犬のもあるんだけどね。

――ああ、金剛さんは『スターボウリング』での活動でも有名でしたからね。

金剛　ボクは2回優勝したから！　キミは見たことあるの？

――もちろんですよ！　ビデオも持ってます。十仁病院のコスチュームを着て投げられてましたよね（笑）。

金剛　ヘエ～、よく知ってるねえ。キミはいくつなの？

――あ、ボクは31です。

金剛　そっかあ。モテそうだねえ。良いスタイルだし（じっくり見ながら）。

――と、とんでもないです（苦笑）。それで、今日は小林さんの人生をたっぷり語ってもらおうと思ってるんですけど。

金剛　ボクはもう61になるんだよ。

――1月に誕生日を迎えられたばかりですよね。

金剛　いや、ボクはね、本当は12月25日生まれなんですよ、昭和15年の。戸籍上では1月3日になるの。

――そうなんですか!?　こちらの資料だと昭和19年1月15日になってましたけど（笑）。

金剛　知らない人が書いたんじゃなあい（かわいらしく）？　本当の籍は昔のことだからね、正月に入れたんだと思うけど。これには面白い話があるんだよね。生まれ日で性格判断する本があるんだけど、それをファンの人が読んで1月3日だとボクの性格に合ってないから「本当に生まれた日をいつなんですか？」って聞いてきたの！　12月25日だとね、ボクの性格に合ってるみたいなんだよ（笑）。

――そうでしたか（笑）。金剛さんは昔からお住まいは青梅なんですよね。最近では隣家で物騒な事件があったみたいですけど（昨年7月、金剛自宅裏のアパートで殺人事件が発生）。

金剛　そうよォ！　キミはニュース見た？

――ワイドショーで大騒ぎしてたじゃないですか。金剛さんも出演されてたし（笑）。

金剛　「ボクの顔は出さないで」って言ったんだけど、テレビ局の人から「顔出さないと犯罪関係者と間違われて大変ですよ」って言われてね（笑）。

――ダハハハ！　それでコメントされたんですね。

金剛　そしたら、テレビ局が次から次と来てね。全局来たよ！

金剛夫人　3日間ずっと、朝からですよ！　空はヘリコプターが飛んでるでしょ。ウチの窓を空けるとすぐの家だから！　ちょっと気持ち悪いですよねえ。

金剛　大変だったねえ。まあ、そのおかげでさ、ボクが元気だってことが全国に知れ渡っちゃって（笑）。沖縄の知り合いからも「しばらく見てないけど、筋肉落ちてないんで安心したよ」って電話来ちゃった（笑）。

――上半身裸でコメントされてましたからね（笑）。事件といえば、前に『家族対抗歌合戦』に出られたとき、金剛さんが泥棒を殴ったことがあるって金剛さんのお母さんが言われてましたけど。

金剛　ああァ～、あったねえ。前科何犯の空き巣だったみたい。

――それは自宅に入った泥棒だったんですか？

金剛　いや、学校の部室荒らしだったんだよ。ボクは野球部に入っていてね。

――「初めて人を殴ったから気持ち悪かった」って言われてたみたいですけど、昔から温和だったんですね。

金剛　そうよ。見たとおりね（笑）。

――やっぱり！　そんな温和な金剛さんがプロレスラーを目指そうと思った理由は一体何だったんですか？

金剛　あの逆三角形に憧れて！　中学の頃は力道山のプロレスに夢中でさ。

――強さ云々っていうより、まずあの身体に憧れたっていうことなんですか？

金剛　そうだよォ！　相撲取りにならないかって話もあったんだけど、興味はなかったね（キッパリ）。

――見た目が違いすぎますもんね。

金剛　やっぱり、あの逆三角形の身体に憧れたんだよね（嬉しそうに）。

――国際プロレスには、ボディビルコンテストを見学に行かれたときにスカウトされて入られたんですよね？

金剛　そうそう。ボディビルコンテストに仲間が出場したんで見に行ったら、国際プロレスのミスター鈴木（マティ鈴木）さんと初代リングアナの長谷川さんと吉原（功）社長が来ててね。以前にリキ・パレスに行ったときに大木（金太郎）さんが「オヤジに話すから」って力道山に紹介する話もあったんだけど。でも、ボクはプロレス入ってから身体作るより、作ってから入った方が有利なんじゃないかなっていう考えがあったからね。だから、ボクが国際プロレスに入門したときに108キロだったの。

――完全に身体が出来上がってたんですね。国際プロレスの道場ではどんな練習をしていたんですか？

金剛　道場といっても、なかったから（キッパリ）。国際プロレスの事務所があったビルの屋上にマットを敷いて、そこで練習してたの。お天気が悪い日は、宮益坂にあった日本ボディビル協会でバーベルをやったりね。あとは吉原社長が早稲田大学出身でリングアナウンサーの人が明治大学で2人ともアマレス出身だから、その関係で大学に出稽古に行ったりしてたね。

――じゃあ、アマレス流のスパーリングをやった上でパワーを売りにしてたわけですね。

金剛　ま、面白味っていう部分ではアマレス出身だからってアマレスのスタイルを出せばいいわけじゃないからね。でも、タックルが使えないのも幅が広がらないから、知ってて知らないフリをしてるのが一番いいんじゃないの？

――そんな技術を持った上で、覆面太郎というマスクマンとしてデビューした、と。

金剛　吉原社長のアイデアでね。日本人初めてのマスクマンということでデビュー前から取材を受けましたよ。

――画期的な売り出し方ですよね。負けたら覆面を脱ぐっていうことだったみたいですけど。

金剛　ああァ、そうだったの？　1シリーズで脱いじゃったけどねえ。

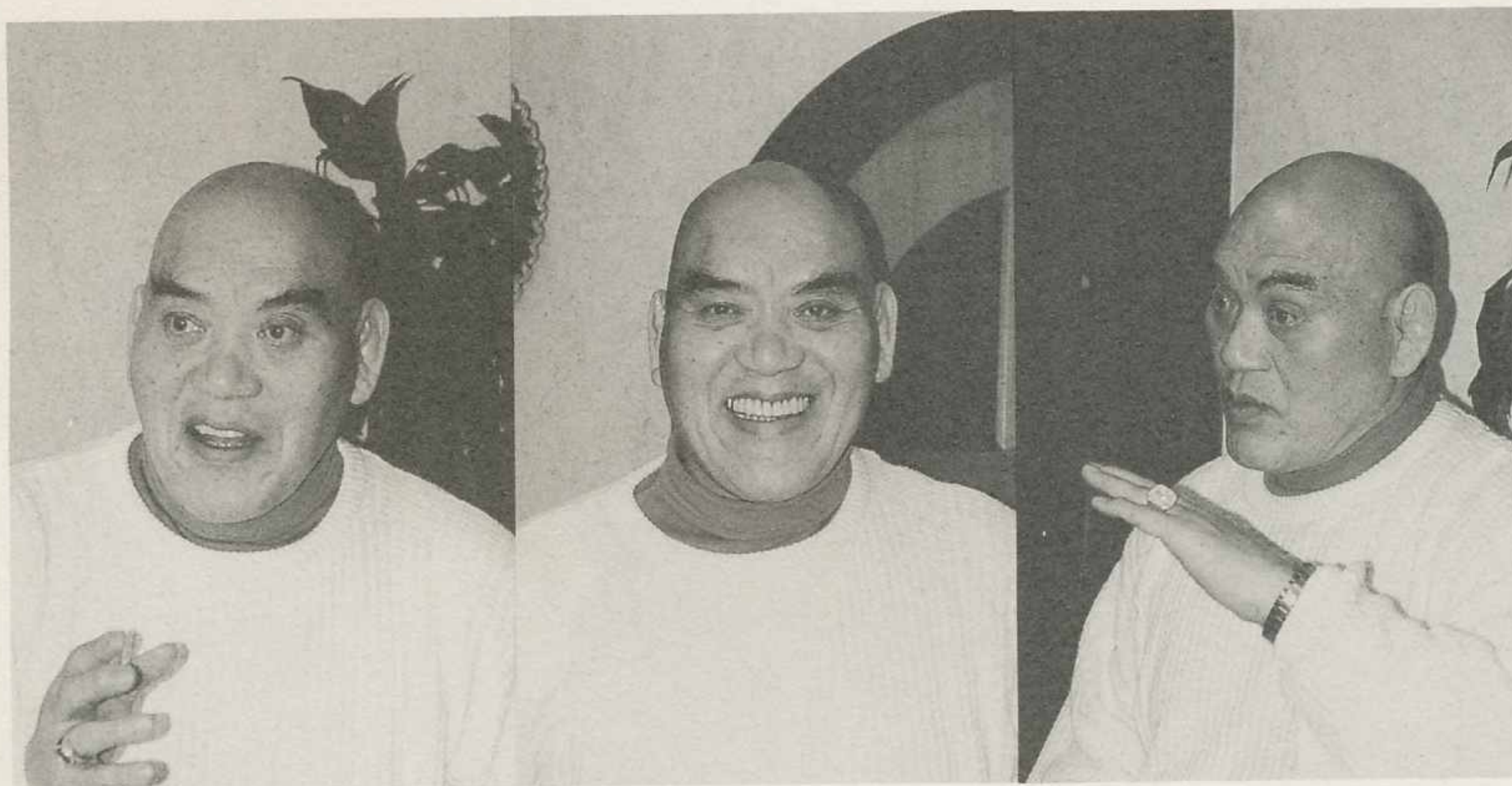
金剛自宅に所狭しと飾られてあった数々のトロフィーと、凛々しさがたまらない若かりしころの写真パネル。ダンベルが無造作に転がっているのもたまらない！

笑顔がステキなレスラーに触れる
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

――負けないまま脱いじゃったわけですよね（笑）。それでTBSのテレビ放映と同時に素顔になって、すぐさまヨーロッパに武者修行に出発と、まさにエリートコースを歩むわけですが。

金剛　いやぁァ～、運が良かっただけだよ（笑）。武者修行はね、あのころは外人の招聘がグレート東郷さんじゃなくなって、吉原社長の先輩の八田（一郎）さんの線でヨーロッパのルートになったの。それで行ったのさ。

――金剛さんはヨーロッパでも150連勝するぐらい大活躍されたんですよね。新人なのにも関わらず、パリでのタッグ・トーナメントでも豊登さんと組んで優勝してたりもするし。

金剛　決勝でモンスター・ロシモフ（アンドレ・ザ・ジャイアント）とやったんだよね。それが終わってボクはドイツに帰ったんだけど、豊登さんが「小林と一緒に行く」ってドイツまで来てくれたんだよ。それで「部屋も小林と一緒がいい」とまで言ってくれてね。生ハムのことをシンケっていうんだけど、それ買って一緒に食べたりさ、公園一緒に行ったりさ。それまでは大先輩だから顔を見るのも緊張したけど、いい人だなあって思いましたね。豊登さんは良くしてくれましたよ。ボクはフランスでもドイツでもプロモーターに気に入られましたしね。

レスラーのあの逆三角形の身体に憧れたの！

――プロモーターに、何でそこまで気に入られたんですかねえ。

金剛　やっぱり、あっちは身体がごっついやつが主流だったからねえ。

――金剛さんは、ロシモフ時代のアンドレをボディスラムでバンバン投げてたっていう伝説もあるじゃないですか。

金剛　そうよォ！　アンドレはまだあのころは細かったこともあるんだけどねえ。アンドレがああいう風貌になったのは、バーン・ガニアに会ってニューヨークに引っ張られてから、あのアフロヘアーになったんだよね。

――金剛さんは海外ではヒールだったんですか？

金剛　ヒールといっても、ボクはストロング・スタイルのヒールだったの。目突きとか、そんな小細工はしないね。そうそう、ボクはねえ、ヨーロッパでは『上を向いて歩こう』が入場テーマだったんだよねえ。

――そうでしたか（笑）。じゃあ、ブーイングとかはあんまりなかったんですか？

金剛　あるある、あるよォ！　それがなかったら、いい試合にもならないからね。

――強豪過ぎてブーイングが飛ぶぐらいだったんですか。

金剛　だから、シカゴでも、（ディック・ザ・）ブルーザー、ガニア、ブルーザー、ガニアって4回メインイベントをやったんだけど、ブーイングが凄かったねえ。会場のインターナショナル・アンファエシアターは通路が長かったから、ガードマンとマネージャーの4人に囲まれて入場したの。

――途中、何があるかわからなかったわけですね。

金剛　ビール瓶に小便入れて投げつけられたりね。でも、そういうブーイングを味わってね、「力道山に憧れてプロレスラーになって良かった！」って感じたよね。

――それだけ快感だったわけですね。海外とかで試合をやっていると、地元の選手に舐められないために工夫が必要だと聞くんですけど。

金剛　（怪訝そうに）ん、どういうことォ？

――いや、あんまりチヤホヤされすぎるとジェラシーで嫌がらせを受けたりするっていう。

金剛　それは誰が言ったの？

――グレート小鹿さんとかアメリカで成功した人たちですけど。

金剛　そうなの？　ボクはそういうのは感じなかったから、それも若さだったかもしれないね。でも、シカゴでガニアに鼻を殴られちゃってさ。だから、こっちがグラグラなの（鼻の左側を触りながら）。

――ウワッ！　それは仕掛けられちゃったわけですか？

金剛　いやあ、興奮していたんじゃないかな。

――まあ、そういうことがあっても気にならないぐらいの勢いがあったんですね。

金剛　とにかく稼いだからね。国際プロレスが払う外人のギャラをボクが立て替えたぐらいだから。

――そんなにですか！

金剛　ガニアにも「こっちでやらないか？」って誘われたしね。こんなこと言っちゃなんだけど、ボクが金に執着していたら御殿が建ってるよォ（笑）。

――ダハハハ！　それは稼いでますね（笑）。

プロレスファンと言えども

石井館長出し惜しみせず！

無視はできないこの対決！

金剛　まあ、金に動かない自分がいたからいまがあると思うんだけどね。

――稼いだお金は何に使っていたんですか？

金剛　う、う〜ん、なんだろうね（笑）。それほど稼げなかったんじゃないの？

――話が違うじゃないですか（笑）！　レスラーは、酒と女につぎ込む場合が多いみたいですけど。

金剛　酒と女につぎ込んだレスラーもいたんだろうけど、ボクは力道山の逆三角形に憧れてレスラーになったから、試合やれるだけで満足だったの。試合やれば普通のサラリーマン以上にファイトマネーが入る。だから、昔はそういう気質が全然違ったの。学校の先生もそうだよ。いまは仕事で先生になる人が凄い多いわけでさ。マッサージ師もそうだよねえ〜。いまだと現金収入の早道みたいな感じでさ。昔の人は本当に相手の身体を治してやろうと思っていたんだよ。時代の違いなのかもしれないけど、レスラーもお金は二の次だった人が多かったと思うよ。

――国際プロレスはそういうレスラーが多かったみたいですよね。（ラッシャー）木村さんとか小林さんもそうですけど、動物好きの温和ないい人が多い気がするし（笑）。

金剛　そうねェ（嬉しそうに）。木村さんも前に犬を飼ってたんじゃないか？

――いまも小型犬を飼っていて、嬉しそうに写真を見せるんですよ。

金剛　ああ、そうォ。木村さんもおじいちゃんになったんじゃない？

――まだ現役で頑張っていますけどね。その国際プロレスでの一番の思い出って何がありますか？

金剛　う〜ん……（しばらく考え込んで）、やっぱり東郷さんだねえ。ボクは東郷さんのカバン持ちとかやっていてね。でも、吉原さんと東郷さんが仲違いしてね。

――東郷さんがルー・テーズと組んで新団体を作ろうとしたときですね。

金剛　それでホテルニューオオタニで襲撃事件もあったしね。

――ユセフ・トルコさんが殴り込んだっていう。

金剛　あんときも東郷さんに呼ばれて、3日ぐらいホテルにいたんですよ。東郷さんの顔がものすごく腫れちゃって、（フレッド・）アトキンスが氷で冷やして介抱していたの。

――金剛さんも新団体に誘われたりしたんですか？

金剛　うん（キッパリ）。東郷さんが日本から手を引くってことで、「小林、一緒に行こう。日本の家族の面倒は全て俺が見るから」って誘われたんだよ。でも、吉原社長の恩も感じていたし「日本に残ります」って言ったら、東郷さんが白いスーツケースやコートから、靴まで置いて帰ったんだよ。

――来るんだったらいつでもアメリカに来い、ってことですね。

金剛　東郷さんに付いて行ったら、ずっとアメリカの生活だったかもしれないね。東郷さんならうまくやってくれたと思うしね。

――馬場さんのアメリカでの成功を見ればわかりますよね。ギャラを大量に抜くって評判はありましたけど（笑）。それで、金剛さんは国際に残って後にエースとなるわけですけど。エースのわりにはマッチメイクが良くなかったというか……。

金剛　それは、ボクの力がなかったってことじゃないの？　それと、ボクの周りはみんな先輩ばっかりだったからね。サンダー杉山やラッシャー木村、グレート草津、寺西（勇）ってね。

――国際プロレスは、複数スター制を打ち出していましたからね。

金剛　でもね、ボクに対してなんか冷たさを吉原社長から感じるようになったの（寂しそうに）。いろんな誘いを断って国際一本槍でやっているのに、なんでこんな仕打ちを受けるんだっていう気持ちにね。それで、こんな気持ちでいるんだったら、フリーになって自由に残りのプロレス人生をやったほうがいいんじゃないかって。

――それを新間（寿）さんが嗅ぎつけて、爆発的な盛り上がりをみせた猪木さんとの試合の実現に向けて動くわけですね。

金剛　うん。新間さんもボクの試合の取り組みとか見て、わかったんじゃないの？

――金剛さんが待遇に不満を感じているんじゃないか、と。

金剛　ボクはね、そういう吉原社長の精神的な経緯がね、ずっとあとまで引いていたの（寂しそうに）。吉原社長が新日本に顧問で入ったことがあったけど、それもちょうどボクが辞めた時期で、「なんだ小林、俺が入ると辞めるのか」なんてことも言われたしね……。でもね、吉原社長が肝臓ガンで入院したときに川口の病院まで会いに行ったら、吉原社長が「ああ、国際プロレスには何人もいたけど、俺のことを思ってくれてるのは小林だけだ」って言ってくれてね。何年間のボクのモヤモヤがその一言で消えちゃったの。

――それは良かったですねえ！

金剛　猪木戦が決まったときは、「裏切り者！」とかいろいろ騒がれたからねえ。

――仲裁に入った『東スポ』が、国際プロレスに違約金1千万を払ったぐらいの大騒動だったわけですからね。

金剛　『東スポ』の井上社長がボクを東スポ専属っていう形にしてくれてね。井上社長がいなかったら、もっと問題に発展したかもしれないよ。現在では何でもない話がねえ。

――いまじゃ移籍なんて当たり前ですからね。

金剛　日本人同士の対決ってことで、あのときはいろんなニュースになったしねえ。

――新日本のベストバウトとかって企画をやると、いまもベスト10に必ず入ってますよ！

金剛　ファン同士の揉め事も多かったから。水道管抜いて、それで喧嘩したグループもいたらしいよね。

――それで実際に闘ってみて、猪木さんはどうでしたか？

金剛　プロレスに対する考えは人にはないものを持ってるよね。情熱も凄いし。でも、猪木さんは血糖値がどうとかって本出したけど、あの人は体力が落ちるのは早かったねえ。あの人のいちばん良い試合は昭和50年12月のロビンソン戦だと思う。

――マニアはみんなそう言いますね。

金剛　あれは最高だったね。あれ以降の試合はボクは印象に残ってないなあ（キッパリ）。あのあとは気力と体力のバランスが崩れてきたんじゃないかなあ。

――副業の問題とかもあっただろうし、金剛さんはホントいい時期に猪木さんと闘っていたんですね。

金剛　そうだねえ。ロビンソン戦の直前ぐらいだからね。

――それで、金剛さんはフリー宣言したときに猪木さんだけじゃなく馬場さんにも挑戦状を送ってたじゃないですか。でも、馬場さんは「それは新日本の謀略で、実際は挑戦状は送られてきてない」って言っていたんですけど。

金剛　いや、ホントに出したよ！　これはもう、配達証明書付きのやつだから。受け取ってくれたことはくれたと思うけど。

――馬場さんとお会いになったことはあるんですか？

金剛　猪木戦のあとにフロリダでデューク・ケオムカさんに大変お世話になっていたとき、馬場さんと食事をご一緒させてもらったの。馬場

喫茶店ルナで発表された国際プロレスの離脱。そして、猪木、馬場への挑戦宣言。文中にも触れられているが、「東スポ」が国際プロレスに違約金1千万を支払ったぐらいの大変な騒動だったのだ。

再戦では、ボクがリードしてたんだから

力道山vs木村政彦以来、封印されていた大物日本人対決はこの一戦より復活したのである。試合では、小林は得意の怪力を駆使し猪木を再三苦しめたが、最後はジャーマン・スープレックスの前に沈んだ。

笑顔がステキなレスラーに触れる
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

さんの奥さんも一緒でね。普通あんな経緯があってボクなんか後輩だから、「この若僧が！」って思って一緒の席につかないと思うよ。そこが馬場さんの大人なところだと思いますよ。

――馬場さんとはどんなお話をされたんですか？

金剛　あのとき初めて口を聞いたんだけど、「日本に帰ったら全日本に来てジャンボ（鶴田）を盛り上げてくれ」って言ってくれてね。

――もしそこで動いていたら、馬場さんとの対決が実現したかもしれないんですね。

金剛　馬場さんのところに行っていたら、プロレス人生も変わったかもしれないしね。結果論だけど。

――猪木さんの元に行くか、馬場さんの元に行くかで、人生はだいぶ変わってきますからね。

金剛　だからね、ボクは東郷さん、ガニア、馬場さんと、3回誘われたことになるのよ。（飼っている猫が近寄ってきて）ペコちゃ～ん（かわいらしく）！

――ペコちゃんですか（笑）。

金剛　そうだよォ。

――人なつっこい猫ですね（笑）。それで、猪木戦についてもう少しお聞きしたいんですけど。再戦の前にやった記者会見で猪木さんの歯を折ったらしいじゃないですか。

金剛　なんかそうらしいねえ。ボクは一戦目の記者会見で猪木さんに「パーンッ！」って張られたのさ。だから、今度はボクが手を出してやろうと思ってね。一回目は先輩だからね、やり返しちゃまずいと思ったけど、二回目はニューヨークで（ブルーノ・）サンマルチノとやったりして自信もついてたしね。

――それで歯をヘシ折っちゃったわけですか（笑）。

金剛　でも、こないだ『アサヒ芸能』見たらさ、あのときのことを新間がいろいろ書いてたでしょ？

――書いてましたね。

金剛　ボクが「約束が違うじゃないか！」って言ったって書いてあったけど、ボクはそんなこと一切言ってませんから！　殴ったついでに椅子で襲って振り回したから天井にぶつかって。それで帰ったからそんなことなんて言うヒマないし。

――「約束が違う」なんて言ってない、と。

金剛　それは新間のウソ！　しかも、新間が「小林が不器用だけど、大丈夫ですか？」って聞いたけど「プロなんだから任しとけ！」って猪木さんに言って、それでいい試合になったって書いてあったけど。それってボクがヘタで猪木さんに引っ張られていい試合なったってことでしょ？

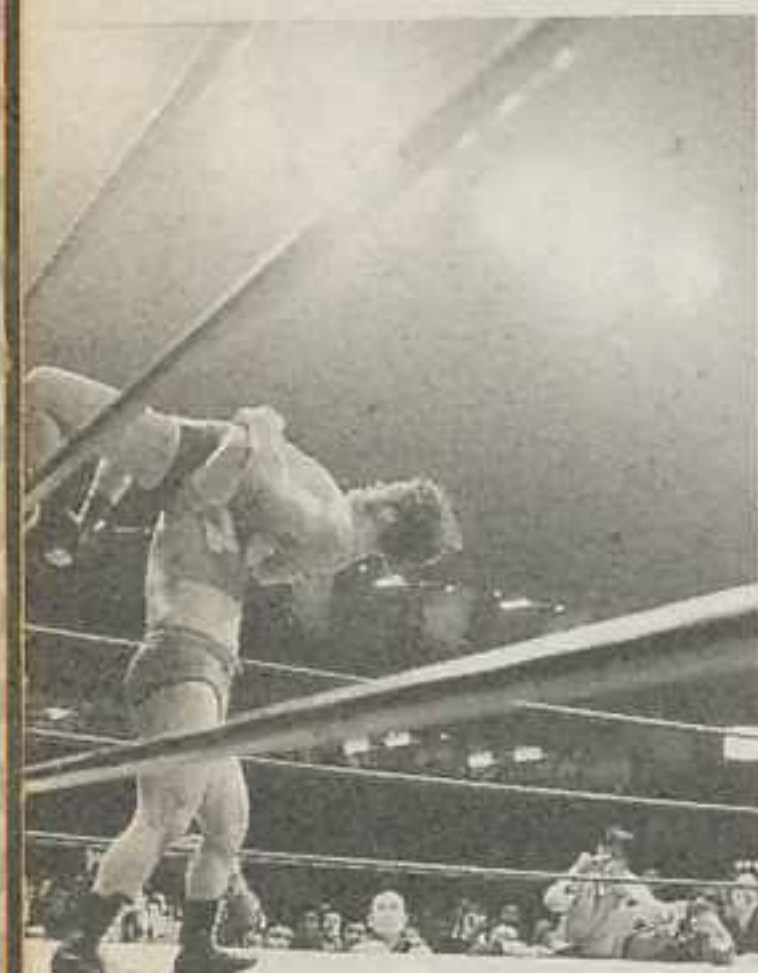
――まあ、そういうことでしょうね。

金剛　ボクはその記事を読んで、雑誌をひっちゃむいてやったさ!!

――『アサヒ芸能』を真っ二つにしちゃいましたか（笑）。

小林　そうよォ～！　それに再戦では、ボクの方が試合をリードしてたんだから！　そのあとの『アサヒ芸能』を読んでないからわからないけど、猪木さんの悪口を告発してるはずなのに正面から言わなくて周りから囲んでね、猪木さんを悪く

石井館長出し惜しみせず!

プロレスファンと言えども

無視はできないこの対決!

二日目はボクがやってやろうと思って。歯が折れたらしいね。

言ってないの!

—よく読んだら、周りの人が悪く言われてたわけですか(笑)。

金剛 そうでしょ! 猪木さんの悪口言うんだったら徹底的に言えばいいけど、芯を突いてなくて猪木さんを褒めている記事なんです。

—新間さん流の猪木さんに対する愛情が感じられますよね(笑)。

金剛 あれは新間が卑怯ですよ。ボクは悪口言わないのに何で言うんだろう? 「新間、約束が違うじゃねえか!」にしても、暗に八百長のことを言ってるんかなってね。

—新間さんがそういう話を書いたのには、ミスター高橋さんが「すべてのプロレスは勝敗が決められたショーだ」って趣旨の本を出した影響もあると思うんですよ。

金剛 う〜ん、ボクも『週刊現代』に記事が載っていたから読んだけどね。高橋さんにはキラー・カンが怒ってるんでしょ?

—カンさんが言うには、とりあえず「俺のことに関してはウソだ」「恨みでは書いてないって高橋さんは言ってるけど、店に来て新日本の悪口を言ってた」と。

金剛 う〜ん、だからあれじゃないのォ? まあ、それこそ新日本に対する恨みの結果だと思うね。ボクは高橋さんの本はどんなのかは知らないけど、ホントの面もあるだろうし、ウソの面もあるだろうし。それはちょっと高橋さんに聞いてみないとね。

—「八百長とか言われるんだったらショーと宣言したほうがいい」っていう高橋さんの主旨についてはどう思われます?

金剛 それは、プロレスの一番難しいところを突いたんじゃないの? 高橋さんには高橋さんの言い分があると思うけど。でも、自分がその道で20年以上も喰ってきて、そこを突くってことは腹いせみたいなことかもしれないしね。どのくらい売れてるのかわからないけど。

—7万部突破って広告には出てましたね。

金剛 ああ、そう! 部数売れた結果、高橋さんが堂々と町を歩くようになるんだったらボクも嬉しいけど。あの本を書いたおかげでコソコソ生活するようだったら寂しいね。高橋さんもいい人だしさ。

—金剛さんは、カミングアウト問題についてはどうお考えですか?

金剛 坂口さんとか藤波は何て言ってるの?

—みなさん、完全にノーコメントみたいですね。

金剛 でも、当事者のレスラーたちがコメントしなきゃ収まりがつかないよね。

—これだけ売れちゃうとさすがに無視は続けられないでしょうね。

金剛 新日本の関係者やレスラーが「高橋さんは●がおかしくて●●病だ」とか、なんか言うことあると思うよ(笑)。

—ダハハハ! 何かしら反論すべきだと(笑)。

金剛 否定してるのか肯定してるのか、それもわからないからね。

—ただでさえ最近はプロレスが総合格闘技系に押されつつあるわけなんですけど、金剛さんは『PRIDE』とか御覧になったことは?

金剛 あんまり見る機会はないね。

—ただ、金剛さんはああいう試合をやったこともあるわけじゃないですか。ブラジル遠征中、バリツーズ・ルールでイワン・ゴメスとやってるんですよね?

金剛 ああ、ゴメスっていうのがいたねえ(しみじみと)。ボクもブラジル行ったときやったんかなあ。メキシコでやったときもそうけど、ボクは自分のスタイルを押し通したからね。マスクマンで3ヵ月半いたけど、ボクは飛んだり跳ねたりできないし。

—じゃあ、ゴメス戦というのは記憶には残ってないんですか?

金剛 記憶にないねえ! ブラジルでも3カ所やったんじゃなぁい。サンパウロとブラジリアとリオ・デ・ジャネイロと。

—その遠征の最初の試合でゴメスが(ウイリアム・)ルスカとシュートの潰し合いをやったっていう伝説があるんですよね。

金剛 う〜ん、全然覚えがないなあァ。あんまり覚えがないってことは、それほど印象がなかったかもしれないねェ。

—まあ、金剛さんの好きなタイプの選手じゃなかったってことですかね。もう一つ確認したい伝説があるんですよ。

金剛 なにかなァ(笑)?

—スタン・ハンセンの自伝によると、金剛さんがボディスラムで投げられるときには右手で相手の股間を握るクセがあって、金剛さんは腰が悪かったから少しでもダメージを和らげようとしたのだろうってハンセンが書いてるんですよ。

金剛 ……ボクが投げらるときに股間を!? そんなことないよォ(笑)。

—あ、そうですか(笑)。

金剛 そんなバカげた(笑)。ここを握るわけ?

—握ると力が入らなくなるっていうことみたいですけど。

金剛 そんなわけないじゃん(笑)。それは誰かウソを言ってるんだよ。ボディスラムをやられてる写真を見たらわかるけど。

—それじゃ、これはデマだったんですね。

金剛 そうだよ、オカマじゃないんだしさ。

—安心しました(笑)。それで話は全く変わるんですけど、金剛さんは猪木戦後に新日本に入団されて、猪木さん、坂口さんとのトップ3として盛り上げていくわけですけど。

金剛 いやあ、最初だけね(かわいらしく)。まあ、国際プロレスはTBSでネット数が多かったから、ボクが入ったおかげでお客が増えたと思いますよ。昔の日本教育テレビ(現・テレビ朝日)は入ってる県が少なかったからね。でも、1年も経てばそういう光も忘れられてね。そのあとは長州や藤波をプッシュしていくから。

—新日本でもマッチメイクが悪くなっていくわけですね。

金剛 ボクも一応会社の役員だったんで、会社のためだと思うから後押ししたけどね。それが報いにならないうちに腰を痛めてしまったから。

—腰を痛めたきっかけは一体なんだったんですか?

金剛 それがわかんないの! 痛くなったのは鳥取の試合。昭和56年の7月30日だ。試合終わってさ、旅館に戻って鏡を見たらボクの体が曲がっていてね。どこで痛めたのかは全然覚えがない。まあ、それが縁で芸能界への道が開けたんだけどね。

—芸能界でも大活躍されましたもんね!

金剛 療養してるときに京都の撮影所から、身体の大きい坊主役だっていうことで電話があってね。ボクはすぐプロレスに復帰するつもり

笑顔がステキなレスラーに触れる
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

これだけの筋肉を見せるにはいいと思ったんですよ

だったけど、一生のうちに一回でもやれば話のタネだと思ってさ。

——それが『伊賀忍法帖』だったわけですね。

金剛　そうそう。ちょい役かなって思って台本見たらさ、五人坊主のうちの一人で主演の真田広之とも格闘シーンがあって、監督も「ぜひ頭剃ってくれ！」っていうことで。そのときの役名が金剛坊っていってね。それでストロング小林からストロング金剛に改名したの！　それで、すぐ『銭形平次』の撮影もあってね。ボクが呉服屋の荷車の暴走で手を失っちゃう役なの。それで逆恨みしてさ、熊のぬいぐるみを着て鉄の爪を付けて呉服屋を次々襲うっていうさ（笑）。

——それはビデオで見ましたよ！　平次親分に「怪しい奴を見なかったか？」って聞かれる金剛さんが、あからさまに怪しすぎるっていう（笑）。

金剛　ああ、そうォ～（嬉しそうに）。最期は橋蔵さんの投げ銭が目に入って御用になるんだけどね。そんなのもあったよォ！　そのあとに『Gメン83』の香港ロケに2週間ぐらい行ってさ。次から次に仕事が入ってきたの（またもや嬉しそうに）！

——いきなりブレイクしたわけですね！　リングへの復帰は頭になかったわけですか？

金剛　いや、そんなこともないよ。京都の衣装部に頼んで坊主衣装一式貰って、それをリング衣装にしようと思ったぐらいだから。でも、「今度腰を痛めたら人間廃業だ！」って宣告されて、それでプロレスを諦めたの。

——それで、引退式をやったんですね。

金剛　ああ、昭和59年8月ね。それで芸能界も忙しくなったから、役員の席も返して。それでボクが抜けた役員の席に藤波が入ってきたんですよ。

——その藤波さんが、いまや社長ですからね。

金剛　59年に長州一派が抜けたでしょ？　そのときに藤波も加わるはずだったんだけど、役員の席があるから加わらなかったんじゃないかな。ボクは社内にいなかったから、わかんないけどね。

——多分当たってると思います（笑）。

金剛　長州はねえ、全日本から戻ってきて不器用なのにマッチメイク

平成4年3月1日に横浜アリーナで行われた新日本20周年記念興行において、坂口とのタッグで一夜限りの復活をした金剛。試合はシン＆上田馬の助を相手に反則勝ちを収めた。ちなみにこの日は星野勘太郎と山本小鉄のヤマハ・ブラザーズも復活をはたした。

石井館長出し惜しみせず！

プロレスファンと言えども

無視はできないこの対決！

笑顔がステキなレスラーに触れる実録！ 豪傑一代記

紙のプロレス

スーパースター列伝

素晴らしい筋肉の2人が見つめ合うだけで絵になる

とかやりだしたでしょ？ 長州はイクイク、イケイケの試合が魅力なんだよね。それがマッチメイクを動かし始めて、なまじっか全体のバランスを見るからダメになっていく。それは天龍も一緒だよ。

――お互い、トップに立つと光らなくなっちゃうタイプですよね。

金剛 ボクはプロレスからもう縁を切っていて見てるから、よくわかるの。

――金剛さんは一回、坂口さんと組んで新日本20周年記念興行に出られただけで、基本的にプロレス界から距離を置いてますからね。

金剛 あぁァ！ あれもね、坂口さんから電話もらったの。一緒にリングに上がってくれっていうから、引退して10年も経ってるのにみっともないからいいって言ったんだけどね。でも、引退して10年経った人間がね、これだけの筋肉を見せるためにはいいなって思って行ったんだよ。

――普通、あれだけのブランクがあったら上半身裸で試合なんかできないですからね。

金剛 いまね、裸の話が出たから言うけど、本当のプロレスの魅力というのはリングだけがスポットライトを浴びた薄暗い会場でね、観客にない素晴らしい筋肉を持った2人が黙って見つめ合う！ それだけで絵になるものなんですよ。それを観客が固唾を飲んで見守るのがプロレスの原点！ ボクが印象深いのは、（フリッツ・フォン・）エリック！ 大股でリングでノシノシ歩くだけで雰囲気作ってさ。いまみたいなレーザー光線や音楽も結構だけど、あの雰囲気は作れないと思うよ。いまはタイツにしてもサイケ調の長いタイツを履いてる人が多いでしょ？ でも、レスラーは肉体で強いんだってことを見せなきゃね。

――いまは肉体だけで魅せられるレスラーがいないですからね。その分、金剛さんはいまでも筋肉隆々って感じですけど。

金剛 カラダの艶もいいでしょォ（自信満々に）？

――顔も活き活きしてますよ！

金剛 やっぱり健康のために運動してるしさ。

――部屋のそこらにバーベルが転がってますからね（笑）。レギュラー出演されていた『風雲！ たけし城』で腰に致命的なダメージを負ったって噂を聞いていたんですけど、まだまだ元気で何よりです！

金剛 あ、それは『元気が出るテレビ』。沖縄ロケで落とし穴に落ちて右足を痛めたの。あれもバカなことしたねえ（しみじみと）。自分の身体を過信した結果なの。沖縄の浜辺に落とし穴を掘って、島崎（俊郎）ってやつと走ってボクが落とし穴に落ちる企画だったのね。砂の上に発泡スチロールが置いてあって、ボクは左足が悪いから右足で踏め込むように調整してやったんだけど、落とし穴が2メーターあったのさ！

――それはキツイですね（笑）。ちょうど全身見えなくなっちゃうぐらいの深さだった、と。

吉田豪の目の色がギラリと変わった特大ポスターがこれ。吉田がまた金剛邸を訪れればプレゼントする約束だったが、突然の札幌出張によって中止に。それでもジャン斉藤が原稿チェックに訪れた際に「吉田クンにポスター持ってってよォ」とビックハートぶりを見せつけ、ジャンには和菓子、ラーメン、チーズケーキ、チョコレートを振る舞うなど熱烈歓迎。ごちそうさまでした！

金剛 その晩から右足がね……。それまでは右足一本で走ったり担ぎ上げたりしてたんだけど、あの番組で走ったのが最後。

――それっきり走れなくなっちゃったんですか！

金剛 これも運命でしょうがないと思ってるんだけど……。そのあとに俳優協会から「制作会社と話し合いしますよ」なんてこともあったけど、「大ゴトになるからいいよ」ってね。

――芸能活動も大変だったんですねえ……。そんな隠されたエピソードがあったとは。金剛さんの私生活というと、お母さんと仲が良いぐらいしか知られてないですからね。

金剛 いつも一緒にいたからねえ。ウチのお母さんは平成7年の4月30日にさ、死んだんさ。ちょうどボクが出てる『吉宗』を見て、その30分後にね。お母さんの死を間近に見てさ、人間はもらった寿命以上に健康で長生きしなきゃいけないと思ってさ。ボクも芸能界やプロレスの仕事で、年がら年中外に出てたんですよ。それが男の生き甲斐みたいなものもあったけど、その死を見つめてからさ、他人に拘束されない自分の時間を大事しなきゃいけないって思ってさ。それで、いまはのんびりしてるの。肉体的な健康も大事だけど、精神的な健康も大切だしね。

――いま、金剛さんはどっちも手にしたわけですね。

金剛 いやあ、そういうわけじゃないけど、ボクはどっちも気にしてるから。毎日笑いを欠かさないことを心がけているの。笑っているときが血液の流れとかホルモンのバランスが一番いいらしいですよ。

――金剛さんは笑顔もステキですよね！

金剛 いやあ、フフフフ（嬉しそうに）！ 笑顔のほうが気持ちがいいいし、されたほうも気持ちがいいんだよね。（唐突に）キミは結婚してるの？

――いや、してないですけど。

金剛 ああ、そうォ。たとえばね、家庭でも相手が直すのを待ってるんじゃダメ！ 自分から直すことを心がけて笑顔を作らないとね。よく世界の平和、日本の平和なんて言う人がいるけど、家庭の平和ですらできてない人は口事だけで終わっちゃうわけ。わかる？

――なるほど。大変よくわかりました！ とにかく、大事なのは笑顔ってことですね（笑）。

金剛 そう（満面の笑みで）。今度は仕事じゃなくてね、ゆっくり遊びにきなさい。2階にいろいろ資料もあるから。

――はい（笑）。今日はありがとうございました！ それでは失礼します！（と、玄関に向かうと金剛のEP『俺は闘犬』のポスターを発見し）これは、いいですねえ！

金剛 今度、来たらあげるよ。どうせ、この原稿を見せに来るだろう？ そのときにあげる！ 他にも昔のポスターとかたくさんあげるから！

――い、いや、それはすごく欲しいんですが、ボクは来れないと思うんですけど……。

金剛 なに？ 来ないとホントに怒るよ！

――前向きに考えます（笑）。

金剛 ん!? 前向きにじゃないの！ ちゃんと来るんだよ！

――ダハハハ！ わかりました！

【02年2月4日／ストロング金剛邸にて】

SAITAMA SUPER ARENA

PRIDE.19

SUNDAY NIGHT

START 16:00

TITLE MATCH

CHALLENGER

CHAMPION

KIYOSHI
TAMURA
[JAPAN]

VS

WANDEREI
SILVA
[BRAZIL]

何が起こり、何が見えるのか？
『PRIDE』の磁場を狂わす大決戦

カード決定で巻き起こった波紋。想像するだけでハラハラドキドキの試合内容。そしてその後に見えてくる『PRIDE』の新たな風景。
そんな、試合前から試合後まで血沸き肉踊ることこの上ない「田村vsシウバ」を、マット界が誇る6人の論客が徹底分析！
地域によっては発売が決戦後かもしれないが、それでも、読むんだよ！ この大決戦の意義を振り返れ！ 【構成／ジャン斉藤】

「電気人間」田村潔司

感電死殺法で勝つのはオマエだ!

ターザン山本

人の神経を逆撫でする。もちろん一般社会では、よくないことである。もし、そんな人間がまわりにいたら、総スカンを喰うだろう。ただし、これがプロの世界だと話は違ってくる。間接的な手法を使って、ライバルたちを逆撫でするのはいわゆる〝あり〟なのだ。

なぜそれが〝あり〟かというと、敵の一番痛いところを突いているからだ。心理作戦としては、これほど有効な手はない。何をやったら敵が苛立つのか? それがわからないようだったらプロとは言えない。

プロの定義とは「喰うか、喰われるか」の世界だからだ。生き残るためには手段を選ぶなである。人の神経を逆撫でするといっても、要は程度の問題なのだ。サイコロジー・ウォー(心理戦争)においては、人は多かれ少なかれ人を逆撫ですることは、実はみんなやっている。ただ、露骨に目立つような形ではやっていない。

誰も悪者にはなりたくないからだ。だが時として人の神経を逆撫ですることが、隠れた得意技になっている者がいる。それが得意技だったら許せるのだ。田村潔司がまさに〝その人〟である。

彼は存在自体が〝負の電圧〟を発動しているのだ。たとえていうと「電気鰻」(デンキウナギ、またはシビレウナギともいう)「電気水母」(デンキクラゲ、カツオのエボシの俗称)。つまりそれに触ると電気に感電したような痛みまたは激痛をともなう。

そこまでいったら田村選手に対して失礼な感じがするが、彼には近づくと感電しそうな雰囲気があることはたしか。いうなれば「電気人間」みたいなもの。その内容は「感電させて勝つ」というやり方である。

逆撫でというイメージは、どこかこの感電した時の激痛に似ている。2月24日、さいたまスーパーアリーナにおける『PRIDE』のカードの中にヴァンダレイ・シウバ対田村潔司戦があった。これなんかまさに田村選手の思うつぼ。彼の持ち味であるみんなの神経を逆撫でするパワーを大爆発させてくれた。もう拍手喝采ものだった。

お見事、でかしたぞ田村。それでこそ君は君自身なのだと言いたくなった。2月24日の『PRIDE』の興行には、桜庭和志と藤田和之の2人がケガをして出れない。

その間隔を突いてちゃっかりシウバ戦に名乗りをあげ主役の座をとった。田村選手にとってこんなにおいしすぎるチャンスは、2度とないだろう。しかしそれは同時にシウバに2度、敗れている桜庭選手の気持ちを、逆撫でする行為。また『PRIDE』にずっと貢献してきた高田道場にとっても、非常に神経にさわるやり方である。

それをまるで自然かつ平気でやってしまうところが「電気人間」田村潔司の面目躍如ではないか? 高田延彦が田村選手に不快感をあらわしているのは当然である。

それは「電気人間」に対して猛反発、嫌悪感でもあるのだ。ということは高田選手の中に「ひょっとして田村はシウバに勝ってしまうかもしれない」という不安と予感が、あるということである。

そうでないと高田選手はあんなにイラつかない。たしかに考えてみるとあの憎たらしいシウバをやっつけるのは〝サクちゃん〟こと桜庭選手よりも「電気人間」田村選手の感電死殺法の方が有効な気がしてきた。

田村はシウバ戦については「我に勝算あり」と見込んででてきているのだ。我々ファンとしては田村選手にシウバに勝って欲しい気持ちと田村選手がシウバに勝ってしまったら桜庭選手の立場は一体、どうなるのかという心配もある。

田村、桜庭、ファンというこれは〝三角関係の論理〟である。悪く言えばこんなに嫌みな人間はいない。しかしそれも田村選手一流のアングルとしたら彼はプロだ。という理由で田村選手は今回、勝つと見た。

ターザンが田村を定義した!

SAITAMA SUPER ARENA
PRIDE.19
SUNDAY NIGHT
START 16:00
TITLE MATCH
CHALLENGER KIYOSHI TAMURA JAPAN VS CHAMPION WANDERLEI SILVA BRAZIL

「猪木軍vsK—1」のあとに『PRIDE』は、よっぽどのことをやらないと取り返しのつかないことになるなと思っていたら、とんでもない隠し玉が用意されていた。それが「アイ・アム・UWF」田村潔司の参戦である。

「猪木軍vsK—1」のような単発の刺激を与えられた時、『PRIDE』を安心して見てられるためには、やはり桜庭和志の存在が必要。しかし、その桜庭が長期欠場ということもあって、『PRIDE』はある意味、危機に立たされている。そんな状況の中で、桜庭の変わりになるのは誰だろうと考えていたら、『PRIDE』は最も適任であり、最も桜庭が嫌がる男を用意した。出場を口説き落としたDSEも、このタイミングで突然出てきた田村も、それは見事としかいいようがない。

日本の総合格闘技は、ある意味、ベースにプロレスラーの存在がなければ、ここまでブレイクしなかった。『PRIDE』躍進の原動力になったのも、高田道場と桜庭和志の活躍と、藤田和之・安田忠夫ら「猪木軍団」の参入がなければ有りえないことだった。つまり、『PRIDE』が〝最強の格闘技は何か？〟をコンセプトにしたイベントならば「プロレスラー最強」の遺伝子が最大の原動力となって、ここまで広がったと言える。

その「プロレスラー最強」の遺伝子を分かりやすくすると、「猪木軍団」と「UWF」ということになる。「猪木軍団」と「UWF」の違いは、「猪木軍団」は普段はプロレスをやりながら、いざバーリ・トゥードに出てきても強い集団をめざしているのに対し、「UWF」は最初からプロレスそのものを総合格闘技化していった集団だ。

田村はその「UWF」の遺伝子を受け継ぎ〝我こそはU〟と名乗っている男。だが「UWF」がプロレスの総合格闘技化をめざす運動体だとしたならば、ひとつの懸念として、プロレスラーがプロレスラーに見えなくなってくる現象が生まれてくる。そう考えると、パンクラスの船木誠勝、鈴木みのる以降、プロレスラーの匂いを最も感じさせるのが、私にとって桜庭と田村の2人しかいないのである。

桜庭はリング上の自由な発想で、まずプロレスラーを感じさせてくれた。『PRIDE』では、時には猪木劇場を越えるインパクトの試合をやって、桜庭はプロレスラーを感じさせる。その一方で、田村にプロレスラーの匂いを感じるのは、やっぱり変わり者だというところだ。

田村は実にプロレスラーらしい感性で行動を起こす。Uインター崩壊時にK—1のリングでパトスミと闘った時もそうだし、リングスに行った時もそうだった。そして、今回の『PRIDE』参戦も、実にプロレスラーとしての出方を知っているなというタイミング。田村がリングスを辞めた理由は、田村のそうしたプロレス的感性をリングス自体が矯正していく方向に動いていたからだろう。『KOK』やアブダビの田村を見ていたら、そんな感じがした。

田村が今回『PRIDE』に参戦した最大の理由は、タイミングだと思う。〝ここぞ〟というところで、自分がシウバとメインで、タイトルマッチをやれば、必ず波紋が起こる。その波紋がなぜ起こるといったら高田道場がきっと嫌な感情を抱くからだということは、田村くらい頭がいい選手になると、ちゃんと計算しているに違いない。少なくとも〝確信犯だな〟という幻想を抱かせるところに、田村のプロレスラー度の高さを見るのだ。

桜庭が最も嫌がる男「アイ・アム・UWF」田村潔司

「SRS-DX」編集長

谷川貞治

前号の「キミは立ち技に“プロレス”が見れるか？」原稿は、泥酔していたため書いたことすら覚えていなかったサダハルンバ谷川。今号では締切を「すっかり忘れていた」のだが、30分後にはアッという間に完筆！　まさしくワークマシーンなサダハルンバの機械的な原稿を、とくと堪能せよ！

では、そんな田村がシウバ相手にどんな試合を見せるのか？　パトスミの時のようにあっという間にシウバを極めて周囲を驚かせる。ヘンゾに勝った時のようにスカして判定勝ちをする。アイブルのときのようにボコボコにされながら受けの美学を見せる……などいろんなパターンが考えられるが、どの展開になっても、いかにも田村らしくてOKだ。

でも、田村と桜庭が仲が悪いのならば、たとえばどんな展開になっても、田村に勝ってもらったほうが面白くなるに決まっている。そういう思いからも、『PRIDE.19』の田村は応援しないわけにはいかないだろう。やっぱり、田村vs桜庭が見えてきたほうが、ファン的には盛り上がるからだ。

田村は本当にシウバに勝つことしか考えてないだろうし、その向こうには桜庭戦をちょっぴり視界に入れているだろう。田村のことだから、桜庭戦以上に、『PRIDE』ルールそのものをロープエスケープ有りのUWFルールに変える主張をしはじめるかもしれない。田村がチャンピオンになって、『PRIDE』の屋台骨を揺さぶろうというわけだ。そうなれば、ますます高田道場勢が黙っていられなくなる。

だが、シウバは正直言って強い！　田村が負ける可能性も五分と五分。しかし、たとえ田村が負けたとしても、どういう行動を次にとるのか、それも気になるところである。たとえば、高田延彦が言うように、ムリーロ・ニンジャやダン・ヘンダーソンと闘って一から実績を作る田村も見てみたいし、まったく別のリングに上がる田村も見てみたい。それもこれも、実に田村らしく、プロレスラーらしい行動に見えるはずだ。

田村はホント、気になる存在である。U系と言われる選手の中で、プロレスラーの匂いがする最後の選手。そこが、パンクラスとはちょっと違う意味を持っている。だからこそ、『PRIDE』でも、この一戦が何かの始まりになってほしいのだ。

くれぐれも言っておくが、田村が勝ったほうが展開が面白くなるに決まってる。だったら、この日はシウバではなく、田村を応援しようじゃないか。もちろん、桜庭の気持ちも十分分かるけど。

官能のUWFレクイエム

文／歌うシュート活字王
田中正志

勝つのはヴァンダレイ・シウバだろう。だけどそんなことはどうだってイイじゃないか。田村潔司ファンが見たいのは、滅びゆくUWFの美学なんだから。

プロレスをやってクルクル回っても、格闘技でハラハラ、ドキドキさせても、いつだって田村は美しかった。それで闘う姿が美しかった代償は大きくて、リングスから卒業する頃にはもう体はボロボロだった。だからその時点で格闘技戦に4連敗してようが、星取り表は重要じゃなかったのだ。その田村がリングに復帰するという。しかもZERO—ONEのようなプロレスではなく、U—FILE CAMPの弟子たちがお世話になってるパンクラスでもない、UWFとは余りにも理念の違うバリー・トゥードの『PRIDE』の大舞台だという。もう行くしかない！ ミドル級選手権試合の目撃者となることの方が先なのである。

わたしたちは禁断の実を食べてしまったのだ。捜し求めていた「誰が本当に強いのか？」の最後の扉をこじ開けた途端、再び底なし沼に突き落とされてしまった。お金を払って見に行くのは、勝った負けたではなかったからだ。思いを込めた選手の生き様を見届ける時、エンタテインメントとリアルファイトは奇跡のハーモニーを奏でる。それが93年から始まったシュート革命の正体だった。

真実はいつだって残酷なものだ。リングス無差別級王者というプロレスのチャンピオン・ベルトが、格闘技ルールで防衛戦が行われ、田村の腰からギルバート・アイブルに移動した風景。4千年も前のエジプト壁画に刻み込まれた、魅せるためのスープレックス技（つまり相手の協力が必要）が象徴するように、太古の昔から、客の前で行われるメインの試合に純粋な勝負論はなかったハズ。なのに、その定説が破られたことを。

それは99年のシリーズ名〝RISE〟の一回目と二回目のこと。前田日明が選手として消えた直後、わたしたちは歴史が覆る瞬間の目撃者となっていた。もっともその年の6月に行われた山本宜久（現・憲尚）と田村の名勝負数え唄は、この年の「プロレス最高試合」になる。96年末の福岡で、お互いの道場論を背負った戦いはもう決着がついている。だから二人はシュート、ワークを超えた感動を魅せる段階に登りつめたのだ。

そして99年冬、総合格闘技の新しい競技ルール「KOK」が発進。UWF伝説はファンタジーとリアリティーの一致という、究極のクライマックスを世紀末に実現している。

田村伝説は「うどん屋職人」の理念を貫き、新日本プロレスの対抗戦に出なかったことで始まった。そして外様のリングであるリングスでも、UWFの三文字にこだわって激しく感情を揺さぶってきた。そんな彼が金に転んでプライドに出たら、田村と一緒に夢を見させてもらったU信者はどうなってしまうのだろうか？

もう田村自身は「うどん屋」発言も「高田さん！ 僕と真剣勝負して下さい」も若気の至りだったと否定してしまっている。ああ、なんてこった。この裏切り者が！

リングスが潰れた犯人としても汚名を着せられてしまった。だけど前田劇場が解散したのは、例えばその最終戦に僕が取材申請したら、「社長がシュート活字を嫌ってるから」と入場を拒否した体質であって、田村のせいでもなければ金原弘光のおばさん顔が問題なのでもない。前田一人で始まった実験団体は、大将が裸の王様であり続けたことで自滅したのである。

でも、いいんだよ。ドン・フライとケン・シャムロックじゃ夢が見れないのに、田村はヘンゾ・グレイシーに勝って神になってしまった存在だから。そろそろシウバの連勝記録につまづきがあってもよさそうな確立論から、新婚ボケで集中できてない私生活情報まで、タムタム勝利の祈りは始まっている。勝った後のマイク内容まで、ネット掲示板では幻想が爆発して暴走列車になっている。

なんてステキなんだろう。試合を想像するだけでたっぷり楽しめる大一番なんて久しぶりじゃないか！

早くからプロレスの情報公開を訴えていた高田馬場の狂える活字王。最近では「39Tシャツ」を身にまとい、「SPA！」誌上でミスター高橋インタビューを敢行するなど、いろいろな意味でインパクトを業界に与えている。

ド素人のための「田村vsシウバ」講座

講師／日本武道傳骨法創始師範
堀辺正史

シウバの隙

まず、田村選手の『PRIDE』参戦はもの凄く新鮮なかんじがしますね。それはプロレスラーが出るというからじゃなく、総合格闘技のスタイルはここ数年でだいぶ変わってきましたけど、田村選手の場合は〝UWFの残景〟が見える選手だから新鮮に感じるんですよォォ！　『PRIDE』には高田道場に関係している日本人選手の出場が多かったこともあるので、これでかなり『PRIDE』の風景が変わってきます！

勝敗に関して言えば、同じ日本人ということで田村選手を応援したいのですが……シウバ選手が60～70％の確率でグランドからパンチで殴り勝つでしょう！　シウバ選手みたいに打撃を主体にした寝技は田村選手は初めての経験だと思いますから、その部分にどうしても一抹の不安を感じてしまうんですよ。ただ、シウバ選手はアグレッシブな攻撃を仕掛けるゆえに慎重さを欠いてしまい隙が生まれます。あの強烈な攻撃をかわしてその隙を突けるかどうか!?　これは剛と柔の闘いですよォ！

テイクダウンの瞬間

田村選手はボクシングテクニックのセンスは素晴らしいものを持っています。シュートボクセ勢は蹴りをキャッチしてからのテイクダウンをするのが優れてますから、手技が有効になってくる。キックでなくパンチで攻めれば勝機を見いだせます！　しかしッ！　田村選手のボクシングテクニックを持ってしてでもシウバを打撃では倒せないと思うんです。いかにシウバのパンチとヒザ蹴りを喰らわないでテイクダウンを奪い、一瞬にして関節を極められるかですよォォ！　この一瞬が大事です！　シウバ選手は下からでも強烈な打撃を持っているので、長引くと極めることは難しくなってくる公算が非常に高いです。田村選手がテイクダウンを取った瞬間。そこがこの試合のポイントです。これは一瞬も見逃せない闘いですォォ！

極限状態の田村

仮に田村選手がシウバ選手と打撃で打ち合って、目を腫らしたり流血をしたとしましょう。そんな極限状態に田村選手が追い込まれてから、どんな動きを見せてくれるか興味深いです！　いままでとは違う、田村潔司の本性が見えるわけですよォォ！　それによって田村選手が、技術的にも精神的にも肉体的にも、トータルの部分でどのくらいレベルにいるのかというのがハッキリすると思いますよォォ！　彼としても総決算の試合だと思ってるんじゃないですか？　これは田村選手の格闘技人生の評価が定まる闘いです！

シウバの奥さん

シウバは結婚したばかりですよね？　それでは体力を消耗して来日するかもしれませんね！　これはシウバの奥さん次第の闘いです（笑）。

SAITAMA SUPER ARENA
PRIDE.19
SUNDAY NIGHT
START 16:00
TITLE MATCH
CHALLENGER　CHAMPION
KIYOSHI TAMURA (JAPAN) vs WANDERLEI SILVA (BRAZIL)

テイクダウンの瞬間がポイントです！

本誌において、バーリトゥードの見方をわかりやすくレクチャーする頼もしき堀辺正史師範。話題騒然の"田村vsシウバ"の見方ももちろん教えてくれます！　最近では月一度、講演会を催しており、そちらも必聴！　詳しくはP114情報ページまで急げ！

Uインターの頭脳だった男

宮戸優光

宮戸優光が主宰し、あのビル・ロビンソンが指導する「UWFスネークピットジャパン」では新規会員を募集中！
【入会金】￥20000
【月会費】一般￥12000　女性￥10000
杉並区高円寺北2-15-1-2F TEL.03-3337-1889

SAITAMA SUPER ARENA
PRIDE.19
SUNDAY NIGHT
START 16:00
TITLE MATCH
CHALLENGER
CHAMPION
KIYOSHI TAMURA (JAPAN) VS WANDERLEI SILVA (BRAZIL)

ボクは変に予想したくないです。タムちゃんだって外野に言われたら気分悪いと思うし。（田村と）高田道場さんとの関係は、ボクはよくわからないんで何とも言えないです。どういうことでそうなっているのかわからない。ボクからすれば、どちらも昔一緒にやっていた仲間なんで。
（田村vsシウバ戦に関して）1つだけ言えるのは、いまタムちゃんはフリーでしょ。フリーになったということは後ろ盾がないってことです。負けたり、内容が悪かったら次がないわけですよ。シウバという相手は強豪で大変ですけど、いまのタムちゃんの立場はもっと大変なんです。だから、（『PRIDE』出場は）それなりに考えたことでの決断だとは思いますね。そういう意味では精神状態はかつてのパトスミ戦に共通してると思います。そうなったときのタムちゃんはとっても強いですよ。

この一戦は、田村が有利です。

『紙プロ』本誌22号以来、6年ぶりに
「ゴング格闘技」熊久保英幸（クマクマンボ）登場……ならず!

本当はクマクマンボの原稿が入るハズでした本当はクマクマンボの原稿が入るハズでした本当はクマクマンボの原稿が入るハズでしたもしくは談話が入るハズでしたもしくは談話が入るハズでしたもしくは談話が入るハズでした………。
「ゴン格」熊久保さんは「大人の事情」により登場ならず！ し、しかも、締切当日になって、ヒ、ヒドイ（血の涙）！ 本誌鬼畜編集長・山口日昇が「ゴン格」のリングス増刊号で行われた座談会にノコノコ出ていったのに対し、非常にケツのアナが小さいというか……などとは一切思ってません！ ゴン格がやらねば誰がやる！「田村vsシウバ」については『紙プロ』と同じ発売日の「ゴン格」4月号をお読みください。特集してるはずです、多分に。ホラ、隣に積んであるでしょ？ 違うって、それは「週ゴン」！ そんなわけで、前号読者アンケート「田村vsシウバの勝利者予想」、緊急発進！

読者が大予想! 田村vsシウバ、勝つのはどっち?

【田村が勝つ!】読者の声

★アイツのヤバサが見たいです（東京都・高橋正樹さん）
★いつも夢をみせてくれたから（東京都・鶴田喜樹さん）
★田村、やれんのかーッ！ というかやるでしょ！（茨城県・爆発女さん）
★リングスでシウバより強いやつとやってきたから（愛媛県・坂上英樹さん）
★パトスミ戦の感動をもう一度（愛知県・寺元功弘さん）
★田村圧勝。これ定説（大阪府・三宅徳仁さん）
★試合前のガンの飛ばし合いでも勝つ（神奈川県・佐々木高次さん）
★ここぞというときはやっぱり田村！（広島県・丸尾輝さん）
★田村と生年月日が同じだから（神奈川県・甲下雅也さん）
★田村が勝つと流れが出来るので（東京都・三田美智子さん）

などなど **323人**

【やっぱりシウバ!】読者の声

★アイブル戦同様、ボコボコにされるでしょう（香川県・木下富康さん）
★１０００％ヴァンダレイ・シウバ（山口県・石田真一さん）
★サクちゃんにブッ倒してほしいっす!!（大分県・高原恵子さん）
★シウバ。くやしいけど……（愛知県・松本拳音さん）
★休養明け久々の馬にはツライペースになりそうなため（兵庫県・竹内英人）
★桜庭の乱入より（北海道・佐藤稔さん）
★一億万歩譲ってもシウバ（福島県・ヤングさん）
★田村の良いところが出る前に秒殺するかも（東京都・田中秀子さん）
★パンチのテクはシウバの方が数段上！（宮城県・鈴木一也さん）
★ヒザ！ヒザ！ヒザ！炸裂します！（埼玉県・スーパーアリーナさん）

などなど **201人**

読者予想では田村! 現実はどうなる……!?

イゴール・ボブチャンチン
（ウクライナ／フリー）

vs ヒース・ヒーリング
（アメリカ／ゴールデン・グローリー）

荒馬が北の最終兵器に "世代闘争" を突きつけた！

ＵＦＣやリングス、パンクラス、はたまたプロレスからの参入組が多い『ＰＲＩＤＥ』マットの中で、『ＰＲＩＤＥ』が独自にスターに育て上げたボブとヒーリングの一戦は、『ＰＲＩＤＥ』の常連ファンには最も期待されるカードであろう。お互い "霊長類最強の男" を沈めてスターダムにのし上がった二人であるが、新陳代謝が激しい『ＰＲＩＤＥ』マット、いまやベテランといってもいいボブチャン（28）と日の出の勢いのヒーリング（23）の闘いは、『ＰＲＩＤＥ』版の "世代闘争" と言えるだろう。はたして、時代は変わるのか？

ケン・シャムロック
（アメリカ／ライオンズ・デン）

vs ドン・フライ
（アメリカ／フリー）

暴力の匂いがする "アルティメット王" 対決！

アメリカでの記者会見では、本人不在のまま、勝手に「マイク・タイソンへの挑戦権争奪戦」として盛り上がるこの一戦。"正義の消防士" フライに対する悪党シャムロックの構図、さらに不仲説から何からすべてアングルに見えてしまうが、単純にそんな付加価値がなくても、元アルティメット王者同士として実に楽しみなカードだ。両者とも、そのパンチ力と暴力的な戦いぶりには定評があるだけに、初期アルティメットを彷彿させるような、血生臭い "決闘" を見せてほしい。

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
（ブラジル／ブラジリアン・トップチーム）

vs エンセン井上
（日本／PUREBRED大宮）

完全無欠の王者に大和魂が "死合" を仕掛ける！

一昨年12月のヒーリング戦後に突然の引退を表明したエンセンが一夜限りのカムバック。完全無欠の王者・ノゲイラに命懸けで闘いを挑むことになった。昨年はＫＯＫで優勝、ＰＲＩＤＥヘビー級王座奪取と１年を通して極限の闘いを制してきた "超獣" ノゲイラは、熱望していた12・31『猪木祭り』出場はかなわなかったものの、逆に休暇がとれたことで、万全の体調で挑んでくる。さすがにこの相手ではエンセンも分が悪いが、「相手に隙がない分作戦なしで向かっていける」と語るように、玉砕覚悟の大胆な攻めを行う覚悟。ランディ・クートゥアー戦以来の大番狂わせに期待だ。

ペレ（ブラジル／シュートボクセ） vs

カーロス・ニュートン
（英領バージン諸島／ウォリアー・マーシャルアーツセンター）

中量級夢のカード実現！ 今大会ナンバー1の技術戦だ！

松井にまさかの判定負けを喫してしまったものの、中量級屈指の大物であることは変わらないペレ。前ＵＦＣウエルター級王者である、"サムライ" カーロス・ニュートンとの一戦は、世界のＶＴファンが注目する闘いといえるだろう。とにかく動きまくるペレに対し、ニュートンも "ボール" の異名を持つ通り、こちらはグラウンドでの動きが決して止まらないアグレッシブなファイター。試合内容だけで考えれば、今大会ベストバウト候補の筆頭だ。

DSEが本気になった！
全試合見逃せない好カード続出!!

田村vsシウバだけじゃない！

こんな「PRIDE」を待っていた！

2・24さいたまスーパーアリーナ
「PRIDE.19」ドドドドド直前 全カード見どころ大紹介

田村vsシウバで燃えに燃え上がる『PRIDE.19』。
しかし、本気になったドリームさん（ノブ兄さん調）は、
追い打ちをかけるように、その他にもズラリと好カードを並べてきた！
どれもこれも魅力たっぷりのラインナップ！
『PRIDE.19』ド直前にどの見どころを駆け足で紹介します！

Uはお前なんだよ!

2・24「PRIDE.19」でこれを着ろ!

田村Tシャツ緊急発売!!

PRIDE.19会場&「紙プロ」通販他で

FRONT

BACK

田村潔司「U」Tシャツ
ホワイト／ネイビー S.M.L ¥3800

通信販売方法

田村Tシャツ緊急発売決定！　2・24『PRIDE・19』会場でも販売いたしますが、当日会場に来られない方のために通信販売も受け付けます。ご購入を希望される方は、希望商品名、サイズ、色、枚数を明記の上、下記の要領でお申し込み下さい。代金は3800円＋送料500円、計4300円です（送料は何枚申し込まれても500円です）。尚、「グレート・アンドニオ」他、直販店でも販売いたしております。

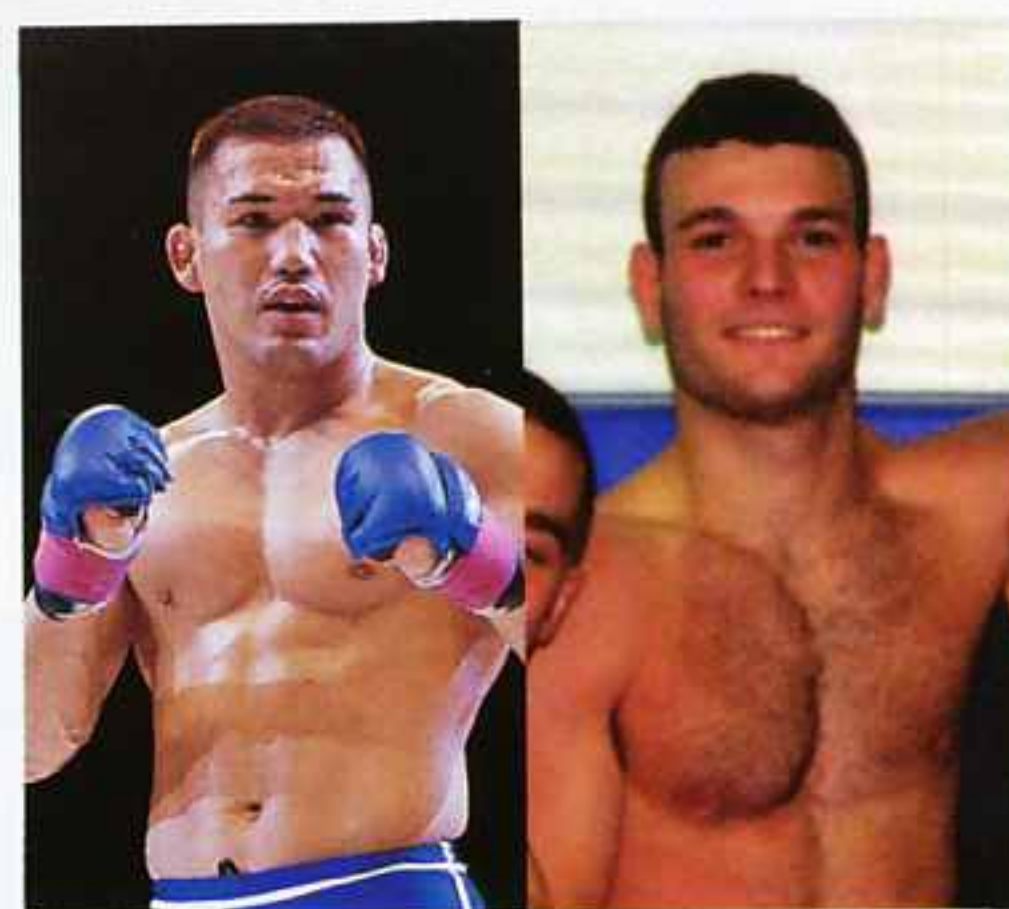
【郵便振替】00130－3－769154
【現金書留】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス「田村Tシャツ通販」係
［お問い合わせ］ダブルクロス　03-3403-5188

狂えるグレイシー・ハンターがNEWスターに噛みつく!

ヴァリッジ・イズマイウ vs
（ブラジル／カーウソン・グレイシー柔術）

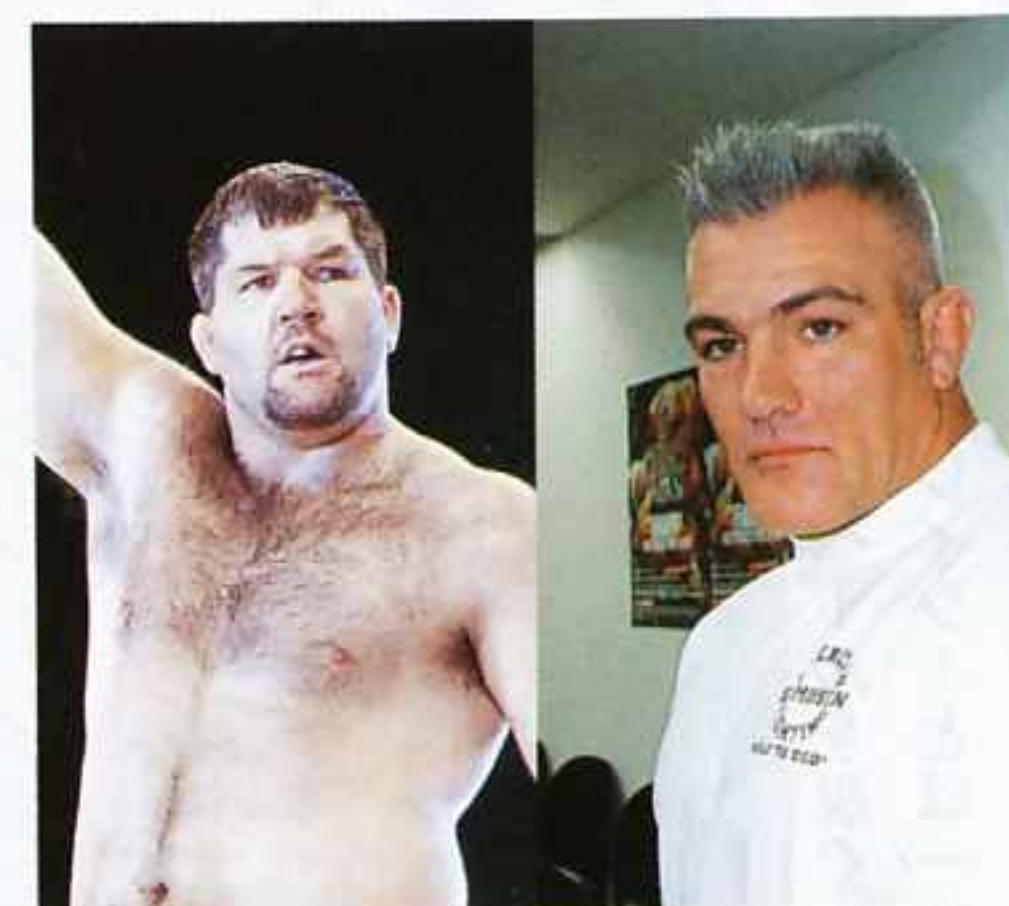
アレックス・スティーブリング
（アメリカ／イングレイティッド・ファイティング・アカデミー）

昨年、12・23『PRIDE・18』でブラジリアン柔術家の中でも、寝技には定評がある大物アラン・ゴエスのサブミッションをことごとくしのぎ、3R大逆転の完全KO勝ちを奪ったアレックス。新たなスター誕生を予感させる『PRIDE』デビューであったが、そこにイズマイウという厄介な相手が立ちはだかった！イズマイウはその凶暴性のみがクローズアップされがちだが、ホイスを絞め落とすなど柔術の実力は折り紙付き。はたして大山峻護に続き、またしてもスター候補生が潰されてしまうのか？

"善戦マン"脱出へ、松井がグレイシー狩り!

松井大二郎 vs
（日本／高田道場）

ホドリゴ・グレイシー
（ブラジル／グレイシー・バッハ）

昨年は大物ペレを破る殊勲を挙げ、そのまま波に乗るかと思われたが、その後は思うような勝ち星を挙げられないでいる松井。どんな相手とやっても、期待以上の闘いはやってのけているが、この辺りで確かな実績がほしいところだ。そこへ打ってつけの相手が登場。ヘンゾ軍団の秘密兵器、新たなるグレイシーの刺客ホドリゴ・グレイシーだ！　ホドリゴはアブダビ優勝など組み技では文句ナシの実績があるものの、VTはまだ2戦目。松井としては経験の違いを見せつけたいところだ。松井のグレイシー狩りなるか!?

『PRIDE』版「サンダvsガイラ」実現! リングがブチ壊れるか!

トム・エリクソン
（アメリカ／フリー）
vs
ティム・カタルフォ
（アメリカ／OBAKEジム）

豪華カードが出揃った『PRIDE・19』のオープニングは、この怪物対決が飾ることとなった。エリクソンと言えば、ヒーリングに逆転KO負けを喫してしまうなど、『PRIDE』のリングではあまり活躍できているとは言い難いが、その実力はノゲイラのベルトに挑戦してもいいくらいの実力者。そろそろトップ戦線で暴れてもいいころだ。そして対戦相手は、噂のOBAKEが遂に登場。その怪人ぶりは次のページを参照にしていただきたいが、どんな闘いぶりをみせるか、予想できないだけに興味深い。

2・24『PRIDE.19』 さいたまスーパーアリーナ 14:00開場 16:00開始

［入場料（全席指定・消費税込み）］

VIP［ビップ］（特典：専用入場ゲート・グッズ付き）100,000円
RRS［ロイヤルリングサイド］25,000円
スタンドS　15,000円／スタンドA　7,000円

■交通／さいたま新都心駅から徒歩3分、北与野駅から徒歩5分
［東京駅から］さいたま新都心駅まで約40分（JR京浜東北線快速利用）徒歩すぐ
［上野駅から］さいたま新都心駅まで約25分（JR高崎線、宇都宮線利用）徒歩すぐ
［新宿駅から］北与野駅まで約35分（JR埼京線利用）徒歩約7分

Photo/Koichi Kuwasaki

ヘンゾ軍団の秘密兵器が豪語
ホドリゴ・グレイシー

「ゴエスに勝った奴なら（アレックス・スティーブリング）5分で極められる」

構成／堀江ガンツ　協力／"ブッカーK"川崎浩市
designed by hisa (Two Three)

田村潔司vsヴァンダレイ・シウバを始めとして、久々に胸躍るビッグカードが目白押しとなった、今回の『PRIDE.19』。

もはや説明の必要もない大物が顔を揃える中に、二人だけ今大会の隠し味的なニューカマーがいるので、ここではその二人を紹介しておこう。

まず一人目はホドリゴ・グレイシー。

ヒクソン、ヘンゾ、ホイラー、ホイス、ハイアンに続く、待望の新世代グレイシーがいよいよ『PRIDE』に登場する。

ここ最近の『PRIDE』マットでのブラジル勢と言えばノゲイラ、マリオ・スペイヒーらを擁する『ブラジリアン・トップチーム』やシウバ、ニンジャら『シュートボクセ』勢の台頭。それによって『グレイシー』が時代遅れとなりかけていた部分は確かにあるが、やはり『グレイシー』のブランドは特別。密かにグレイシー神話復活を望んでいるファンも多いことだろう。

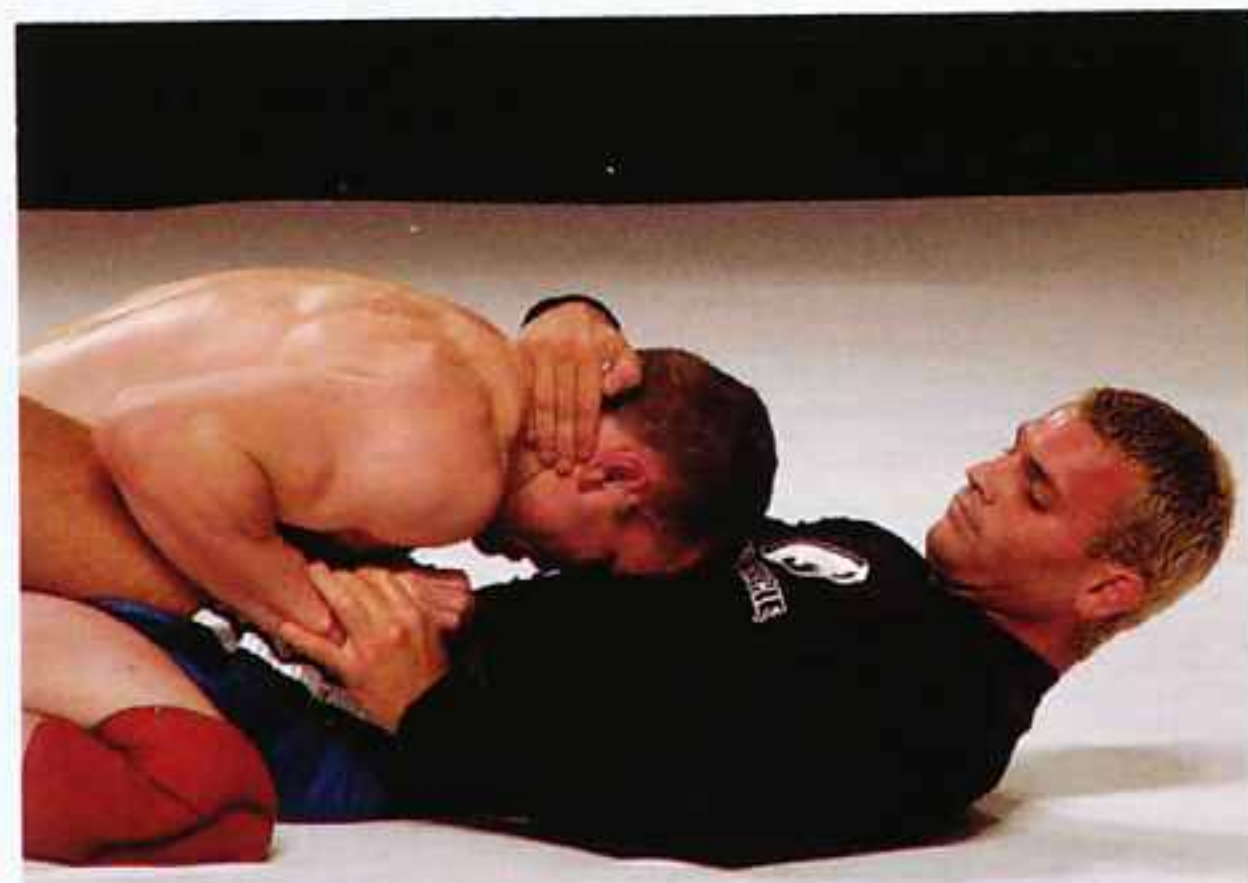
さて、そんな期待の中、いよいよそのベールを脱ぐホドリゴ・グレイシーとは一体どんな選手なのか。

グレイシー一族の家系図で見ると、ホドリゴはヘイウソン・グレイシーの息子でヘンゾとハイアンの従兄弟にあたる。

グレイシー一族と言うと、グレイシー柔術の本家にあたる、エリオ一家のホイス一派やヒクソン一派が最強と思われがちだが、実際に現在の格闘技界でもっとも実績を挙げ、また積極的に試合に出ているのは、間違いなくヘンゾ軍団。

グレイシー一族とは思えないほど、ひんぱんにバーリ・トゥードに出場するボスのヘンゾを始め、ヒカルド・アルメイダ、マット・セラ、マーシオ・フェイトーザと『PRIDE』やUFCで活躍する選手をズラリと揃えている。

そんなヘンゾ軍団の実力をまざまざと見せつけたのが昨年の『アブダビ・コンバット』。ここでヘンゾ軍団は軒並み上位進出。特に79キロ以下級は、ベスト4に3人が入る快挙を成し遂げている。要するにヘンゾ・グレイシー柔術こそが、現在の「グレイシー最強軍団」なのである。

ホドリゴはVTの経験こそ1戦（1勝）しかないが、VT用の練習はセラ、アルメイダ、そしてヘンゾらと十分積んでおり、そんな中で今回、ヘンゾが満を持して『PRIDE』へGOサインを出したのだから、相当な自信を持っているに違いない。まさにヘンゾ軍団の秘密兵器なのである。

寝技の強さには定評があるホドリゴ。98年のアブダビではカーロス・ニュートン、カリーム・バルカレフらを破り優勝。昨年も負傷明けながら、須藤元気らを破りベスト4の成績をあげている。松井はこの寝技地獄をどうかいくぐるか？

西洋の神秘

ティム・カタルフォ

"OBAKE"の謎に包まれた素性とは何か!?

寝技の実力は98年アブダビ優勝という実績を見てもわかるとおり、一級品。そんな男がVTの準備を万全にして出場するのだから、これは大いに期待していいだろう。

ホドリゴ本人は先の『PRIDE・18』のビデオを見ながら、「ゴエスに勝ったヤツ(アレックス・スティーブリング)は俺だったら5分で極められる」と豪語しているという。これは楽しみだ！ 2・24新たなるグレイシーの衝撃が松井を襲う！

ホドリゴの他に新顔がもう一人。知る人ぞ知る"OBAKE"ことティム・カタルフォである。さて、OBAKEとは何物なのか？

かつてはチームOBAKEを結成し、あのゴールドバーグ、マーク・コールマンのトレーナーとして二人を鍛え上げたことで有名なOBAKE。さらにケビン・ナッシュや永田裕志も鍛えた敏腕トレーナーで、ちなみにOBAKEの名付け親は永田である。つまり、早く言えばWCWのレスラーがよく利用するジムの名物トレーナーだったということ。

そんなトレーナーがなぜVTにしかも『PRIDE』に出場するにいたったのか？

それは初期のUFCまでさかのぼる。そこでOBAKEはジャッジを努めており、しかももともとレスリングで実績もあり、ウエイトではレスラーが驚くほどのパワーを持ち、選手とスパーリングもしていたので、「OBAKEは強い」という評判がファイターたちの間でひろまったのだ。そう、リングスの「和田最強伝説」を地で行っているのがOBAKEだったのである！

しかもVTをやったOBAKEは実際に強くて、なんとあのブラジルのカカレコに勝利！ グラップリングだけの大会でも、ホイスの弟子のジョー・パウロに勝っているのだ。凄いぞ、OBAKE！

そしてこのOBAKEの強さの秘密は、とにかくハンパじゃないパワーとその肉体。腕、足、首、すべてが太く短いので体型からして関節技はほとんど極まらないのだ。それでいて自分は関節技が上手いのだから、これはなかなか手強い。

そして何よりも42歳のOBAKEが、なぜこれほどまでに試合に出るのかというと、ゴールドバーグと共同経営だったOBAKEジムだが、現在は関係を解消しており、現在はOBAKEジムは存在しない。ということそんなこともあってOBAKE自身が裸一貫VTでやる気になっているのだ。かつては巨大なジムを持っていた男が現在はそれをすべて手放してしまいVTに逆転を託す。まさに安田ばりの人生劇場。"西洋の神秘"の試合は背景を見るだけで、興味深いのであった。

Photo/Masafumi Endo

99年当時、チームOBAKEのドンとして来日したOBAKE。コールマンもランデルマンもチームOBAKEだったのだ。あれ、一番右の人は……。

闘龍門JAPAN

「FELIZ ANO NUEBO」
後楽園ホール(18:30)

"いい人"に変身したモッチーがM2K離脱!
望月対決は"モチスス"ブレイクの舞台か!?

社長が久々に登場
岡村隆志vsSUWA

望月成晃vs望月亨

田村vsシウバ、武藤ら3人全日本登場がマット界の話題を独占しているような状況の中、いち早く前売り券を完売(当日券は別に発売)したのが実は闘龍門。その揺るぎない人気には改めて驚かされるが、対戦カードを見れば即完売も納得なのだ。まず、大注目の一戦は「望月対決」となる望月成晃vs望月亨。年頭に昨年まで推し進めていた「両リン推進委員会」を撤回、新たに「完全決着推進委員会」を打ち出し、"いい人"に変身したモッチー。しかし、ヒール集団である他のM2Kメンバーとの不協和音が表面化。遂には鉄の絆を誇ったM2Kからリーダーが抜ける事態となり、モチススと一騎打ちで決着をつけることとなった。はたしてM2Kはどうなるのか? また、マニアの評価抜群のモチススが遂に大ブレイクとなるのか? 岡村社長vsSUWAの遺恨戦もあり、いずれにしても今年の闘龍門の流れを決定付ける一戦であることは間違いない。

田村vsシウバを始め、女房を質に入れても見に行きたくなる豪華カードが揃った2・24『PRIDE・19』。しかし、神のイタズラかその同じ日に、これまた見逃せないビッグマッチが多数開催されることが判明! そこで本誌はファンがますますどれに行こうか迷うように各大会の見所をまとめて大紹介いたします!

見逃せないのは『PRIDE.19』だけじゃない!

2.24 究極の興行戦争勃発!

中野巽耀自主興行

「DYNAMITE」越谷・桂スタジオ(18:30)

田村vsシウバと同じ時間、同じ埼玉でUWFの狼煙があがる!

全対戦カード

大場貴弘 VS 真霜拳號(K-DOJO)
倉島 信行 VS 勇作(プロレスリングNM)
田村欣子&タニーマウス VS 元気美佐恵&仲村由佳
日高郁人 VS アジアン・クーガ
井上京子 VS 宮崎有紀
中野巽耀&臼田勝美 VS 石川雄規&藤崎忠優

UWFを背負っているのは田村だけじゃない! ここにもひたすらその3文字にこだわる男がいるのだ。燃える〜燃える〜燃える〜俺の心がぁぁ! というわけで、"タマラナイ男(シッシー調)"中野が遂に始動! 尊敬するD・キッドにあやかり、そのものズバリ「DYNAMITE」という興行を開催する。生半可なプロレスでは納得しない野武士が開催する興行だけに、参加メンバーも武骨な漢(おとこ)揃い。まず、第1試合でロシアVT準優勝の大場が、第2試合では「仲野信市引退試合」の相手を努め、ストロングスタイルの神髄を見せた倉島が登場。そしてメインは中野がバトと絡んで、バチバチの第1次UWFスタイルで締める。男なら越谷に来るしかないだろう。

[交通] 東武伊勢崎線「蒲生」駅東口 徒歩10分
車:首都高速 八潮南インター下車、1つめの信号を左折してそのまま直進約15分
問い合わせ☎0489-99-4103

全日本女子プロレス

『横浜 Bay-Side 全女乱気流'02 Zenjyo Turbulence~』
横浜文化体育館(15:00)

全対戦カード

前村早紀 VS 山根富美子
[全日本タッグ選手権王座決定戦]
藤井巳幸&西尾美香 VS 春山香代子&米山香織
渡辺智子&高橋奈苗&納見佳容 VS 風間ルミ&イーグル沢井&井上貴子
[オールパシフィック選手権王座決定戦]
前川 久美子 VS 中西 百重
堀田久美子&神取忍 VS 三田英津子&下田美馬(猛武闘族)
[WWWA世界シングル選手権]
伊藤薫(王者) VS 豊田真奈美(挑戦者)

神取と堀田がタッグを結成
伊藤vs豊田、頂上対決も実現!

人気者・わっきー引退後初のビッグマッチとなる全女も、気合いが入りまくったマッチメイクを用意してきた! まず、目がいくのはセミファイナル。かつてVTスタイルでしのぎを削りまくった堀田と神取が驚愕のタッグ結成。しかも相手は現在の女子プロマット最高のタッグチーム、ラスカチョという文句のつけようがないカード。どんな展開になるか、普段女子プロを見ない人も必見だ。そしてメインは全女の切り札であり、頂上対決となる伊藤と豊田の赤いベルトを賭けた闘い。現在の女子プロレス最高峰の闘いを見せてくれるのは間違いない。

[交通] JR根岸線「関内」駅から徒歩3分。

全日本プロレス

「2002エキサイトシリーズ最終戦」
日本武道館(15:00)

武藤、小島、カシン遂に参戦!
全日本で純プロレスの神髄を見よ!!

[三冠ヘビー級選手権]
武藤敬司(王者) vs 川田利明(挑戦者)

天龍源一郎 vs 小島聡

ケンドー・カシン vs 宮本和志

今年に入ってからマット界の話題を独占した武藤、小島、カシンらの新日本離脱。その3人が満を持して登場する武道館大会は、久々にプロレス本来の興奮を味わせてくれそうだ。もちろん注目はこの3人絡み。まず2・9後楽園でいち早くゲリラ的に全日本のホープ宮本と対戦し、あっという間に飛びつき十字で極めたカシンは、そのリマッチを決行。"知能犯"カシンが武道館ではどんなことを仕掛けてくるか注目だ。アルゼンチン・バックブリーカーで決めることもありうる!? 次に新鮮味としてはナンバー1の"天コジ"対決、天龍vs小島。天山とのコンビを卒業した小島が大化けするか、それとも大一番では常にファンを驚かせる天龍が意地を見せるか。イチオシの一戦だ。そしてメイン。これからの全日本、そして純プロレスを一身に担う男・武藤がどんなプロレスを見せてくれるか? またマニア狂喜の鬼怒川特訓を見せてくれた川田にも違う意味で大注目だ。

闘いのロマンはここに集約されている

これでもキミはK−1に“プロレス”が見れないのか?

2・1 K−1中量級空前の大爆発!

予想をはるかに超える凄い闘いの連続だった「K−1 WORLD MAX〜日本代表決定トーナメント〜」! その日にTBSで放映されたその熱戦の模様は、深夜にも関わらず13%もの高視聴率を叩き出すからその凄さがわかるだろう。ヤバいぞ、プロレス! こんな闘いもう一回やられたら、K−1は間違いなくプロレスを……ブッ殺します（コヒ調）!

構成／堀江ガンツ　協力／吉澤晃
designed by hisa (Two Three)

この目を見よ！
これが村浜武洋だ!!

『K－1フェザー級GP』を制してから5年。ブランクが心配された村浜だが、フタを空けてみれば、その回転の速いパンチは健在。何度も魔裟斗の顔面をとらえた！

プロレス、K-1、VTすべてに妥協を許さぬ男

"ミスター・パーフェクト"とは村浜武洋のことだ!

とにかく凄い大会だった！

立ち技中量級の日本一を決める一大イベント2・11『K―1 WORLD MAX～日本代表トーナメント～』は、13％という深夜12時台としては驚異的な高視聴率をマーク。試合内容もK―1史上最高の声も出るほどの空前の盛り上がりを見せ、大成功となった。

その立て役者となったのが、大阪プロレスの村浜武洋と総合格闘家・須藤元気。参戦決定当初は一部で「立ち技最強を決める大会に相応しくない」と言われたこの二人がK―1中量級を大成功に導いたのだ。

まず、火を点けたのは須藤元気。

1回戦で魔裟斗と並んで優勝候補に挙げられていた小比類巻と対戦した元気は、いきなり矢野卓見ばりに半身に構え、そこからバックブローを連発。それでなんと小比類巻からダウンを奪ってしまったのだ！

その姿は94年の『K―2グランプリ』で、あのアーネスト・ホーストを同じくバックブローでKO寸前まで追い込んだマンソン・ギブソンを見るかのよう。最後には逆転負けを喫したのもマンソンと同じだったのはご愛敬だが、元気はこれ以外にもクリンチを飛びつき十字の要領で外したり、浴びせ蹴りを放ったりとK―1のセオリーとまったく違う戦法で優勝候補相手に見事に渡り合った。

総合格闘家の中でも、どちらかと言えば打撃よりも組み技系に属しながら、持ち前の自由な発想で見事に克服してみせた元気。これこそプロレスラーが他流試合に出る際に求められている姿である！

そしてこの元気が点けた火を、さらに燃え上がらせたのが、我らが村浜武洋。

村浜は大本命でしかも本来ならば2階級ぐらい上の体格である魔裟斗に対し、SB王者時代と変わらぬ猛スピードのフットワークと、回転の速いパンチで1Rは圧倒！ 2Rからは王者の地力に押され始め、3Rで

K—1中量級の導火線に火をつけた男
須藤元気の本領大爆発！

リングス初参戦のブライアン・ロアニュー戦でも見せた浴びせ蹴り！元気の技のおもちゃ箱ぶりはK－1でも変わらず！

半身に構える元気をなんとか捕まえようと、クリンチに来たコヒに対して、元気は飛びつき腕十字の要領でそれを強引に外す。

この試合のハイライトはなんと言っても１Ｒに起きたこのシーン。元気のバックブローがカウンターでヒットし、小比類巻ダウン！

優勝候補の大本命として、全選手からその首を狙われながら、見事優勝を飾った魔裟斗。今年はこの男の年となるか？

憎らしいまでに強い王者
“美獣”魔裟斗に“NWA王者”を見た！

ＫＯされたものの、その闘いぶりは石井館長をして「60キロ級だったら最強じゃないか？」と言わしめるほど。このように誰もが賞賛する大善戦にもかかわらず、なぜか村浜自身は悔しさアリアリ。そういえば村浜はＶＴ初挑戦でホイラー・グレイシーと引き分けたときも、大騒ぎする周囲を後目に「判定だったら負けに決まってるじゃないですか」と決して満足せず、プロレスでも「技のミスはあってはならないもの」が持論の男だった。

Ｋ—１、ＶＴの３つを同時にこなす離れ業をやってのけ、しかもすべてに妥協を許さない完璧主義者。まさに村浜武洋こそが〝ミスター・パーフェクト〟である。村浜はかつて自分のことを「小さいオーちゃん」と呼んだが、すでにやっていることはオーちゃんをも超えたと断言しよう。

と、ここまで村浜と元気の〝プロレスラー〟ぶりを讃える原稿を書いてきたわけだが、もう一人その賞賛に値する男がいる。その男とは、３試合に渡り下馬評以上の強さを見せつけた、王者・魔裟斗である。とにかくその〝ダーティーチャンプ〟ぶりにはシビれた！

本来ならば大歓声を受けるべき選手ながら、ＴＶで繰り返し流されたその小生意気かつ高飛車な発言が影響したのか、３試合すべて対戦相手に声援が集中。そんな中で負けそうになりながら相手を光らせ、最後は勝つというその姿は、レイス、フレアーといった往年のＮＷＡ世界王者のようである。

翌日の新聞を見ると、魔裟斗は「嫌われ者になりたくない」などと言っているようだが、２・11での不人気ぶりは、裏を返せばフレアーやレイスに見えるほど実力があるという証拠。魔裟斗にはゼヒ、これからもその〝ダーティーチャンプ〟ぶりに磨きをかけてほしいものだ。

村浜、元気、魔裟斗。『Ｋ—１ ＷＯＲＬＤ ＭＡＸ』には、我々が理想とする〝プロレス〟がすべて詰まっていたのである。

2・11〝ナチュラル・ボーン・プロレス〟誕生

山口日昇
designed by hisa [Two Three]

前号でボクは、『SRS・DX』編集長で、〝世界の解説者〟でもあるサダハルンバ谷川氏に「キミは立ち技に〝プロレス〟が見れるか？」というテーマで原稿を書いてください、と頼んだ。

でも、前号の読者ハガキのアンケートでは〝面白くなかった記事〟にかなりの勢いでランクインしてしまった。

理由は「谷川が嫌い」。

〝面白くない理由〟が好き嫌いかよ？……そうか。まぁ、オメェらはそれでいいや（2・1のアントン総帥調）。

サダハルンバは面白いのになぁ。嫌われてるんだね。

で、嫌われるといえば、2・11の魔裟斗である。この日の魔裟斗は、長年プロレスを見てきたボクにとっては、実にいい〝ヒール〟に見えた。魔裟斗には〝ヒール〟の素質がある。「嫌われるのはイヤ」などと言わずに、そのまま突っ走ってほしい。

リック・フレアーばりのキンキラキンのゴージャスなガウンを着て、『威風堂々』かなんかで憎々しげに入場してきてくれればもっと素敵なのになぁ、ファンは心からブーイングを送れるのになぁ。ダメ？

1、2回戦をKOで飾り、決勝戦は〝ベビーフェイス〟の小比類巻相手に〝疑惑〟の判定で勝つという綱渡りぶりも、実にいい。かつてのプロレスでいえば、NWA世界王者の綱渡り防衛を思い出させる〝ダーティー・チャンプ〟ぶりだった。

その昔、例え路上だろうと、リング外でも自分を守れる〝強いヤツ〟じゃないと、栄光のNWA王座には着けなかったという（ダイナマイト・キッド談）。さらに王者は、強いだけではなく、圧倒的に〝ヒール〟だった。

いままでK—1には〝ヒール〟がいなかった。〝ヒール〟といっても、ブーイングを浴びるという表層的なことだけではなく、人間の潜在的な内面をさらけ出せる〝ヒール〟である。プロレスにあって、K—1にないものが、この〝ヒール〟という概念だったといってもいい。K—1は、〝スポーツ〟という枠に縛られ、おしなべて選手を〝ベビーフェイス〟にしていく世界だったからだ。

ガチンコの世界で〝ヒール〟になれる強い馬鹿（本当のバカじゃない）が出てきたら、プロレスは潰れる。

人間には光の部分がある。

博愛、向上心、優しさ、暖かさ、真っ当さ。つまり、一般的に言えば、人間の綺麗な部分だ。

その裏には当然、陰の部分もある。

怒り、恨み、嫉妬、見栄、卑怯さ。つまり、一般的に言えば、人間の汚い部分だ。

光を表現するのが〝ベビーフェイス〟で、陰を表現するのが〝ヒール〟。そして人間に内在する二つの面が交錯することを「過激なプロレス」という。2・11は、まさに「過激なプロレス」だった。いや、これぞ、〝ナチュラル・ボーン・プロレス〟である。

魔裟斗は、コヒを判定で破った後、石井館長に向かい「お互いダメージのない状態で、今度はワンマッチでやらせてください」と言った。コヒは、悔しさから〝カタまって〟いた。そして表彰式で石井館長が最後にマイクを渡すと、「次にやったら、ブッ殺します！」とコヒは叫んだ。

館長も、魔裟斗も、コヒもわかっている。

これぞ、〝ナチュラル・ボーン・アングル〟である。

K—1中量級には、ナチュラルな「プロレス」が生まれた。プロレス界はこのナチュラルさに、なにを持って対抗するんだろうか。んあ〜

カードがどうなろうとも大谷を信じろう!
3・2 ZERO-ONE両国大会はこの男を見ろ!

大谷晋二郎

リング外のゴタゴタはイヤだ!
オレは、オレは、リング上で
熱い“プロレス”がやりたいんだよ!

マット界に大激震を走らせた新日分裂劇。黒船WWFの上陸も間近に控え、マット界は大揺れに揺れている。旗揚げ1周年を迎えるZERO-ONEにもその余震が訪れたためか、両国のカードもギリギリまで発表されず。エッ? ZERO-ONEはいつものことだって? ゴチャゴチャ言うな、火祭り刀で叩き斬るぞ! とにかく大谷の熱い叫びを聞け!

聞き手／松澤チョロ
構成／ジャン斎藤
撮影／丸山剛史
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

大谷　（気合いを入れて）さあ～、今日の相談は何ですか？
——いやいや、今日はですね、人生相談じゃないんですよ（笑）。
大谷　エッ!?　人生相談じゃないんだぁ（残念そうに）。てっきり人生相談かと思って来たんですよ（笑）。
——そうでしたか（笑）。そういえば、前回の人生相談の時は恋人募集中ってことでしたけど、年が明けても、まだ募集中なんでしょうか？（笑）。
大谷　いるわけがない！（キッパリ）。
——そんなに力強く否定しなくても（笑）。引き続き、七瀬なつみさんみたいな彼女を募集中なんですね（笑）。
大谷　まぁ、それは理想ですけどね（遠い目をしながら）。『ぽっかぽか』のファミリーの中にボクが入って対談するっていうのが究極の夢なんですよ！
——機会があれば是非『紙プロ』でお願いしたいものです（笑）。それでですね、大谷さんが火祭り刀以上に愛着を持っていた新日本プロレスが武藤さんたちの離脱で大変なことになってるわけですけど、今回の騒動は率直に言ってどう感じたんですか？
大谷　う～ん、ボクは辞めていった選手も勇気がいったと思うし、残った選手も勇気がいったと思いますよ。やっぱり、武藤さん、小島選手、カシン選手には頑張って欲しいと素直に思いますね。まあ武藤さんなんかは大先輩だから、自分なんかがこんなこと言うのは生意気かもしれないけど、あのデッカイ新日本を辞めたら、2～3ヶ月は心の中で葛藤が生まれると思いますよ。ボクも経験者だからね！（笑）。
——実感がこもってますね（笑）。
大谷　「俺、間違ってたかな!?」と思うかもしれない。でも、自分の決めたことを信じるって気持ちがあれば、絶対吹っ切れますよ！
——大谷さんは吹っ切れたきっかけというのは何かあったんですか？
大谷　きっかけっていうか、ボクは葛藤はあったけど辞めたことに後悔とか恐怖感はなかったんです。このまま落ちていったら、この大谷晋二郎はそれまでの男だったということですから。こういう言い方したら冷めてると思われるかもしれないけど。
——いやいや、大谷さんが冷めてるなんて誰も思わないですよ（笑）。
大谷　そうですか（笑）。まあ、このまま落ちたとしても、虚弱体質だった男が天下の新日本プロレスでベルトまで巻けてね、活躍できただけで大満足！　悔いはないですから。
——我が人生に悔いなし、と（笑）。
大谷　いや、でもね、大谷晋二郎の可能性はまだまだですよ！　まだまだ！
——そうじゃなきゃ困りますよ（笑）。橋本さんなんかは新日本から武藤さんたちが抜けて、「メジャーとは言えなくなった」って言ってましたけど、大谷さんは、どうお考えですか？
大谷　橋本代表がそう言いたい気持ちはわかりますよ。橋本、武藤の二大巨頭がいなくなったんですから。でも、でもですよ、ボクは新日本プロレスはメジャーであって欲しい!!　ボクらの目標であって欲しいんですよ。
——やっぱり、日本マット界のトップは新日本であって欲しい、と。
大谷　ボクは新日本を目標に他団体が頑張るっていうのが、プロレス界にとって一番いい図式だと思うんで。だから、残った永田選手や中西選手には頑張って欲しいんですよ。
——それで、蝶野選手がトップに立ったことによってZERO-ONEとも絡んでいく可能性が出てきたわけですけど、チャンスがあれば新日本に上がりたいという気持ちはあるんですよね。
大谷　まあ今は具体的に何も決まってないんで勝手なこと言えないですけど、いろんな問題がクリアされればやりたいですね。それにいまは田中将斗っていうパートナーもいるし、一緒に上がりたいって気持ちは持ってますよ。
——ベルトも持ってるわけですしね。
大谷　そうですね。前から言ってますけど、いつかは、その新日本をね、この大谷晋二郎が喰ってやりますよ！
——喰っちゃいますか（笑）。そういえば、大谷さんは武藤さんと共にBATTの一員じゃないですか。
大谷　まだBATTという名前はなかったけど、あのユニットを始めたのは武藤さんとボクだからね。最近は武藤さんとは会う時間はなかなかないけど、前はよく飲みに誘ってくれたりしてもらいましたし…呼ばれればいつでも、この大谷晋二郎は馳せ参じます！……言っときますけど、全日本に移籍するとかじゃないですよ（笑）。
——わかってますよ（笑）。飲み限定で馳せ参じると？（笑）。
大谷　そうですね（笑）。武藤さんとは難しい話抜きで話をしたいですね。それに小島選手が最近雑誌で、今回の件で大谷晋二郎を意識したとか言ってるじゃないですか？
——「外に出て変わった姿を見て刺激になった」とか言ってましたね。
大谷　あれは素直に嬉しかった！　小島選手がそういう気持ちで見ていてくれたってことは、新日本を離れて頑張ったかいがありましたよ。
——チャンスがあれば小島選手も闘ってみたい相手に入るんですよね？
大谷　う～ん、全日本は混乱してる状況なんでいまは静観したいですね。まあ、クリーンな交渉ができれば闘いたいですよ。ただ、いまの業界はリング外で悪いイメージがあると思うんですよ！
——大谷さんは「この業界は腐ってる！」とか、よく言ってますけど。
大谷　もちろん、リング外の話題も必要かもしれない。でも、ここ最近はリング内よりそういう話題の方が多いでしょ。先輩方には「偉そうに！」って言われるかもしれないけど、そんなことしてたら純粋なプロレスファンはいなくなってしまいますよ！　ボクはいまだにプロレスファンだから、その気持ちは凄くよくわかるんですよ。
——リング外でのゴタゴタはファン離れをさせるだけだと。
大谷　ボクはそう思う！　確かにリング外で因縁ができて、そこからファンが想像力を膨らませて楽しむってこともありますよ。でも、余りにも多すぎる！　リング上での闘いが疎かになってるような気がするんですよ。これはプロレス界への大谷晋二郎からの問いかけです！　大谷は正義ぶってる、いい人ぶってるって言われても別にかまわない！　大谷晋二郎は犠牲になっても、ファンを取り戻すために、この業界をクリーンにしたいんですよ！
——大谷晋二郎のクリーンキャンペーンですか（笑）。
大谷　まあ……そうですね（笑）。
——でも、ZERO-ONEにもリング外でのゴタゴタから極真の小笠原選手が参戦することになりましたよね。
大谷　う～ん、やっとZERO-ONEも本来のプロレスっていうものを打ち出して、こないだの（1・6）後楽園大会も皆さんに評価していただいた、そんな矢先ですからね。両国は橋本代表の鶴の一声で出ることが決まったみたいだけど……ボクは失礼かもしれないですが、正直、小笠原選手のことはよくわからないんですよ。
——小笠原選手もプロレスのことは、

大谷晋二郎

よくわかってないみたいですし、お互い同じような状態だと思うんですよ。

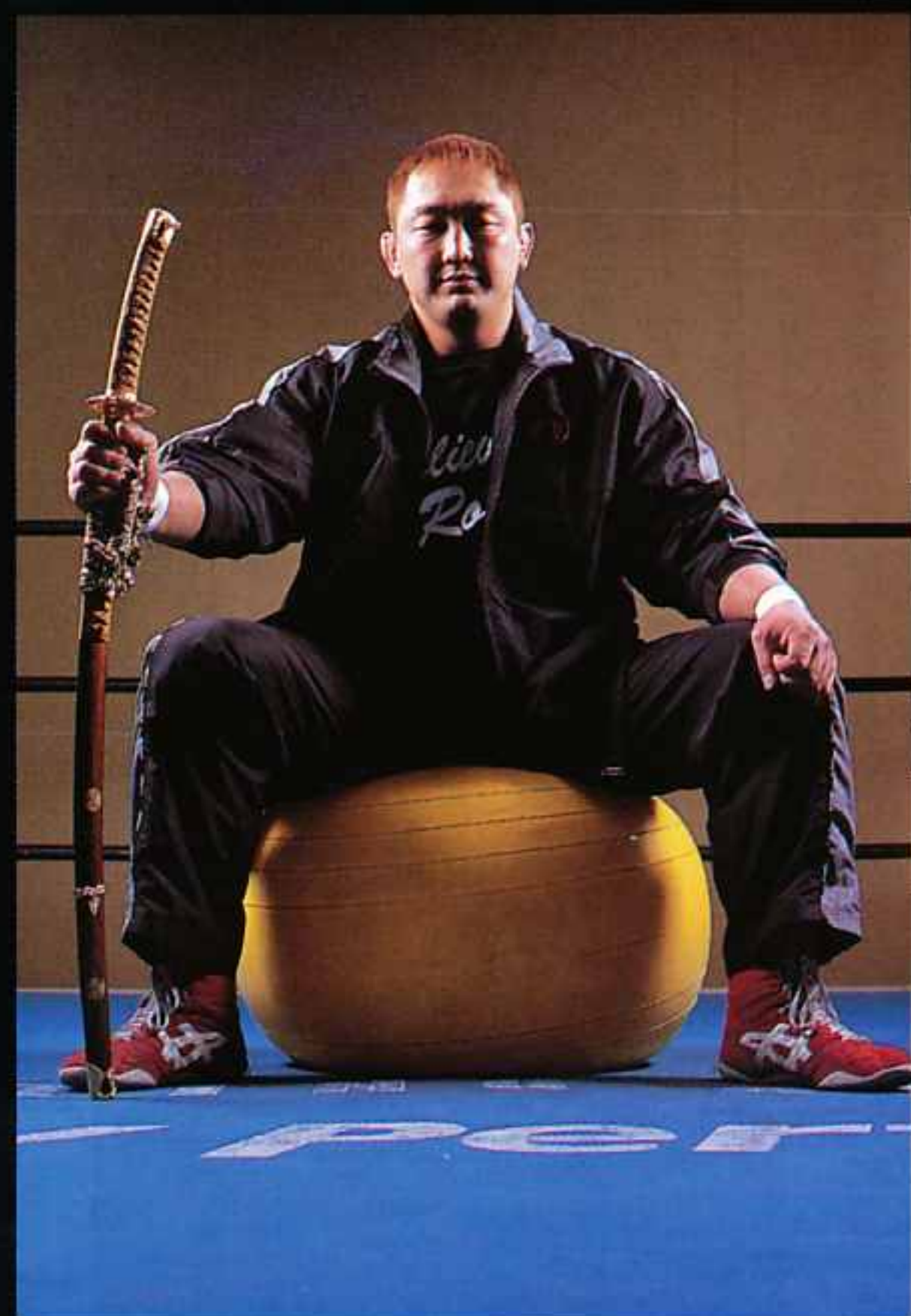
大谷　非常に申し訳ないけど、わからないなら来るなって言いたいしね。ただ、自分たちの領域を汚すのなら、こっちもやるしかないですから！

――小笠原選手は、この間の後楽園大会で大谷さんの試合を見て「気迫溢れるいい選手だ」って言ってたんですけど、ただ、大谷さんが試合後の観客へのアピールでロープに上がったときにバランスを崩したじゃないですか？

大谷　そうでしたっけ？（笑）。

――はい、崩してました（笑）。それを見て小笠原選手は「自分にあった体重で闘ってないからバランスを崩すんだ」とか「無理に体重を増やしすぎてるんじゃないか？　もっと絞った方がいい」と言ってたんですよ。

大谷　（呆れながら）くっだらねえこと言ってんなぁ（苦笑）。

――小笠原選手は体脂肪だとか、そっち方面はかなり詳しいみたいで（笑）。

大谷　ロープから落ちた？　それがどうした!?　この大谷晋二郎が落ちてお客さん、喜んでなかったのか！　俺はチャンピオンになって最高に嬉しかった大谷晋二郎を表現したかったし、無我夢中の大谷晋二郎を見て欲しかったんだよ。体重がどうした!?　アンタこそ体重増やして来いよって！

――小笠原選手はそんなに体重はないですけど、極真の試合では無差別でやってたんで別に体重差は関係ないって言ってるんですよ。打撃もピンポイントで急所を狙っていくだけだって、かなり自信満々でしたね。

大谷　そうなんですか？　まあファンからすれば、「最初は崔（リョウジ）か。負けちゃうんだろうな」って思ってるかもしれない。でも、ボクはリョウジの実力を知ってるし、両国で終わると思いますよ。こんな話題ね、早く消した方がいいですよ、もう！　大谷晋二郎はプロレスがやりたいんだよ！　それも純プロレスを！（両手を広げ）だって、俺はプロレスが大好きだもん！

――それは非常によくわかります。

大谷　やっぱりいまは世代闘争なんですよ！　三銃士、三沢選手、小橋選手に、この大谷晋二郎や永田選手たちが

この業界をクリーンにしたいんですよ！

無我夢中の大谷晋二郎を見て欲しかったんだよ

ぶつかっていく。テレビ局の問題だとか団体の事情もあって、いますぐには無理なのかもしれない。そんなことは、こっちもわかってる！　でも、でも、夢を持つのは勝手ですから！

——それは勝手です（笑）。

大谷　だいたい、選手が夢を見ないで、ファンがどうやって夢を見るんだよ！

——確かに。大谷選手の夢というか、最近は、秋山選手との試合を熱望してましたけど、あまりいい返事はもらえてないみたいですね。

大谷　秋山選手からすれば、いい迷惑かもしれないですよ。でも、闘いたいっていうのは素直な気持ちですから！

——秋山選手と永田選手はタッグを組んだりシングルで闘ったりと、大谷さんが理想とする、団体やテレビの枠を取っ払ったことをやってますけど。

大谷　永田選手や秋山選手は素晴らしいことをしてると思いますよ。それに対してはボクは心から拍手を送りたい！　あの二人からすれば、脇からチョコチョコ入ってくんなって思ってるかもしれないけど……ボクは胸張ってチョコチョコ入っていきますよ！

——アハハ、胸張ってチョコチョコ入っていきますか（笑）。

大谷　俺だけじゃない。太陽ケア、天山、小島なり俺らの世代が、割って入っていかないと！　あの二人でやっていても、いつか行き詰まりますよ。

——やっぱり二人だけじゃ限界はありますからね。

大谷　この流れを潰しちゃいけないと思うんですよ。「大谷ごときが、なに言ってんだ」って思われるかもしれない。でも、俺が言わないで誰が言うんだよって思うし。それぞれ団体での立場があるかもしれないけど、その点、俺は自由なんでね！　まあ、これはZERO-ONEの看板をバカしてるわけじゃないですけどね（笑）。

——橋本代表の性格もあるのかもしれないですけど、ZERO-ONEは比較的動きやすい団体ですもんね。

大谷　誰が最後においしいところを取っていってもいいんです。みんなでやればファンに注目されていきますよ。だって、ボクが見たいもん！　プロレス界全部を含めた世代闘争を。見たいですよね？　見たくないですか!?

——み、見たいです。なんか大仁田さんみたくなってきまし……。

大谷　（遮って）永田選手、秋山選手、誰でもいい！　「みんなでやろう」と言って欲しい。言ってくれたらすぐ駆けつけるから。俺らの世代が決起すれば上の世代も決起しなければならない状況になると思うしね。

——実現するにしても、5年や10年後っていったら意味はないですからね。

大谷　もちろんそうですよ。ホントは今がベストだと思うけど……近い将来必ず実現させますから！　しがらみとか抜きにして、やらなきゃダメですよ。だから、秋山選手も「全日本、全日本って言ってたじゃないか」「それじゃ気持ちは通じない」とか言ってる場合じゃないよ、と。素直な気持ちで言えばね、なに小さいこと言ってるんだよ、チャンピオン！　やりたいのか、やりたくないのか？　会社レベルで大谷晋二郎と試合ができるのかできないのか？　ハッキリしてくれと。はぐらかす答えじゃなくて、ボクは秋山準の素直な気持ちが知りたい！

——イエスなのか？　ノーなのか？　ハッキリ言って欲しいと？

大谷　ボクは自分だけのためじゃなくて、この業界とかファンのために言ってるんですよ。できないんならできないって早く言って欲しいし、無理って言うんだったら諦めますから。秋山選手の立場もわかるけど、でもいまのままじゃボクはいいピエロですよ！

——ピエロ！　状況は違うかもしれませんけど、大谷さんも高木三四郎選手から対戦をアピールされてますよね？

大谷　（答えづらそうに）う～ん、ボクの素直な気持ちを言えば、正直、高木三四郎とは、まだやりたいとは思わない！（キッパリ！）

——またストレートな！（笑）。それはまた、どういう理由からですか？

大谷　一回ね、一ファンとしてコッソリ、DDTを見に行ったんですよ。

——前も言ってましたけど。

大谷　お客さんと一体化してて、観てて楽しいなって思ったんですよ。ポイズン澤田JULIEとか面白いし(笑)。

——小島さんもポイズンさんは好きだって言ってましたね（笑）。

大谷　そうなんですか（笑）。でもね、やるのはちょっと待ってくれと。ボクの中では、これは違う世界だなって思ったんですよ。

——見る分にはいいけど同じリングに上がるのは違和感があると？

大谷　何回考えてもボクは大谷晋二郎と高木三四郎が闘っている風景が思い浮かばないんですよ。

——ポイズン澤田に呪文を掛けられたりするのはどうなんですか？　ボクは見たいんですけど（笑）。

大谷　いや、それも全く。蛇界の呪文を掛けられてる大谷晋二郎は想像出来ないなぁ（苦笑）。まあでも、高木選手のことに関しては、ボクは無視してるわけじゃないんで。

——高木さんは「ZERO-ONEと違って、ウチは毎週試合があるから、会場に来い」ってことなんですけど。

大谷　あれだけ挑発してくるんだから興味はありますよ。だから、予告しておく！　俺は突然会場に行くかもしれ

3・2両国はどうなる!? 鍵を握る4人の男たち

選手派遣に前向きな発言だったが……。

今月当初には、2月17日に行われるノア日本武道館大会までには橋本＆小川のOH砲の対戦相手を発表すると明言していた三沢。しかし、「1年経って自分のところで興行できるようになりましたっていうのが1周年じゃないか」と協力を仰ぐZERO-ONEの姿勢をピシャリ。「三沢大社長、三沢大先生」と持ち上げる小川に対しては「その謙虚さが白々しいんだよ」と、案の定、吐き捨てた。

参戦は絶望的……なのか!?

大谷のラブコールに対し、「大谷は全日本にも行きたいと言っていたはず。照準を1つに絞るならいつでもOK」と言う秋山だが、照準を1つに絞っても参戦の可能性の低さは拭えない。秋山からすれば、小橋の復帰、永田とのタッグ、小川良成が挑戦者に決定したGHCタイトルマッチなど、目の前にはいろいろなものがあるため、大谷は視界に入らずか。心を通わせ交流の扉を開いた永田同様、大谷の熱き叫びは秋山に届くのか!?

ない。ただ、行く時はアポ無しでね。大谷が来るからって身構えられても困るし、こっちは普段の高木の試合が見たいわけですから。凄い偉そうな言い方になっちゃうけど、この大谷晋二郎と闘いたいと言ってる高木三四郎は、どんなもんか見てみたいっていうのはあるからね。……でも、いまは正直、両国大会で頭はいっぱいなんですよ（苦笑）。

——その両国大会前日にWWF興行があるんですけど、チケットが即日完売ならぬ即時間完売だったんですよ。

大谷　いやぁ〜、その話、聞いてビックリしましたよ！

——やっぱり、日本のマット界にとって脅威に感じたりしますか？

大谷　いや、ボクも知ってるTAJIRI選手とかも活躍してるし、同じプロレスで仲間だと思ってますよ。特に外敵が来たって感じはしないですね。素直に凄えなあって思うぐらいで。

——今でもプロレスファンだという大谷さん的に、見たいって気持ちはあります？

大谷　そりゃ、チケットがあるんだったら見に行きたいですよ！　でも、完売かぁ、凄えなぁ（しみじみと）。ウ

資料はこの写真のみで体重、身長すらも公表されていないという、未知過ぎるにもほどがあるネイティブ・ブラッド。ビジュアルインパクトはバツグンだ！

未知の強豪って聞くとワクワクする人ですよ!

大谷晋二郎

チも早く両国のカード発表したいんですけどねぇ（苦笑）。

——2月9日現在、メインどころのカードが決まってないですからね（笑）。

大谷　いっつもギリギリだからね。前日に決まったりとか（苦笑）。

——当日までわからないとかありましたし（笑）。でも、3・9の後楽園の方はすでにカードが発表されて、タッグの防衛戦ということですね。

大谷　ボクが後楽園で対戦するネイティブ・ブラッドは橋本代表がアメリカで見つけてきたんですよ。けど、写真だけ見ると、なんか変な風貌してるじゃないですか（笑）。

——ワフー・マクダニエルのようなインディアンキャラですよね。

大谷　ボクね、あの写真を見て「ああ、これこそプロレスだ！」って思ったんですよ（嬉しそうに）。昔の新日本ってそうだったじゃないですか。次のシリーズに来るヤツが来日するまでどんな選手かわからない。写真しか資料がないわけですよ。

——いわゆる「未知の強豪」ですね。

大谷　そうです。ボクなんかプロレスファン上がりだから、未知の強豪って聞くとワクワクするんですよ！　「早く見てぇ！」って（笑）。

——アハハ！　でも、そういう意味では、ZERO-ONEには、未知の強豪的な外人が続々とやってきてるじゃないですか。まあ中には、大谷さん曰くデクの棒もいましたけど（笑）。

大谷　あぁ、いましたねぇ（笑）。

——でも、トム・ハワードなんか掘り出し物でしたし、ジョシ・デンプシーなんかも素晴らしいですよね。ボクは殴られちゃったんですけど（笑）。

大谷　あっ、そうなんですか（笑）。デンプシーなんか、ホント最高ですよ！　まあそういう未知の強豪に期待してるファンには是非、観に来てもらいたいですよね。っていうか、ボクだったら今度の後楽園大会は絶対行きますよ！　いったい、どんな外人が来るんだろうって！

——アハハハ！　なんか完全にファンに戻ってますね（笑）。

大谷　もうね、ボクはファンの気持ちがよくわかるんで（笑）。まあとにかく、ファンの気持ちを考えて、この大谷晋二郎が夢のある試合に向けて行動していきますよ！（キッパリ）。こればっかりは誰が何と言おうと譲れないんで。それにボクには何も怖いものはないですから。

——なんといっても大谷さんには火祭り刀がありますからね。そりゃ恐いものなんてないでしょう（笑）。

大谷　それもそうなんですけど（笑）、ボクには「ダメだったらダメでいいや。どうにかなるだろう」って気持ちがあるんですよ。

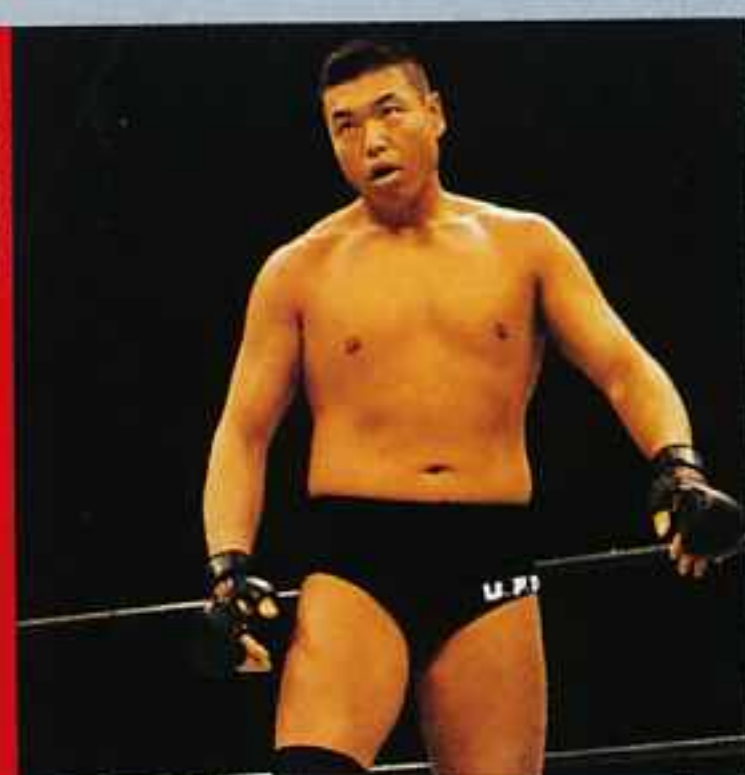
——昨年はいろいろありましたしね。

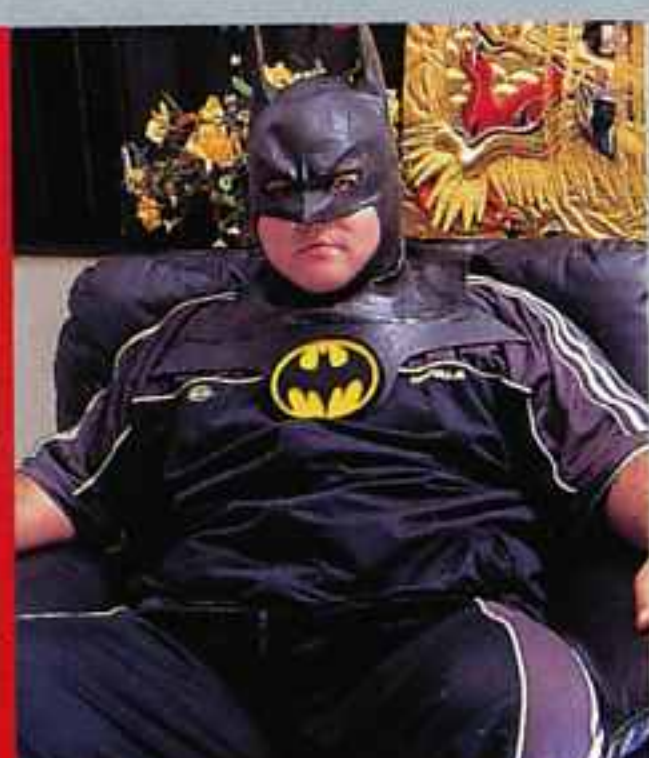
大谷　ダメだったらダメでいいっていうのはファンに夢を与えられない言葉かもしれないけど、だからこそ成功に近づける気がするんですよ！　ダメもとでガンガン行けますから。昔、マサ（斉藤）さんが言ってたじゃないですか？　「当たって砕けろ！」って。

——ゴーフォーブロックですね。いや、でも、砕けちゃったらまずいんじゃないですか（笑）。

大谷　いや、当たって砕けたら、また一から築き上げたらいいんですよ！　もしノアがダメって言うんだったら、ボクはノアとは別に、両国大会用の秘策を考えてますから！（ニヤリ）

——秘策があるんですか!?　両国まで時間はそんなにないですけど、いつもの"熱いヤツ"期待してます！

【02年2月9日／東京「ZERO-ONE」道場にて収録】

武道館、怒りの乱入も予告！

「三沢大社長、三沢大先生ならきっと面白い選手と闘わせてくれるだろうなあ」と、対抗戦実現に向け三沢を持ち上げていた小川だったが、ノア勢が参戦を保留にするやいなや「いつまでじらすんだ。せこいまねするな」と怒りを爆発。「カードが決まればオプションでノアの武道館に乗り込んでやる」と8千万でも動かない男が乱入まで示唆。両国の小川の相手は一体……？

ノア、新日、WWFまで！破壊王を信じろう！

ノアとの交流が難航している破壊王だが、逆に蝶野が全権を握った新生・新日本とは急接近。新日本参戦が濃厚になったきた。それでも破壊王曰く"チン●ス"健介との対戦については「俺は一流の相手としかやらない」と言うからチン●スなどは以ての外らしい。2月下旬にはNWA防衛戦のためアメリカに渡る破壊王は、WWFとの交流も視野に入れることも激白。バットマンスタイルでWWFを席巻する日も近い……はず。

どうする、どうなる両国大会!? 大谷の秘策が窮地を救うか？

破壊王に喧嘩を吹っかけた男が
3·2 ZERO-ONE両国大会で
ゴルドーの弟子・雀リョウジと血戦!

小笠原和彦

極真小笠原道場代表

誰が相手でも問題ない！ 自分は、"昭和極真"をやらしてもらうだけですから!!

もともと極真といえば抗争こそが本筋。他流派に向かっては"ダンス空手"と言い放ち、新日本プロレスとも7対7で河原で喧嘩しようと一歩も引かなかった荒くれ集団だったのである。しかし、時代の流れの中で、そういうささくれた部分は淘汰され、スポーツ化していってしまったのも事実。それは組織として生き残るためには必要なことではあるのだが、ファンとしては寂しい限りなのだった。ところが、ここに素晴らしき空手トンパチが出現した。ZERO-ONEと無闇な抗争を開始した小笠原和彦の昭和極真っぷり溢れるその魅力と、本気の思いを心に刻んでほしい。押忍!

――いやぁ～、先日のZERO-ONE（1・6後楽園）での乱闘は最高に面白かったですよ（笑）。

小笠原　でも、こっちは全然そんなつもりじゃなかったんだよね（笑）。

――いや、抜群に面白かったですよ（笑）。ただですねぇ、一部ファンの間では「あれはアングルでしょ」っていう、うがった意見もあって……。

小笠原　なんですか、アングルって？

――え！　知らないんですか。う～ん、話し合いがあったとでも言うか…。

小笠原　ああ……。ハッキリ言ってプロレスチックには絶対見られたくないですよ！　だって、こっちは結局、極真松井派に辞表を出してるんですよ！　極真好きならわかりますよね？

――わかります、わかります（汗）。極真の看板がなくなるのは道場経営的には、かなり痛いですからね。

小笠原　でしょ。極真松井派の看板があった方が楽に決まってるんだから！

――ただ、うがった見方っていうのはまだあって小笠原さんの売名行為っていうのもあるんですが……。

小笠原　そんなことしてもしょうがないでしょ。何の得にもならないよ！

――ということは本気？

小笠原　本気も本気ですよ！　こっちは試合とかそういうのじゃなくてもいいんですよ。道ばたでもどこでもいいって言ってるんだから！

――分かりました！　それさえ確認できればボクとしても思い切りノレるん

聞き手／中村カタブツ君
（プロレスより昭和極真好き）
撮影／松澤チョロ
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

ですよ、昭和極真好きとして。ということで改めて聞きますが、なんでこんなことになっちゃったんですか？

小笠原　まあ、最初から話すと、僕の知り合いから「ZERO-ONEにいる星川に蹴りを教えてほしい」ってことだったんですよ。

——え？　最初はZERO-ONEに協力するって話だったんですか。

小笠原　というか、ZERO-ONEすら、よく知らなかったから。その知り合いは元極真の人間で、星川はその弟子なんですよ、なんだかんだ言って。だから、そのつながりで教えるってことだったんですけど、教えるんだったら動きを見ないとわかんないんで会場に行ったんですよ。それに、その会場に行くって決めたのも前日でしたからね。たまたま時間が空いたんで。

——たまたま（笑）。

小笠原　ホント、そうなんですよ。で、星川の試合見て、まあどういう風にしようかなって話してて。これ前も言ったんですけど、引きも何もないじゃないですか、蹴り自体に。

——う～ん、まあ、たしかに引きはないですよね。

小笠原　ねぇ。まあ、星川の技は凄くいいんですよ。それはハッキリ言いますよ。だけど、あの日の試合見たら、ポジショニング決めて蹴ってもいないし、なんか「やたらめったらやってるな」って感じで。下段って4つあるんですよ、前足の内と外、奥足の内と外と。しかも角度変えするじゃないですか。クイックして、サイド周り込んだりとかやるじゃないですか。

——言いにくいですけど、そういうのは一切ないですね。

小笠原　だけど、それじゃ危ないんですよ。相手の肘とか膝にスネが当たっちゃったら終わりですからね。だからそういう観点から見たら、こっちも言いたくなりますよ。

——その気持ちはよくわかります。

小笠原　ね、思いますよね。

——じゃあ、その時は怒りよりも、さあ「どうしようかな」って感じですか？

小笠原　まあ、そうですね。他の人達も、見てて、「まあ、あんなもんかな」って感じ。で、なんか橋本もミドルとか凄いって言われてるみたいでしょ？

——破壊王ですから。

小笠原　だけど、ウチの破壊王は中村誠（極真世界大会第2回、第3回優勝者）ですから。ミドルはやっぱ、あの人一番強いッスからね、極真史上。

——中村師範は本物ですよ！

小笠原　ね？　やっぱあれと比べちゃうんですよね。体格も橋本と全く同じなんですよ、誠師範。それで、あのミドルですからね。あれと比べちゃうとどうしてもねぇ。

——橋本さんには申し訳ないですけど、非常に納得できます。

小笠原　そうなったら、僕らも顔があるから。女房も隣りにいたし。

——奥さんの手前？（笑）。

小笠原　そういうわけじゃないんだけど（笑）。「こいつらより、全然俺らの方が上だって立証したい」っていうね。

——それは立証してほしいですよ。

小笠原　やっぱちゃんとしたものを身につけなければいけないっていうね。いい言い方をすればですけど（笑）。

——悪い言い方をすれば「ハエが止まるようなキックやってんじゃねえよ」ってことですね（笑）。

小笠原　まあそういうことですね（笑）。腰壊しますからね、ああいう蹴り方してると。要は伸びがないっていうか、そういう蹴りだったから。あれじゃあ上半身のバランスもおかしいし、逆足の膝やられますからね。

——それが「あんな蹴りじゃ破壊王が破壊される」っていう発言ですね（笑）。

小笠原　まあ、黒澤（浩樹）が教えたっていうのは聞いたんですけど「ワンツー、下段しか教えてない」「フォームは別に教えてない」って（笑）。でもはっきり言って、ここだけの話じゃないですけど、酒飲んでけっこうみんなガンガン言ってますよね、会場で。酒飲んで「お前帰れ～」とか（笑）。

——もしかして、会場でそういう悪口ばっか言ってたわけですか（笑）。

小笠原　僕が言ってたわけじゃなくて……まあ会場のあれに比べたらマシだったんじゃないかな、と（笑）。

——空手家とは思えない（笑）。

小笠原　自分も少しビールを飲んでたんですけど、極真の上の人にも「酒飲んで喧嘩するとは何事だ！」って怒られましたから（笑）。

——当然ですね（笑）。ともかくそういうのが原因で乱闘になったと。先に手を出したのは小笠原さんなんですか。

小笠原　かなぁ～、よくわかんないですよ。ただ気がついたら僕だけ羽交い絞めにされたんですよ。で、このままだと、こっちの負けに見えちゃうんで、僕は蹴り飛ばしたらしいです、レスラーを。そしたらまた、ワーってみんな来て訳がわかんなくなっちゃった。

——その蹴りが橋本さんに当たって鼻血が出たみたいですね。

小笠原　こっちの人間も外人に2人がかりで蹴られてたり、俺の知り合いもフッ飛ばされたりしてたみたいですね。で、ちょっと我にかえってきたら、「あっこれまずいんじゃないかな」って。「R師範に怒られるな」って（笑）。

——やっと（笑）。

小笠原　で、翌日の朝、何気なく電話して、「すいません師範、昨日プロレスラーと喧嘩やっちゃいました」って言ったら、「そうか、で、お前やられたのか？」「いや、一応蹴飛ばしたんですけど」って言ったら「よくやった！」って（笑）。

——まさに極真ですね（笑）。

小笠原　「まあ喧嘩したのはよくないけど、極真をナメるなって、ちゃんとそうやったことはワシは誉める！」って言っていただいて。

——その通りです！（笑）。

小笠原　だけど、後で事情をよく話したら、「お前、酒飲んでやっちゃイカン！」って。川口の焼き肉屋でコンコンと言われましたけど（笑）。

——表向きは（笑）。

小笠原　まあ、R師範本人が一番好きなタチですからね（笑）。

——最高師範なのに（笑）。

小笠原　そう（笑）。なんだかんだ言って僕らやられたら腹切りもんですからね。なにがあっても殺す気がないと。大山総裁も訓話でよく言ってましたからね。「喧嘩しないヤツは許さないよ！」「刑務所行ってないヤツは私、信じないよ！」とか（笑）。

——ワハハハ！　刑務所って（笑）。

小笠原　「どういうことなんだろ？」って（笑）。たぶん喧嘩を恐れるなという意味だったんじゃないかと思うんですよね。横に岩崎達也もいましたけど、僕ら、そういう訓話をくらって育ってますから。

——全て総裁の教え通りですね（笑）。

小笠原　やっちゃったんですよねぇ（笑）。だから、そういう状況を作り出さないような人にこれからなれってことですよね。でも、優等生にはなんだかんだ言って僕らはなれないから。

——いや、それが極真の優等生ですよ！

小笠原　世界大会の時もそうですけど、僕ら外人と刺し違えるつもりでしたか

プロレスチックには絶対見られたくない！

昭和極真時代の素敵なポスターが多数飾られていた小笠原道場。もちろん大山総裁も道場での激しい稽古を見守っている。他に「昔からの大山倍達総裁の空手と小笠原空手を指導して行きたいと思います。今後、新しい極真よりも本当の極真（マス大山カラテ）を教えます。押忍　道場主・小笠原和彦　戦います!!」とのお知らせが貼られていた。

1・29ゼロワン事務所での破壊王の会見中に突如現れた小笠原。破壊王は記者陣を外に出し小笠原と話し合いを行うも10分で決裂。破壊王は「『ゴルドーとかと違ってお前はアマチュアだろ！　プロとして客の前で闘ったことがあるのか？』って聞いたら『自分はプロです』って言って、またプロレスをバカにしやがった！」と激怒。全選手を社長室に呼び込み「こうなったらやるぞ！」と宣言。後日、3・2両国大会で小笠原vs崔リョウジ（写真左）戦が決定！

ら。だから、それに似た感覚ですよね、今回のことは。カーっと同じ匂いが。どうしても、僕ら●●●●者だから。

——●●●●者！（笑）。空手に命賭けるって、そういうことですからね。

小笠原　ねぇ。

——ただ、乱闘の翌日には対極真っていうのは終息に向かっていったじゃないですか。だから、終わったんだなって思ってたんですけど、ZERO-ONEの記者会見の席上に小笠原さんが乗り込んで再燃したわけですよね。

小笠原　結局、僕は謝りたいっていうことで行ったんですよ。酔っぱらってやったのは僕ですから。それに武道家は過剰に礼儀をつくさなきゃいけないんですよ（キッパリ）。

——過剰！　小笠原さんの言うことはいちいちイイですね（笑）。

小笠原　それでまたやっちゃって（笑）。ホントは、「辞任した」って言いたかったんですよ。それぐらいやったことに対して責任を取ったよってことを言いたくて。まあ、「お前のせいでこうなったんだよ」ってプレッシャーかけるつもりもなかったんだけど（笑）。

——どっちにせよ、平和的に和解しましょうってことで行ったわけですね。

小笠原　そうですよ。でも、結構、小馬鹿にしてますよ。最近、極真ってものがいろんな形で分かれちゃったじゃないですか。それで「どうなってるの？　極真」みたいなことを僕も直接言われたことがあるんですよ、ほかで。

——実際、いま極真って名乗ってる団体は5つぐらいありますからね。競技化し過ぎて本来の空手から離れちゃってる部分もあるし。

小笠原　いまの極真は市役所みたいな感じもあるから。そうするべきだっていうのはわかるんですけどね。

——組織化するためにはしょうがないとは思うんですけど、裏の部分では怖さを残しておいてほしいんですよ。

小笠原　ねぇ。総裁はすぐに"死"って言葉を出してましたからね。メチャクチャなんですけど、最終的には筋が通ってるんですよ。だから、橋本に対して言ってるところもあるんですけど、そういう声に対しても言いたかったんですよ。極真こそ最強だと！

——そういう不満がある中で"素人発言"っていうのは……。

小笠原　きちゃいますよね。だから、橋本と話した時も、「こちらも謝るから、あの言葉は撤回してくれ」って言ったんですよ。自分は撤回記事を出してほしかったんでね。

——ただ、橋本さんの言う素人っていうのは、プロじゃないっていう単純な意味ですよね。

小笠原　だけど、僕としては極真の大会で勝ったから吉祥寺っていうテリトリーをもらったわけで、結構、みんなからすればおいしい場所じゃないですか。だから、そういう意味でプロっていう意識があるんですよ。

——試合の中で勝ち取った場でメシを食っていると。ティーチング・プロってことでもありますから。

小笠原　だから、いろんなプロってあるんですよ。僕自身、プロのプライドもありますから。

——あとは最強というプライドですね。

小笠原　そう！　向こうは身体がデカいってことで自信持ってるようですけど、アマレスの68キロ級ぐらいのヤツらの方が怖いですからね。僕が100キロぐらいあった時も彼らが蛇のようにシュルシュルって来たら怖いなって思ってましたから。

——だから、橋本さんは橋本さんで「プロレスラーをナメてるだろ」っていう意識があったんだと思いますよ。

小笠原　いやぁ……かもしれないかなぁ（笑）。だから、とりあえず撤回記事を出してくれってことなんですよ。認めたんだったら、それを新聞記者たちに言ってくれよと。それが第一歩なんですよ。その第一歩を譲らないわけだから話にならない。

——だけど、それは橋本さんもメンツとしてできないと思いますよ。

小笠原　となったら、ああなっちゃいますよね。

——具体的にはどういうやりとりがあったんですか。

小笠原　最初に社交辞令的なやりとりがあって、「この前はすいませんでした。ただ、素人っていうのはやめてくれませんか」と。「自分もハエが止まったとかっていうのは撤回しますから」と。逆に僕から言わせれば素人さんなんだから、蹴りに関して言えばね。

——もしかして、その言葉をそのまま本人に言っちゃったんですか？（笑）。

小笠原　……言っちゃった（笑）。

——ワハハハ！　なんてこと言うんですか。とても和解に行ってるとは思えない（笑）。

小笠原　いや、だって、僕の中には中村誠師範の蹴りがあるから。

——つまり、そういう"素人"の押し付け合いがあったんですか、あそこで。

小笠原　もう最悪（笑）。

——で、先に怒声を上げたのはどっちだったんですか。

小笠原　撤回してくれないから（笑）。

——そうなったら……僕、かもしれないですねぇ（笑）。

小笠原　なんか逆に喧嘩売りに行ってる感じですね（笑）。

小笠原　だけど、ちゃんとケーキ持ってきましたし（笑）。撤回してくれな

小笠原和彦（おがさわら・かずひこ）静岡県清水生まれの42歳。18歳で極真に入門し、第15回全日本選手権では準優勝に輝く。また第3回、第4回の世界大会に日本代表として出場、100人組手にも挑戦している実力派。特に100人組手はわずか4日前に言い渡されての挑戦だったのだが、相手がまた凄い。松井章圭、黒澤浩樹、緑健児といった当時のトップ中のトップと闘い、43人を抜くも最後は足の小指が裂けて断念した。蹴りはサッカーの蹴りを、突きは野球の投げ方を応用していると断言する、意外に（失礼!）理論派なのである。

いと困りますからね。謝ってくれればいいのになぁ、簡単なことでしょ？

—いや、だってお互いにメンツでしょ？ 小笠原さんだってメンツにこだわってるんだし、そうなったら橋本さんだってメンツにこだわりますよ。

小笠原　同じですか！　なるほどぉ。

—「なるほど」って（笑）。で、小笠原さんは新聞記者に「いつでもやってやるよ」って……。

小笠原　言っちゃって。その時は極真を辞任してますからね（笑）。

—怖いモノなしですね（笑）。で、ZERO-ONEからの刺客として崔リョウジ選手との対戦が決まったんですね。

小笠原　僕は誰でもいいですけど、この人の名前、なんて読むんですか？

—サイさんです（笑）。

小笠原　どういう人なんですか？

—ゴルドーさんのところで修行してたんですね。190センチ、105キロ、21歳です。

小笠原　いいですね、若くて。問題ないですね（あっさりと）。

—橋本さんは「崔は総合格闘技もやってるんで、なまくらな蹴りをだしてきたら手や足をヘシ折られるぞ」と。

小笠原　なるほど！　好きにして。蹴飛ばしてやるだけですから。それも無闇に蹴らないでピンポイントで。ピンポイントなんだけど、ちゃんと折るところは折りますから（キッパリ）。

—おっ、折りますか。そもそも小笠原さんの場合は30過ぎても全日本大会に出てたんですよね。

小笠原　40でも出てましたからね。最後のウエイト制の時も四国大会3連覇の選手を上段ヒザ蹴りでKOしましたからね。反則になりましたけど（笑）。

—反則（笑）。だから、限りなく現役に近いんですよね。

小笠原　そのつもりで去年も全日本出るつもりで練習してましたから。ニューヨークで後ろ回し蹴りをサンドバッグに蹴ってたら20発ぐらいで鎖が切れちゃいましたから。自分でもびっくりしちゃったんですけど。そんなのマンガの世界だと思ってましたけど（笑）。

—その蹴りに関して言うと、WWFのTAJIRIさんが小笠原さんのことを絶賛してるんですよね。

小笠原　そうなんですか？　あんまり、よくわかんないんですけど。

—TAJIRIさんは昔、極真やってたみたいなんですが、小笠原さんのことを憧れてたとか、プロレスに喧嘩を売った空手家の中で過去最高のネームバリューだとか、あと性格は結構スットボケたトッポイ人みたいだったってネットに書き込んでましたよ（笑）。

小笠原　まあ、僕はこういう人間ですから（笑）。

—これまでの話でそれはよくわかります（笑）。で、話を戻しますが、世界大会にも2回出場しているんですよね。

小笠原　そう（笑）。あとは全日本の第18回ではミッシェル・ウェーデルとやって、あれも僕の中では世界大会のつもりなんですよ。あの時もキッチリやる気をなくさせましたからね。顔面殴られたけど（笑）。ほかには34歳の時、東海大会で優勝したんですけど、決勝の相手は富平（辰文）だったんですよ。

—今、K-1ファイターの？

小笠原　彼は当時18歳でバリバリだったんですけど、きっちりブッ壊してやりましたから（キッパリ）。

—第15回全日本大会では準優勝してますしね。ただ、崔さんはゴルドーさんのところ出身ですから、ある意味、怖いですよね。

小笠原　たぶん目をついてくるでしょうね。だったら、僕は足の指でサミングしますから。

—できるんですか、そんなこと？

小笠原　やってますから、30人組手の時に。変則蹴りをすると目に入るんですよ。だから、ワザと変則蹴りやって2人か、3人先にKOしておけば、あとの人間は向かって来ませんからね。一人のヤツは目が血だらけになりましたからね。ホントに目を突いてきたら、確実に目に入れますよ（キッパリ）。まあ問題ないですよ。練習量が違うんで。それにゴルドーは気が弱いですから。

—え！　でも、ゴルドーさんって言えば……。

小笠原　怖いってイメージあるでしょ？　でも、僕らの間では結構、気が弱いビビリですよ（キッパリ）。

—あ〜あ、凄いこと言いますね。なんか新たな遺恨が（笑）。

小笠原　でも、だから、弱いってことじゃなくて。気が弱いから何をやるかわからない怖さがあるんですよ。

—ホント怖いモノなしですね。

小笠原　練習やってるから怖くないんですよ。ああいう場になったら自分は別人になりますから。頭がまっ白になって倒すことしか考えてないんで。

—それで、聞くところによると小笠原さんの道場では顔面ありで練習してるんですよね。

小笠原　ヒジで顔面打ちますからね。

—え！　ヒジ!?

小笠原　柔道のインターハイ行ったヤツが道場に来てるんですけど、ヒジで何度も打ったら倒れちゃって。

—ヒジで何度もっていうのはマズイでしょ（笑）。

小笠原　組み付いてくるのが早いから。そしたらヒジでやるしかないでしょ。ただ、こめかみは打たないですよ。こめかみ打ったらヤバイですから。

—いや、小笠原さんもいろんな意味でヤバイっすよ（笑）。

小笠原　昔は顔面もあったし、金的もあったしね。僕の構えも金的攻撃と防御の構えなんですよ。で、顔面はヒジですね。僕、思うんですけど、拳で顔面は殴れないですよ。こうなっちゃうんですよ（写真参照）。

—うわぁ〜、拳の骨が割れてる！

小笠原　こうなっちゃうんですよ。拳法でも拳で殴るのってないんですよ。拳の方がやられちゃうんで。顔を殴る時はみんなヒジで殴りますからね。

—なんか、ヒジがキラキラ光って使い込まれてますね（笑）。

小笠原　総裁が一番得意だったのもヒジだったですからね。

—それも総裁の教えの通りッスね！

小笠原　それだけです！

—ホント、昭和極真が蘇った感じで気持ちいいですよ（笑）。

小笠原　僕は原型の極真をやらしてもらうってことだけですから！

—本物の極真をプロレスラーに見せつけてやってください！

【02年2月8日／東京・吉祥寺「極真小笠原道場」にて収録】

総裁が一番得意なのはヒジでしたから。自分も顔を殴る時はヒジでやります！

見てみ、上の写真の拳ッ！写真ではわかりづらいかもしれないが、見事に拳の骨が割れている。そして使い込まれたそのヒジは不気味にキラキラと光り輝いていた。3・2が待ち遠しいぞ！

旗揚げ1周年記念興行

NOAH参戦白紙!? WWF台風直撃!
暗雲立ちこめる3・2 ZERO-ONE両国大会

ZERO ONE

”狩龍(かりゅうど)怒“で吹っ飛ばせ!

design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

3・2(土)『真世紀創造2』
両国国技館（開始18：00）

藤原喜明	VS	佐藤耕平
ショーン・マッコリー	VS	坂田亘
小笠原和彦	VS	崔リョウジ
スティーブ・コリノ ゲーリー・スティール	VS	トム・ハワード サモア・ジョー
ジョシー・デンプシー	VS	ザ・プレデター

参加予定選手
橋本真也、小川直也、大谷晋二郎、高岩竜一、星川尚浩、田中将斗

3・9(土)『VAST ENERGY 2』
後楽園ホール（開始18：30）

第1試合	勇作	VS	佐藤耕平
第2試合	ショーン・マッコリー	VS	崔リョウジ
第3試合	星川尚浩	VS	後日発表
第4試合	藤原喜明	VS	後日発表
第5試合	ジョシー・デンプシー	VS	トム・ハワード
第6試合 NWA世界インターコンチネンタル・タッグ王座選手権 60分1本勝負	大谷晋二郎 田中将斗	VS	ネイティブ・ブラッド
第7試合	橋本真也 高岩竜一	VS	ダン・スバーン スティーブ・コリノ

【お問い合せ】ZERO-ONE TEL.03-5730-3401

オイ、オイ、ZERO-ONEがヤバイっていうのは本当なのか!?（大谷調）。……いや、本当です。締切間際の2／18現在、3・2両国大会のメインで予定されている橋本・小川組の相手が決まっていないばかりか”火祭り男“大谷のカードすら発表されていないのだ。

期待されていたNOAH勢の参戦も、「1周年を迎えても自分らで興行ができるようになっていない」と三沢にピシャリと言われ白紙に。さらに橋本と友好関係にあった天龍も、武藤・カシンらの全日本移籍を間近に控えているためか、今回は出場を見送った。

ヤバイのはそれだけではない。両国大会前日にはWWFが遂に日本上陸！しかも、カード発表を待たずしてチケットは即完売と黒船振りを十二分に発揮しているのだ。どうする破壊王!?

悲観的なことばかり並べても始まらないので、現時点での両国大会と3・9後楽園の注目カードを紹介しよう！

まず両国大会で目に付くのはデンプシー対プレデターという1・6後楽園で、小川対健介戦を遥かに上回るド迫力ノーコンテストバトルを繰り広げた2人の再戦。今度は決着が付くのか？それとも永遠のノーコンテストか？

他にも、極真・小笠原と同じく後楽園大会で高岩を襲撃した坂田亘が、なぜか、S・マッコリーと対戦決定！

一方、後楽園大会はZERO-ONE初参戦のD・スバーンが破壊王とタッグで激突。セミでは大谷・田中組がタッグ王座を懸け、これまた初参戦のネイティブ・ブラッドと防衛戦を敢行。さらにデンプシーvsハワードのZERO-ONE生え抜き頂上決戦など1・6に続いて後楽園は爆発間違いなし！

とは言え、やはり旗揚げ1周年記念興行となる両国大会が盛り上がらないことには始まらない。どうする破壊王!?

しかし、ZERO-ONEのビッグマッチは不思議とハズレなし。毎回、プロレスの神（notアントン）が舞い降りてくるのだ。今回もそれを期待して、急いでチケットをゲットしろ！今なら、まだ間に合う!!（当たり前）。

猿人全開！

葛西純のどってことねぇよ！人生相談

in ヒラデルヒア JFKスタジアム？

破壊王、大谷晋二郎、ゴルドー先生と毎回ハズレなしの『紙プロ』名物、レスラー＆格闘家による人生相談。今回は『紙プロ45号』の読者ハガキで「面白かった記事」として、ミスター高橋インタビューに次いで第2位に輝いた“狂猿”葛西純の登場だ！「俺っちはねぇ、相談とかあんまりされないんだよな。でもよぉ、去年ミスターがジャイアンツの監督を辞任する時は相談されたけどな。ミスターとは何繋がりだって？（急に目を泳がせて）こ、細かいことは、どうだっていいじゃねぇかよ！　本人のプライバシーもあっから詳しいことは言えないけども、ここだけの話、監督辞任したっつーのは普通じゃないことがあったってことだよ。結局、俺っちが辞任するように勧めて言う通りにしたんだけどね（満足げ）。まあ、この俺っちがピーターの次っちゅうのは非常に気に喰わねえけど、ピータンでも、たらふく喰わせてくれるんだったら、相談でも蛍光灯でもガンガン受けてやっからよぉ！

構成／松澤チョロ　撮影／スエヒロ・ガイ子　designed by さおとめの事務所

俺っちのストライクゾーンは下は10歳から、上は55歳ぐらいまでだから！

Q.1 「葛西さんはじめまして。僕はキレやすいどころか虫も殺せぬ覇気のない17歳です。他人の血はおろか自分の血を見るのも全くダメで、自分の鼻血を見て失神する有様。こんな調子なので、世の中の役に立てるであろう献血すら、ままなりません。どうにか血を見ることに馴れたいと思っているのですが、なにか良いトレーニング方法はないでしょうか？」
（充血も苦手／17歳・学生・♂）

A そんなもんアレだよ、一番手っ取り早いのはバ●ジャ●クでもして、パーキングで止めてやっちゃえばいいんだよ、やっちゃえば！（キッパリ）。クソ度胸も付くしな。あ？ 何やるかって、んなもん決まってんだろ！ 刺すんだよ、人をッ!!……って、そりゃちょっと言い過ぎか（笑）。それがダメっつーんなら合法ドラッグのラッシュって知ってっか？ あれを一気飲みして**新宿東口のアルタ前で老人を人質に取ればいい**んだよ。それくらいのことやれば血なんてどってことねえよッ！（投げやりに）。まあ、もっと手っ取り早いのはウチの試合を観に来ることだな……（急に素になって）ちょっとベタな答えしかできんけども（苦笑）。まあウチを観に来る金がなけりゃ、**マーシーじゃないけど彼女の排卵日とか調べて汚物入れを覗く**とか。排卵日には血は出ねえの？（急に逆ギレして）とにかく、こまめに汚物入れをチェックすんだよ、オメエ！ 俺っちなんかマミーの汚物で馴れてきたもんだよ……（目線は遠く北海道）。バ●ジャ●クする根性がなけりゃ、汚物入れから始めることだな。そうすりゃ、どってことねえからよッ！

Q.2 「純さん、こんにちわーッ！ と、元気ぶってる私ですが、男性の前に出るとどういう訳だか口が利けなくなってしまうんです。そんな理由から彼氏いない歴29年で、言うまでもなく処女。正直、切羽詰まってます。お見合いクラブに入会しても、無意味にお金と時間を浪費するだけで全く解決にはなりません。こんな私に、口数の少ない女性でもかまわないという人を紹介していただけないでしょうか？」
（かぞえで30／29歳・家事手伝い・♀）

A 正直、三十路ってのはチョット厳しいだろ。でもよ、俺っちの**ストライクゾーンは下は10歳から上は55歳ぐらいまで**だから、ほとんど大丈夫だから。（店のおばちゃんに目配せしながら）あのおばちゃんともバンバン、ヤッとるしね（キッパリ）。まあね、三十路を迎えて切羽詰まるのもわかっけどよぉ、まずは行動で示さないとな。男の前だと喋れなくなるつーんだったら、もう**口開けて『カモ〜ン』ってやりゃ入れてくれっからよ**（笑）。男ってそんなもんだよ、オメエ！ 男の前で口開けて、おしぼり&飲み物持参で（悩ましげな表情&手招きのジェスチャー付で）『カモ〜ン』って、これだよ!! ユーロビートなんかガンガン掛ければ雰囲気も出るしな（笑）。そっからだよ、**体から始まる恋愛もあるってんだよ！** なんだったら**俺っちが一回相手してやってもいいぞ**。まあ、どってことねえよッ！

Q.3 「私の彼氏が最近、ア●ルセックスに凝っていて困ってるんです。しかも、なんの前戯もなく、無理やり入れようとするんで、とっても痛いんです（涙）。私が『痛いからやめて！』って言っても、『ちょっとガマンしろ！』とか言ってやっぱり入れようとするんです（涙）。結局、いままでア●ルで最後までイッたことはないんですが、それでも彼氏は毎回チャレンジしてきます。彼氏のことは好きは好きなんですが、キッパリ断って別れた方がいいんでしょうか？ それとも、私の努力が足りないんでしょうか？」
（桜子／17歳・高校生・♀）

A そんなもん、とっとと別れなさい！（キッパリ）。なんでかっつったら、そりゃオメエ、俺っちができねぇからだよ。**カミングアウトすっけど、俺っちは痔だからよ**ぉ、突っ込まれる痛みがわかるんだよ（泣）。たまに変わった女がいて、指ギュ〜ッ！ってケツに突っ込んでくるヤツがいるんだけどダメなんだよ。痛くて痛くて……（切なそうに）。ケツ拭いた後、パンツが血まみれになるくらいの重度の痔でよぉ。額とか背中だけじゃなくて、見えないところからも流血してんだよ、人知れず。だから、彼女の気持ちはわかっから、そんなヤツとは別れなさい！（突然）ちゅうかね、彼女にも問題があると思うよ。**ハッキリ言って絞まり悪いんじゃないの？** もうね、電車に乗った時でも授業中でも（妙なゼスチャー付きで）キュッキュキュッキュッキュやってりゃイイんだよ。そっからだよ。そんでダメなら別れろっちゅうの。話は変わるけど、俺っちも今年の『週プロ』の選手名鑑

クレージーモンキー

葛西純のどってことねぇよ! 人生相談

で「男に走る」って宣言したんだけど、もう撤回すっから！　やっぱ女がイイよなぁ（しみじみと）。あっ？　男とヤッて嫌になったからだって？　んなもん、やるわきゃねぇだろ、オメエ！　●●・●●●●じゃあるまいしよぉ～！（素に戻って）やっぱ今のはちょっとカットでお願いします（笑）。日影忠夫に変えといてください（笑）。

Q「葛西さんの連載（『葛西純ちゃんの世界』）が載っている『BUBUKA』がどこに行っても売ってません。やっぱり葛西人気はそれほど世間に浸透してるのでしょうか。つうか、どうすりゃ買えんだよッ!!」

（純ヲタ／21歳・建築業・♂）

奥■恵や、モー娘。記事で、すっかりお馴染みの『BUBUKA』。この雑誌では本誌で連載中の掟ポルシェや、本誌スーパーバイザー・吉田豪、さらに中村カタブツ君も絶賛活躍中だ！　もちろん、葛西純の『葛西純ちゃんの世界』は必読！　プロレス記事も満載です！

A 通販で買えっちゅうの！……って、通販やってんのかなぁ（不安げに）。でもよぉ、どこ行っても買えないっていうのは俺っちの連載とは関係ないよ（急に謙虚に）。だいたいよぉ、『BUBUKA』って言えばモー娘。と奥■恵だろ。みんな**チョメチョメ写真見たくて買ってっからな。**俺っちなんてまだまだ、どってことねえよッ！（素に戻って）頑張ります。

Q「私には、付き合いつきはじめて半年の彼氏がいます。彼はとても優しいし、一緒にいて楽しいのですが、会えない時に私が淋しくて携帯にメールしても、ことごとくシカトされます。『なんで?』と聞いても、『めんどくさい』の一言。男の人ってみんなこうなんですか？　それとも彼はすでに私にあきているんでしょうか？」

（石川リカ／19歳・専門学校生・♀）

A エッ、石川リカ!?　スゲェ名前だなぁ（笑）。それはさておき、だいたい、なんだよメールって!?（突如、逆切れ）。そんな機能あるの？（と、猿のクセに自分の携帯をチェック）。俺っちは電話掛けるのしか知らねぇからさ。それによぉ、**メモリーってなんだよ!?　思い出かよ！　モー娘。の歌かっちゅうの！**（一人ツッコミ2連発）。ふぅ～（一息入れて）マジメに答えるけどね、男ちゅうもんは大抵めんどくさがりなんだよ。だいたい、あきてるかどうかって、そんなもん俺っちなんかに相談するより本人に確認取った方が早いんじゃないの？（正論）。そんで「あきた」ってんなら俺っちのとこ来いって話だよ。19歳つったら、全然ストライクゾーンだから（ニンマリ）。俺っちが相手してやっからよぉ。**3回ヤッてポイだけどな！**

お猿さんのクセに携帯を持ち、しっかり使いこなしていた葛西純。しかし、残念ながらメールもモメリーの意味も全く理解できない様子。ウキッウキッ。

風俗初体験は大久保のヘルスなんだけど、店の名前なんつったけなぁ？

Q「ついこの間、興味本位で初めてSMクラブに行って、自分がMだということに気付いてしまったんです。女王様にいたぶられることがたまらなく気持ち良かったんです！　葛西さんはいつも痛い思いをされてますが、そういう性癖を持っている男をどう思われますか？　それと葛西さんもそういった、人には言えない性癖があったら教えて下さい」

（しばかれ大将／37歳・会社員・♂）

A 俺っちはねぇ、SかMかっつったらMだとは思うけど、試合中に感じたことなんかねえから。ゴッツイ男にガラスとか有刺鉄線の中に落とされてオメエ、感じるわけねえっつの！　でも、やっぱイジメられるなら若いネエちゃんにやられた方がいいよ（ニンマリ）。俺っちはSMクラブつーとこには行ったことねえけど、風俗の初体験は大久保のヘルスなんだよねぇ（懐かしそうに）。店の名前は、なんつったけなぁ……（聞いてもいないのに真顔で考え込む）。忘れちゃったよオメエ！（なぜか逆ギレ）。確か、JRの大久保駅から徒歩3分ぐらいで、ペット屋の裏のマンションの3階だった気がすっけども、今もあるのかなぁ（しみじみと）。とりあえず**吉祥寺のピンサロ『エアポート』はバンバン通ったけど**ね。まあ話はそれちゃったけど、いにしえの思い出だよな、うん。機会があったらSM

俺っちのマイクは全部（手でピストルの形を作り）シュートで言ってっからな！

クラブ行きたいかって？　んなもん、金があったらとっくに行ってるっつの！　でも今は、ちっと金ないからよぉ。この発言はシュートだけどな（苦笑）。（素になって）もし、金に余裕があるんなら、37歳の会社員さん、是非一度連れてって下さい（しおらしく）。やっぱプロレスもSMも一緒で受けてナンボだからな。俺っちもMコースで（笑）。それとなんだ？　俺っちの人に言えない性癖を聞きたいって？　人に言えない性癖なんだから言えないっちゅうの、そんなもん！（これまた正論）。まあ、ここだけの話、**あいさつ程度にケツの穴は舐めるけどね**（なぜか得意げ）。たまに引かれる場合もあっけどな。まあ、どってことねえよッ！

ヒ・7 「ボクは、いちおう一流と呼ばれる大学に入学して4年間、勉強とサークルとバイトと恋愛に頑張ってきました。4月からは浄水器メーカーに就職も決まっています。でも先日、バイトの友達が『あいつの人生はつまんねぇ』と言っているのを聞いてしまいました。自分では気付かなかったのですが、ボクの人生は平凡すぎるのでしょうか。男たるもの、多少は冒険すべきなのでしょうか？」

（グリコ男爵／22歳・大学生・♂）

A だいたい、オメエよぉ、サークルやら恋愛やら頑張ってきたって自分で言ってるところが甘っちょろいっつうんだよ。俺っちから言わせてもらえば、**マミーに地下室でも造って貰って、そこで乱交&薬物パーティーするくらいじゃないと遊んでるって言えない**からな！　そっからがホントの遊びだから。俺っちはマミーに地下室は造ってもらえなかったけど、乱交も、あとエクスタシーとかいうのもバンバンやっとるからね。そんなこと言って問題ないかって？　どってことねえよッ！ほら、**俺っちは猿だから人間の法に縛られるこたぁねえからな**。それに、だいたいなんだよ、その浄水器メーカーちゅうのは！『ユニマット』で働いてた『神風』じゃねぇんだからッ!!　そんな就職なんて蹴っちゃえ蹴っちゃえ！（人ごと）。とりあえず、マミーに地下室造ってもらうとっから始めるんだな、うん（実に満足げ）。

ヒ・8 「葛西選手、こんにちは！　自分は将来ムービースターを目指す劇団員なのですが、生まれ持った性格からか先輩を罵倒するセリフがなかなかうまく言えなく、正直伸び悩んでいます。日頃から、先輩選手を挑発しまくっている葛西選手に是非とも、そのコツをご教授頂ければと思っています」

（劇団死期／23歳・劇団員・♂）

A 全然なってねえよ！　そもそもセリフで言うっちゅう考えが甘いッ！　俺っちなんかセリフだなんて思ってねぇもん。全部（手でピストルの形を作って）シュートで言ってっからな（ニヤリ）。山（川竜司）にしても（シャドウ）WXにしても（アブドーラ）小林にしてもそうだよ！俺っちはマイクアピールで嘘なんかついたこと一回もねぇしな。だから先輩に遠慮するってのは全くもってダメだね。アドバイスするとすれば、心底先輩を嫌いになれってことだな。まあ俳優を目指すんだったらそれぐらいのこと、できなきゃダメだよ。それが無理なら、俺っちのマブダチに破壊王ちゅうのがおるんだけど、ヤツはVシネとかよく出てるし、『橋本元年』ってCDも出してっからな。あと弁当もか（笑）。オメエも俳優だけにこだわらずにいろいろ手をつけた方がいいよ。そんなもんかな（投げやり）。**破壊王との関係？　もうツーカーだよ、オメエ！**　昨日もここJFKスタジアムのベースボールスタジアムに来たばっかしだよ。密談してたのかって？　密談も何も破壊王クラスなら公だよ（さらりと）。まだまだビッグネームの友達なんかいっぱいいっからよ！さっきも言ったけどミスターとか**池田会長**とかよぉ……別に学会員ってわけじゃないけども（苦笑）。まあ日本を牛耳ってるようなビッグネームの友達はいっぱいいるよ。佐川君とかよぉ。「どこの佐川君？」って、**世界の佐川つったら人肉食った佐川君だろッ!!**　まあ今日はそれぐらいにしとくけど（冷や汗）。それにアレだよ、ムービースターって言えば、ヒクソンとかマサカツ・フナキとかも頑張っとるみたいだけど、俺っちはもうバンバン出とるしね。それもVシネとか、そんなしょっぺぇもんじゃなくてハリウッドだから、ハリウッド!!　『（PLANET OF THE）APES』とか出とる

しね（キッパリ）。まあエキストラみたいなもんだけどな（照れ臭そうに）。ムービースターになりたきゃ、そんなもん勝手になれっつーんだよ！ 俺っちだってレスラーになりたくて勝手になってんだから、なりゃいいんだよ。どってことねえよッ！

Q 「ボクは小中学生の頃はテレビっ子で1日8時間はテレビの前に張り付いていました。しかし、27歳になった今は、欠かさずチェックする番組は、ほとんどなくなってしまいました。葛西さん、こんなボクに何かお薦めのテレビ番組はありますか？」
（鮫岡和宏／27歳・郵便局員・♂）

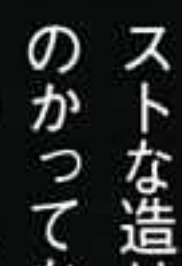
A 言われてみりゃあ確かにそうだねぇ（深々と頷く）。まあ、俺っちはアメリカ在住だから、日本で、どんな番組やってるかもわかんねぇし、たまに来日したとき観ても、おもしれえ番組はやってねえよな。俺っちも昔はテレビっ子でな、夏休みの基本は、昼まで寝て12時きっかりに起きて遅い朝食兼昼メシを食いながら『あなたの知らない世界』観るのが定番スタイルだったからよ！ **新倉イワオだけは欠かさず観たもんだよ**（なぜか自慢げ）。怖かったかって？（必用以上に力強く）俺っちには怖いもんなんかねぇよッ!! なんたって稲川淳二の怖い話のCD聞きながら寝ちゃうくらいだから。CDだって全部持ってっから！ コンプリートだよッ!! まあ俺っちが**リスペクトするっつったら、鉄人・衣笠とか稲川淳二**とかその辺りだね。なんでかっつうと、衣笠は俺っちに似てゴリ顔だし（苦笑）、それに、どんなデッドボール喰らっても試合休まなかったろ。俺っちそのものだよ、うん。なんか、かなり脱線しちゃったけど（笑）。ただ、最近の『アンビリーバボー』とかの心霊特集観てもちっとも怖くねえしよぉ、**俺っちは『あなたの知らない世界』の復活を提言するね！** だいたい、新倉イワオってオメエ知ってっか？ 心霊評論家＆研究家としても有名だし、放送作家として『笑点』にも携わってるからな（得意げに）。最近は新倉チェックあんましてねえから、あの人が『あなたの知らない世界』に行っちゃってるかも知れんけどな（笑）。まあ、どってことねえよッ！

クレージーモンキー 葛西純の どってことねえよ! 人生相談

ここはJFKスタジアムのベースボルカフェだから。和風テイストな造りだけども（笑）

今回の取材場所はヒラデルヒアのJFKスタジアム内ベースボールカフェ。ここのマスター（というか店長）はI編集長に激似でした

Q 「ハロー、ミスター葛西！ ボクはいまアメリカに留学中。それも葛西さんがお住まいのヒラデルヒアにです！ ヒラデルヒアのJFKスタジアムなどにはボクも足を運ぶのですが、葛西さんはどの辺りで遊んでいるのですか？ ちなみに、こちらで有名な松風荘（日本庭園風の建物）というのはどの辺にあるのでしょうか？ 教えてください！」
（CZW予備軍／21歳・学生・♂）

A （住所を確認して）ウチのメチャメチャ近所だな。あれだぞ、JFKつったら、ジョン・F・ケネディのことだよ、オメエ！（鬼の首を取ったように）。それに俺っちは今JFKスタジアムにいるしな。（聞き手に向かって）オメエ、気付かなかったのかよ！ ここはJFKスタジアムのベースボールカフェだから。ちっと和風テイストな造りだけども（笑）。ここによく来るのかってか？ もう頻繁どころじゃないっつうの！（七輪のある座敷を指差して）寝袋もってそこで寝てるから。俺っちは流浪のレスラーだから、家なんてねえんだよ!! それになんだって『松風荘』？『松風荘』っていえば2丁目だよ、オマエ！ 2丁目って言やぁヒラデルヒア在住なら通じんだよ!! どんなところかって？（目を泳がせて）え〜っと……（質問表をチラッと覗き見して）日本風……日本庭園風の建物だよッ！（突然ひらめいて）アメリカ人っちゅうのは日本風のものとか好きだからな。そこでジャパニーズの俺っちとかが、**たそがれてると金髪ギャルなんかが逆ナンしてくんだよ**。まぁ、『松風荘』っていえば引っ掛け橋に次ぐ第2のナンパスポットだな。池袋にもあんだろ、ナンパスタジアム（ナンジャタウンの間違いか？）ってのが……（額に汗を掻きつつ）もうもたねえよッ！ いっぱいいっぱいだよ!! 次いけよ、次ッ!!

Q 「ぼくは、深夜ラジオ番組とかによくハガキを投稿してる中学2年です。いわゆるハガキ職人をやってるんです。そんなぼくも将来、葛西さんのようにプロレス業界に入りたいと思ってるんですが、葛西さんは『紙プロ』などでハガキ職人をやっていた経験が、なにかプロレスに役立っている部分はありますか？」
（沖原伸一／14歳・中学生・♂）

A （即座に）んなもんねえよッ！ だってオメエよぉ、レスラーでデビューして「ああ、俺もいっぱしのレスラーだ」って思ってる時に、『紙プロ』で「葛西純は実はハガキ投稿していたオタッキーだった」なんてこと暴露しやがってよぉ！ そりゃモチベーションも下がるっちゅうの！ 得したことなんか一個もねぇから、そんなことはとっとと、やめなさい！（キッパリ）。だいたい、ハガキ職人なんか金ばっか掛か

クレージー モンキー
葛西純の どってことねえよ! 人生相談

るだけで、載ったからって、なに貰えるってんだよ！　**俺っちが『紙プロ』から貰ったのは「電磁波プロレス」って書いてあるバッグだけ**だよ、オメエッ！　んなもん、いらねえっつんだよ。**ハガキ職人なんて、あんなもんセンズリと一緒**で自己満足するだけで腹の足しにもなんねえしな。ハッキリ言ってハガキ代の無駄だな。大山総裁じゃないけど、ハガキ買う金あったらウチの試合を観に来なさい！

Q「3月1日にWWFが横アリでありますよね？　俺も観に行きたいんですけど、どこもかしこもチケット完売でした。くぅ～、それでも行きてぇ！　葛西さんはチケット取れました？　どういうルートで取りましたか？　そういえば、葛西さんは以前、ロックやHHHに対戦要求してましたけど、ここだけの話、やっぱり当日は乱入するんですか？」
（ストンコはぁ？／22歳・フリーター・♂）

A **なんだよ『WWFツアー』って!?　青柳出るのかよッ！**　エッ、それはマニアツアーなの？　でも3・1つったら浜松でウチの興行があんだよ。ホント、デリカシーのねぇヤツだな、オメエ！　まあ、**俺っちは大日本蹴ってWWF行く**けどな（アッサリと）。HHHとかロックあたりもツーカーだから挨拶しに行こうかと思ってよ。ツーカーだったら浜松に呼べってか？　んなもん来るわけねぇっつの、オメエ！　WWFのレスラー呼んだってウチじゃ1試合●●円くらいしか出せねぇし（笑）、それによぉ、WWFの人間呼んで客が来たって、もぎりで小鹿が全部懐に入れちゃうだろ。同じ社長でも、ビンス・マクマホンと違って、ウチのは社長としての権限ねぇからよ（キッパリ）。まあ、それはいいけども（笑）、俺っちは3・1はホント横アリに行くから。「TAJIRI」って書いたプラカード持って、WWFのTシャツ着て観客席にいるよ。浜松大会つっても、ウチのメンバーで何が観せられるってんだよ。電車賃から何から損するだけだっつの!!　だから、迷わずWWFに行きなさい！　エッ、チケットもう売ってないの？（うっかり）。そんなにプロレスが観たいって言うんなら浜松大会はチケット有り余っとるから、頭のハゲ具合からいって山川でも観て「あっ！　ストーンコールドだ」とか、WXを観て「おっ！　HHHだよぉ！」とか、李日韓（レフェリー）観て「やっぱ、リタはいい女だな」とかな、かなり無理あっけど（笑）、そうやって自分を慰めつつ観るんだな。それによぉ、もし浜松の会場で**葛西純って名乗って試合やってるヤツがいたら、そいつは影武者だから。きっとV6の岡田だよ！**　顔似てっからな。あんまり言われたこともねえけども（苦笑）。ま、とにかく、大日本なんて来るもんじゃねぇよ！　どってことねえんだからッ！　それより、『紙プロ』でチケット2枚くれよッ!!　あ、誰と行くかって？（急に小声になり）**ここだけの話だぞ、（浜崎）あゆと行くんだよ、**あゆとッ！　テメエ、邪魔すんじゃねえぞッ！……（素に戻って）こんなんで大丈夫ですかね？　もう、自分いっぱいいっぱいなんで、すいません（苦笑）。

【2002年2月8日／アメリカ・ヒラデルヒア『JFKスタジアム内ベースボールカフェ』にて収録】

大日本プロレス大会日程

『GO AWAY』

2月23日(土)
千葉・千葉公園体育館(18：30)
2月25日(月)
埼玉・行田市民体育館(18：30)
2月28日(木)
茨城・ひたちなか松戸体育館サブアリーナ(18：30)

注目の裏WWF興行!
3月1日、葛西純はどこに…
3月1日(金)
静岡・アクトシティ浜松(18：30)
3月3日(日)
神奈川・横浜文化体育館(15：00)
葛西純vs山川竜司

3月8日(金)
東京・後楽園ホール(18：30)
3月21日(木・祝)
愛知・名古屋市体育館(15：00)
4月4日(木)
大阪・慈見緑地花博広場(18：30)
4月6日(土)
福岡・博多スターレーン(18：30)
4月7日(日)
福岡・博多スターレーン(15：00)
4月14日(日)
東京・後楽園ホール(18：30)
4月28日(日)
北海道・札幌テイセンホール(15：00)
4月29日(月・祝)
北海道・札幌テイセンホール(15：00)

【問い合わせ】BJダイヤル　045-937-2777

俺っちは3・1は大日本蹴ってWWF行くから!

“クレージー・モンキー”葛西純の人生相談はいかがだったでしょうか？　葛西選手以外にも、誰か相談にのって欲しいプロレスラー及び格闘家がいれば、その選手名と、あなたの悩み事を書いて下記の住所までハガキを送って下さい。最近、再び狂い咲き中のミスター・ポーゴの闇黒の人生相談、久々の来日を果たすリック・フレアーの狂乱の人生相談、“力道山を刺した男の娘”篠原光の夜の人生相談……さて、次の相談相手は、いったい誰なんだ!?　お前が考えろ！

【宛先】〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス『紙プロ』編集部『猿人全開！』係まで

ブルガリアにケブラーダ!!

ブルガリアの国立大学内のプロレス学校学長に就任＆ヨーロッパ映画出演が決定したサスケと仕掛人・荒井会長が、その壮大な構想を激白!!

聞き手＆撮影／松澤チョロ
designed by matsu（Two three）

「信じないヤツは信じなくて結構！私たちは、ヨーロッパでプロレス革命を起こします」

東北&ブルガリアの英雄（予定）
ザ・グレート・サスケ

アルファジャパン・プロモーション会長
荒井英夫

The Great SASUKE X Hideo ARAI

2002年早々、マット界に激震走る！　と言っても新日の分裂騒動ではなく、あのサスケがブルガリアの国立大学内に設立されるプロレス学校の学長に就任したというニュースである。それだけではなくサスケはヨーロッパ映画への出演（しかも2本！）も決定したというのだ。今回の、この企画の“黒幕”（失礼！）アルファジャパン・プロモーションの荒井会長にも同席してもらい、壮大すぎる、その計画の全貌と自身のプロモーター話を赤裸々に語ってもらった。

The Great SASUKE × Hideo ARAI

――サスケさんがブルガリアの国立大学内にある『ナショナル・アクターズ・カレッジ』のレスリングスクールの学長に就任したと聞いて、うかがったんですけど、信じていいんでしょうか？（笑）。

サスケ　いやいやいや（笑）、信じてよ、ホントなんだから！

――そうですか（笑）。でも、それだけじゃなく、カンヌ映画祭に出展予定のヨーロッパ映画にも出演が決まったみたいじゃないですか？　しかも、二本ッ！

サスケ　ねっ？　俺自身が驚いちゃってるけど、これがまたホントなんだよな（笑）。

――いったい、何から聞けばいいんでしょうかね？（笑）。

サスケ　（同行した今回の企画の仕掛け人、アルファジャパン・プロモーションの荒井会長に向かって）やっぱり、今回の話の発端は映画の話から始まってるんで、そっからでいいんじゃないですかね？

荒井　そうだね。今回の件は『チエスターインターナショナル』っていう会社が投資している『チエスターフィルム』ってところがブルガリアに乗り込んで映画撮影をするってところから始まってるんだよ。それでね、ハリウッドの映画の25％はブルガリアにあるボヤナ映画センターってとこで撮影してるんだよ。

――へぇ～、それは初耳です。

荒井　なんでかと言うと、俳優とか女優がヨーロッパに住んでる人が多いの。それに映画センターも日本のスケールの比じゃなくて、もの凄い規模だから。

――へぇ～、それも初耳です。

荒井　撮影費は、機材とかドイツの物を使ってるんで予算も変わらないし、あとやっぱり、『チエスターインターナショナル』が投資している会社だから安く使えるしね。それに、サスケさん自体が映画に出るのも観るのも好きな人じゃない？（笑）。

――確かにそうですね（笑）。

荒井　それで「こういう話があるけど」って声を掛けたんだよ。

サスケ　それは面白い、と（笑）。

荒井　まあ今回、サスケさんも出演が決定した『ＦＡＴＡＬ ＴＡＲＧＥＴ』っていう映画は産学共同事業として進めてるものなんだよ。他に出演する女優もパリコレとかに出演している超一流揃い。ワンステージ200万ぐらいのモデルとかね。

――へぇ～、パリコレのモデルとサスケさんが同じ映画に出るわけですか。

サスケ　もうピンと来たから！（笑）。これは俺しかいないと。

荒井　他の日本人の出演者も大学教育の一環で新人を多く採用してるんだよ。それで最終的には俺はサスケさんに監督をやらしたいなと思ってるんだよね。

サスケ　おぉ、いいですねぇ！

荒井　覆面被った監督って、また話題になるじゃない（笑）。そうすると映画界だけじゃなくてプロレスの世界でも話題になるでしょ。そういうことするのがボクは大好きだから（笑）。

サスケ　大好きですよね（笑）。

――まあコアなプロレスファンには荒井会長は知る人ぞ知る存在だと思うんですけど、浅いファン向けに簡単な自己紹介をしていただけませんか？

サスケ　そうだね。やっぱり荒井会長の歴史を紐解けば一番わかりやすいよね。私から紹介すると、荒井会長はプロレス界の有名プロモーターなんですよ。

荒井　まあ、一部ではインチキプロモーターなんて言われたりするけどね（笑）。

サスケ　いやいやいや（笑）。で、一番初めにプロモートしたのは、『大銭湯プロレス』でしたっけ？（笑）。

――エッ、ターザン後藤主演のビデオですか？　銭湯で大乱闘するっていう（笑）。

荒井　違うよ（笑）。一番最初にプロレスのマッチメークしたのが、アントニオ猪木vsレオン・スピンクスなんだよ。

――あっ、そうだったんですか？　前田対ニールセン戦と同じに行われた試合ですよね。

荒井　そうそう。

――それはどういった経緯で？

荒井　ボクはボクシングのＩＢＦ日本の役員に入ってたから。それで、当時のＩＢＦの会長を通して、日本にレオン・スピンクスを引っ張って来て猪木さんとやらしたわけよ。で、それから、だんだん新日本と仲良くなって、越中（詩郎）とかとゴルフ行ったりサウナ行くような関係になって（笑）。で、ＷＡＲへ乗り込むって言うから見に行ったんだよね。その時に武井さん（当時ＷＡＲ代表）を紹介されて。「じゃあ、ボクが興行やってやるよ」って言って、横浜文体のプロモートをしたんだよ。

――あぁ、ありましたねぇ。

荒井　その時に、ＷＡＲだけじゃつまんないから新日本の選手呼んできて、長州と天龍を初めてそこでぶつけたんだよ。自分で言うのも何だけど、そんな凄いカードを組んだわけよ（笑）。

サスケ　裏の大物だよね（笑）。

荒井　その時の一番最初がウルティモ・ドラゴンの試合だったんだけど、せっかくウルティモ・ドラゴンが出るんだったら、なんか面白いことやろうって考えて、御輿を出したんだよ。

――なんか記憶にありますね。

荒井　30人ぐらいに担がせてね。で、最後に天龍が出てくる前に、「フレーフレー！　天龍ッ！」って私の母校である中央大学の応援団を付けたのね。初めての興行でそんなことやってて、我ながら「凄いな」って思ってね（笑）。

サスケ　味をしめたと（笑）。

荒井　そう！（笑）。それで、次にＷ★ＩＮＧのプロモートをやったわけ。

――今度はＷ★ＩＮＧ！（笑）。

荒井　Ｗ★ＩＮＧで横浜文体をいっぱいにしちゃったわけよ。

――どれぐらいの時期ですか？

荒井　その時はディック・マードックとか呼んで、あと邪道・外道になって初めて日本に帰ってきた試合だよ。その頃のＷ★ＩＮＧなんて、いつも駐車場とかでやってたのに、それが、横浜文体に5千人集めて満員にしちゃったんだから。

サスケ　まさに〝荒井マジック〟ですよね（笑）。

荒井　そうそう。それで〝荒井マジック〟って名前がポンとあがったんだよ（笑）。

――その頃、サスケさんと藤原組長がタッグを組んで、エル・サムライ＆ＴＡＫＡみちのくと闘った、〝岩手県人最強タッグ決定戦〟っていうのも、確か荒井

パリコレに出演しているモデルとか超一流揃いだから（荒井会長）

サスケ学長を囲んでいる美女達は２・17みちプロ横浜大会で行われたワンナイト・トーナメント『チェスター杯』の優勝者に賞金100万円を贈呈した『チェスター杯』の女神（アテナ）の3人。向かって左から九條慶、六條華、姫川凛子。彼女達もサスケと同じく、ヨーロッパ映画『FATAL TARGET』に出演する女優さんでもある。

会長のプロモートですよね。

荒井　よく覚えてるねぇ。

——サスケさんと一緒で、ボクも岩手県人なんで（笑）。

荒井　リングアナは岩手県人の（ＪＷＰリングアナ）千葉（道也）と、コミッショナー宣言を（当時）ＬＬＰＷの大向（美智子）にやってもらってね。

——岩手県人だらけで（笑）。

荒井　それで、あの時は『初夢☆スペシャルバトル』って題名を付けて、記者会見にも『銭湯で戦闘宣言！』って付けて銭湯でやったんだよね（笑）。

サスケ　やりましたねぇ（笑）。

荒井　裸のサスケさんと藤原組長に風呂に入ってもらって、契約書もチン拓契約っていうね（笑）。その時は確か『東スポ』の年間の裏10大ニュースの9位かなんかに入ったんだよ（笑）。

サスケ　（嬉しそうに）入った入った！　あの時は『東スポ』の一面になりましたよ！

荒井　「こりゃあ凄いや」と思ってね（笑）。

サスケ　またもや、味をしめたと（笑）。

荒井　そうそう（笑）。それから藤原組を一年間やったんだけど、最後は村上竜司と藤原組長の試合でモメちゃったんだよ（苦笑）。その時のメインはサスケさんだったんだよね。

サスケ　あっ、そうだ！　俺、メインだったわ、あん時（笑）。

——まあ、いわゆる、いわく付きの興行というのは、だいたい荒井会長が手掛けていたと思っていいんですかね（笑）。

荒井　そうとも言えるかもね（笑）。それで藤原組が解散しちゃって、バトラーツになったんだけど、〝バトラーツ〟って名前を付けたのはボクなんだよ。

——エッ、荒井会長がバトラーツの名付け親だったんですか？

荒井　10個ぐらい候補があって、ボクが「横文字の方がいい」って言って横文字で作って。で、石川に「どれがいい？」って言ったら、「バトラーツがいい」って言うから、「じゃあバトラーツで行こうぜ」ってなってね。それ

FATAL TARGET

制作総指揮：Edword Chester
監督：Shigeru Iwamatsu
Chester Film, Ltd. - Bulgaria

オールブルガリア ソフィアロケ！
国際派女優俳優育成プログラム、短期間集中レッスン！

右がサスケも出演する『ＦＡＴＡＬ ＴＡＲＧＥＴ』。ここでストーリーをちょっとだけ紹介。「ブルガリアの地で数奇な運命に導かれるように、日本人達が1台のバスに乗り合わせる。共に行動することとなった彼等が、見知らぬ地で何者かに襲われていく。彼等を蝕む謎の病い、襲い来る死の影、爆発炎上するバス。一体彼等の身に何が起こったのか？　目に見えぬ恐怖の中で分裂していく仲間達。限界点ギリギリの状況で、次第に彼等の埋もれていた生存本能が目覚める。次々と倒れていく仲間達に涙する暇もなく首都ソフィアへと向かう……」。さて、サスケはどこに？

『FATAL TARGET』って映画はサスケさんの他にもパ

で、プレ旗揚げ興行はボクがやったんだよ。それで、その頃に今度は青柳館長がね。

——も、もしかして新格闘プロレスですか？

荒井　そう、新格闘プロレスね。あれもボクなんだよ（笑）。で、館長に話を聞いたら、あまりうまくいってないって言うから、「オレが何とか手を加えてやってやるよ」ってなってね。で、その時に佐山（聡）さんに電話して、「佐山さん、ちょっとやってくれない？」って言って、青柳vs佐山を発表したわけよ！

——当時のシューティングと提携を結んだんですよね。

荒井　佐山復活っていう形でね。で、あれから佐山さんが、また表舞台に出てるじゃない。それまではシューティングでやってたけど、あんまり人気なかったんだよ。いっつも後楽園もガラガラでね、「これはつまんねぇな」と思ってたんだけど、でも、その時に新格闘とシューティングをぶつけたら面白いなと思って、やらせたのが、木川田潤！

サスケ　はいはいはい（笑）、空飛ぶボクサーね！

荒井　あれが「ボクやりたいです」って言ってきて、「じゃ、やろうよ」って話になったんだよ。それで、あの時、相手は誰だったんだっけな？

——木川田さんは、確か中井（祐樹）選手とやってますよね。

荒井　そうだそうだ。それで、秒殺されたんだっけ？（笑）。

——はい、アッサリと（笑）。

荒井　そのあと「もう一回チャレンジだ」ってなって、新格闘の藤田（豊成）とか3人ぐらいシューティングと、やったんだけど、みんな秒殺されてね（笑）。

サスケ　そうそう（笑）。

荒井　で、4連敗しちゃったわけよ。それで、「もう一回勝負しよう！」ってなって、今度はみちのく出身の……あれっ、なんてヤツだっけ？

サスケ　あ〜、いましたねぇ。

荒井　あれだよ、エンセン（井上）に負けたヤツ？

——あぁ、なにげにエンセン（井上）も出てたんですよね。確かエンセンとやったのは茂田選手じゃなかったですか？

サスケ　そうそう、茂田だ！

荒井　あれ、みちのくの練習生だったんだよ。試合前に「エンセンって強いの？」って聞いたら、「いやぁ、大したことないですよ！」って言うからさ（笑）。

——確か、あの当時、エンセンさんは、まだラケットボールの方を中心にやってる頃でしたよね。

荒井　そうそう！（笑）。

サスケ　これなら行けるだろうっていうワナに、まんまと引っかかっちゃったね（笑）。

荒井　で、そのまま病院送りにされちゃってね（笑）。でも、あれからだよ。グワーッと格闘技が流行りだしたのは。

——新格闘プロレスは、今となっては、いろんな意味で伝説になってますからね（笑）。

荒井　でもさ、新格闘に佐山さんを引っ張りだしたのは凄いよね、我ながら（笑）。

——我ながら（笑）。

荒井　それからでしょ。グレーシーやらバーリ・トゥードなんやらって格闘技ブームとか言われだしたのは。初っぱなボクが仕掛けたんだもん（キッパリ）。

——それこそ、佐山さんじゃないですけど、10年ぐらい早かったんですね（笑）。

サスケ　そうなんだよねぇ（しみじみと）。もっと評価されていいですよね、荒井会長は。

荒井　ホントだよ！（笑）。なんか埋もれちゃってるからね。

——埋もれちゃってる（笑）。

荒井　だって、日本のプロレス界でプロモーターとして表に出るのは、それまで誰もいなかったわけよ。そうでしょ？

——ボクシング界とかでは、いますけど、プロレスの方ではあまり聞かなかったですよね。

荒井　日本中でプロレスのプロモーターで知ってるの誰って聞いたらボクの名前しか出てこなかったわけよ、表にはね（笑）。

——アハハハ！　表には（笑）。

荒井　みんな裏の人間だからね（笑）。それで、なおかつ話題をバーッと集めたからね。それまでプロレス団体って少なかったんだけど、ボクが自分でブッキングするようになって、いろんな団体が増えちゃったんだよ。

サスケ　増えましたよねぇ。

荒井　評論家の菊池（孝）さんには「荒井自体は、そうやってプロレス界を活性化したかもしれないけど、でも、それによって悪い方向に行ったのもお前が原因だ」って言われて（苦笑）。

——アハハハ！　さすが菊池さんですね（笑）。

荒井　ボクは、もう根本的にプロレスで金儲けしようと思ってないから。とりあえず、いっぱいになる興行でも、スポットライト余計に入れちゃったり、そう

いうお金を掛けちゃうんだよ。だから、荒井の興行は派手な興行になるわけ。例え、客が入ってなくても入ってるように見せる努力をするからね。

――ちなみに、それはどういった方法なんですか？

荒井　例えば、客席がボコッと空いちゃう場合があるじゃない？　そういう時に「10組ペアでプレゼント」って出すでしょ。それもプロレス雑誌には出さないわけよ。例えば『ＴＶガイド』とか地方の新聞とか、そういうのに出すとプロレスファンじゃないのが送ってくるんだよ。あとそういう人にチケット上げて「荒井の興行は入ってるよ」っていう様に見せてるわけ。そうすると次につながるしね。まあ入ってなくてもサクラ使ったりとか（笑）。でも、そうするとレスラーが勘違いしちゃうんだよ（苦笑）。

サスケ　「荒井、儲かってんな」とか「客入れてんのは俺の人気じゃん」みたいにね。

――それはあるでしょうね。

サスケ　レスラーの性（さが）なんだろうなぁ。

荒井　そうだろうね。それで、その次が石川さんだったかなぁ？　「東京プロレスやるから、やってくれないか」って。

――石川雄規さんじゃなくて石川孝志さんの方ですね（笑）。

サスケ　「フィーバー！」の方だよ（笑）。

荒井　横浜の事務所まで来て「お願いします」って言うから、「じゃあ、やりましょう」ってやって。その次に冬木（弘道）が旗揚げするっていうんで、「せっかくやるんだったら、なんか新しいことをやんないといけないな」ってことで、その頃ちょうど、女子高校生の援助交際が流行ってたでしょ（笑）。

るってところにビビビッ!って来るような若者に来て欲しい(サスケ)

――援助交際ですか？（笑）。

サスケ　あ～、流行った流行った（笑）。

荒井　じゃあ"援助興行"っていうことで、女子高校生軍団をリングに上げたわけよ。

サスケ　（感心して）あぁ～、あれも荒井会長だったんだぁ。

荒井　そう（笑）。今はさ、プロレスに結構みんな女が（リングに）上がってるでしょ？　で、あの頃は女はリングには上がってなかったの。

――相撲なんかは今でもそうですけど、プロレスのリングに上がる女の子っていえば花束嬢ぐらいでしたからね。

荒井　あとね、たまたま藤原組の時に「この女の子、ちょっと売り出したいんだけど。何とかしてくれない？」って頼まれて、藤原組マスコットガールということで、美穂を藤原組に上げたんだよね。

――あぁ、宮内美穂ちゃん！

荒井　そう。プロレス界初のマスコットガールでね。なんでも初めてが好きだから（笑）。

サスケ　影の仕掛け人ですね。

荒井　ハッハッハッ！（誇らしげに）。

――もしかして、バトラーツのリングに、川村ひかるを輩出したサウスポーを上げてたのも荒井会長なんですか？

荒井　それは違う（アッサリ）。

――あ、サウスポーは違いましたかぁ（がっかり）。

荒井　で、今度は浅井（ウルテイモ・ドラゴン）から「闘龍門っていう団体を始めるんで、いろいろ仕込んでくれませんか？」って言われて、大会前から記者会見を何回もやって「闘龍門が来るぞ！」っていう感じでガンガン煽ったわけよ。

サスケ　いやぁ～、あの煽りは上手かったですよねぇ。もう、これでもか！っていうぐらい煽りまくってましたもんね。

荒井　そう。だって、旗揚げ前にみちプロの幕張メッセにＣＩＭＡとかが出場したって、あの時点ではまだ、そんなチケット売れないから。だから、上手い具合に電撃ネットワークとかと一緒に記者会見して煽ったんだよ。で、「マスコットガールを募集しよう」って言って、闘龍門って名前がラーメン屋みたいだから、女の子をみんなチャイナドレスにしようとか言ってね（笑）。そんなことばっかりやってたらリングに女の子を上げるのが趣味になっちゃった（笑）。

――楽しげな趣味ですね（笑）。それ系の仕掛けも、ほぼ荒井会長のしわざだと思って間違いないわけですね？（笑）。

荒井　だいたいボクだね（笑）。

――いま闘龍門は、かなり盛り上がってますけど、最初は荒井会長の力が大きかったと？

サスケ　だって、あれですよ。マグナム（ＴＯＫＹＯ）にチップ入れるっていうのも、仕込んだのは荒井会長だもん。

――そんなとこまで（笑）。

荒井　あの時は、あらかじめファンみんなにお金渡したんだもん。それで入れてもらったんだから。それで生稲晃子なんかが闘龍門の会場に観に来て、新聞に載ったりしたでしょ？

――あ、ありましたね。リングサイドで観戦してましたけど、あれもやっぱり？

荒井　そう。ボクが生稲呼んだの。で、マグナムが入場してきて、そこの前で止まるようにボクがズーッと引っ張ってったのよ。パッと絵になるようにね。

サスケ　そうだそうだ（笑）。確か、その時の新聞とか見ると、生稲ちゃんの脇に荒井会長も写ってるはずだよ（笑）。

荒井　あと、山本太郎も呼んだりね。あれは、ちょっと失敗したんだけど（苦笑）。その時はマグナムが先に自分で「メロリンキュー！」ってやっちゃって、それがウケなかったんだよ（笑）。

サスケ　向こうの得意技を先に出しちゃったと（笑）。

――リング外のミスター高橋さんというか、裏側をいろいろと見てきたわけですね（笑）。

サスケ　ホントそうだよね。

――それで、闘龍門でいろいろやった後、プロレス界から、しばらく離れていたんですね？

荒井　そうそう。何もやらないでいろいろ考えてたの。そしたら、サスケさんとこと闘龍門が、しばらく交流してなかったんで、また、みちのくの興行をやってあげなきゃいけないなと思って去年の夏の横須賀大会をやったわけよ。またそこも超満員にしたけどね（キッパリ）。

サスケ　（恐縮して）その節はありがとうございました（笑）。

荒井　2月の17日（みちプロ横浜大会）もボクがやるんだけど、記者は、そんな来ないと思うんだよ。だって同じ日にノアの武道館があって、6時からは坂口（征二）さんのパーティーかなんかがあってさ。でもね、一番のライバルは横浜アリーナのモーニング娘。なんだよ〜（笑）。ウチの子供もそっちに行きたいって言ってるしね（苦笑）。

——モー娘は。いま全てのジャンルのライバルですよね（笑）。

サスケ　そうだよねぇ（しみじみと）。全てのライバルだね。

荒井　それがあるからちょっと難しいんだよなぁ。でもまた、荒井マジック使うから（笑）。

——残念ながら横浜大会は発売日には終わってるんで、強引に話を戻します（笑）。それで、資料によると「起こせプロレス革命！　inヨーロッパ」っていうことなんですが？

サスケ　（握り拳を作って）革命を起こしますよォォ！

——さすが、学長に就任しただけあって、かなり気合いが入ってますね（笑）。

サスケ　モチのロンだよ！

——アラッ、懐かしのタマリン語ですか（笑）。

サスケ　ガハハハハ！　ブルガリアでござるだよ（笑）。

——アハハハハ！　で、今回の件を聞いて一番驚いたのがブルガリアの国立大学内のプロレス学校の学長に就任ってことなんですけど、これはホントにホントなんですか？

荒井　正確に言うとね、ブルガリアの国立大学の学長がオッケーを出して、その中にプロレス

ブルガリアっていう、プロレスと縁のないような国でやるって

学校を作ったわけよ。だから、国立大学の中に一種の専門学校を作ったっていう感じだよね。

——ほぉ〜。サスケさんが通っていた新日本プロレス学校とは違うんですね（笑）。

サスケ　違う違う！（笑）。

荒井　だから、その国立大学で本気で勉強したいヤツがいたら、そこで聴講生として勉強してもいいしね。ちゃんと修了証書も出すつもりだから。あくまでも、街の道場とかじゃなくて、大学の中の一部としてのプロレス学校だから。わかりやすく言うと、プロレス界初の大規模なプロレススクールの学長がサスケさんってことだよ。

——そこの『ナショナル・スポーツ・アカデミー』には、資料を見ると、教授としてブルガリアの首相も名を連ねてますし、他にもIOCのサマランチ前会長やサッカーのベッケンバウアーとかもいるみたいですね。

サスケ　これは凄いでしょ？

——凄いですよ。同列にサスケさんも並ぶわけですよね？

サスケ　そうなんだよ。こっちが聞いてビックリだよね（笑）。

——で、今までブルガリアのプロレスラーって、あまり聞かないですよね。格闘技の方はリングスにリングス・ブルガリアとして何人か上がってますけど。

荒井　ホント？

サスケ　らしいんですよ。でも、プロレスの方はいないよね。

荒井　ただ、今回やろうとしてるのはレスリング出身とか格闘技系だけを狙ってるんじゃなくて、向こうの体操の選手とかを狙ってるんだよ。それもオリンピック級のね。

——ブルガリアと言えばヨーグルトだけじゃなく体操選手も有名ですからね。

荒井　そうそう。やっぱり体操

荒井会長がプロレスで一番最初にマッチメークしたのが、S61・10・9のアントニオ猪木対レオン・スピンクス戦【写真右】。あのモハメド・アリを破り世界チャンピオンにもなったこともあるスピンクス相手に猪木はなんとか勝利。この試合のレフェリーはガッツ石松が務めた。そして、上の写真は本文中にも出ているとおり援助交際ブーム（?）の真っ只中に荒井会長がプロモートを手掛けた冬木軍興行でリングに登場した女子高生軍団。今でこそ女の子がリングに上がるということは珍しくはなくなったが、当時はファン・関係者の間で賛否両論だったという。ちなみに荒井薫子と荒井会長はなんの関係もありません。

の選手って骨格もしっかりしてるし、当たり前だけど跳躍力もあるしさ。プロレスラーと一緒の部分が結構多いんだよね。

——しかも、新体操とかで活躍してる選手は年齢もメチャメチャ若いですからね。

サスケ&荒井　そう！

——で、サスケさんのプロレス学校も入っている『ナショナル・スポーツ・アカデミー』ってところは、オリンピックのメダル獲得数が全世界の大学の中で世界一なんですよね。

サスケ　もう、もの凄いレベルなわけよ。

荒井　日本の体育大学っていうと、少しレベルが下に見られちゃうんだけど、そこはスポーツだけじゃなくて、大学の学力レベルから言っても、日本の東大よりも全然上なんだから。

——菊川怜もビックリと（笑）。

サスケ　ガハハハ！　これがまた、女の子のレベルもブルガリアは世界トップクラスだから。

——その辺のことは、サスケさんが言うとかなり説得力がありますね（笑）。

サスケ　でしょでしょ？（笑）。

荒井　ブルガリアの国立大学には共産圏時代に英才教育で引っ張ってきた人間が多いの。頭が良くてスポーツ万能っていうエリート集団の集まりなんだよ。

——で、ブルガリアのエリート集団に、どんなプロレスを教え込もうと思ってるわけですか？

荒井　やっぱり、これまでにない新しいプロレスだよね。

——これまでにないプロレス？

荒井　ボクが考える理想は『サルティン・バンコ』のサーカスの要領なんだけどね。

——サ、サルティン・バンコ？

荒井　そう！　理屈抜きに誰が見ても「おぉ、凄い！　面白い！」って思えるプロレスを作りたいんだよ。そういう意味では、やっぱりスポーツ選手のエリートがやらないとね。それもオリンピッククラスね。

サスケ　やっぱり「プロレス革命inヨーロッパ」だから、それぐらいのことしないと革命にはならないからね。

荒井　そのエリート集団を、そのまま日本に持ってきたら凄いことになるよ。

——いや、なるでしょうね。今回、向こうのオリンピックレベルの選手だけじゃなく、日本からも生徒を募集するみたいですけど、サスケさん的にはどんな人に来てもらいたいですか？

サスケ　う〜ん、そうだねぇ〜。やっぱりブルガリアっていう、今までプロレスとは縁のないような国でやるっていうところに、ビビビッ！って来るような若者に来て欲しいよね。これに飛びつく若者っていうのはスケールも大きいと思うんだよ。

——それは大きいでしょうね。

サスケ　好奇心が旺盛で視野の広い若者に来てもらいたいね。日本の中だけでチマチマ考えるんじゃなくてね。体力なんかは俺がビシビシしごくからノー問題！

——サスケさん的には、みちプロとは、ある意味、別の……。

サスケ　まず一線を引いてもいいんじゃないかなと。それで、荒井会長が考えた『EUWO（ヨーロッパプロレス機構）』っていうものをね……。

荒井　それさ、『EUWO』の方がいい？　それとも『EWO』の方がいい？

——3文字の方が、プロレス的にはいいんじゃないですかね。

サスケ　そうだよね〜。

荒井　ただ、"EU"だとヨーロッパってわかるから。でもEUって"U"がつくと、ホントはヨーロッパ連合なんだよね。

サスケ　あぁ、UNIONでね。

荒井　やっぱり『EWO』にしちゃおうかな。

——とりあえず『EWO（仮）』ということで（笑）。

サスケ　まぁね、（仮）でもいいよね。話はちょっと飛ぶんですけど、今年は、ちょっとウチも大リストラを敢行して、分社化しようと思ってるんですよ。

——エッ！　大リストラですか？

サスケ　そう。選手をリストラして、俺も社長を退陣して、新崎人生かテッド・タナベを社長にしようと思ってるんだよ。

——ギョ！　人生さんかテッド・タナベさんが社長ですか？

サスケ　どっちかだね。で、俺は『株式会社　ザ・グレート・サスケ』っていうのを作ろうかなと思って。それをそのまま『EWO』のプランをやるための会社にしようと思ってるんだよ。

——そのまんま『株式会社　ザ・グレート・サスケ』！（笑）。

サスケ　そう（あっさり）。そうやって、ちょっと今いる連中のケツ叩かないと活性化しないから。だから逆にヨーロッパ軍団のトップに俺が立って日本に旋風を巻き起こすとかしていかないとね。そのぐらいのこと、いま考えてるんだよ。

——ブルガリアだけじゃなく、みちプロにも革命を起こすと？

サスケ　そうだね。結局、今は何でもかんでもサスケに甘えりゃいいって思ってるからね。それに、どっかで選手も守りに入っちゃってるから。だから俺がみちプロの枠から抜けちゃえば、みんな焦るんじゃないかなって。

荒井　そうすれば相乗効果になるからね。

サスケ　そうなったらブルガリアでの指導にも専念できるし、いい選手を育ててヴォ〜ンと日本に持ってきたら、みんなもウカウカしてられないだろうしね。

——ヨーロッパからの刺客が続々とみちプロを襲うわけですね。

サスケ　そうそう。で、「影で操ってるのがサスケだった」っていうオチなんだけど（笑）。

——オチ付けてどうするんですか（笑）。あと、ボクなんかは単純にブルガリア＝ヨーグルトっていう短絡的なイメージしかないんですけど、ブルガリアって実際どんなところなんですか？

サスケ　それは俺もこれから行ってみないとわからない（笑）。

荒井　まるっきり農業国だよ。ただ一つ言えることは、オスマントルコとか、いろんな国に占領されたりしたから混血が多いの。それで、混血が多いから美人が多いんだよ（笑）。

——ボクもブルガリアの女性の写真をたくさん見させてもらいましたけど、ホントにレベルはもの凄く高いですよねぇ。

荒井　でしょ？　サスケさんが決断したのも、そこが一番なんじゃないの？（笑）。

サスケ　いやいやいや（苦笑）。まあ、それもなきにしもあらずだけど（笑）。

荒井　それにブルガリアは、この5〜6年が勝負だからね。

——それはどういう意味で？

荒井　6年ぐらい先に多分ユーロに加盟すると思うから。そうすると、みんな生活レベルをグーンと上げなくちゃいけないだろうから、その時にいろいろ起きると思うからさ。最終的には、日本とブルガリアの親善大使をサスケさんとやりたいね。

サスケ　ねッ！（笑）。必ずやりますよォォ！

荒井　こんな大きい話サラッとするのってプロレスラーにはいないから。

——いないでしょうね（笑）。サスケさんは、よく「宇宙に行く」とか大きいことをサラッと言ってますけど（笑）、さすがにブルガリアへ行くとは想像してなかったですからね。

サスケ　さすがの俺も、これは予言できなかったから（笑）。

荒井　でも、これが例えば「メキシコに行く」「プエルトリコに行く」「アメリカに行く」って言うと、もう二番煎じ三番煎じになるからダメなんだよ。

——プロレスファン的にも、その辺はインプットされちゃってますからね。

サスケ　されてるよね。

荒井　その点、ボクは初物が好きだから（笑）。それに、いち早くサスケさんが躊躇しないで乗っかってくれたからさ。

サスケ　（突然）いま、円がダメでしょ？　これからはユーロになりますよォォ！………って俺が予言しときます（笑）。

——アハハハ！　それにプロレス学校ではプロレスだけじゃなく語学も学べるんですよね？

荒井　そこの大学の授業に出ても構わないからね。それに向こうはブルガリア語ってあるんだけど、その他にロシアも近いからロシア語と、あとルーマニア語とかね。ドイツの言葉を喋れる人間もいるし英語も喋れる。みんな大体、3カ国語ぐらい喋るんじゃないかな。日本と違って島国根性じゃないからね。ブルガリアでプロレスだけじゃなく語学まで学べると。だからホントに遠大な計画なんですよ。

National Actors College

BULGARIA PROFILE
国　名：ブルガリア共和国
面　積：110,912 km2（日本の約3分の1）
人　口：約800万人
首　都：ソフィア
言　語：ブルガリア語　ドイツ語　英語　ロシア語
交　通：空路 ローマから約1時間
時　差：日本からマイナス7時間（夏時間 マイナス6時間）
特　徴：世界で日本に次ぐ温泉地
ヨーグルト発祥の地、バラの産地

「ブルガリアってどこにあるんだよ！」という人のために簡単に説明します。ボブチャンチンが住むウクライナのちょっと下、シカティックが住むクロアチアの横の方にあるのがブルガリア。面積は日本の約3分の1ほどで、なにげに日本に次ぐ温泉地だったりもする

——あまりにもデカすぎて見えない部分もありますけど（笑）。で、先ほども、ちょっと話に出ましたけど、国立大学でプロレス学校を開校するだけでも十分凄いんですけど、チェスター・フィルムというところと連動して、アクションスターの育成もしていくんですよね。

サスケ　そうそう。どっちかっていうとアクターズ・スクールがあって、その一環としてプロレスがあると考えた方がいいと思うよ。

荒井　でもさ、国立大学内に創っちゃうって、普通じゃ考えられないよ。よっぽどパイプがないとできないことだから。

サスケ　ですよね。まあ、やるからには、ホントの意味での"サスケ二世"を育てたいよね。

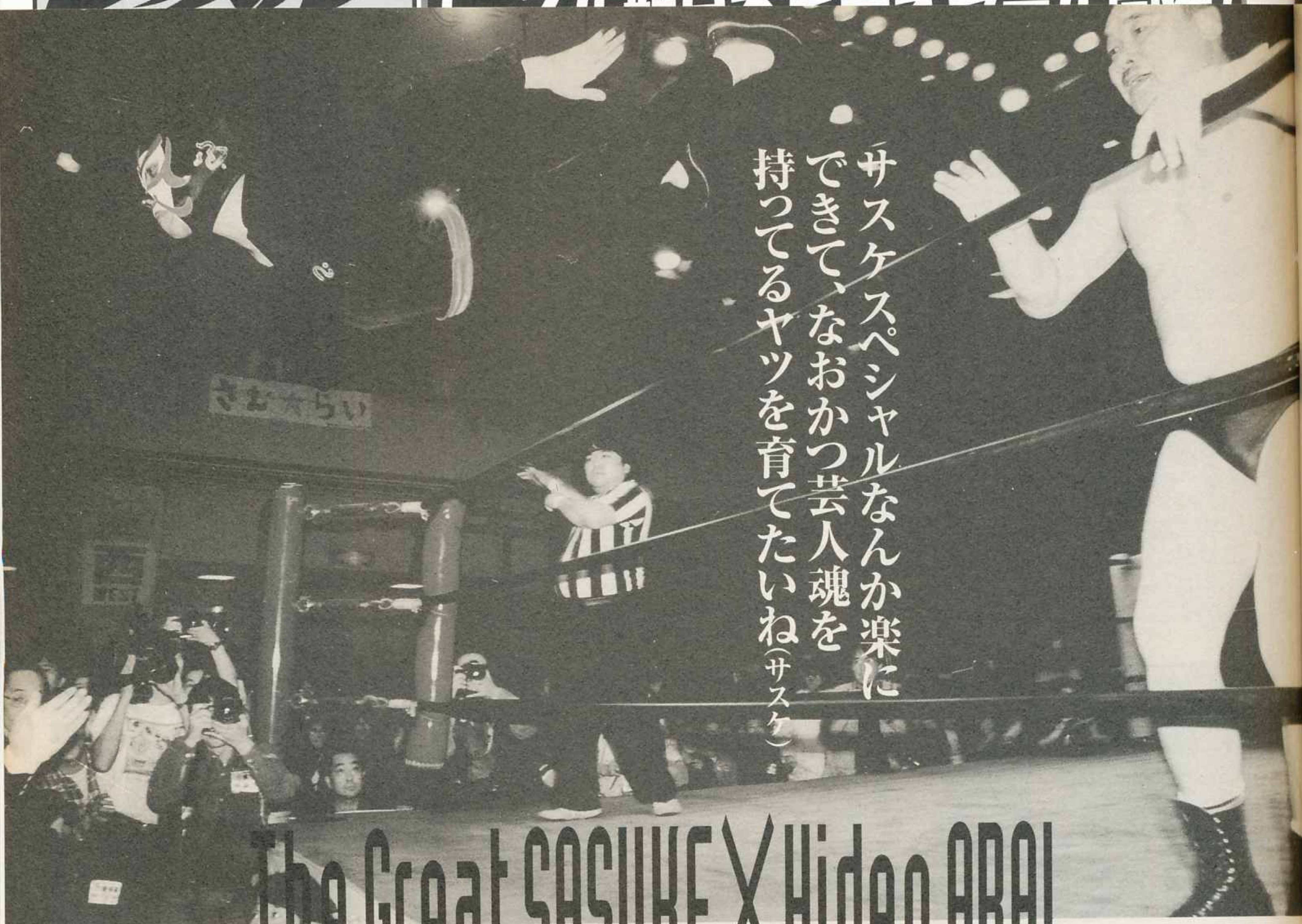
——ホントの意味でのサスケ二世というと？

サスケ　だから、今いる連中っていうのは、「プロレスだけしかできませ〜ん」って言ってるんだよね。だけども、俺みたいに、もうお笑いでもバラエティーでも何でもやれ！　と（笑）。

——アハハハ。でもサスケさんは、バラエティーとかでも、ヘタしたら、その道のタレント以上の働きをしますからね（笑）。

サスケ　でしょ（笑）。それがここだったらできるんだよね。アクターズで勉強して、レスリングもやってっていう感じで。

——J'dがやっているアストレスのような感じなんですかね？

サスケ　まさにそれだよな。プロレス経験して女優になるっていうね。それのワールドワイド版だよ。それで、ホントの意味での第

サスケスペシャルなんか楽にできて、なおかつ芸人魂を持ってるヤツを育てたいね（サスケ）

The Great SASUKE X Hideo ARAI

二のサスケを作ると！　サスケスペシャルなんか楽にできて、なおかつ芸人魂を持ってるヤツだよね（笑）。映画にも出れちゃうみたいな。

荒井　それで、サスケさんが出演する映画なんだけど、一作目も凄いんだけど、二作目っていうのが、もっと凄い役だからね（笑）。これはまだ言えないけど。

——ちょっとうかがったんですけど、サスケさんは●●●の●●の役なんですよね。しかも覆面付けたままで（笑）。

サスケ　そうなんだよ。かなりインパクトあるでしょ（笑）。

——公開が待ち遠しい（笑）。でも、サスケさん的には当然、期待もあるでしょうけど、正直、不安も大きいんじゃないですか？

サスケ　いや、今は希望の光しか見えないよ！（キッパリ）。

——希望の光しか見えない！

サスケ　うん。だから、これで日本人の留学希望者がバンバン来れば嬉しいね。まずは、どしどしお問い合わせ下さい。男女問わずで募集してるから。

——それは、男子プロレスっていう括りだけじゃなく、女子の方でも面白いものを作りたいっていうことですか？

荒井　そう。ホントに芸人魂を持って自分で演じられる……ある意味、女優と一緒だもんね、プロレスラーって。

サスケ　そうですね。

荒井　自分を演じなきゃいけないわけだから。それをメダリスト級がやったら面白いでしょ。プロレスのファン層っていうのは、まちまちだから、そうじゃなくて誰が見ても「凄い！」と思わせるプロレスだよね。

——『サルティン・バンコ』とかは単純に、誰が見ても凄いって思いますからね。

荒井　だからもう、完全にプロレス版の『サルティン・バンコ』を狙ってるわけよ。あれにも、どっかのオリンピック選手が出てるんでしょ？

——そうみたいですね。でも、『サルティン・バンコ』級のプロレスをモー娘。の様なタレントがやったら、間違いなくプロレス革命が起きますよね（笑）。

荒井　そう。そういうことなのよ。だから、才能もオリンピック級の選手だからさ、もうズバ抜けてるわけよ。それに、なおかつ違う才能をこっちで与えてやれば、これまでのレスラーはかなわないよ。

——何年後めどに、その構想を軌道に乗せる予定なんですか？

荒井　第一期生を、今年の11月までには形つけたいね。

サスケ　そうですね。3ヶ月の集中特訓で土台作って。で、2年ぐらいで仕上げてポンっと。

——エッ!?　3ヶ月もあれば十分なんですか？

サスケ　いや、それはもう俺が死に物狂いで練習させるから。

——その間、サスケさんはブルガリアに滞在するわけですか？

サスケ　行きっぱなしは正直、難しいんで。今のところ候補は湯浅（和也）か、もしくは西田秀樹のどっちかを派遣しようかと思ってるけどね。ただ、必ず1人は住み込みでやらせますから。それで、俺が度々行って、さらに補修するっていう形だよね。

荒井　日高（郁人）もいいんじ

クレージーモンキー 葛西

The Great SASUKE × Video ARAI

冒険心と好奇心を持って、思い切って遠くへ行ってみよう！（サスケ）

やないかなって思ったね。

サスケ　あぁ～、そうですね。（突然）日高を行かせましょうか！　何でもできるし。

——本人のいないところで勝手に決めていいんですか（笑）。

荒井　いや、俺もそう思って今日、日高にちょっと豪華な飯を食わしたんだよ（笑）。

サスケ　ガハハハハ！

——日高さんは掣圏道でロシア人にプロレス教えてましたから適任かもしれませんね。

サスケ　そうだよねぇ。あっ、でもタイガー（マスク）とモメてるからなぁ。

——そうでしたね。でも、オリンピック級の選手に指導するとなると、飛び技ひとつとっても、軽々と自分を上回ることやられたりしてショックを受けるんじゃないですか（笑）。

サスケ　それはね……正直、嫌だよなぁ（苦笑）。

荒井　新体操の選手とかは体も柔らかいだろうしさ。

——逆エビ固めとかも全く効かない可能性もありますね（笑）。

荒井　そこなんだよ。ひょっとしたら、新しい星じゃないけど違う星が見えるかもしれない。

——ニュースターというよりアナザースターが誕生するかもしれないと。

サスケ　そうそう、その可能性は高いね。

荒井　従来のレスラーとは、まるっきり格が違うっていうね。

——まぁ、現実には、動き出してみないとなんとも言えないと思いますけど、何年後かには、ホントにプロレス革命が起こす可能性は十分ありますよね。

荒井　十分ある！　でも、面白いでしょ、この企画？（笑）。

——いやぁ～面白いですよ。是非、取材でブルガリアに行けるよう盛り上げて下さい（笑）。

サスケ　盛り上げるよぉぉぉ！（急に我に返って）いやいやいや、盛り上げるのはマスコミさん頼りですから（笑）。『紙プロ』で盛り上げて下さいよ（笑）。

——わかりました（笑）。でもホント、ブルガリアにケブラーダって感じですよね。意味不明ですけど（笑）。

荒井　いや、ケブラーダじゃダメなんだよ！（キッパリ）

——ケブラーダじゃダメ？

荒井　ダメ！　やるからにはウルトラ・ケブラーダとかじゃないとね。

サスケ　二回ひねり半ケブラーダだとか、もうグルングルン回すから（笑）。

——染之助・染太郎状態（笑）。

サスケ　そうそうそう（笑）。

荒井　従来のプロレス技出してちゃダメ！　これからは全部が全部ひねって行かないとさ。

サスケ　とにかく「ひねるよぉ」っていう。今年のキーワードは、「ひねるよぉ」だから（笑）。

——ひねりますか（笑）。

荒井　それで、今回の件は国と国の友好でやるわけだから、プロレスや映画だけじゃなく、政治、芸能、スポーツと話題性はいっぱいあるしね。あとは、これを読んでくれた人が、どっからどこまで信じるかって話で（笑）。

——信じないヤツは信じなくていいと？

荒井　かまわないけど、だったら第一発目にサスケさんがブルガリア行って、向こうの首相クラスの偉い人と握手するところから見せていくからさ。

——さすが敏腕プロモーターですね（笑）。すでに見せ方まで考えてるわけですね。

荒井　もちろん！　で、次に新体操の金メダルとか、体操の銀メダルの選手と握手してもらって、即入団！

——アハハハ。即入団！（笑）。

サスケ　いいねいいねぇ（笑）。なんか絵が浮かんできたなぁ。

荒井　まぁ、それは理想と現実が離れるかもしれないけどさ。でも、向こうは就職状況とか良くないんだから可能性はあるんだよ。まあ、その辺は学長の最大の権限なんで、サスケさんの腕の見せ所だよね（笑）。

サスケ　金、銀、銅とメダリストとを並べて一緒に写真撮ったら面白いでしょ（笑）。それにね、今は絶滅状態の〝未知の強豪〟をガンガン輩出するから。

——確かに〝未知の強豪〟は今のマット界は絶滅状態ですから、それは期待しますよ。

サスケ　〝未知の強豪〟がいなくなったって言われて10年ぐらい経つけどさ、いやいや、そんなことはないぞ、と。

——オリンピッククラスの選手だけでなく、プロレスラー志望の日本人も受け付けるということで、最後に、どこの団体に入ろうか迷ってる人に向けてメッセージをお願いします！

サスケ　もうね、日本の中じゃ、どこ行っても同じだから。それだったら、ちょっと冒険心と好奇心を持って、思い切って遠くへ行ってみようってことだよ。

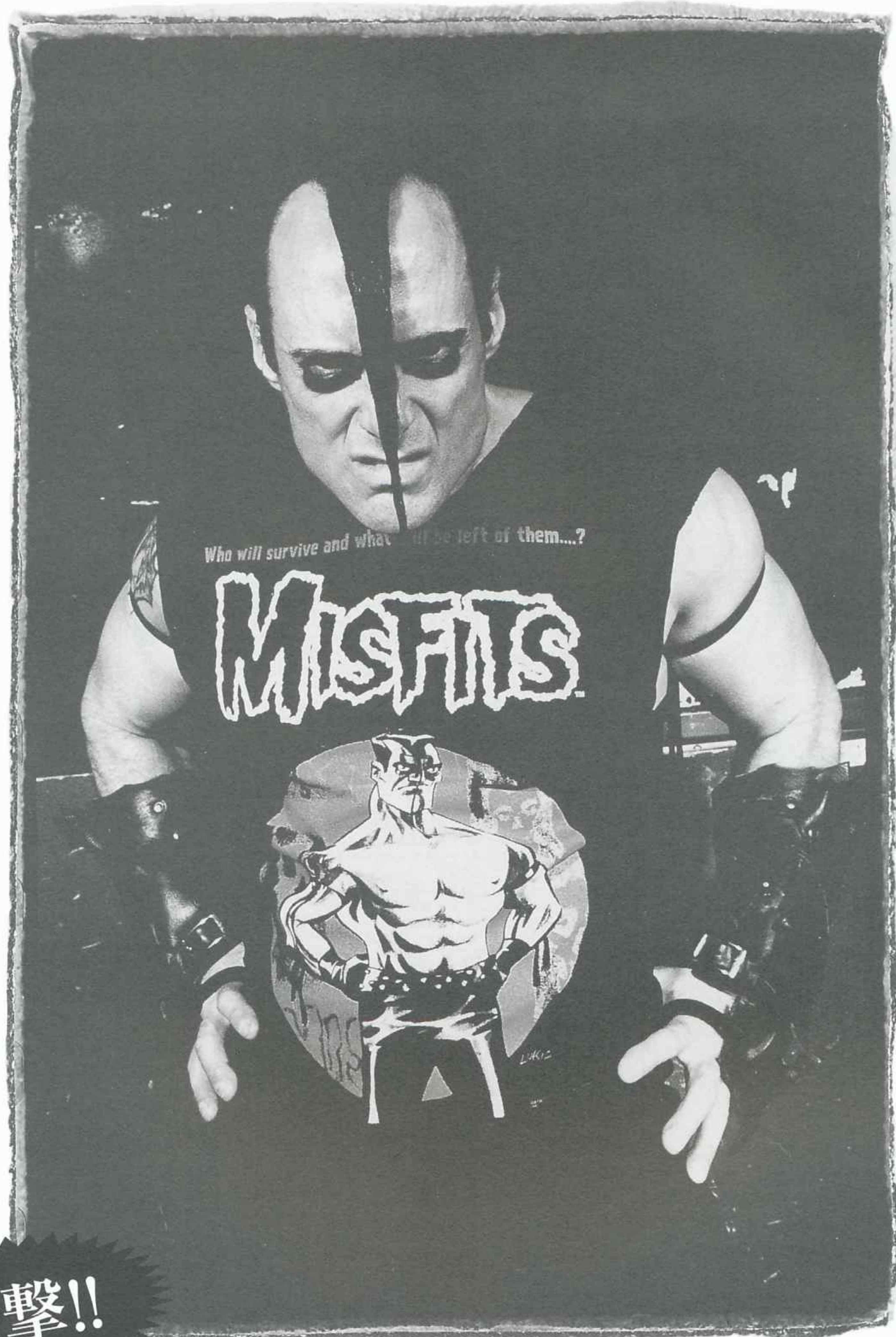
——まぁ、「行けばわかるさ！」って感じですよね（笑）。

サスケ　間違いない！（笑）。

【02年2月3日／東京都港区・ホテルインターコンチネンタル東京ベイにて収録】

ブルガリア国立大学内 National Actors College プロレス学部募集要項!

学　長　ザ・グレート・サスケ
募集人員　20名
教育期間　1年間（ヨーロッパでのプロレス留学3ヶ月間含む）
受験資格　中学校並びに高等学校卒業者及び見込む者、入稿意欲のある者（男女問わず）
入稿受付　2002年3月25日まで（下記の電話での受付【土、日曜日を除く9：00～17：00】）
入稿面接会　2002年3月26日（13:00に下記の東京日本事務局へ集合）
合格発表　2002年3月27日
入稿受付係　東京都中央区銀座2-6-4竹中銀座ビル6F　ナショナル・アクターズ・カレッジ　日本事務局プロレスリング・スクール係
電　話　03-5250-1131
ブルガリア出発日　2002年4月中旬

聞き手／イナズマ★K
構成／松澤チョロ
撮影／菊池茂夫
強力／ロードランナー・ジャパン
designed by matsu (Two three)

衝撃!!

白塗りホラーパンクバンド

ミスフィッツのジェリー・オンリーは WCWのトラブルメーカーだった!

ストーンコールドがリングでビールを飲んでるけど、あれはキッズによくない!

世界中のミュージシャンの中でも『紙プロ』登場回数が一番多いのが、この人、ミスフィッツのジェリー・オンリーなのだ。パンク等にあまり詳しくなくても、このルックスと、Tシャツに書かれたバンド名は見覚えがあるという人も少なくないだろう。今回、ライブのため日本を訪れていたジェリーに、WCWでプロレスラーとして活躍していた頃の話を聞いてみた

ウイリアムスとはケージマッチで闘って何度か勝ってるんだよ！

――ジェリーさんは、どれぐらいの頃からプロレスが好きだったんですか？

ジェリー　ちっちゃい頃から大好きさ（嬉しそうに）。ブルーノ・サンマルチノ、ミル・マスカラスとか、よく見てたよ。でも、一番詳しいのはWCWだ！　オレも出てたからなんだけど（笑）。

――それはそうでしょうけど（笑）。

ジェリー　ホーガンとかも好きだったけど、WCWの末期の頃はnWoがインチキばっかりして、つまんなかったけどな。

――インチキばかりでしたか（笑）。

ジェリー　インチキってわけじゃないけど、ストーンコールドがリングの上でビールを飲んでるだろ？　ああいうのはアダルトファンにはいいけど、キッズにはよくないと思うんだ。ハッキリ言って、オレはあまり好きじゃないな。

――キッズには、あまり良くないと？

ジェリー　その通り。オレはベビーフェイスだからな（笑）。『レスリング・ウィズ・シャドウズ』でも、最後にブレッド・ハートがビンス（・マクマホン）に騙されてただろ？　あれも良くないな。レスラーはキッズ達に対してヒーローじゃなきゃいけない。汚いことを見せるのはキッズ達にとって良くないと思うよ。

――そうですか（笑）。なんか、イメージ的にミスフィッツはヒールレスラーの方を支持しそうな感じがあったんですけど、全く逆なんですね（笑）。

ジェリー　ハッハッハッ！　確かにミスフィッツはモンスターっていうイメージがあるかもしれないけど、ミスフィッツっていうのはもっとサイエンスフィクションで夢のある話なんだよ。犯罪とかとは別な話で、オレらみたいに悪をイメージしたものと、ホントの悪っていうのは違うからな。そこは理解して欲しい。

――わかりました。

ジェリー　そういえば、ドクター・デス（スティーブ・ウイリアムス）は、よく日本に来てるんだろ？

――全日本のレギュラーですからね。

ジェリー　アイツとはケージマッチで闘って何度か勝ってるんだ。

――そうなんですよね。ウイリアムスは日本では三冠王になってるぐらいのトップ中のトップレスラーですから、何度も勝ったっていうのは凄いことですよ。

ジェリー　そうか。まあプロレスはエンターテインメントだからな（ニヤリ）。

――意味深な笑顔ですね（笑）。

ジェリー　でも、確かにアイツはタフだし、もの凄いパワーだったよ。試合後、7針も縫う羽目になったからな（苦笑）。

――7針！　それは大変でしたね。

ジェリー　WWFは、WCWとECWを取り込んで大きな団体になってしまったけど、誰かドロップアウトして日本に来たレスラーはいるのか？

――サンドマンとか、ケビン・ナッシュ、あとスコット・ホールも来てますね

ジェリー　ナッシュも来てるのか！　オレはアイツとは闘ったことがあるんだ。

――ナッシュとも闘ってましたか。ちなみに、それはいつ頃の話なんですか？

ジェリー　99年だったかな？　カナダのトロントでPPVがあって、ブレット・ハートとクリス・ベノワがWCWのタイトルマッチで闘ってソールドアウトしたんだよ。その時は、マイクアピールがイマイチのヤツばっかりだったんでオレがみんなの分までやってあげたよ（笑）。

――みんなの分まで（笑）。

ジェリー　でも、オレはWCWのトラブルメーカーって呼ばれてたんだよ（笑）。

――え！　WCWのトラブルメーカー？

ジェリー　そうさ（笑）。なぜかというと、当時のWCWでは、ゴールドバーグやスティング、ブレット・ハート、それにケビン・ナッシュといったトップレスラーの何人かにはポスターとかTシャツを作ってやって、試合のギャラ以外にも儲けさせてたんだけど、それ以外のレスラーには何にもしてやらなかったんだ。それを目の当たりにしたんで、オレはみんなに入れ知恵したんだよ（笑）。

――どんな入れ知恵ですか？（笑）。

ジェリー　「アイツのTシャツがあるんだったら、お前にも作ってやるよ」って（笑）。そういう現場を何度も見られてからは、WCWの上の連中はオレのことを煙たい目で見るようになったんだ。

――Tシャツを作ってあげるなんて、いい話じゃないですか？

ジェリー　そうだろ。あと、もう一つくだらない話があって、オレがいた頃のWCWは、ケガをして90日間試合ができないとクビになるんだよ。

――へぇ～、そうなんですか？

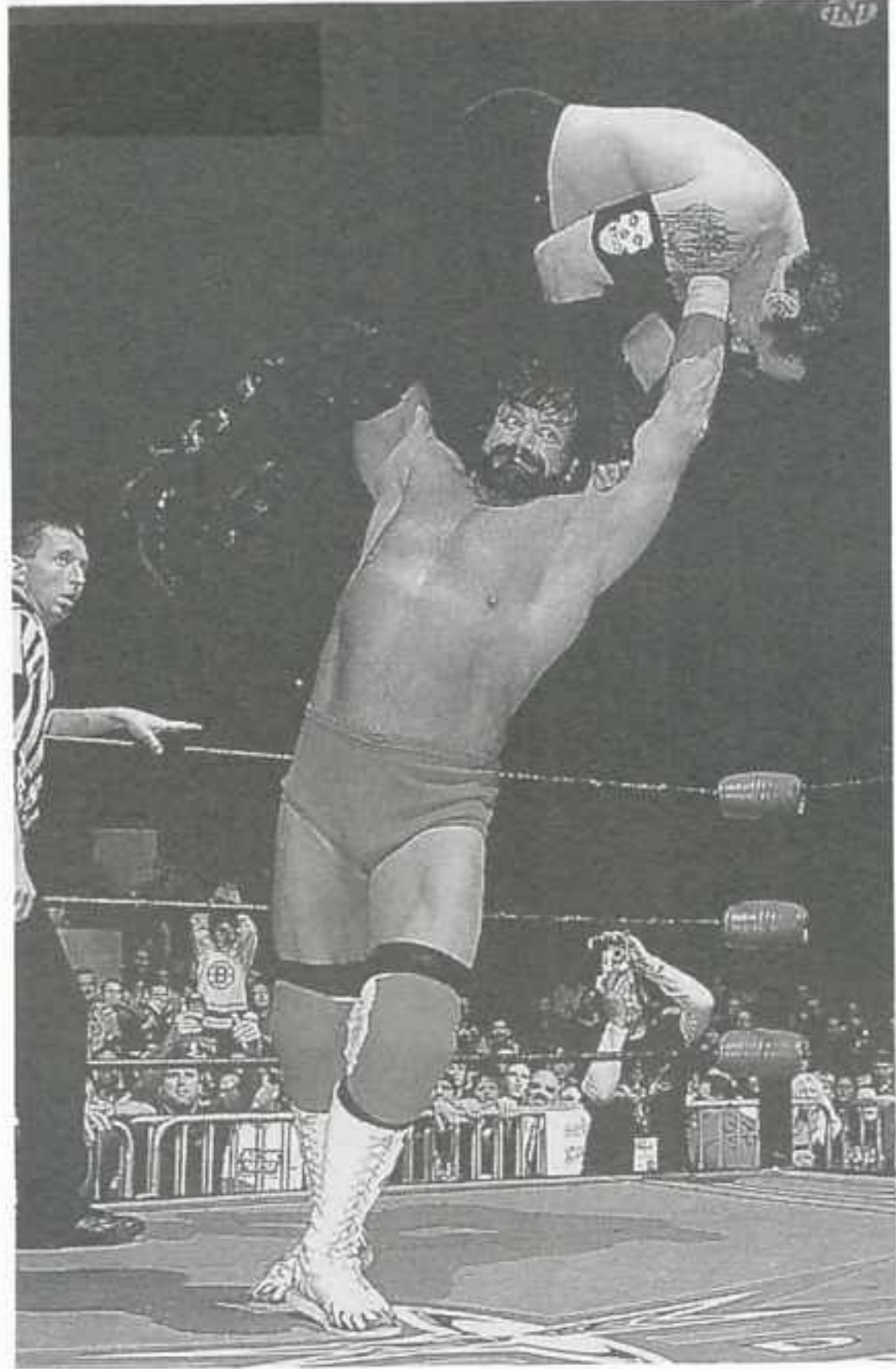
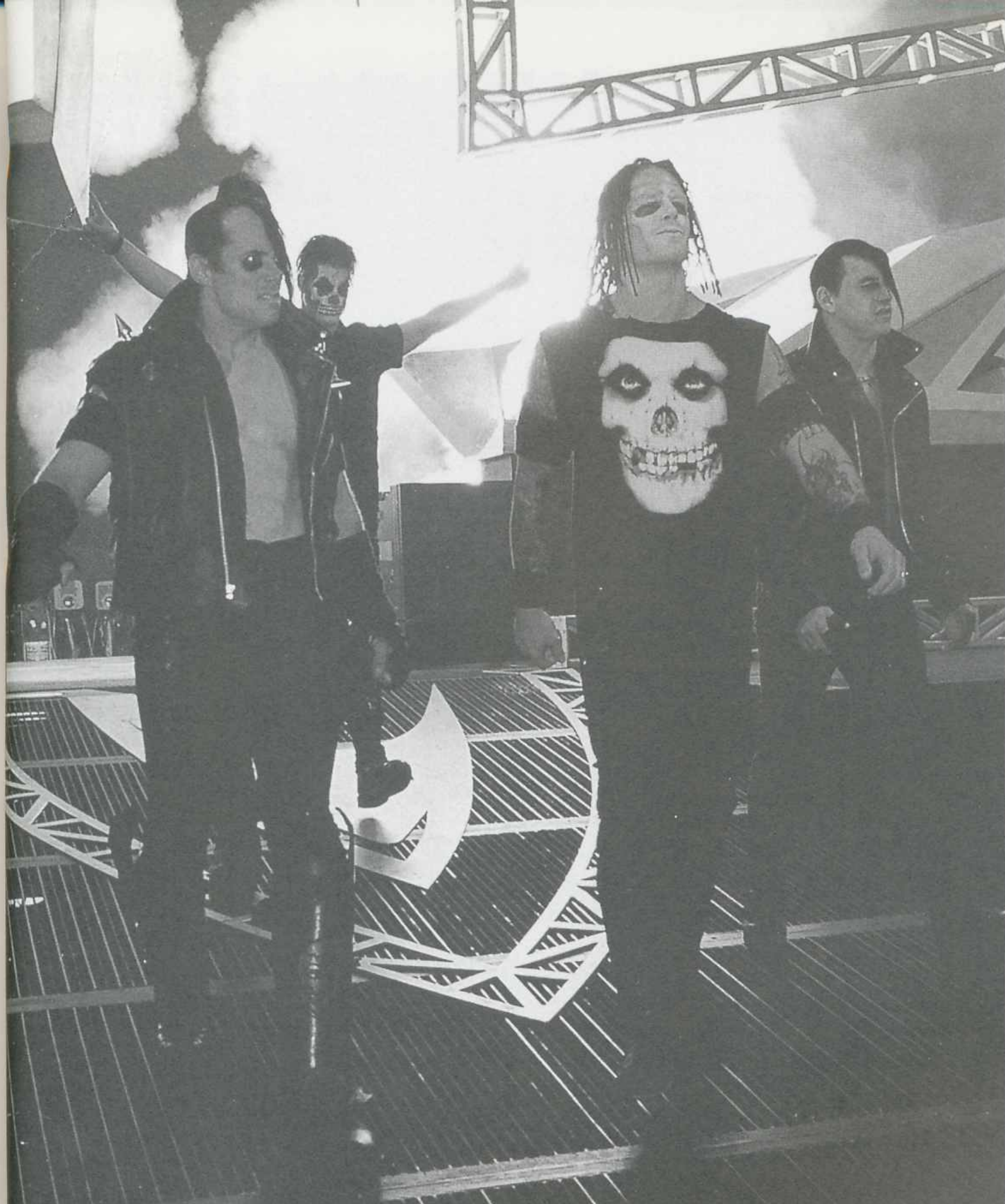
ジェリー　それが信じられなかった。だからオレは協会のようなものを作って、ギャランティーの5%をみんなで箱に入れて、それで基金みたいなのを集めようってやったんだよ。例えば200ドルとかで闘ってるレスラーがケガして車イスの世話になって生活できなくなったら、そこからお金を出してやると。トップクラスで、年間何万ドルも稼いでるヤツのギャラの5%っていうのは、ヤツらにとっては何でもないけど、車イスに乗ってるヤツには凄く大切な金なんだよ。そういう活動をやってたら、すっかりトラブルメーカー扱いだよ（笑）。

――トラブルメーカーっていうか、素晴らしいことをしてたと思うんですけど、団体の上の人間は煙たがるでしょうね。

ジェリー　オレは別の会社を持ってて、そこで保険にも入ってるんで、ケガしたらそこから保険が下りるんだよ。でも、レスラーっていうのは保険に入れないんだ。

――あぁ、それはよく聞きますね。

ジェリー　だから会社というかグループで、そういうことをやらないと、ケガなんかし

Julie Only
from MISFITS

WCWはオレがトラブルメーカーということでキックアウトされたんだよ（笑）

てしまったら、もう終わりだよ。

—ケガを恐れるあまり、試合も、つまらなくなる可能性もありますよね。

ジェリー　そうなんだよ。そうなると自分だけのためじゃなく、ファンに対しても迷惑を掛けることになるからな。

—でも、まさか、ジェリーさんがWCWの内部改革までしていたなんて予想外の展開です（笑）。

ジェリー　そうだろ（笑）。でも、トラブルメーカー扱いされてたけど、オレはWCWに貢献もしてたんだよ。

—具体的に言うと？

ジェリー　WCWが夜の8時からで、WWFは9時からTV中継だったんだよ。あの頃、ちょうどWWFが上り調子で、WCWは落ちてきた時だったんだけど、オレたちミスフィッツが入ってからWCWの視聴率がまた上がったんだよ。

—それは凄いですね。

ジェリー　今まで9時になったらWWFにチャンネルを変えてた人たちの目を止めるために、8時45分にスティングが出て、9時にミスフィッツが出て、そしてゴールドバーグが9時15分に出るっていう感じでプログラムを変えたんだよ。

—WWFとミスフィッツがTV的には直接対決してたわけですね（笑）。

ジェリー　そういうこと（笑）。そしたらキッズたちが8時から見ていたWCWをキープするんだよ。そういう意味でWCWには貢献してたんだけど……結局はオレがトラブルメーカーということでキックアウトされてしまったのさ（笑）。

—それはヒドイ話ですね。

ジェリー　やっぱりオレはレスラーでもありながらミュージシャンでもあるし、他に会社も持ってるから生活にも困らないってことで切られたんだと思うけど。

—そもそも、ジェリーさんがレスラーとしてWCWに上がるきっかけっていうのは何だったんですか？

ジェリー　プロレス業界と音楽の業界、どちらも100万ドル以上のマーケットを持ってるわけだよ。それが合わされば、もっと大きなものになるだろ？　それにオレらにはビジュアルも身体もある（ニヤリ）。

—完璧ですよね（笑）。

ジェリー　なおかつミュージックもできる。それにテレビで音楽を流してもらうってことは凄く金が掛かるからな（笑）。オレらの曲っていうのは1分何秒とか凄く短いんだけど、その曲は完成されてるからテレビでも使えるんじゃないかってことで始めたんだ。それにプロレスっていうのは登場した瞬間がピークだろ？　入場すると、お客さんが「ワーッ！」となって、「ドカン！」と特効が鳴ると盛り上がるけど、リングに上がった瞬間、「シーン」となるだろ？

—まあ、そうですね。

ジェリー　それはおかしいよな？　オレはリングに上がった瞬間、床が揺れるようにな

トラブルメーカーだったというWCW時代は、ミスフィッツのメンバーと、さらに全日本にもたまに来ているヴァンピーロ・カサノバと共闘していたジェリー。日本でも試合が見たい!

俺が考えたストーリーを採用してくれるなら、どこでも闘ってやる！

Julie Only from MISFITS

音楽を一緒にガーンって流しながら闘って、お客さんも盛り上がればいいんじゃないかなと思ってプロレスを始めたんだよ。

——まあ、何となくわかります（笑）。

ジェリー　それにオレは試合があるときは会場に早く入るんだよ。

——練習するためですか？

ジェリー　いや、オレはリング設営をチェックしたり、あとはライティングの具合や、スモークがどこから出てくるかとかを確認するために早く行くんだ。リングに入る時にコスチュームのスカルが光るようにライティングの場所を確認して、スカルが光った瞬間、「ドカ～ン」と音楽が流れるようにしてたんだよ。

——プロフェッショナルですね。

ジェリー　プロっていうからには、それぐらいして当然だし、そういうのがオレが考えるエンターテインメントであり、プロレスリングだと思うんだよ。

——そこまで考えてるんですか。

ジェリー　プロレスのストーリーも考えているんだよ（笑）。

——ちょっと教えてもらえませんか？

ジェリー　オレらの曲に「デビロック」って曲があるんだけど、「デビロック」っていうモンスターを頭の中にイメージしてるんだ。「デビロック」は全身メタルで覆われていて、凄い巨漢の男なんだよ。それで、オレのキャラクターはエイリアンで、その「デビロック」をコントロールするんだ。それがタッグチームだ。

——タッグチームなんですか？（笑）。

ジェリー　そうさ。「オーバロード」っていうのがオレのキャラクターで、パートナーが「デビロック」。オレの目的は地球に奴隷を捕まえに来たと。そしてオレらをやっつけるためには10回連続で勝たなきゃいけないんだ。

——それは大変ですね。

ジェリー　「デビロック」が相手を倒したところに、オレがガンで撃つんだ。相手のクビのうしろを撃つとスモークが「バーン！」って上がってクビにチップが埋め込まれるんだよ（笑）。

——そこまでするんですか？（笑）。

ジェリー　いや、まだ終わらない（笑）。撃たれた相手はリング上でドンドン弱って最後は死んでしまうのさ（笑）。

——えっ～、殺しちゃうんですか！

ジェリー　まあ、ファンタジーの世界からな（笑）。それで、9試合目まではオレらが勝ち続けて、最後に闘うタッグは、すでに相手も決まってるんだよ。

——最後の相手は誰なんですか？

ジェリー　アンダーテイカーとケイン！

——もちろん勝っちゃうんですよね？

ジェリー　ノー！（笑）。

——最後は負けちゃうんですか？（笑）。

ジェリー　アンダーテイカーだろ？ だからオレがいくら撃っても死なないんだよ（笑）。それで彼らが勝って、「地球を守った」っていうハッピーなストーリーなんだ。

——めでたしめでたし、と（笑）。

ジェリー　この間、そのストーリーをステファニーに渡したんだ。

——えっ、ステファニーに！ もしかして知り合いなんですか？

ジェリー　イエス！（笑）。この間、車に乗ってたら電話が掛かってきて出たら凄いキレイな声だったんだ。誰かと思ったらステファニーでね。WWFでやりたいと思って頼んでみたよ。それをやるにはコスチュームも金が掛かるし、すぐには無理だろうな。

——試合をするつもりはあるんですか？

ジェリー　よく聞かれるけど、もう42歳だから（苦笑）。やるんだったらストーリーがあって、もっとエンターテインメントなことをやりたいな。

——もの凄くいい身体をしてますけど、身体はずっと鍛えてるんですよね。

ジェリー　オレの自宅にはリングがあるからね（笑）。

——エッ、自宅にリングですか？

ジェリー　そう。でも、考えれば当たり前のことだろ？ レースをやってるヤツはレースカーを持ってるわけだし、オレはレスラーなんだからリングを持ってて当然だよ。

——いや、確かにそうですけど（笑）。ちなみに、どんなリングなんですか？

ジェリー　真っ黒で、真ん中にミスフィッツのドクロマークが入ってるんだ。ただ、二回使ったら壊れてしまったんだ（苦笑）。

——アラッ、残念（笑）。ちなみにジェリーさんの得意技って何なんですか？

ジェリー　アクロバットな技だよ（笑）。ムーンサルトとか、（身体をクルクル回転させながら）こうやってスピンを加えたムーンサルトもできるんだ（笑）。

——えっ！ その技は、日本ではチャパリータASARIの得意技でスカイ・ツイスタープレスって言うんですけど。

ジェリー　なんだ、オリジナルだと思っていたのに（残念そうに）。

——今回はライブでの来日でしたけど、ぜひ日本でもプロレスをやってもらいたいですね。ムーンサルトも見たいし（笑）。

ジェリー　オレが考えたストーリーを採用してくれるんだったら、どこでもやってやるよ！ ホントは自分の団体を持てれば一番手っ取り早いんだけどな（笑）。

【02年1月／都内某所にて収録】

これが現在のミスフィッツのメンバー（ルックスはバラバラだけど）。プロレスファンにもお馴染みのラモーンズやブラック・フラッグのメンバーもいるぞ！ 今回のライブには前に『紙プロ』のピンナップにもジェリーと登場したパンクラスの渡辺大介の姿も見られた

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇
♠ 松澤チョロ記者
◆ ガンツ堀江
◎ ジャン斉藤

15 FRI.

闘龍門■神奈川・川崎市立体育館(18:00)
修斗■東京・後楽園ホール(18:30)
新日本■京都・福知山市三段池公園総合体育館(18:30)
全女■秋田・秋田市立体育館(18:30)

16 SAT.

U-FILE■東京・大田区体育館分館(17:00)
ノア■茨城・水戸市民体育館(18:00)
闘龍門■千葉・船橋アリーナ(18:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
新日本■広島・ビッグローズ(18:30)
みちのく■福島・保原町民体育館(18:30)
大日本■茨城・大洗総合運動公園体育館(18:30)
全女■秋田・大館市民立体育館(18:30)
アルシオン■千葉・市原市臨海体育館(18:30)

17 SUN.

GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
ノア■東京・ディファ有明(15:00)
大日本■愛知・豊橋市総合体育館(15:00)
新日本■愛知・愛知県体育館(16:00)★
Jd'■大阪・NGKスタジオ(18:00)
みちのく■岩手・矢巾町民総合体育館(15:00)
大阪■福岡・小倉市民体育館(17:00)
全女■青森・黒石中央スポーツ館(18:30)

18 MON.

闘龍門■静岡・アクトシティ浜松(18:00)
全女■群馬・伊勢崎市民体育館(18:30)

19 TUE.

ノア■茨城・鹿島市立体育館(18:30)
みちのく■秋田・秋田テルサ(18:30)

20 WED.

新日本■群馬・新田町総合体育館・エアリスアリーナ(18:30)
みちのく■岩手・宮古市千徳地区体育館(18:30)
大日本■徳島・阿南市スポーツ総合センター(18:30)
IWA■宮城・石巻市総合体育館(18:30)
全女■千葉・船橋運動公園体育館(18:30)

21 THU.

闘龍門■東京・後楽園ホール(12:30)
IWA■福島・福島市体育館(13:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(13:00)
アルシオン■愛知・名古屋レインボーホール第3競技場(13:30)
GAEA■愛知・千種スポーツセンター(13:30)
みちのく■宮城・鹿島台町鎌田記念ホール(14:00)
ノア■静岡・清水マリンビル(15:00)
レインボープロモーション■東京・ディファ有明(15:00)
大日本■愛知・名古屋市体育館(15:00)
新日本■東京・東京体育館(16:00)
全女■静岡・アクトシティ浜松(18:30)
LLPW■東京・後楽園ホール(19:00)

22 FRI.

ノア■福井・福井市体育館(18:00)
新日本■静岡・浜松市体育館(18:30)
みちのく■山形・上山市体育文化センター(18:30)
Jd'■東京・後楽園ホール(18:30)
アルシオン■愛知・豊田市体育館(18:30)

23 SAT.

アルシオン■岩手・岩手県営体育館(17:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
NEO■東京・板橋産文ホール(18:30)
全女■三重・尾鷲市体育文化会館(18:30)
みちのく■宮城・Zepp Sendai(19:00)

24 SUN.

全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
アルシオン■秋田・秋田県立体育館(13:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
ノア■京都・KBSホール(15:00)
みちのく■青森・青森市民体育館サブアリーナ(15:00)
新日本■兵庫・尼崎市記念公園総合体育館(16:00)
闘龍門■宮城・Zepp Sendai(18:00)
悲しき天才興行■東京・ディファ有明(18:00)♠
全女■和歌山・田辺市ガーデンホテルハナヨ(18:30)

25 MON.

パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)
ノア■岡山・岡山武道館(18:30)
闘龍門■福島・福島市体育館(18:30)
DDT■東京・北沢タウンホール(19:00)

26 TUE.

全日本■富山・富山テクノホール(18:30)
みちのく■山形・三河町民体育館(18:30)
闘龍門■長野・長野市運動公園体育館(18:30)

27 WED.

全日本■岡山・オレンジホール(18:30)
ノア■熊本・熊本市総合体育館(18:30)
みちのく■秋田・横手平鹿広域県民体育館(18:30)
闘龍門■新潟・上越市厚生南会館(18:30)

28 THU.

全日本■広島・呉市体育館(18:30)
ノア■大分・大分県立荷揚町体育館(18:30)
みちのく■青森・三沢市総合体育館(18:30)★
LLPW■兵庫・西脇市民センター(18:30)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

29 FRI.

全日本■大阪・大阪市中央体育館(18:30)
ノア■長崎・佐世保市文化体育館(18:30)
新日本■新潟・苗場プリンス(18:30)
LLPW■愛知・豊橋市総合体育館(18:30)
みちのく■岩手・江刺市体育文化センター(19:00)
JWP■東京・板橋産文ホール(19:00)

30 SAT.

DEEP2001■愛知・愛知県体育館(17:30)★
MAキック■東京・後楽園ホール(17:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
GAEA■大阪・梅田ステラホール(18:00)
アルシオン■伊勢・三重県営サンアリーナ・サブアリーナ(18:00)
新日本■新潟・苗場プリンス(18:30)

RADICAL CALENDAR

2 February

24 SUN.

Jd’■神奈川・横浜道場(12:30)
EAGLE■栃木・小山文化小(13:00)
SPWF■千葉・一宮町道場(14:00)
全日本■東京・日本武道館(15:00)◆
全女■神奈川・横浜文化体育館(15:00)
『PRIDE.19』■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(16:00)★◆◎
大阪■大阪・梅田ステラホール(17:00)
中野巽耀自主興行■埼玉・越谷桂スタジオ(18:00)◆
アルシオン■千葉・船橋サブアリーナ(18:00)
闘龍門■東京・後楽園ホール(18:30)◆

25 MON.

大日本■埼玉・行田市民体育館(18:30)
アルシオン■群馬・伊勢崎市民体育館(18:30)

26 TUE.

全女■茨城・下妻市立総合体育館(18:30)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)

27 WED.

アルシオン■新潟・新潟フェイズ(15:00)
T2P■大阪・ベイサイドジェニー(19:00)

28 THU.

修斗■東京・北沢タウンホール(18:00)
大日本■茨城・ひたちなか松戸体育館サブアリーナ(18:30)
全女■茨城・古河市立体育館(18:30)

3 March

1 FRI.

大日本■静岡・アクトシティー浜松(18:30)
WWF■神奈川・横浜アリーナ(19:00)

2 SAT.

FMW■群馬・伊勢崎オートレース場(12:12)
みちのく■埼玉・越谷桂スタジオ(17:30)
T2P■愛知・名古屋市総合体育館(17:30)
ZERO-ONE■東京・両国国技館(18:00)
大阪／JWP■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
SMACK GIRL■東京・ディファ有明(18:30)♠
全女■茨城・岩瀬町総合体育館(18:30)

3 SUN.

全女■東京・後楽園ホール(12:00)
Jd’■東京・北沢タウンホール(13:00／17:00)
大阪／JWP■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
大日本■神奈川・横浜文化体育館(16:00)
K−1■愛知・名古屋市総合体育館レインボーホール(16:00)
T2P■東京・ディファ有明(17:00)
みちのく■静岡・ツインメッセ(15:00)
NEO■東京・板橋産文ホール(19:00)

5 TUE.

みちのく■長野・長野市運動公園体育館(18:30)
全女■岐阜・岐阜産業会館(18:30)

6 WED.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
みちのく■三重・ツッキードーム(18:30)

7 THU.

アルシオン■岩手・一関文化センター体育館(18:30)
みちのく■滋賀・野洲町立総合体育館(19:00)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

8 FRI.

大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
新日本■新潟・新潟市体育館(18:30)
アルシオン■青森・むつ市民体育館(18:30)

9 SAT.

Jd’■福井・三国競艇場(11:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)◎
新日本■神奈川・平塚市総合体育館(18:30)
みちのく■高知・南国市民体育館(18:30)
アルシオン■青森・弘前市河西体育センター(18:30)
全女■栃木・鹿島市緑地体育館(18:30)

10 SUN.

FMW■東京・後楽園ホール(12:30)
全女■千葉・夷隅町多目的研修センター(13:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
アルシオン■青森・五所川原市民体育館(14:00)
みちのく■徳島・徳島市立体育館(16:00)
JWP■東京・ディファ有明(15:00)
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)

12 TUE.

NEO■東京・北沢タウンホール(19:00)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
アルシオン■東京・後楽園ホール(19:00)

13 WED.

修斗■東京・北沢タウンホール(18:30)

14 THU.

新日本■京都・京都市体育館(18:00)
ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

INDEX

*50音及びアルファベット順

アルシオン →03-5745-6101
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24　サンハイツ1004

大阪プロレス →06-6636-6672
〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36　フェスティバルゲート2F

怪獣王国 →03-5952-1177
〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F

キャプチャー →044-959-3333
〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1　横山ビルB1

キングダム・エルガイツ →0423-31-2797
〒206-0822東京都稲城市坂浜2305

栗栖ジム →06-6790-8896
〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7

喧嘩プロレス二瓶組 →044-588-2438
〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2　二瓶ビル

国際プロレス →0467-86-0197
〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14

修斗コミッション →03-5824-1324
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8　若山ビル201

女子総合格闘技・AX →03-5286-7921
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7

新日本プロレス →03-5468-3111
〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11

掣圏道 →03-5456-7333
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14　恵比寿スカイハイツ607

全日本女子プロレス →03-3493-6541
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17

全日本プロレス →03-3403-7344
〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12

大日本プロレス →045-937-0811
〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347

ダイプロデュース（大仁田興行） →03-5496-4900
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3　大北ビル3F

高田道場 →03-5749-5030
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6　ワールドパレス武蔵小山1F-B1

高山堂 →03-3386-3324
〒161-0032 東京都新宿区中落合2-12-23-602

つぼプロモーション →03-3498-4710
〒107-0062 東京都港区南青山6-15-1　アパルトマン青山2F-E

闘龍門JAPAN →078-333-9797
〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8　TOWA元町ビル901

トータルワークアウト →03-3280-5557
〒108-0073 東京都芝区三田4-7-24　明るいビル

ドリームステージエンターテインメント →03-5775-5700
〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4　ルーメリ赤坂103

バトラーツ →0489-63-0005
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43

パンクラス →03-5792-0815
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25

プロレスリング・ノア →03-3527-5311
〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25

みちのくプロレス →019-626-1333
〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8

リングス →03-3461-0257
〒150-0036 東京都渋谷区南平台13-1　サトウビル202

DDT →03-3356-8493
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-18 オリエンタル千駄ヶ谷102プリントオフィス内

DEEP 2001事務局 →052-339-0303
〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F

FMW →03-5496-0671
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-15　ダヴィンチ下目黒6F

GAEA JAPAN →03-3795-2555
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂5-15-3　COVAMOC BUILDING 2F

GCM COMUNICATION（和術慧舟會、A^{3}GYM、RJW） →03-3538-5801
〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10　松楠ビル9F

IWAジャパン →03-3352-3366
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1　四谷サンハイツ401

Jd' →03-5561-0522
〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4　ランディック赤坂ビル4F

JWP →03-3839-4161
〒110-0005 東京都台東区上野1-15-10　大秀ビル502

K－1 事務局 →03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14

LLPW →03-3945-7926
〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4　ビクセル文京105

NEO →044-422-8344
〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102

SMACK GIRL実行委員会 →03-5447-8483
〒106-0017 東京都港区南麻布4-11-21　ランディック南麻布B1

SPWF →03-3814-6371
〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4　クロサキビル

T.A.M.A →042-572-6795
〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5

U-FILE CAMP →044-932-0282
〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568

UFO →03-5447-2121
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5　OK白金台ビル7F

UNW →03-3362-3014
〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-5-311

WAR →03-5477-0461
〒154-0015 東京都世田谷区桜新町1-14-23　萬豊ビル2F

WWS →0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23　連合305

ZERO-ONE →03-5730-3401
〒105-0014 東京都港区芝2-30-11　寿ビル601

ZIPANG →03-3312-0328
〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21　ハイネス梅里201

山本憲尚選手の熱烈アンコールの声にお応えして堂々の復活!!

ノリノリEVENT情報局 リターンズ

©中川画伯

はじめまして。ガンツさん（以前は友達だったけど今は尊敬する大先輩）に以前「紙プロ」44号を頂いた時に「ノリノリ情報局って、まだ続いてるんですね」と最初に言ってしまい「読んで最初の感想がそれか！　返せ!!」と怒られたささきぃです。「ノリノリ情報局ってなくなっちゃったの？」という「紙プロボンバイエ2001」での山本憲尚選手のリクエストにお答えして堂々の復活です!!　まぁ、正直言ってタイトルも浮かばなかったし、最初だからどうしていいか良くわからないのでこれで行きたいと思います。そいじゃー、1、2、3、ヤマノリーッ！　ってことで。

藤原組 vs W☆ING抗争激化!!
なんとW☆ING軍早くも、大好きな寿司屋で祝勝会開催!!

3・21ディファ有明大会 対戦カード&ルール

第1～4試合は勝ったチームに1点（負けは0点）第5戦はキャプテンに勝つと2点、他のメンバーは1点（第5戦は最大4点の得点を獲得することが可能）。全5戦で得点の多いチームが勝ち、各試合とも引き分けなしの完全決着で必ず得点するまで試合続行。当日は負けたチームは全員土下座、藤原組が勝利した場合は石川屋打ち上げ代はW☆ING持ち。W☆ING側が勝利した場合は石川屋の権利がW☆INGに移る!!（店の借金については後日相談）なお、当日はW☆ING最後の遺恨決着戦・金村VS松永戦も行われる！　「W☆INGの名前を使った試合はこれで最後になる」とのことなので、これも絶対に見逃せない!!

3月21日（祝）試合開始　PM3:00～　ディファ有明

第1試合　スクランブル・バンクハウスデスマッチ　島田宏 VS 小野武志
第2試合　ニューバトラーツルール　戸井マサル VS 佐藤学
第3試合　エニウェアオール・ハードコアデスマッチ　本間朋晃 VS Mr.さかい
第4試合　ニューバトラーツルール　グランシーク VS 太刀光
第5試合　6人タッグイリミネーション・キャプテンホール・バンクハウスデスマッチ
藤原喜明・石川雄規・臼田勝美 VS ミスターポーゴ・中牧昭二・非道
第6試合　タイマン勝負完全決着・ノールール・ケンカマッチ　金村キンタロー VS 松永光弘

■主催・お問い合わせ　レインボープロモーション　0593-57-2199

1月23日行われた『RAINBOW FESTIVAL2002』での「東京プロレスのころから気に入らなかった」というポーゴの挑発から勃発した藤原組vsW☆ING勢の抗争。これを受けて、3月21日に全面抗争戦を行うことが決定！　2月14日、越谷バトラーツ道場2F・炭火串焼き「石川屋」にて、対戦カード・概要が発表される記者会見が行われた。

試合カード・ルール説明の後〝負けたチームは全員土下座〟という主催者・レインボープロモーションの出した条件を当然のように飲んだ両チーム。「オレ達が勝ったら石川屋で打ち上げだ。料金はW☆ING持ちで」という藤原組長に対し「オレ達が絶対に負けるわけがない。勝ったらなんて、ざけんじゃねぇ。オレ達なんか、これから、おまえら（報道陣）全員寿司屋につれていってやる」とポーゴ。会見終了後、本当に寿司屋に移動。ポーゴはいつものポーゴの顔のまま（当然）、ワンボックスを運転。対向車のドライバーが皆ビックリした顔をしていた。「来てはみたけど、どうしたらいいのかなぁ」という顔の集まった報道陣全員に美味しい寿司をふるまい「じゃあ、こういうのなんて言うのかな、祝勝会をやります。みなさん、1、2、3でオメデトーって言ってください」と、試合をする前から祝勝会を開いて赤まむし入りビールで乾杯。

全体的にお寿司もなくなったころ「あっ！　下に藤原組長が来ていますよ」という週プロ鈴木健記者の声。にわかに殺気だつ大黒寿司2F。店に来襲した「ふじわら」組長（写真参照）に火を吹き「当日はこうしてやる!!」と豪語するミスター・ポーゴ。さらに、なぜか自動販売機の裏に張ってあった大仁田厚参議院議員のポスターに落書き（「たいしたデスマッチできないくせに」BY松永）と、やりたい放題のW☆ING勢。おそらく当日の組長はこんなに簡単に燃えはしないだろうが、どうなる、藤原組長!?　どうなる、藤原組vsW☆ING!!

風向きの確認後、火を吹くポーゴ!!
カラー映像はezwebの携帯サイト「紙プロhand」で見られます!!

突如現れた「ふじわら」組長。一人で乗り込んでくるあたりはさすがだ。

「当日はこうしてやる」と踊るW☆ING軍。サービス精神に惚れました。

「ORG」って何ですか？ 旗揚げ戦レポート!!

2/10、TOKYO-FMホールにて「ORG」の大会が開催され、超満員の観客を集めた!! …と、知ったように書いてはみたものの、ＯＲＧって何だろう？ そもそも何と読めばよいのだろうか?? 正解は「道衣を着用して行う総合格闘技」ルールで、コンテンダーズの大会では行われてきたのですが、単独の大会はこれがはじめて。読み方はそのまま「オーアールジィ」と読む、のだそうだ。なるほど、勉強になりました。自分にはわからないんだろうな、退屈なんだろうな…と想像しつつ、初めてのひとり取材でビクビクして行って来たのですが、正直、面白かった！ この大会は面白い!!

試合全体に選手の「勝ちに行く気」が見えて、技術がついていかないもどかしさも見えたりして、知らない選手ばかりの中でも感情移入ができた。特に「衣」を生かして、衣を掴んで固定して下から殴ったり、引き込んで倒したりという「ここでしか見られないもの」が見られた嬉しさは貴重だった。個人的には、衣を現在の青・赤・黒の3色のみの形から、色だけでも団体・個人のアレンジ自由な形にしてほしい。今後ずっと大会が続いていって、団体伝統の道衣などができたりして「衣」そのものに物語が生まれてくるといいなと思った。

その上でもっと衣を生かした試合が増えてくれば、さらにこの大会のメインである「道衣着用」という意義が伝わるんじゃないかと思う。ナマイキ言ってみました。

現状のままでも、この大会に、柔道や柔術のもっとネームバリューのある選手が出てくることを考えると非常にワクワクする。

なお、この試合の模様は、2/28にスカイパーフェクTV! ch301で放映される。次回ORG大会も5/12板橋産文ホールで決定ずみだ！ チェキラッ!!

セミを勤めたのは滝田将也(r)vs岩崎英明。滝田のセコンドには宇野薫がついた。

さらに、次回コンテンダーズも大注目！！
The CONTENDERS X-RAGE Vol.2
3月10日（日）Zeep Tokyo 東京臨海新交通ゆりかもめ「青海」駅より徒歩5分
開場 PM 3:00 試合開始 PM 5:00
お問い合わせ：ＧＣＭオンラインチケットセンター http://www.g-c-m.net

よく学びよく遊ぶ人のための ノリノリ EVENT NEWS

「祖国を忘れし者に告ぐ」！ 本誌でも活躍中の堀辺先生の講演会

格闘技界の哲人こと堀辺正史創始師範。「祖国を忘れし者に告ぐ」と銘打たれた講演会は、歴史の真実を武士道という観点から分析し、戦前と戦後で分断されてしまった歴史を繋ぎ合わせ、真の日本人像を探るという目的で開催されている。参加費は無料で、一般の人も多数参加している。「日本人とは何者なのか」ということに興味のある人は、ゼヒ参加してみよう。

次回は2月24日、発売日の次の日だ。間に合うか！?

開催日　毎月第4日曜日（次回は2・24）
時　間　13:00～15:00
参加費は無料。参加希望の方は日本武道傳骨法會まで問い合わせること。（予約制）03-3362-0010

バーチャル・キャンハスで須藤元気と同級生になる!

須藤元気君が格闘部・GGGに所属する「東京元気大学」が2002年4月1日に開校する。入学資格は「『元気学』を究めんとする、心の若さに自信のある者。学歴、性別、嗜好は問いません」。他校との兼業も可能。入学試験は3月1日から行われる。なお、学則によると「校内でのケンカはK−1公式ルールで行うべし」とのこと。「平気でつまらない試合を繰り返すアマ格闘家や実力の無いプロレスラーのだらけた試合は、格闘技界の明日をダメにします」というGGG。具体的に言ってそれは誰なのか、入学して聞いてみよう。

東京元気大学　公式HP
http://www.tgu.gaburi.com

バトラーツ恒例、アマチュアグラップリングーB大会!

アマチュア選手たちにとっては恒例の大会、グラップリングーB大会が開催される。普段ジムで鍛えている人は、思い切って実力をためしてみよう! 出場希望者は、電話で参加受付を。

日時:2002年3月17日（日）
会場:越谷　B−CLUB
東部伊勢崎線「越谷」駅下車西口徒歩30秒
資格:18歳以上の健康なアマチュアの選手（男女を問わず）
参加費:一般　3000円／B-CLUB会員　1000円
締切:3月6日　電話受付締切
受付・問合　バトラーツジムB−CLUB
048-963-7515

髙田道場で新弟子募集!! サクのシゴキを受けよう!

いまや武蔵小山の新名所となった（?）髙田道場が新弟子を募集。サク、松井、今村、山本選手が活躍する道場で技術を学び、日本を代表する強い選手になろう! 豊永稔にちゃんこを習おう! （今は作っていないのだろうか?）

資格:23歳まで　身長175センチ以上
書類審査合格者へテスト（3月中旬頃日曜日予定）の連絡がいきます。
履歴書（身長、体重、スポーツ歴記入）に上半身裸の全身写真添付の上2月28日（木）までに髙田道場へ郵送すること。急げ急げ!
履歴書送付先:〒142−0062
東京都品川区小山3−6−6
髙田道場　新弟子募集係宛

新たに"U"の心を継ぐ人間が現れるのか!?

U-FILE CAMP　初の自主大会開催！
入場料はなんと無料！
田村、太っ腹!!

『U-FILE Ⅰ』
■Style-G（寝技オンリールール）
３月16日（土）
開場 14:00／トーナメント開始 17:00
大田区体育館・分館
■Style-S（立ち技オンリールール）
４月28日（日）　開場 10:00／トーナメント開始 13:00
大田区体育館・分館
■Style-U（総合格闘技ルール）
５月中旬～６月上旬予定　会場未定

入場料金：無料

■お問い合せ：U-FILE CAMP　神奈川県川崎市多摩区登戸1568
044-932-0282　http://www.u-filecamp.com/

マァ☆ティン参戦決定! 女子初のプロ修斗公式戦!!

女子初のプロ修斗公式戦が2.28北沢タウンホールで実現する。その記念すべき第１戦に「紙プロ」ではもうおなじみのマァ☆ティンこと、星野育蒔の参戦が決定!! 対するは「笑わない胸がない真鍋かをり」こと禅道会の尾上佳子。
修斗を見たことがない人も、この機会に行ってみよう！

SHOOTO GIG EAST Vol.8
2002年2月28日（木）
北沢タウンホール
試合開始:PM6:00
問合:パレストラ東京　03-5984-3209

その他 ノリノリ NEWS

■岡元あつこ様舞台出演! なんとAKIRAと共演だ!

昨日今日からではない格闘技ファン&セクシー女優の岡元あつこお姉さんが舞台に挑戦。なんと新日本プロレスT-2000のAKIRAも出演する。公式ホームページも要チェック!
「DOUBLE　（ダ・ブ・ル）～君の中に僕が存在する～」
日時:2002年4月9日（火）～4月14日（日）
会場:中野/ザ・ポケット
03-3381-8422
料金:全席指定4000円（前売・当日共通）　チケット前売・お問い合わせは岡元あつこ公式ホームページ
http://www.atsuko.to　または、ネルケプランニング　03-5469-5280

■アリストトリスト移転!!

「オレは、オレはココでTシャツが売りたいんっスよ!! （2/1の蝶野風）」――新日本の蝶野正洋がプロデュースする「アリストトリスト」が、従来の代々木上原から恵比寿に移転になる。オープンは2月24日午後3時!!
新ショップは現在のアリストトリストよりも広い、2フロアーを使ったお店となる。新店舗名は「ARISTRIST SECTOR zwei」（アリストトリスト・セクター・ツヴァイ）。
なお、アリストトリスト代々木上原店では最後の感謝の気持ちとして、2/9から恵比寿店舗オープンの2/24までリバイバルフェストを開催中。
店内販売商品を特別価格で販売、10%～最大50%の割引商品もあるという。今まで行われたことのないアリストトリストショップの感謝セール。売り切れの場合はその時点で終了とのことなので、これを読んだら今すぐ代々木上原店へ急げ! 2/24は代々木上原店をチェックした後、恵比寿店へ急げ!!
現在の代々木上原店は小田急線代々木八幡駅または地下鉄千代田線代々木公園駅(1番出口)より徒歩約3分。恵比寿店はJR山手線・埼京線恵比寿駅西口または、地下鉄日比谷線恵比寿駅（2番出口）より徒歩約3分。
住所＝東京都渋谷区恵比寿西1-4-1 VANDAビル2,3F　リバイバルフェストはなんと通販もあり!
通販のお問い合わせ:アリストトリスト代々木上原店 03-5465-1555

■大日本プロレス公式FC会報、リニューアル!

大日本プロレス公式FC「カッティング・クルー」。会員には無料で年6回送付される会報がリニューアルされた。
山川竜司のインタビューや「神風」の人生相談が盛り込まれた、ファンには見逃せないものになっている。会報のタイトルフレーズも募集中とのことなので、ゼヒ入会していい名前を考えよう。
FC会員の特典・会員証・会報の発行・チケットの先行予約・割引（10%off）・イベント優待入場　ご希望の方は現金書留にて5000円（年会費）を送ること。
詳しくは大日本プロレス・FC申し込み係 (045) 937- 0811 まで。
また、会場においても入会受付をおこなっています。会場に設置してある希望用紙にご記入のうえ、売店にて5000円と共にスタッフへ!
〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4347　大日本プロレス　FC申込み係　宛

■タイガー・ジェット・シンがCDジャケットに!

NIPPSのニュー・マキシシングル「God Bird」発売中。なぜその発表をここで?それはジャケットが、現在はIWAで活躍中のタイガー・ジェット・シン! だから。
「NIPPSの声は一度耳にしたら最後。強力な磁石のようなパワーを感じる。そしてその音楽は私の闘志をかきたててくれるんだ。試合の前に"ハブの血"を飲んだようにね…」と語るシン。社会人としては闘志が必要なときいちいちハブの血を飲むよりもNIPPSの音楽を聴くほうがよい。と思う。

■第3回クレイジーMAXプロデュース "CIMA&ドン・フジイ&TARU&斉藤了と行く!"～闘龍門5周年記念興行観戦～ラスベガス&ルチャリブレ観戦ツアー

C−MAX&斉藤了と共にラスベガスを満喫し、彼らが参加する闘龍門メヒコ5周年記念自主興行を感染&闘龍門道場での打ち上げパーティ参加、その他EMLLなどのルチャリブレを観戦など盛りだくさんのツアー。
さらにメキシコシティ観光やディナー・パーティまで選手と一緒! 行かない手はない!!
旅行期間:2002年5月9日（木）～5月14日（火）（6日間）
旅行代金:¥219,000-（うれしいことにローン利用可）
申込・問合先:近畿日本ツーリスト新宿法人旅行支店TEL　03-3341-2411
（担当:永崎・間野目）

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

書評の星座

PART2

ターザン山本が編集部に電話をかけてきて、いきなり「豪ちゃんは天才だよ!」と叫んだので何かと思ったら、どうやら前号で初めて書評をちゃんと読んだらしいことが発覚。ようやく「豪ちゃんはボクの話をきちんと聞いてくれるだけじゃなくて、原稿も書けるらしい」とわかってくれたようである。遅すぎだけど、誉めてくれたから問題なし！ そういうことで読者の方々から熱いリクエストが殺到したので、今月こそはあのレフェリーの本を紹介する書評コーナー。……あれ？ ちょっと違う？ 【e-mail:go@kamipro.com】

プロレスvsK－1読本
元気があれば猪木軍
"Show"大谷泰顕
これからのマット界は「猪木軍vsK－1」を中心に動く!!
アントニオ猪木、藤田和之、安田忠夫、永田裕志、中西学、佐竹雅昭、高山善廣、G・グッドリッジ、石井和義（K-1プロデューサー）
豪華インタビュー満載!
BLOODY FIGHTING BOOKS

『元気があれば猪木軍』
（"Show"大谷泰顕／エンターブレイン／1400円）

何を思ったのか、Show氏が12月31日の猪木祭りに向けて出場メンバーもほとんど決まっていない状態のまま一気に作り上げてしまったという、あまりにも期間限定すぎる一冊。

どう考えても意味不明なタイトルを見ればわかるように、そもそも**「『猪木軍』なんていったって、みんなバラバラなんだから」「たまたま『見る側』が見やすいように、そういうふうにくくられただけ」**と藤田和之自らカミングアウトしている**「猪木軍」**をテーマすること自体が無謀だったとボクは思うんだが、そんなことShow氏にとっては一切問題なし！

藤田が自分の試合スタイルについて**「まだオナニー状態だね（笑）。まだ『合体』はしてないな。他人を満足させられるところまではいってない。まだコントロールできてないね。自分だけの世界だね。まだ自己満足しかない」**としっかり自覚しているように、この本もそういうものだと考えればきっと納得できるはずなのであった。まあ、自覚はないようなんだが。

そういうわけで、12・31といえば小川直也を「銭ゲバ」と罵りつつメインに抜擢され、一人（&娘）で美味しい所をかっさらっていった安田忠夫である。

師匠・猪木の持ちネタを引用して**「現金がなければなんにもできない」**と馬鹿正直に公言するのみならず、馬鹿正直に**「お金もらうためにやってるんですから」**とまで言い切ったりと、実は小川以上に銭ゲバ丸出しな安田忠夫。

思えば、小川が猪木イズムをすっかり継承し損なった現在、この銭ゲバぶりや借金の多さ、そして離婚と、安田が順調に猪木イズム（＝ズバ抜けたいい加減さ）を受け継ぎつつあるのは非常に興味深い限りなのであった。だから小川も、大金を提示されたらすぐ飛びつくような真の銭ゲバ野郎になれって！

それに比べて安田は猪木の「いつ何時、誰の挑戦でも受ける」イズムも順調に継承し、6日前に聞かされたK―1との対抗戦にも**「『出ろ！』って言われたから」**との一言だけで迷わず出陣。これがまた**「言われるままにしてるのは楽でいい」「過去に『自分で決めてこうした』ってことは、あんまりない」**ってだけの話だったのもいちいち抜群すぎだろう。

当然、**「ホントに練習したのは正味1日だけ」**だったためレネ・ローゼにあっさり失神KOさせられてしまったものの、すぐさま医者に**「●●●（おそらくソープ）行ってもいいっスか？」**と聞いたというんだから、もう完璧！ その上、猪木が**「安田は最近●●●●●（おそらくラスベガス）に行ってるって聞いてんだ」**と証言しているように、レネ・ローゼ戦でどれだけ稼いでも**「アメリカでK―1のギャラも全部使っちゃった」**りする反省のなさにもシビレるばかりなのだ。

「借金してる人、ごめんなさい。あの試合で死んだと思ったら、べつに金がなくてもいいやって、そういう気がしてきちゃって。（略）また借金作っちゃいました」

そんな安田の剥き出しな生き様を見た元「紙プロ」発行人・柳沢忠之は、山口日昇との巻末対談で**「安田って理想のレスラーじゃないかと思うよ。ちゃんとすごくてさ、笑えて、泣けて。もう俺の究極の理想とするエンターテイナーだなあ」**と大絶賛！

こうして**「猪木軍とは安田忠夫である！」**というふざけきった結論を出すに至るんだが、なぜか12・31では実際その通りになっちゃったんだから本当に柳沢忠之恐るべしだろう。

ついでに言えばバンナに勝利後、猪木との間でギャラ絡みのトラブルが起きたとの噂が流れるから安田忠夫の銭ゲバぶりも恐るべしであり、ゆえに本書のタイトルも**「現金があれば猪木軍」**が正しいはずなのであった。「マネー！」（ドン・フライ）

『島田は見た』
（島田裕二／東邦出版／1333円）

出版直後にミスター高橋という同業者の本がリリースされて大ベストセラーになったり、執筆中にもバトの活動休止が決まったりと、バト末期の迷走ぶりを象徴するかのように奇跡的なぐらいタイミングが悪すぎた不遇な一冊。

せめて、もう少し発売が遅ければバト分裂劇の裏側にまで言及することもできたはずだろうから、本当に残念の一言。島田レフェリーから「『人間不信』と机に書き残そうとしたら、バト事務所で自分の机がなくなっていた」といったエピソードを直接聞いたボクは、そう痛感させられた次第なのであった。

たとえば**「石川は言っていることもファイトも会社経営も、ある意味、狂っている」「しかし、経営で狂うのは困ったものだ。私は石川が会社の通帳に目を通しているところを一度も見たことがなかった」**というプロレスラーとしては文句なしの美談だが社会人としては明らかに問題のあるエピソードにしても、いまならさらに踏み込めたはずだと思うし。

そして、できることなら島田レフェリーがプロレスラー・ニンジャ2号としてウルトラマンロビンと対戦したりしていた過去やマレンコ道場での修行についても、できればキッチリ踏み込んで欲しかったとボクは思うわけである（いまこそ、ニンジャ2号対ムリーロ・ニンジャのニンジャ頂上対決がボクは「PRIDE」で見たい！）。

「私もマットの上に上げられて、スパーリングをやらされる。もちろん初めての体験だ。よく例えで『ボロ雑巾のようにズタズタにされる』と言うが、このときの私はまさにその状態だった。（ミスター）空中さん、内藤さん、沢田さん。3人が交替でかける技に何度悲鳴を上げたか、自分でもわからない」

こうしてマレンコ道場時代のエピソードで実名を出すのであれば、名字だけではなく「内藤恒仁&ポイズン澤田」と表示しないでどうする？ 同様に、島田さんが朝9時から夜の10時まで**「やることがナニもない」**ので延々と新聞を読んでいたという初期藤原組に同じく在籍していた「PRIDE」でお馴染みのブッカーKにしても、**「スタッフの川崎さん」**と名字だけしか書かないでいると面白さも半減してしまうはずなのだ。

……と言っても本書の中心は島田レフェリーが**「自身の歩みも赤裸々に綴った」**部分ではなくレフェリング活動みたいなので、そろそろ話題をそっち方面に移行していくとしよう。

「明らかにワセリンを身体に塗っているのに『俺は脂性なんだ』と言い張る選手もいる。これはオランダの選手に多い。悪質な選手になると、前日にサウナに行って汗を流したあとに、汗腺にワセリンを塗り込んでくることもある。翌日試合で汗をかくと、塗り込んだワセリンが溶けてヌルヌルになるという寸法だ。これをやったのはボブ・シュライバー選手」

そんなリングス・オランダ勢ちょっといい話や、**「大塚は鼻血が出やすい。それはおそらく夜の生活に原因があるのではないかと私は考えている……」**といったアレクちょっといい話など、さすがは島田レフェリーと言いたくなるエピソードもたっぷり収録されているんだが、なぜか勢いに乗ってMAキックの舞台裏まで暴露しているのも、さすがの一言。まさに怖い物知らず！

島田は見た！
島田裕二
「私は間違っているか」
審判！

「貴重な体験をさせてもらったのにこんなことを書くのは気がひけるが、レフェリーという職業の未来のためにもあえて苦言を呈したい。『今日は客の入りが悪いから、ギャラを1万円減らすね』。試合当日に、いきなりこう言われたことが何度かあった」

……なお、小さい頃の「紙プロ」との出会いについても触れられていたので、せっかくだからここで引用してみるとしよう。

「その日は『紙のプロレス』のスタッフが、道場に取材にくる予定になっていた。プロレス業界では、『紙プロに取り上げられると人気が出る』というジンクスがある」

そんなジンクスはもちろん聞いたこともないんだが、ここは気にせず話を続ける。

「そこで、私はある人を通じて、『紙のプロレス』さんに取材をしてくれるようにお願いをしていたのだ。当時の藤原組はリングス、WARなどの他団体のマットに上がってはいたが、組長以外は名もない若手選手ばかり。マスコミの脚光を浴びる機会に恵まれていなかった。そこで選手たちは、最高のおもてなしで『紙のプロレス』のスタッフを迎えようと考えた。そう、バーミヤンスタンプだ」

バーミヤンスタンプとは何か？　当時からの読者であればわかるだろうが、これは、小坪弘良選手が相手の顔面に容赦なく生尻を押し付ける、早過ぎたR－K－S－H－のスティンク・フェイスとでもいうべき真の必殺技である。

「結果……。4人のうち2人は怒って帰ってしまったのだが、残る2人には小坪の生尻を大いに気に入ってもらい（？）、以来、『紙のプロレス』さんとは仲が良い」

思えば、このとき真っ先に逃げだしたのが柳沢忠之を筆頭とする後の「SRS－DX」一派であり、逃げ遅れて汚ケツの直撃を受けた山口日昇は陰毛が喉に絡んで取れなくなったため、「あんなクソ団体、絶対にブッ潰してやる！」と本気で大憤慨！　そして、もう一人の被害者である成田メキシコ君（現在、子持ち）は「ああ、楽しかった！」と呑気に大喜びしていたのが、いま振り返るとみんなキャラクター通りで抜群なのであった。

『護身――最強のリアルテクニック』

（佐山聡／日本文芸社／1300円）

スーツ型道着の着用による市街地実戦型格闘技・掣圏道を立ち上げた「和製・路上の王」こと佐山聡が、いつものように護身術の重要さをアピールしまくる実用書。

しかし、「最近は、危ないヤツが、平気で街中を徘徊し、凶悪な事件を起こしたりすることも多くなってきた」だの「頭のおかしい〝鬼畜〟が、ウロウロしている〝危険地帯〟に、日本がなってしまった」だのと佐山が国を憂う気持ちはわからないでもないが、「そういうアンタも十分危ないって！」とツッコミたくなる人もきっと多いはずだろう。

実際、「若い頃の私は、武者修行気分で、あえて危険な場所に乗り込んで、喧嘩を売ったり買ったりしたこともあった」との証言通り、昔から彼がかなりの暴れん坊だったことは「紙プロ」読者なら御存知の通りなのだから。

「自分から喧嘩を売ることも多かったが、その相手は、みんな身体がでかくて、イキがって街を練り歩いているような連中だった。若い頃の私には変な正義心（？）のようなものがあり、人より体格がいいというだけで、我が物顔で威張り散らしているヤツを徹底的に痛めつけたいという気持ちがあったのだ」

この「徹底的」という部分に底知れぬ怖ろしさを感じずにはいられないわけだが（実際、本人にこの辺りの話を聞いたら「マスク姿でブレイクしたから正体がまずバレないの、アハハハ！」って呑気に笑ってたし）、最近はこの「デカくて威張り散らすヤツ」としてアメリカという国家を想定するようになったんじゃないかと、ボクは勝手に推測しているのであった。

なにしろ、この本の後半は「クスリが効きすぎた占領政策」「〝操り人形〟と化した日本」「日本が国際社会から捨てられる日」（以上、目次より）といったフレーズばかり並ぶ思想的なコーナーになっていたのである！　さすが佐山！

そこで佐山は「〝国を守る〟行為のどこがおかしいのか。〝愛国心〟のどこが間違っているのか」とブチ上げているわけなんだが、この発言や選挙出馬時に「暴走族は撃ち殺せ！」とシャウトしたことも含めて「最近の佐山はどうしちゃったんだろう？」「猪木が言っていた通り、本当にミネラル不足？」と疑問に思っている人もきっと多いんじゃないだろうか？

しかし、これは別にいま始まったようなことではない。

なぜなら、これまでは「腰の低さ」や「甘い物好き」といった表面的な柔和さが全面に出ていたので目立たなかったものの、昔から佐山は「天覧試合をやりたい」だの「坂井三郎が好き」だのと公言していたまど男なのだ！

他にも、「パソコンへの興味」「キレやすい」「組織で孤立しやすい」など、不思議なくらい前田日明との接点も多いので、ここはぜひとも2人に電撃和解していただきたいものなのであった。どうにか「紙プロ」で対談組めないかなあ……。

初代タイガーマスクが
伝授する
自己防衛・撃退術
佐山聡
Sayama Satoru
護身
GOSHIN
――最強の
リアルテクニック
日本文芸社

埼玉県・中川雅博・24歳・イラストレーター

A.INOKI

「ほとんどビョーキ!」な読者ページ（なげやり）

読者病棟

病気ですかーッ!　こんにちは。株式会社ダブルクロス・IT事業部の武田いづみです。ITったって、イヅミタケダの略じゃありません。仕事内容は、林“ヘックション”一枝さんに「病院行ったの?　自己判断はよくないよ」と大変優しく言われたりすることです。病気な人も、元気な人も、とにかく元気がイチバンな読者ページ!　行きますかーッ!　行ってきまーすッ!（病院に）

◎◎◎読者ページを更送された、前担当者チョロの詫び状コーナー◎◎◎

理恵ちゃん、正直スマン!!

◉◉◉チョロの読者ページ活動休止につき◉◉◉

バッザ〜イ、なしよッ!!

『紙プロ』認定アンリミテッド王者の宇佐美理恵ちゃん、今回、見事防衛に成功すれば、なんと理恵ちゃんには賞金50万円が贈られます!……つーか、もうバレバレですね。申し訳ない。俺が担当だったら、間違いなく理恵ちゃんの防衛なんだけど、リングスと同様、チョロの読者ページは2月15日で活動休止となりました。そんなこんなで、理恵ちゃんの借金返済&半年分の水道代支払計画は哀れ水の泡に……♪笑って〜許してッ、ハァ〜!

中川画伯、正直スマン!!

◉◉◉チョロの読者ページ活動休止とは関係なく◉◉◉

ディス・イズ・ゴメンナサイ!

「面白くなかった記事は『紙のプロレス大賞2001』。内容は面白かったのですが、自分は『ワイドショーのような、いやらしい演出の中にもリアルな父娘の感情が伝わってきた』と書いたのに変えられるし、無断で『アメリカーナ』に投稿したイラストを載せられたから。フミ・サイトーに嫌われたらどうしよう。胃がイタイ」。中川画伯、本当にゴメンナサイ。前号をお持ちの皆様、P.55を開いて下さい。それでは、中川画伯の『ボクのわたしのMVP』正式バージョンをお送りします。「和製ジェーク・ロバーツで賞→安田忠夫」。理由は「ワイドショーのような、いやらしい演出の中にも『ビヨンド・ザ・マット』のJ・ロバーツのようなリアルな父娘の感情が伝わってきた。結果を出した父親の格好良さ」。これで、許して頂ければ、嬉しく幸せ!　ダメかい?

読みづらくてスミマセン。

④ NO MERCY
「ノーマーシー」って田代まさしはもう居ないって感じがします。

⑤ アキラのズンドコ応援団
浅草キッドが今万感の思いを込めて「おつかれさんでした!」
例え話に談志さんとか持ってくる人は大人って感じで格好良いです。あと自分が女々しいだけかも知れませんが、自分のように「前田っ子」じゃないリングスファンは、とてもさみしいです。自分は前田日明はもちろん大好きですが「コピィロフっ子」や「ペトコフっ子」なので大ショックです。引退しないで。
中島礼香さんさようなら。
鯱弐号

⑥ 紙のプロレス大賞2001
内容は面白かったのですが、自分は「ワイドショーのようないやらしい演出の中にもリアルな父娘の感情が伝わってきた。」と書いたのに変えられるし、無断で『アメリカーナ』に投稿したイラストを載せられたから。フミ・サイトーに嫌われたらどうしよう。胃がイタイ。

武田いづみとは何か?

突拍子もなく読者ページに出現した「武田いづみ」とは何か?を、本人が、うろ覚えで解説します。

5年前の16歳の頃、兄の部屋にあった『プロレススーパースター列伝』を偶然手にし、「ほー、コールタールのプールで練習するのかー。すげぇ」と、90年代にはありえない第一印象からプロレスファンに。学校帰りにブックオフでプロレス書籍を買いあさる（『ストロングスタイル』と『別冊宝島』を並行して読む）女子高生となる。

『紙のプロレスRADICAL』No.2から読者となり、読者プレゼント欲しさにハガキを出したら掲載され、その恥ずかしさに「絶対家族に隠さなくては」と決意。以後、順調に隠密読者活動を続ける。17歳の頃、高田VSヒクソン戦に激怒し、ちょうど感想文を募集していた『紙プロ』に、修学旅行前日、徹夜で書き上げた作文を投稿（終始怒りながら）。「山口日昇賞」を貰う（本屋で買う前に立ち読みしていたら、自分の文章が載っていて腰を抜かしそうになる）。

その後、読者による勝ち抜き作文ページ「PRIDE.0」で5戦勝ち抜き、殿堂入り（いまだ殿堂入りのメリットがなんなのか不明）。短大に進学してからは、日記を載せてもらう（いま読みかえした自分の感想は、「この女、狂っている」）。そして、就職活動をいっさいせずに卒業する直前、「ディスカバー・シンニホン」の連載がはじまる。新日本の素敵な部分をディスカバーする予定だったが、さっぱりディスカバーできずに、最近はタイトルもコンセプトも無視。卒業後、無事に就職して仕事をしていたが、気がついたら『紙プロ』IT事業部に。

このほか、『週刊ゴング』の「プロレスお絵かきリング」に、「ちょっと、載るまで描くわ」と宣言した翌週、即掲載されるなどの経歴も（その後3回ぐらい載って「パチパチパチ」って言われました）。

イロイロ書きましたが、ようするに、元読者、現病人です。

今月の速達

松澤チョロ様、お疲れさまで御座います。目ガ覚メタロウで御座います。さて、先日、中川画伯より特製小川直也Tシャツをいただいたのですが、そのTシャツを、小川直也選手御本人に見ていただく機会を得ました。その時の写真を同封させていただきます。

画伯Tシャツを見て、小川選手は「スゴイなぁ!!」とおっしゃっておりました。つまらないネタばかりで申し訳ありませんが、また送らせていただきます。宜しくお願い致します。

目ガ覚メタロウ

（静岡県・目ガ覚メタロウ）

↓わざわざ速達で送っていただきまして、ありがとうございます。そして、おめでとうございます。目ガ覚メタロウさんのように、小川選手に直接「スゴイ」と言われてみたいアナタ!　まずは中川画伯の「ほんとにジョーク」に今すぐネタを速達郵便!!

✚ハガキという名の問診票

NO.46への読者様のご意見

破壊王インタビューが面白かった。上に泣きついて散々破壊王たちを陥れてきた相談魔・健介の実態はおもしろすぎる。破壊王インタビューに外れなし。

✚アホだのチ●カスだの言われ放題の健介氏。ちょっと気の毒ですが、こんなおハガキも来てます。

（宮城県・三井剛・26歳・アルバイト）

アタイの最近もっぱら気になってしかたないことは、健之介くんは将来どんな職につくのかしらということです。両親ともにプロレスラー、そしてあの家具群に囲まれて育つということは〝一般的〟からちょっぴり逸脱した環境よね？　お父ちゃんがケンスキーというのも逸脱。でも悪趣味（デコラティブ）な写真立てに飾られた写真を見たときは「あぁ、幸せなご家庭がここにもひとつ〜！」と思いました。父親＝ケンスキーというのも、わるくないかもなぁ。

（熊本県・松本卓・25歳・元少年警察官）

✚わるくないですね。もし父親だったら、困ったときは〝相談〟させてくれるかもしれないし。わるくない……わるく……やっぱ正直、スマン。

面白かったのは小林孝至さんのインタビューです。もうRESPECT！します！　500日合宿＋会社、戦地で試合、猫岳（早く帰ってこい！）など、すごい世界を生きてこられたんですね。昭和の新日本みたいで。強くなって当然です。それで金メダルを手に入れ世界一になられたのに、サルにチンチンさわらせてしまう。そんな小林さんが好きだ。

（兵庫県・河合健治・33歳）

✚好きですか！　そんなアナタは、ぜひとも小林さんが営業をしているコーヒー自販機をご自宅に！　もう枕元に！（実際はオフィス専用）

2002　NO.46千駄ヶ谷3丁目読者の声に掲載された、神奈川県・佐々木千代子です。全女の元WWA世界タッグ王者ミスZ（大西ゆかり）は、訂正します。デビュー時、大西弘子、そしてミスZ、マスクド・リーとリングネームを変更しています。「全試合、バスの中で勝敗を言われたそうです」

（原文ママ）（神奈川県・佐々木千代子）

✚マスクド・リーは全女デビューが43年、大西弘子とミスZは44年らしいです。言ってる自分が全然なんのことかわかんないんですけど。誰？　あんまり考えてると、病気になるから、このへんで勘弁！

面白かったのはザ・グレート・サスケインタビュー。猪木祭りでサスケ社長が出てきた時、おもわず身を乗り出した。にわか猪木信者がみんな目が点になって最高。武田いづみさんの意見、全面支持です。

（東京都・島田善夫・30歳・会社員）

✚そんなアナタを全面支持です。読プレではプロテインをご希望のようですが、猪木ストラップを差し上げます。強制的に。

面白くなかったのは、ガイ子初レポート。もっと面白くなるように期待をこめて。少なくともツラより面白くならなければ、文章が。

（東京都・片岡健太郎・26歳）

✚ガイ子さんはこのハガキを見て「でも、面白かった記事にあげてくれてるんですよぉ」と最初カン違いしてました。で、ご指摘の〝ツラ〟ですが、編集部では顔半分がケイコ先生に似てるって話がチラッと出ました。東大レベルです。

⬆カイコ先生

つまらなかったのは、「紙プロに立ち技を見れるか？」。理由は谷川が嫌い。ただそれだけ。

（山口県・角拓也・28歳・自衛隊）

✚ご病気です。「紙プロに立ち技」は見れません。「立ち技に〝プロレス〟を見れるか？」です。でも理由は、まあ、それでいいや（アントン調）。

面白かったのは「新日分裂徹底検証」。面白ければ何でもアリ。長州が悪い。

（東京都・島本直也・31歳・会社員）

✚おめぇの理由も、まあ、それでいいや。

面白かった記事はキラー・カン インタビュー。40歳でスパッと身を引いたカンさんはエライ！　カブトムシのメスにカンさんのツメのアカを飲ませてやりたい。

（東京都・伊藤智彦・31歳・会社員）

✚飲まないと思いますよ、プロテイン以外。

もちろん、キラー・カンさんのインタビューがおもしろいに決まってます。移転前のお店に何度か潜入しましたが、一回騒ぎをおこしてスイマセン。

（富山県・林政広・35歳・会社員）

✚「スナック・カンちゃん」で、なにをしでかしたんでしょうか。新日本の悪口ガンガン言って、数年後に本を出版すると、カンさんに「負け犬」と思われてしまいますので、注意。

いつも月末、給料日前後、本屋に『紙プロ』を探しに行きます。行けども行けども前号の猪木表紙しかなく、とうとう全員が落としたのかと思っていました。

（群馬県・妹尾美由紀・23歳・停電割引）

✚あたしも、そう思っていました。

面白かったのは田村潔司インタビュー。顔が弟にそっくりなんです。

（静岡県・小澤靖恵・28歳・会社員）

✚そういうモノの考え方は、嫌いじゃありません。

紙の夫婦善哉

山口日昇氏が、ダブって余ったタイガーマスクソフビ人形ください。うちのバカも子供のアンパンマンやら、おじゃる丸のソフビ人形にかこつけ、鬼太郎のソフビ人形にはまってからというもの、全く思い入れ皆無のはずのデビルマンやら鉄人28号やら、何故か買っています。そして今年の正月から全く同じように「ダブりが無いから、今年はついてる」と確かに言っておりました。「なんで買うの？」と聞くと「リングスがなくなることのストレスや」などとほざき、あげくの果てには、「梶原一騎シリーズやら、おそ松くんなんかが出たら絶対はまる」などという始末の悪さです。「タイガーマスクのソフビが出ているようや」などと、紙プロを読んだ日から探しまわったようですが、こちらではまだ売っていないようで、かわりにまた「欲しくもない鉄人28号がダブった」と言いながら帰ってきました。まったく。

（福井県・西澤ゆみ恵・29歳・主婦）

⬇唐突に「うちのバカ」呼ばわりなさってるのは、ご主人でしょうか。こういうのを読むと「お嫁さんになりたい」などと思うのですが、母が「チビ・デブ・ハゲ・関西人はうちの家系に入れないで」「あんた、お寿司屋さんと結婚しなさいよ。お寿司食べたいから。マッサージ師でもいい」などと、私利私欲と無理難題を押しつけるので、当分無理です。

診断!!「書いて、描け!」

病気、病気って、結局なんの病気なの？　と思ったアナタは、もう病気（無理矢理）。処方箋は、ズバリ「投稿」です。ご意見、ご感想、ご提案、イラスト、書道、妄想、幻覚、念力、セミナーへのお誘い等、なんでもお待ちしております。

メール投稿は、izumi@kamipro.com

〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702（株）ダブルクロス

『紙プロ』編集部「字がまちがっています」係

NO.46で中野選手のお名前を間違えてしまい、ご本人からご指摘のFAXをいただきました（二度目）。己じゃなくて、巳！　はねません！　以後気をつけます。

今月の♂

（愛知県・吉原剛実・25歳・学生）応募券をホチキスでとめてくるあたり、好感度高いです。

今月の15の夜

（奈良県・ベジータ・ベータ）シウバはやっぱ、口周辺がポイントでしょうね。4分の1に切ったオレンジを常にはめてるような、あの感じ。それより、あなたは中学生のくせに『田村さんvsボリス・ジュリアスコフの写真！　あれはどうみても騎乗位だ！』とか書いてよこさないこと。でも、中学生ってそうだよね。目標、生涯思春期。

今月のデスマスク

（埼玉県・宮田浩司）武藤？　小原？　っていうか、どうみても死人です。

今月の元子ラヴ

（大阪市・えいかなおずみ）元子さんはチャーミング（武藤調）ですよね。ああなりたいです。いや、ホントです。

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

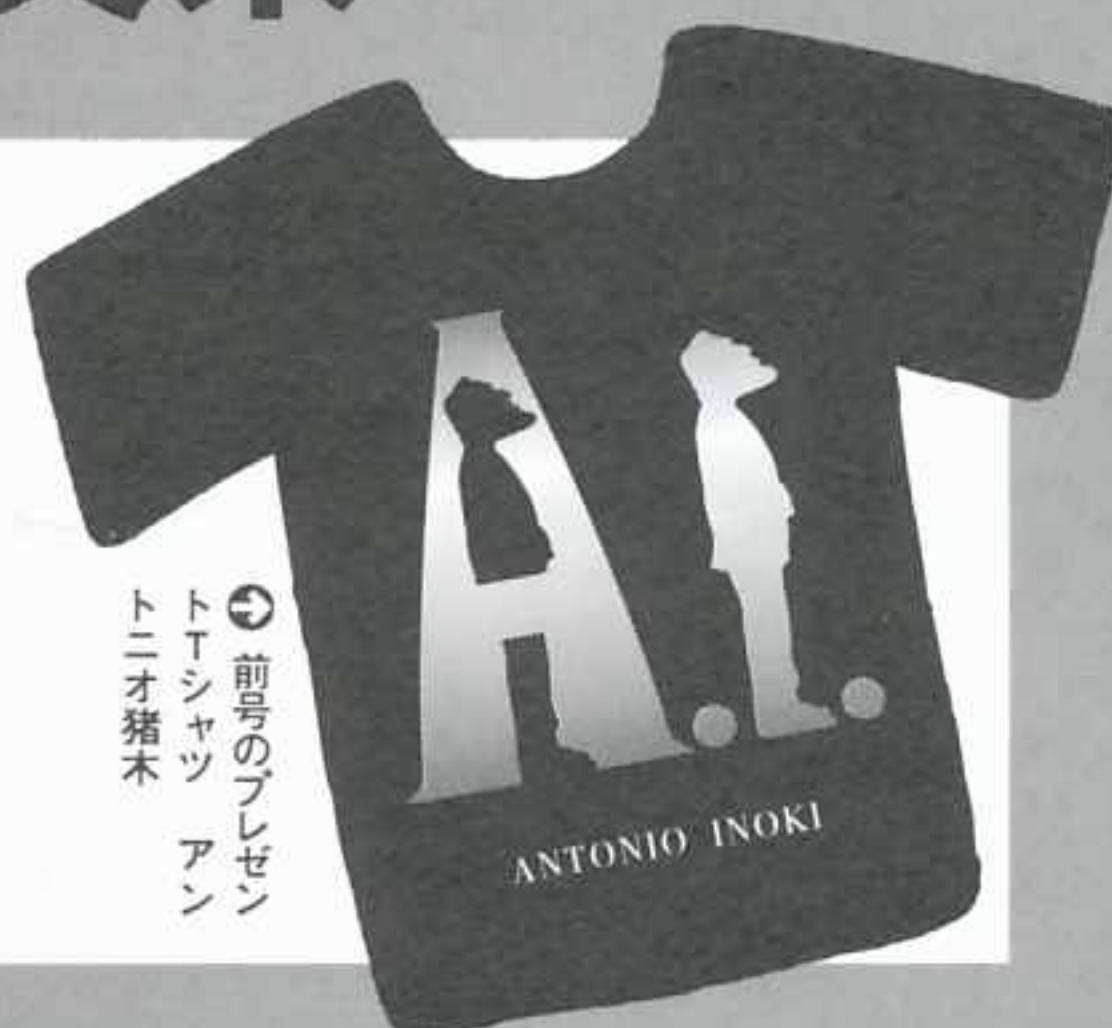
第8回

前田が
進むのは
どっちだ!?
前だ!

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

腹固め69　アントニオ文朱

★アントニオ文朱さん、投稿してくれてアリガトウ!!御希望の前田&ドールマンTシャツをお送りしたいのでサイズを教えてチョーダイ。
★『紙のプロレスRADICAL』読者の皆さん、ハガキが来ると「明日また生きるぞーっ!」っちゅう気持ちになって、ハガキが来ないと「俺、死なねば駄目だ。」っちゅうダメな気持ちになります。ハガキをチョーダイ。ハガキがもっと欲しいのヨ。
今回も、物を付けちゃいます。ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博オリジナル手づくりステッカー」をプレゼント!!　採用された方にはTシャツをプレゼント!!　いつ何時、誰のTシャツでもつくります!

A.I.
ANTONIO INOKI

➡前号のプレゼントTシャツ　アントニオ猪木

応募方法
プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S·M·L·XL)をハガキに書いて下さい。〈例〉ムリーロ・ブスタマンチのM

FEBRUARY.2002

BEST OF THE スパコラム™

新日分裂騒動後、越中さんは元気がないみたい。コラムでも読んで頑張れって！　覇ッ!!

ラインナップ

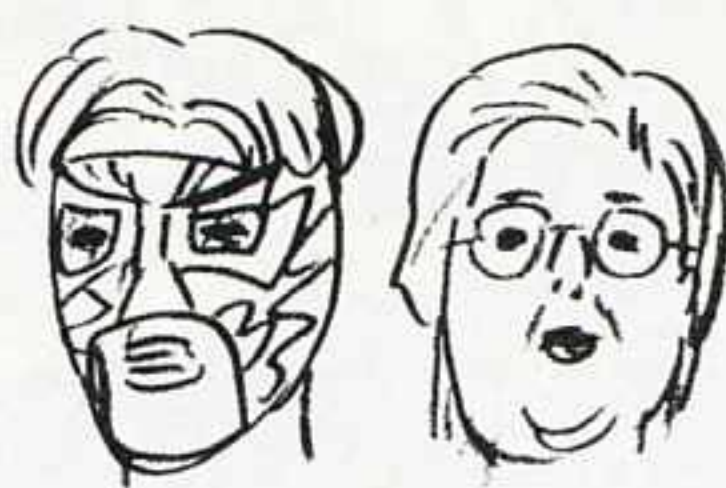
GOHONSON

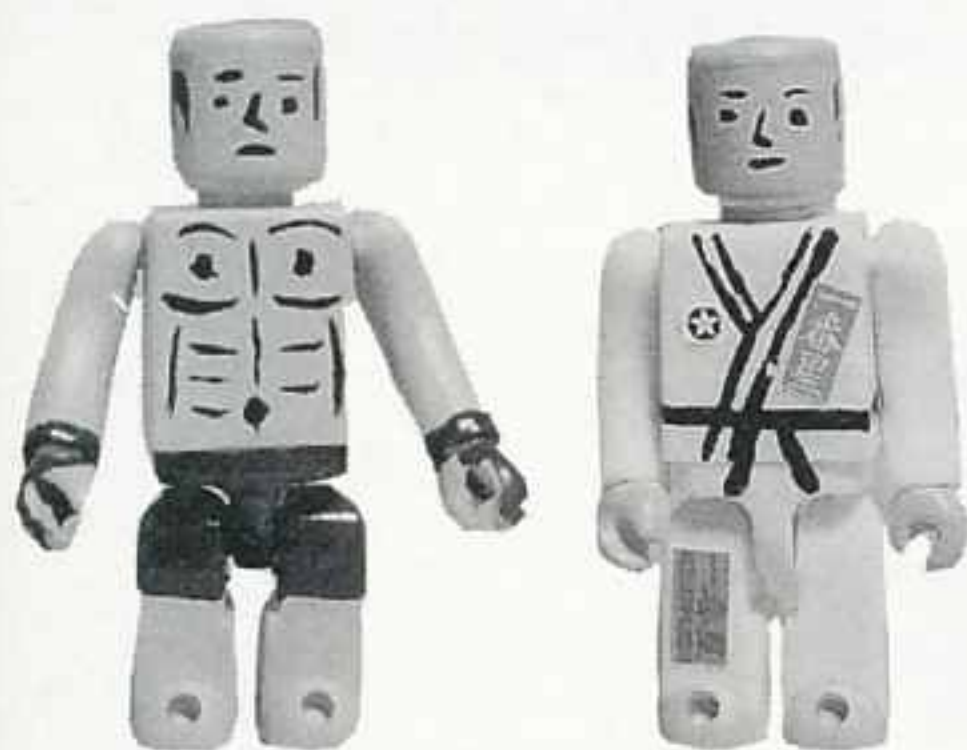
Title&Illustration/Jerry Luv for ADS

※今回は石神秀幸さんの『闘魂★たべある記』はお休みです。

息子が入院し、妻はダウン、そんな忙しい中、殴り書きしたのんきな作文。

リングの汁 RADICAL

花くまゆうさく

カシンと元子

映画賞はどこも『GO』ばかりだけど『ウォーターボーイズ』のが良かったよなあ〜、窪塚が良かったのは結局『池袋ウエストゲートパーク』だけだったのか？　とか、『木更津キャッツアイ』面白いなあ〜とか思う日々の中、『ナイタイスポーツ』（優香とのハメ撮り写真、オレが撮ったby神尾学）がトップ見出しの号）を見ると、ひっそりと衝撃記事があった。「今成正和キングダム脱退」だ。

（エロ）最強女子レスラー浜田文子から始まり、武藤、カシン、小島、そしてひっそりと小原までいったマット界脱退ブームも、キングダムまでやってきたのか。武藤らが抜けた新日より、これはダメージでかそう。だってもう、いままでキングダムにあった興味数を100だとすると、今成いないんじゃもう数値は3ぐらいまで一気に下がる。入江のセッド・ジニアス化へ悪化していく進行がちょっと気になるぐらいだ。

でもおかげで、今成の試合があちこちで見れそうなので嬉しい。『格通』（高田と和解号）の情報だと、さっそくコンテンダーズ出場で、しかも相手は門脇ってんだから楽しみだね。リングスラスト興行でのヤノタクvsサンボの松本といい、このクラスは夢の組み合わせ山ほどある。小谷弟はどこ上がるのかな？

それにしても今年はアブダビやるのかなあ？と思いつつ、去年大会のDVDを買って見たけど、素っ晴らしい〜ね、ジアン・マチャド!!　おとといの大会もビデオ見たらジアン素晴らしいと前にここで書いたと思うが、今回のも凄えよ！　無差別級一回戦での高阪戦！　みんな見た!?　この試合は絶対見たほうがいいよ!!　高阪から一本取っちゃうのも凄えけどさ、試合全体のムーブが芸術だよこれ!!　何回見ても飽きないね。この一試合でごはん3杯はいけます（断言）。その後も勝ち進んで準優勝しちゃうし（体重軽いのに）、ほんと尊敬します。好きです、ジアン・マチャド（『好きです、スチャダラパー』by小泉今日子風に）。

前号での『紙プロ』大賞2001のアンケート、クソ忙しい中にきたので、よく考えず数分でチョロっと書いてしまったが、MVPとベストバウトは変更、MVPはジアン、ベストバウトはジアンvs高阪に決定！　コンテンダーズでジアン呼んでください、プロデューサー宇野さん！

フライ

すっかり寝た子を起こされた状態になり、おととし大会のビデオを久々に見ると、更にジアンにうっとり。一回戦でマーシオ・クロマドをグラウンドでめちゃくちゃ翻弄しまくるジアンは、とにかく最高♥　あと大ノゲイラがリコ・ロドリゲスにヒザ十字で一本負けしてんのも今なら衝撃お宝映像か。『TSUTAYA』にあるから未見の人はどうぞ。

『Sアリーナ』を見ると、

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の

業☆勝ちます

『THE BEST』！の巻

正味の話、とにかく家賃を滞納している。払いたい気持ちはあるのだが、マイ銀行残高がどういう訳か一向に伸びがない。働いていないからである。更に言うならば入金もあるにはあったのだが、モーニング娘。のミュージカル（1万2千円）のチケットを買えるだけ、めいっぱい購入してしまったため、全部パーである。青春は2度とやっては来ない。モーニング娘。のミュージカルも今回見逃すと永遠に観ることが出来ない。……強迫観念。使用しているシャンプーの銘柄がわかるほどのかなりの至近距離で加護が舞い、辻が唄う。それを思えば家賃などとてもじゃないが払っている場合じゃないという話。

大家が家賃の取り立てに直接部屋にやってきたときにも『ミニモニ。ひなまちゅり』をフルボリュームで流して「カワイイのが辻、プリティーなのがあいぼんです」と正気100％で説明。にもかかわらず大家はまだ辻と加護の区別が付かないらしく、終始「そんなことはいいから家賃払えないなら出ていけ」の一点張り。ジェネレーション・ギャップとはこういうことなのかと思い知らされた次第である。

世界中がひなまちゅり！　そんなミニモニ。HINAフェスティバル真っ盛りの昨今、とてもじゃないが現実を見つめる部分の脳みそが稼働している方がおかしいのではないか。日本人という人種はあくせくしすぎて本当に大切な何かを見失っている。もちろんそれが家賃なんかではないのは言うまでもない。21世紀最強最後のウタゲ、モーニング娘。に没頭していく中で、私達はその何かを見つけられるのではないだろうか。そんな気がする（もちろん気のせい）。

と、思ったら、まだありましたよ！　大切な何かが！　それも格闘技界に！　プライドのリングにあげていいかどうかわかんねぇボンヤリしたヤツばかりを寄せ集めたプライド実験リーグ『THE　BEST』が、実にとんでもないカードばかりで、かなり大切な何かレベル高し！　ジャイアント落合vs西田操一！　マンモス佐々木vs金宗王！　今村雄介vsジョー・サン！　カードを見ただけで巨体がダラダラぶつかりあって膠着連発OR高速タップ合戦の様相が目に浮かぶ素晴らしさ！　どう考えてもコレ『ベスト』じゃねぇだろ！と誰もがツッコミたくなる、やけくそなタイトルが最高である。ジャイ落vs格闘マンモス・西田の気のいいデブ日本一決定戦や、「キモの師匠ということだけで知られる男」ジョー・サンの試合もなんで今更？　なカンジで垂涎モノだが、個人的にはなんといっても「なかったことになっているパンクラス・コリア」の金宗王！　もういい加減21世紀だというのに、金の余裕シャクシャクリングイン&ギロチンチョーク等の前座技で高速タップ（そしておっかしいなぁ〜こんなはずじゃねぇんだけどなぁ〜と首をひねりながら退場）の試合をこのイルボンのリングで再び観られることに奇蹟を感じている。日韓サッカーワールドカップ共同開催の余波がこんなカタチでやってくるとは思ってもみなかった。「とりあえず世界構想」的なパンクラス・コリアのプライド参入は、プエルトリコ・メヒコ・グアムにしか支部がないくせにW☆INGの世界構想を語っ

THE BESTから出てほしい…

山本憲尚

川田がどっかの山かなんかで特訓（?）してるオモシロ映像が流れてた。昔から、よく全日系がシリーズオフにやってたアレ。昔は『東スポ』とか『ゴング』とかでしか見れなかった止まった写真の世界だったが、『サムライ』で動画を見れるようになり、そのマヌケ空間に釘づけ。特訓といっても、マスコミの前で技かけたり、木にチョップしたり、プールや川に若手をブレーンバスターで投げる、ちょっとのどかにランニングしてるなど、どう見ても写真撮るときしかしてないようなあの世界。古き良き日本マット界はあの場にひっそり残っている。あれは、一通り写真撮り終ったらその後みんなどうしてるのかな？ 少し気になります。「プロレスの真実は『週刊ゴング』の中にある（キッパリ）！ by GK」とのことなので、『ゴング』読んで想像しよう。

GKにそんな男らしい態度をさせた恐るべき高橋本ですが、『読売新聞』にまで取り上げられてなんだか嬉しい。しかし、いま一番嬉しいのは、東映創立50周年記念ってことで7月に、トラック野郎の一番星号&ジョナサン号のチョロQが発売されることです。さっそく5セット注文しちゃった♥

さてと、「田村が勝ったらヤダなあ～」と素直に高田と同じ思いで、『PRIDE19』見ます。

パパ、ミスター高橋の本買ってきて

よしわかった

ちがうよっ

ミスター高橋 プロレスラー 陽気な裸のギャングたち

こんなほのぼのしたのじゃないやつだよ

はなくま・ゆうさく■
去年の映画私的ベストは『ウォーターボーイズ』『アンブレイカブル』『チアーズ』。ワーストはぶっちぎりで『ダンサー・イン・ザ・ダーク』！ あんなに腹の立つ映画はじめてかも。主人公の聞く耳もたない態度に、心底腹立ちっぱなし。だから死刑になったって全然悲しくないよ！ 子供のこと思うと可哀想だけどね。

この号の発売日には『THE BEST』は終わってしまっているが、出場が決定した矢先に会社が倒産してしまったマンモス。北尾、大刀光の分まで相撲幻想を甦らせてくれ！

ていた茨城の感覚に非常に近い。こういったズサンな飯場的宇宙感覚を持ち合わせた人間がDSEの中で堂々とマッチメイクをしているのかと思うと、プライドの懐の深さには、ただただ口をアングリ開けて畏怖、驚嘆するのみだ。ある一定の特殊な層（鶴見の青果市場で湘南プロレスを観ている層など）にだけは非常にビンビンくる最高にタマラナイカード編成である。

だが、こんなカードを平気な顔でBEST！ と言い張れるぐらいだから、まだまだ期待してしまいたくなるものである。それがありなら青柳館長vsリー・ガクスーなんかも、もちろんあり！（当然リーのオヤジがセコンド。試合前には極端に痛みが伝わるデモンストレーションありで）。上田勝次vsレオン・スピンクス、ウィリアム・ルスカvsドン荒川など夢のカードが実現！ てなことにならんかなぁ？ 初期FMW的説得力ある胡散臭さ丸出しの『死合』がこれからプライドのリングで数多く行われることを激しく希望している。卓越した技術の攻防？ 屁のツッパリはいらんのですよ！ バーリ・トゥードよりも殺気が見たいんだよ、俺達は！ WE WANTプロ空手！ 人生かかりすぎの死合！ うおおおおぉぉぉっ！ 燃えるじゃねぇか畜生！

『THE BEST』が『21世紀の格闘技の祭典』になってくれることを心より望むものである。

それにしても、このカードで客入るのか？

おきて・ぽるしぇ■
2月26日、掟ポルシェ初の単行本『説教番長 などりつけハンター』を文芸でもないクセに平気な顔で文芸春秋社よりリリース！ 3月初旬には新宿か六本木の青山ブックセンターなんかでサイン会も敢行！ 詳しくは各自調査！
問ミュージック・マイン 03・5728・3381

プロレスが好きな人、この指止まれ!!

実録 最狂プロレスファン列伝

構成／イナズマ★K

No.21 DROWNING POOL

PROFILE

テキサス州ダラスという、まさにエリック一家のお膝元出身のドラウニング・プール。デイヴ・ウィリアムス（vo）、スティーヴィー・ベントン（b）、マイク・ルース（ds）、C.J.ピアス（g）の4人組。97年に結成し、セヴンダストやキティなどのサポートをこなすうちに、地元で大人気に。その後、クリードのいるレーベルワインド・アップと契約する。本国では昨年の6月にデビュー。当初はビルボード81位の普通の新人扱いだったが、『ボディーズ』がMTVでかかりまくり、一気に人気も急上昇。WWF“サマースラム”のテーマ曲になったということが、さらに人気に拍車をかけたのは間違いない事実。“TOUGH ENOUGH”のサントラCDにも一曲目で収録されてる。WWF.comにも彼らのサイトがあるぞ。プロレス大好きな彼らは、来日お疲れ状態ながらも、写真撮影でもサービス精神タップリ。HHHのテーマ曲新ヴァージョンも気になるところだ

“HIT THE BODIES ON THE FLOOR!~”という、WWFを見てる人なら一度は耳にしたことのあるあの曲を演ってるのがアメリカのヘヴィーロックバンド、ドラウニング・プール。現在WWFは、各PPV特番ごとにテーマ曲があって、前振り期間やその前後にはテーマ曲が各番組内で流れまくっている。彼らの強力ナンバー『ボディーズ』は昨年のサマースラムのテーマ曲として使われ、それもきっかけとなり、彼らのアルバム『シナー』は全米大ヒット100万枚を突破するという凄いことになってしまったのだ。バンドも、もちろんだけど、やはり恐るべしのWWFパワー。来日中の彼らに話を聞いた。

取材にはドラムのマイクも来る予定だったがビールの飲み過ぎで部屋でダウンしてたそうです

★

——ではまず、WWFのサマースラムに『ボディーズ』が使われるきっかけは？

デイヴ　最初WWFの方から「この曲を使っていいか」とアプローチがきたから、「もちろんだよ！」って。この曲を作った時に冗談で「プロレスとかアメフトのテーマになったらいいよな」って言ってたのが、現実になっちゃったんでビックリしたよ。それからWWFとはいい関係になれて、この間、HHHのテーマ曲を作ったんだけど、『GAME』って元々モーターヘッドの曲を、オレたちのアレンジでレコーディングし直したんだよ。

スティーブ　WWFって凄い人気だろ？　オレらが有名じゃなかった頃に露出できたのはオレたちにとって、かなりプラスだった。観てる内の何人かはオレたちの曲を気に入ってくれたんじゃないかって思うしね。

——ボクもWWFがきっかけで「カッコイイ曲だな～」って思いましたよ。

デイヴ　そう言ってくれた人が結構大勢いてね。やっぱりメディアの影響力って大きいから。自分達の曲をバックに殴り合いしてるのを観るってのもなかなか面白いもんだよ（笑）。それにWWFから最初話があった時にいろんな企画が盛り込まれていて、単にオレたちの曲がテーマとして流れるだけじゃなく、実際にオレたちが試合の会場に行って生で演奏するって企画もあったんだよ。近いうちにゼヒ

プロレスとエロどっちも裸のおしごとです

エロ♥サムライ

文・大坪ケムタ

第12回『Uインター発AV行』の巻

ラピスペンダントや開運印鑑の広告で「ラピス効果で買ったその日からモテモテ！」「宝くじが当たりました！」てな怪しい体験談がよく載ってるのを見かけます。総合・プロレス界における効力バツグンな××効果といえば「Uインター効果」。桜庭に田村に金原・高山などなど、Uインターのリングに上がっていた選手が、今やアチコチで大活躍しているのはご存じの通り。今回は「こんな所にUインター効果！」というお人の登場であります。

AV専門誌で男優賞を受賞するなど、男優歴は5年ながら今やトップ男優の一角を担うミートボール吉野さん。そのマッチョな身体と現役レスラー＆男優のチョコボール向井選手の舎弟分、というイメージもあってビデオでお世話になった人も多いでしょう。その引き締まった肉体、実はレスラーとしてならした身体でもあったのです。

「帝京大学時代はプロレス同好会に入ってたんですよ。リングネームはズガン・ハンセンでヘビー級王者にも君臨してました（笑）。入会したキッカケは、大学で勉強しないのはわかってるから、せめて運動はしようと思ってた所に見たのがプリンM（某メジャー団体所属選手）の試合。元々好きだったのもあるけど、それ見て惚れちゃって。Mさん達の世代は最強でしたからね」

M、という名前でピンと来た人、正解です。その後、某メジャー団体に入団し、現在D・Mとしてメキシコで修行中のM選手の学プロ時代のリングネームであります。

「彼は就職活動を●●本プロレスにして、二回目で合格したんですけど感動しましたよね。本人の口から言わないけど、練習してるの知ってますからね。ハートがいいですよ、当時から練習とか仕切る立場の頼れる先輩で。でも僕との関係ではずっとエロ話しかしてなかったんですけど（笑）。僕ら帝京大学と中央・明星大学のプロレス同好会で三多摩レスリングセッション＝SWSって連盟組んで試合やってたんですよ。それに加えて九州産業大学とも交流戦やるようになって、その最初の対抗戦やったのがウチからは真壁選手で、九産大からは今のS選手（華☆激・全日本等に参戦）。後のプロ同士が既にやってたんですねぇ」

ハヤブサ・テリーボーイ以降、学プロ出身選手というのも少なくなくなったとはいえ、こういったケースは珍しい。また学プロ時代の話でこんな秘話も。

「リングの設営やグッズの販売とか、プロレス関係のバイトもよくやってましたね。当時よくやってたのが全盛期のUインター。実は大学で試合やる時もリングはそこからお借りしてたんです（笑）。でも格闘技系のマットって固いじゃないですか？　受け身とか痛い痛い。途中からインディー系とか普通のプロレス団体から借りるようになったんですけど、むちゃくちゃ柔らかく感じましたね」

と素人にしてUインターマットに上がってた吉野さん、実は「プロ」としてもこっそりリングに上がってたりする。

「屋台村プロレスがウチの近所でやってたんですよ。それでレフェリーが大学の先輩だったもんで、よく見に行ったり手伝ってたりしてたんです。たまに覆面被ったりもしてました（笑）。だから当時の知り合いは鴨井長太郎、二瓶組長、高木三四郎、奥村茂雄、菊沢くん、野沢くん……結構多いですよ」

そんなプロレス一直線な学生時代。しかしそこから現在のAVの道につながるのもプロレス会場からだったりする。

「プロレス関係の映像会社と知り合いになって、そこがAVも撮ってたんですよね。それでターザン八木さん（村西とおるの片腕として活躍した監督・男優）とお知り合いになったんですよ。それで男優に誘われて、最初は映像に残るのはヤだなぁと思いながら好奇心はあったんで一回きりの約束だったんですけど、それが二回になり三回になり（笑）」

山本でも後藤でもなく、意外なターザンがプロレスからエロの道への架け橋を造ったわけです。そして大学卒業後、真壁選手に続くべくレスラーの道も考えるも、最終的にAV男優に「就職」。身体が肉々しいからあだ名が「ミート」だったのが、チョコボール向井選手との出会いを機に「ミートボール吉野」としてデビューすることに。ちなみに今も総合の道場・ヒットマンズクラブで練習は続けているという。そしてプロレスだけでなく、総合においても凄いメンバーに囲まれていた事実が！

「実は慧舟會にも昔行ってたんです。まだ市民体育館とかでやってた時からで、小路さんや宇野君、村上選手、あと高瀬君とかほぼ同期ですよ。あとエンセン井上選手に教えてもらったりとか……そっちの道をやってればどうなってたかなーって思いますよね」

もしかしたら「PRIDE」に出てたかも……そんなAV男優は他にいない。というか普通の人でもいない。それだけハマる、ということは共通する匂いを感じとっていたからに違いない。

「つながってますよ、エロとプロレスは。間違いなくベクトルは一緒なんです。何より僕がいい例じゃないですか、そのおかげで今の業界にいるんですから。だって自分の進路をレスラーか男優かで迷ったぐらいですよ（笑）」

おおつぼ・けむた■ネットショッピング＆オークション熱が再燃。古本からぬいぐるみまで週に3、4品は注文しまくり。モンティパイソンのグッズ関係、喜んで買い取り致します！

BEST OF THE スパコラム

いつかWWFの会場で会えることを願ってるよ！

やりたいよな！

――WWFって新しいバンドをピックアップしてくるのが上手いですからね。音楽面も、ちょうどアメリカのユース・カルチャーと見事にリンクしてる感じがします。

デイヴ そうだね。オレらのようなハードでエンターテインメント性がある音楽とWWFはしっくりハマると思うよ。ゴツくて長髪にタトゥーまでしてる選手がカントリーで出てきたら、ちょっと闘えないだろ（笑）。やっぱりそれなりの音楽じゃないといけないって考えてる人たちがWWFにはいるんだろうね。オレたちも子供の頃テキサスで暮らしてて、土曜の夜にプロレス番組があったんだけど、ハルク・ホーガンとかファンタスティックとかさ、フリーバーズ、ロックンロール・エキスプレス、あとブルーザー・ブロディとかアンドレ・ザ・ジャイアント！

デイヴ そうそう、そういう人たちを見てた。でも規模でいったら今のWWFとは比べものにはならなかったけどな（笑）。

――子供の頃はテキサスの地元の団体WCCWとか観てたんですか？

デイヴ そうだね。ミッドアトランティックとかもよく観てたよ。でも、ホント、オレたちの頃は結構アンダーグラウンドで観てる人もいなかった。子供の頃はそれこそプロレスごっこっていうか、ベッドで取っ組み合いしたりトランポリンで闘ったりしてたよ（笑）。あと日本人のレスラーが闘ってるのも記憶にあるよ。うーん…？　カ、カブキ？

デイヴ イエス、イエス（笑）。

――ちなみに選手の中では誰が一番好きなんですか？

デイヴ （即座に）スティーブ・オースチン！　オレらと一緒でホントなにも気にしないで好き勝手にやってて、しかもビール好きだろ！　それに同じテキサス出身だからね（笑）。是非とも会いたいよ。頼めば会わせてくれるかな？（笑）。

スティーブ オレはロックだね。今度『スコーピオン・キング』って映画に出てるだろ？　そのサントラにもメタルの曲がいっぱい使われてて、オレらも『BRAKE YOU』って曲で参加してるよ。

――では音楽をやる上で、プロレスとの共通点は何かありますか？

デイヴ どっちも激しくて強烈、そしてエンターテインメント性っていうものが根本にある。ライブをやる時は「次は何をやるんだ？」って期待させたいけど、オレたちがプロレスを観る時も同じこと考えるから。そういう部分でも共通してるよね。それに、レスリング、アメフト、そういった選手たちにオレたちの音楽を気に入ってもらえると嬉しいよ。もしスティーブ・オースチンに「お前たちの音楽が好きだぜ！」なんて言われたら天にも昇る気分だよな（笑）。

――普通のレスリング以外にもハードコアスタイルとかも好きかなって思ったんですけど。

デイヴ 『バックヤード・レスリング』は最高だね。でも今は、あまりに過激だって禁止されたりしてるけど。テレビでやってるWWFは、流血にしても女の子の豊胸手術とかも規制が厳しいだろ。でもWWFはその辺をどうにか広げようって頑張ってるよね。あまりに規制されるのもどうかと思うけど、やっぱり、お客さんは激しいものを観たくて金を払ってるんだからある程度はやって欲しいよ。

――では最後にプロレスファンに向けてのメッセージをお願いします。

デイヴ とにかくプロレスを楽しめ！　あんまりシリアスに捉えすぎないように、あくまでエンターテインメントだからね（笑）。同じようにドラウニング・プールもエンターテインメントだからさ。いつかWWFの会場で会えることを願ってるよ！

DROWNING POOL

『シナー』
全米で一番聴かれてるジャンルは確実にヘヴィーロック。その新星が彼らだ。無敵のナンバー『ボディーズ』『シナー』が収録されてるのはこのアルバムですよ。強力ナンバーまみれのデビュー作で気合い注入だ。

スペースローン・ワイフ 真下純子の ひりきな奥さん Vol.8 『アッパーですよ』の巻

親指ペロリが坂口征二の本気のサインであるように、耳付近の髪をやたらいじるのは思春期女子の気まずさのサインです。

高いところからずっと髪を触っていた娘さん、お元気ですか。「ンモ～、そゆことする～（©植田まさし）」と顔に書いてありましたが。と、もうすぐ3月だというのに去年の大晦日の話をするのも何ですが。

さて、唐突ですが皆様、斉藤澪奈子さんをご存じでいらっしゃいますか。

「私の名前はミズ・ミナコ・サイトウ。ヨーロッパの社交界では誰からも知られた存在です」で始まる名著『ヨーロピアンハイライフ』、アッパー（upper）・ロウワー（lower）等、長嶋茂雄風英語キーワードでポジティブシンキングを提唱した名著『超一流主義』で90年代前半華やかに胡散臭く活躍された女性です。その過剰に飾り上げた風貌は、見る者にけったくそ悪さを与え、上から物を言う姿勢は、聞く者読む者に胸くそ悪さを与えたものでしたが、そのアクの強い言動は豪快で何故か可笑しく、どこか憎めないものがありました。

先日ブックオフにて『超一流主義』を購入して参りました（100円）。大変面白かったです。タイトルに恥じない、暑苦しい程の一流主義（妄想や詐称もあったのでしょうけど）。これはこれで一種のサムライ、と。

斉藤さんは、ご自分がいただけないと思うものを「ロウワー」とおっしゃいました。なんだかこれと似たものを知ってるような気がする、と思いましたらばそう、「プアーですよぉぉぉ!!」と叫ぶターザン山本塾長でした。

「私の名前はターザン山本。プロレス界では誰からも知られた存在です」

山本さん、「ごっちゃん体質」はアッパーなんですか？　ロウワーなんですか？　話が逸れました。

斉藤さんの言葉を借りれば、現在のマット界はロウワーな話題ばかりです。選手やファンがロウワーなメンタルとフィジカルを持っていてはマット界の発展はありえません。今のメガ・ロウワー状態を足掛かりにアッパーでポジティブなマット界が蘇ってくれることをわたくしたちファンは願わねばなりません。……って自分でも何を書いているかさっぱりわからない上に慣れない横文字（インチキ英語）で口がかゆくなってきました。すいません。

そういえばマット界で一番アッパーな人はホームレスの格好をしたりしてますし、アッパー・ロウワーで2分割できるほどマット界は単純なものではありませんね。どんなしみったれた状況でも、なんとかして面白がりたい超二流プロレスファンのわたくしです。ロウワー大いに結構です。

さて、「ポジティブに生きていれば病気などしない、付け入られる隙などない」と豪語していた斉藤さんでしたが、不幸にも乳癌を患ってしまわれ西洋医学に頼らず東洋医学のみで治癒を試みた結果、今年1月13日、44歳の若さでお亡くなりになりました。

余談ですが、「東洋医学のみで」というのもどこかで聞いた話です。引っ掛かります。心配です。某選手、どうかご無事で。

そして山本塾長、斉藤さんの分までどうか長生きしてください。似た芸風のよしみで。

……絶対長生きされるでしょうけど。

ました・じゅんこ■今春、ジャンケンに負け町内子供会の会長に就任。会長とは名ばかりの只の使い走り。最近の趣味は人形の服作り（写真参照）。フエルトでオープンフィンガーグローブを作ったりするバカ主婦後厄。

ザ・検証

今月の検証 by せき誠郎

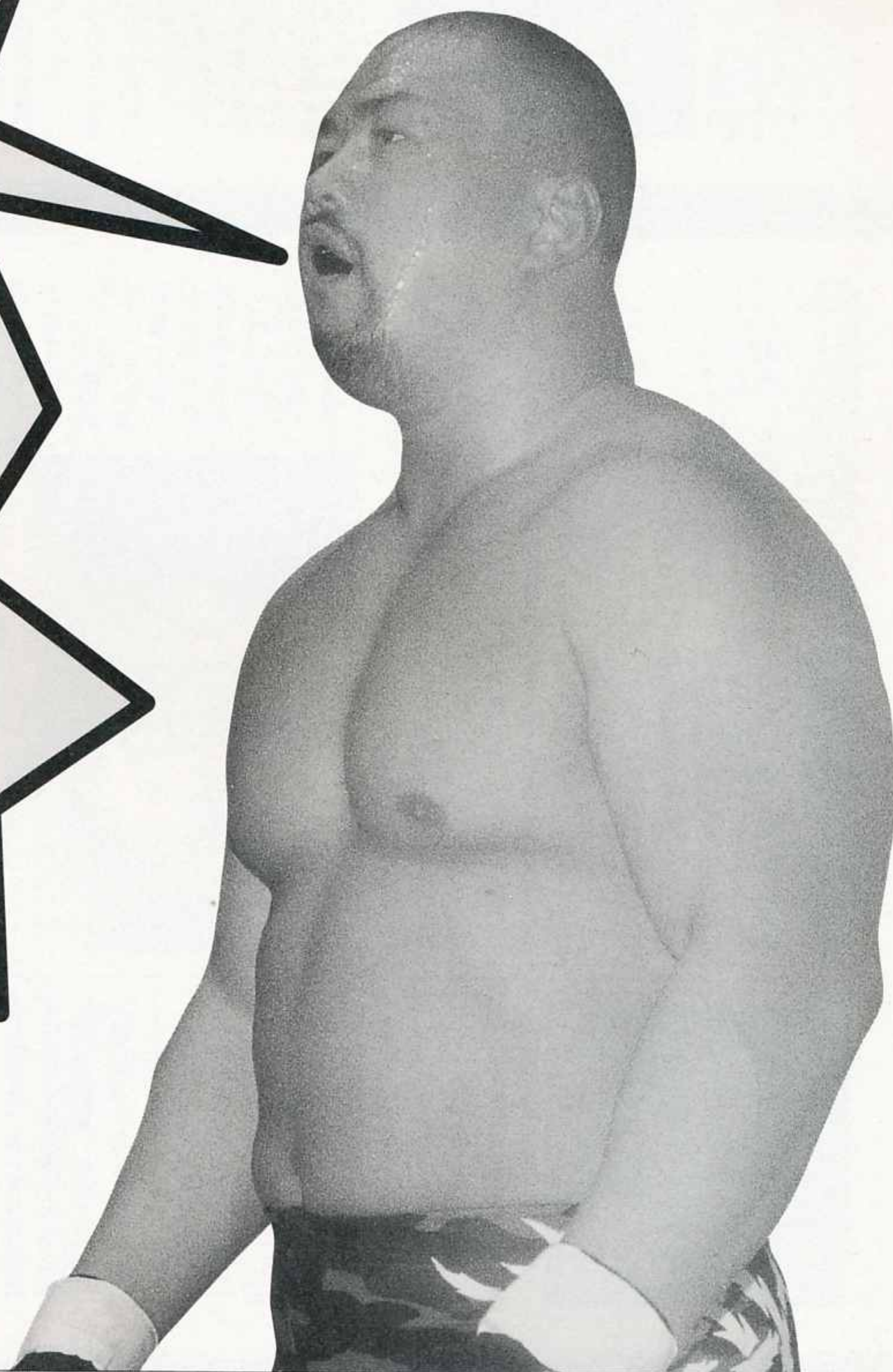
校了日に原稿が来ない時、人は何と叫ぶか？

「チョロ様　健介の家具の画像ありますか？　正月のドームの放送で映ってたやつです。それを中心に書こうかと思います。遅くなってすいません！　せきしろ」
「チョロ様　すいません。駄目な模様です。ご迷惑おかけいたしまして申し訳ございません。反省します。　せきしろ」
せきしろさんの原稿は上のメール2点だけです。ヴアァー！

ヴァァァー

今月の検証

「いい試合だ男」はどこに？

by椎名基樹

最近のベストバウトは「狂四郎対S」！　いや～面白いですなあ、『狂四郎2030』。徳光先生の作品はターちゃんも、乱ちゃんも、ほとんど読んでいなかったので、見直した、と、いうか認識を新たにさせられました。

ところで、なんでも『PRIDE』が『K-1 JAPAN』のような、『PRIDE』本戦の日本人予選となる大会（『THE BEST』）を開くとか。そして、それはオクタゴンを使用するとの話（※編集部注『THE BEST』では金網ではなく八角形のリングを使用。椎名先生の勘違いです）。偉いぞ～（©花輪和一『刑務所の中』）。

俺は前々から、バーリ・トゥード（以下・VT）は従来のリングではなく、オクタゴンでやるべきだと思っていた。で、ボクシングではない、「新しい格闘技」として打ち出して欲しいと感じていた。映画の『ローラーボール』のように近未来のスポーツとして、カッコ良くオクタゴンで闘った方がインパクトがあるし、何よりVTらしいと思う。何といっても、ヴァンダレイ・シウバをはじめ選手のキャラはもうゲームを超えてるじゃん。

AND、何よりオクタゴンは、試合うんぬんでなく、それ自体を見るだけでも興奮でき、会場に足を運ぶ価値があるってもんだ。VTが始まった当初は、金網は残酷なイメージがあり、スポーツとして定着できないなんて意見があったが、それって初期アルティメットの残酷さが、そのままオクタゴンのイメージとなっているように思う。周りをロープで囲まれるのと金網と、残酷さのイメージってそんなに差がある？　俺はあんまり変わらなく感じるけど……。逆にUFCのあのビビッドなデザインのオクタゴンの方が、ゲームステージみたいでポップに感じるけどなあ……。プロレスの金網デスマッチってのも、残酷イメージに一役かってると思うけど、「金網」って部分より「デスマッチ」の血だらけになる試合内容が残酷なのでないだろうか？　仮に多少残酷であろうとも、どうせ『PRIDE』もUFCも地上波の放送じゃないじゃん（※編集部注『PRIDE』はナマじゃないけど地上波で放送してます。椎名先生の勘違いです）。金払ってTV見るんだから、多少毒っ気ないと価値ないよね。

しかし、周りを金網で囲まれると、リングで闘う場合の「ドント・ムーブ」のルールがなくなるから「金網に押しつけて殴る」戦術が多くなるだろう。それは確かに膠着してつまらない（でも、TVで見ると面白かったりするんだけど。『PRIDE』も会場で退屈でも後でTV映像で見ると迫力あったりするんだよね。そういうところも、つくづくTV用のフィーチャースポーツだなと感じたりする）。関節技など華麗なテクニックが出しづらくなるだろう。そこを思うと、やっぱリングの方がいいのかなあと思ったりもする。

と、なると俺は「ドント・ムーブ」のルールに一言いいたい。修斗の場合、選手の体重が軽いから、レフェリーが上になってる選手の脇をグッと引っ張れば2人の選手の頭の向きが簡単にリング中央に向いて、すみやかに「ドント・ムーブ」が行われる。しかし、『PRIDE』のヘビー級選手ではそうはいかない。いつもレフェリー2人がかりでグチャグチャになりながら何とか行っている。その模様に地方の大会だと必ず笑いが起こる。東京だとこのルールに慣れているし「そこで笑うのはもぐりだ」って感じの風潮があるので笑いは起こらない。しかし、地方で起こる失笑こそ本当なのだ。マヌケな姿はどうしたってマヌケなのだ。

だから俺は『PRIDE』では「相撲の水入り方式」の「ドント・ムーブ」を提案したい。ご存じの通り、相撲では長い相撲となると「水入り」になって上手下手のまわしの取り位置、頭の位置などを確認し、一端離れてから、また元の位置に戻して、取り組みが開始される。それと同じで『PRIDE』でも、レフェリーが「ドント　ムーブ」って言ったら何が何でも選手は動きを止め、レフェリーがその状態を確認したら一端立ち上がってリングの中央に戻り、レフェリー・両選手納得の上、元の状態を作って闘い始めて欲しい。どうせグラウンドの状態は大抵の場合、インサイドカードなのか、ハーフガードなのか、パスしているのか、（バック）マウントなのか、腕は差しているのか、頭を抱えているくらいしかないのだから。相撲でできるのだからVTでも可能だと俺は思うんだけど。多少、体勢が変わるのは勝負のアヤってもんだ。でも、相撲なら一瞬で勝負がついてしまう場合もあるけど、VTで多少体勢が変わったからって、いっぺんに極められてしまうこともなかろう。

俺は、技術的にはガードポジション、ルール的には「ドント・ムーブ（もしくは金網ね）」がVTそれ自体であると思っている。その二つの発明がこの新しいスポーツを成り立たせたというか……。KOKルールは面白いというが、アイブルが田村にやったように、ロープ際で闘ってヤバければエプロンに逃げることができ、それを取り締まることができないっていうのは、あまりに不完全だ。つまり、総合を成り立たせるルール的な発明がそこにないってことだな。まあとにかく、『PRIDE』の金網大会、非常に楽しみです！

と、偉そうにグチャグチャ書きましたが、今月の本題！　行ってきましたよ、（第一次？）リングス最後の興行。色々感じることがありましたが、今回、書きたいことは「いい試合だ男」が会場にいなかったってことだ。リングスの興行はなんといってもヤジのセンスが良かった！　それも全てあの「いい試合だ男」のセンスがいいからだ。リングスの会場に足を運んだことがある者なら、誰でも耳にしたことがあるだろう、あの素敵なダミ声と絶妙のタイミングで叫ぶ「いい試合だ～！」のヤジ。いつしか「いい試合だ～！」と叫ぶのは、どの団体でもヤジの定番となっている。しかし、オリジナルはリングスファンの「いい試合だ男」だ。

さらに、

客？「金原頑張れ～！」

客？「ヘイズマン頑張れ～！」

いい試合だ男「どっちも頑張れ～！」

のパターンを作ったのも「高阪高阪高阪高阪～！」などの選手名連呼も「いい試合だ男」が編み出したように思う。そのカリスマ観客ともいうべき、リングス名物「いい試合だ男」のヤジが最後の興行では聞くことができなかったのだ。それが俺は一番悲しい！　どこで何をしていたのだ「いい試合だ男」よ！　悲しくて声がでなかったのか？　ということで「いい試合だ男」、これを読んでいたら『紙プロ』まで連絡しろ！　彼を知っている奴も情報求む！

PS．この日のリングスもそうだったけど、最近の総合の興行は長すぎ！　最後の方は疲れてちゃんと見られないよ！　キックやボクシングのように前座はガラガラでメインに向けて客が集まるってもんじゃないでしょ、総合は。全試合見たいので、試合数減らして興行短くして下さい！

2月15日、リングスラスト興行
“いい試合だ男”はどこに？

というわけで、『いい試合だ男』の情報を求めています。些細なことでもいいので『いい試合だ男』の情報を握っている人は『紙プロ』編集部まで連絡下さい。もちろん、本人からの連絡もお待ちしています。

★★★プロレス＆格闘技専門ビデオショップ★★★

チャンピオン
Champion

【ホームページURL http://www.champion-j.com】

突然ですが・・・ チャンピオン（東京・大阪店）は、3／31を持ちまして、閉店します!!

チャンピオン東京・大阪店 店舗閉店のお知らせ!!

誠に突然ではございますが、3月31日付を持ちまして、『チャンピオン』東京・大阪店を閉店させていただきます。

平成5年11月に日本初のプロレス＆格闘技専門レンタルビデオショップとしてオープンし、当店独自の宅配レンタルシステムをはじめて以来、日本全国のプロレス・格闘技ファンの皆様に愛されてまいりましたが、近年、CS・ケーブルTV放送等の普及により、プロレス・格闘技が24時間いつでも観られる時代になり、当店の行ってきましたサービスに代わるものが、ファンの皆様にも浸透されてきましたので、一つの時代の転換期として、私どもの役目は終えたのではと思い、この度、閉店させていただく事になりました。

最後にプロレス・格闘技団体所属レスラー・格闘家、業界関係者の皆様、並びに当店レンタル会員の皆様、そして、日本全国のプロレス・格闘技ファンの皆様、約8年半の御支援、誠にありがとうございました。

プロレス＆格闘技専門ビデオショップ
チャンピオン東京店・大阪店
スタッフ一同

ビデオレンタル（通信）会員の皆様へ!!

ビデオレンタル（通信）業務は、3月20日を持ちまして、終了させていただきます。
なお、新作商品に関しては、2月末日を持ちまして、終了させていただきます。
只今、店頭・通信レンタルをご利用の会員様にレンタルビデオ割引サービス券を進呈致します。
（3月20日までご利用いただけます。） ※ご利用方法は、サービス券にてご確認下さい。

最新フィギュア情報!!

→マスク装着時

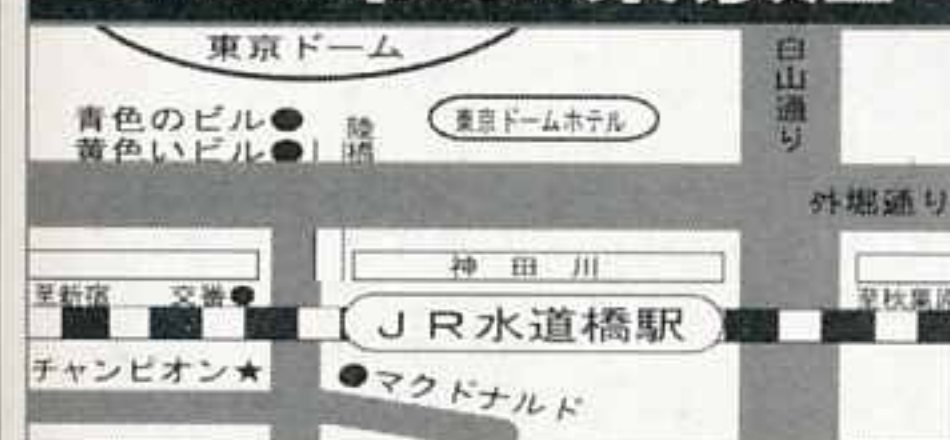
←プロレスリング・ノア（モグラハウス）
丸藤正道（黒）VS小川良成フィギュア
3675円
※丸藤選手は、マスク付きです。

→プロレスリング・ノア（モグラハウス）
秋山 準レトロソフビ・・・・・・・6300円
小橋建太レトロソフビ・・・・・・・5250円

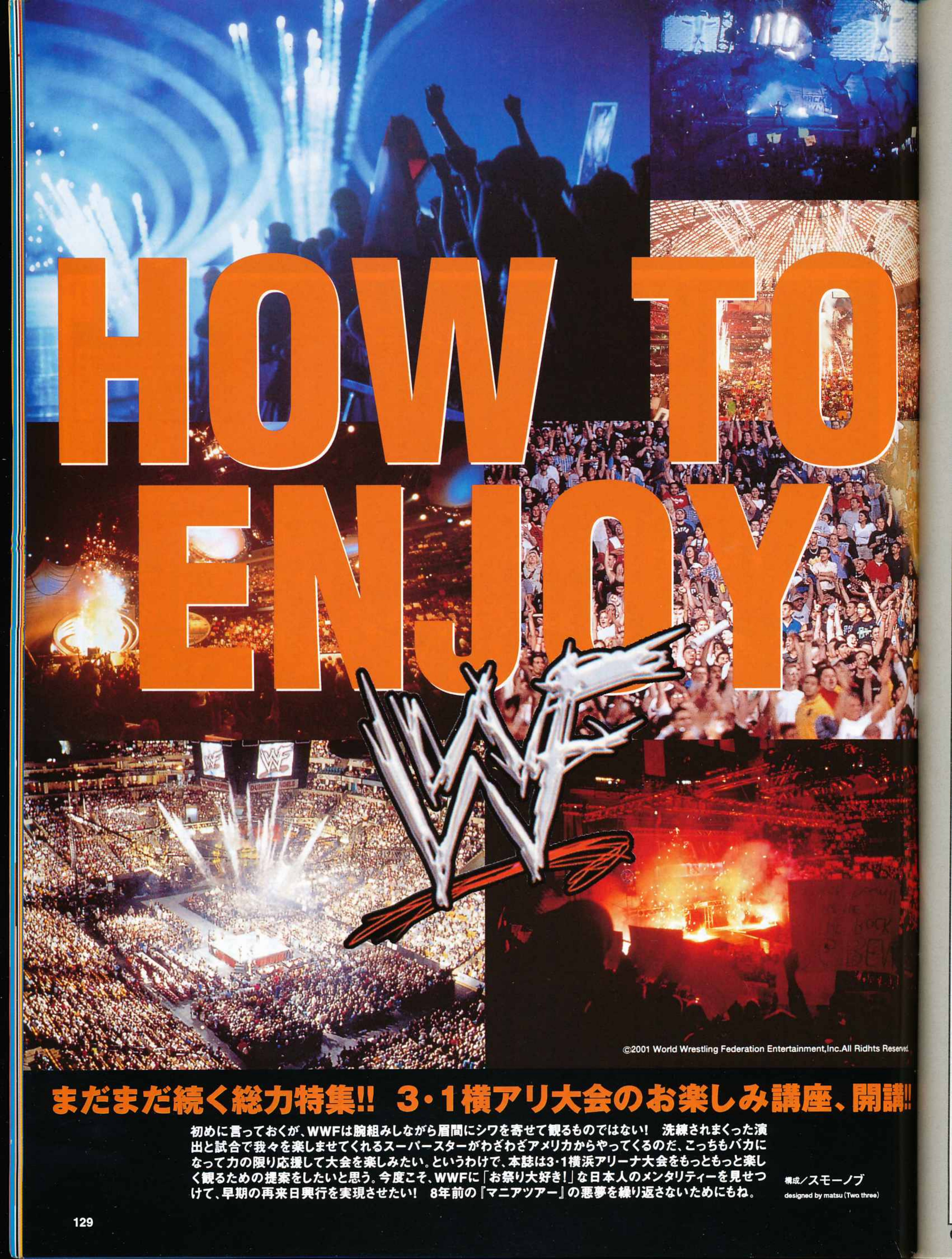
VS

キャラプロフィギュアコレクション!!
RINGS 前田日明（ヒゲ付き）・・・・・・・・・・・・・・・・・1575円
高田道場 高田延彦（UWFタイプ 赤／青タイツ）
（高田道場タイプ 黒／紫タイツ）・各1575円

Champion東京店

東京ドーム
青色のビル
黄色いビル
東京ドームホテル
白山通り
外堀通り
神田川
JR水道橋駅
チャンピオン★
マクドナルド

〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
TEL03-3221-6237 FAX03-3221-6267
営業時間 11:00～22:20（年中無休）
E-mail webmaster@champion-j.com

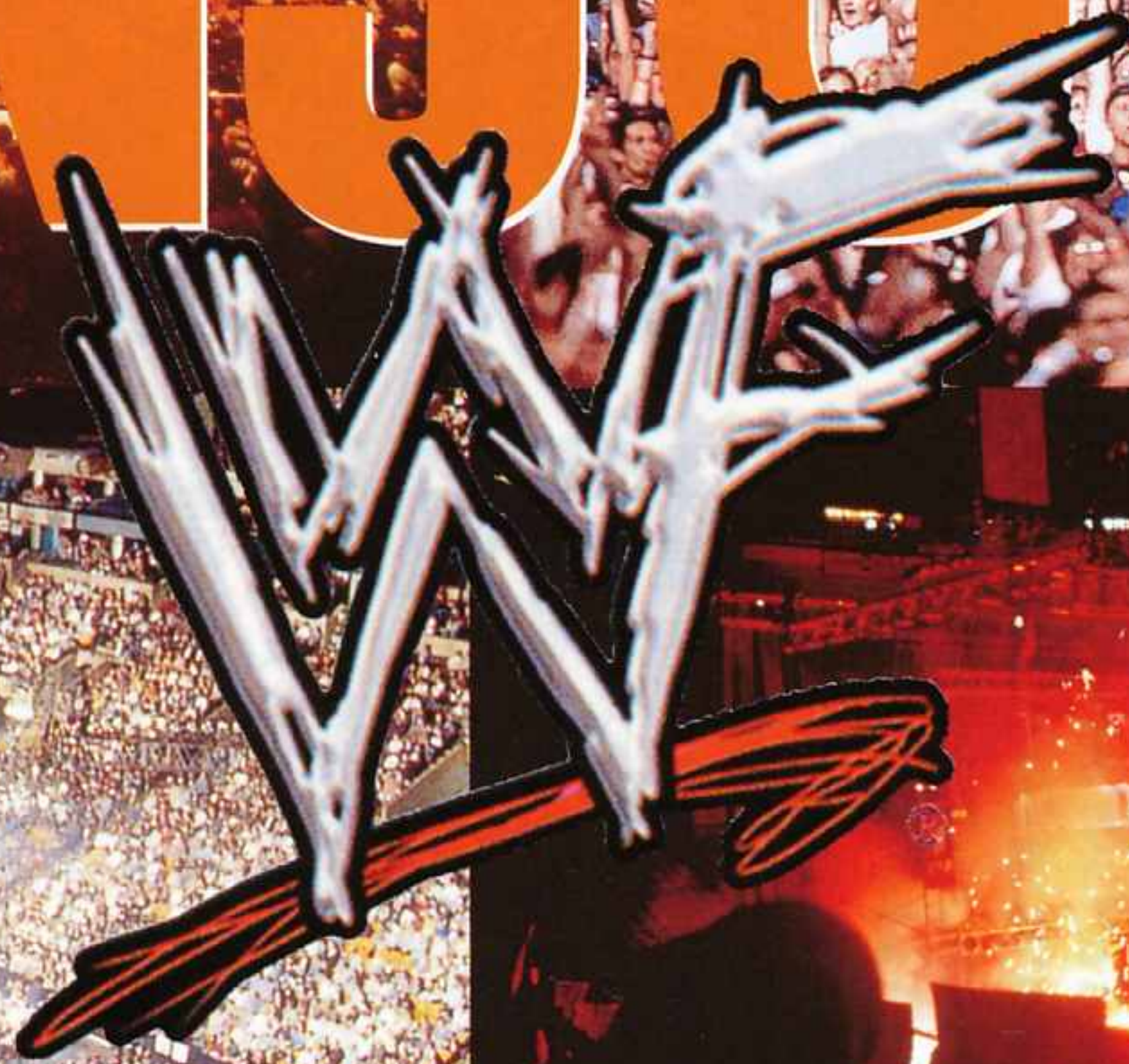
Champion大阪店

ホテル南海
南海難波駅
交番
コンビニ
パチンコサンサン
パチンコプラザ
マクドナルド
大阪府立体育会館
チャンピオン★
阪神高速道路
大阪球場跡地

〒556-0011
大阪市浪速区難波中3-3-23桧ビル4F
TEL06-6645-5186 FAX06-6645-5187
営業時間 11:00～22:00（年中無休）
E-mail east@champion-j.com

チャンピオン閉店セールのお知らせ!!

3／1より在庫一掃処分セールを開催します。ビデオ・グッズなど、掘り出し物まで大放出致します!!
この機会をお見逃しなく!!（3／31まで）

●こんなとこから最後（！）のイベント募集ーレスラー・団体関係者様、サイン会・チケット即売会の場所をご提供いたします（無料）最後にどうですかー！

HOW TO ENJOY WWF

まだまだ続く総力特集!! 3・1横アリ大会のお楽しみ講座、開講!!

初めに言っておくが、WWFは腕組みしながら眉間にシワを寄せて観るものではない！　洗練されまくった演出と試合で我々を楽しませてくれるスーパースターがわざわざアメリカからやってくるのだ、こっちもバカになって力の限り応援して大会を楽しみたい。というわけで、本誌は3・1横浜アリーナ大会をもっともっと楽しく観るための提案をしたいと思う。今度こそ、WWFに「お祭り大好き！」な日本人のメンタリティーを見せつけて、早期の再来日興行を実現させたい！　8年前の『マニアツアー』の悪夢を繰り返さないためにもね。

構成／スモーノブ
designed by matsu (Two three)

アナタの「What?」をブッ飛ばす!!

偏差値40からの応援ボード講座

HONEY

講師 ハチミツ二郎

昭和・新日本プロレスとWWFをこよなく愛する芸人。相方・松田大輔と共に東京ダイナマイトとして活動中。8月30日には日比谷野外大音楽堂で単独ライブが決定! 詳細はhttp://www.tokyodynamite.com/にて。

日本のプロレス会場ではほとんどお目にかかることは出来ないが、WWFの会場では誰しも手に応援ボードを持っている。What? 恥ずかしい? What? 書き方がわかんねぇ? What? そんなことしたくない? What? 日本人はやんなくていい? そんな貴方に、ついこないだまでNYに行っていた芸人・ハチミツ二郎が「応援ボード」のレクチャーをブチかます! ハチミツ二郎、かく語りき! 聞き手/スモーノブ

——本日はボードを語らせたら日本で右に出るものはいないと言われているハチミツ二郎さんにお越しいただいたわけですが……いきなりですけどWWFは何回ぐらい生観戦されてるんですか?

二郎 去年の3月に『レッスルマニア』に行ったのが最初だったんですよね。その次の日の『ロウ』も見ました。それから6月に『キング・オブ・ザ・リング』にも行ったんです。で、その次の日のマジソン・スクエア・ガーデンの『ロウ』と、その次の日の『スマックダウン』にも行きました。

——合計5大会を生で観戦したわけですね。実際、向こうに行って、応援ボードは作りました?

二郎 いや、それが作ってないんですよ（笑）。「作ろう、作ろう」とは思ってたんですけど……作ってる人たちを横目で見てました。ツアーに参加してた『週プロ』の須山記者は、ホテルの廊下で作ってましたよ。

——気合が入ってるなぁ（笑）。ボードって皆さん思い思いに書いてますけど、何を書いてるんですか?

二郎 基本的には自分の好きな選手の応援が多いですね。その選手の得意技だったり、キャッチフレーズだったりを書いてましたよ。「スティーブ・オースチン」っていう名前で応援してる人なんか全然いないんですよね。むしろ「STONE COLD」っていうキャッチフレーズのほうがポピュラーですよ。ヒールの選手を罵ってるヤツもいるし。自分の名前を書いてる単なる出たがりのヤツもいますけど（笑）。ツアーに参加してた日本人も『ロウ』とか『スマックダウン』を見て書いてるんで、同じような感じでしたね。

——なるほど、向こうのマナーにのっとって書いてるんですね。

二郎 だから横浜アリーナは是非、日本流のボードで歓迎できたらと思うんですよ。全部日本語でも面白いと思うし。

——全部日本語（笑）。ホントに実現したら壮観ですよね!

二郎 「ガラガラ蛇」って習字の殴り書きのボードが上がってたら、カッコいいじゃないですか? まぁ、ガラガラ蛇は来ないですけど。

——じゃあ、今回のメインとなるロックの場合は……。

二郎 ちゃんと字幕に忠実に「ロック様」でいいと思いますよ（笑）。（クリス）ジェリコだったら「ライオン道」でもいいでしょう。「俺たちはお前を昔から知ってるんだぞ!」っていうメッセージですね。

——冬木軍時代の恥ずかしいリングネーム（笑）。

二郎 あとは「当て字」も使いようによっては面白いと思うんですよ。「仏恥義理」みたいな感じで……ハーディーボーイズも「派手坊主」みたいな（笑）。

——気合の入った応援が出来そうですね（笑）。

二郎 基本的に応援ボードって人気のバロメーターですからね。だから最近、向こうの会場は「What?」（※ストーンコールドのセリフ）ってボードばっかりで。そんな中にも「TAJIRI」のボードは結構見ましたよ。それでホントに海外で評価されてるんだなって実感できますよね。だから今度の日本大会ではTAJIRIの入場時に漢字ボードを上げて応援できればいいと思うんですよ。「田尻」って（笑）。

——それいいですね! 大リーグも漢字キャップが流行ったし（笑）。

二郎 そうですよ。ショー・フナキだって「船木勝一」で行きましょうよ! 絶対カッコいいですから!

——じつは今号のピンナップなんですけど、外して応援ボードになるんですよね。横浜アリーナに行く人はみんな、コレを使ってもらいたいなぁと思ってるんですけど（笑）。

二郎 なるほど。向こうの人は結構、カラフルな紙を使ってるんですよ。だから、まずピンクの蛍光色をべったり塗って、その上に文字を書くと、より目立つと思いますよ。もしくはカッティング・シートをべったり張っちゃえば、簡単に出来ますから。文字の形にテープを貼ってるような人もいますけど。

——おお! なるほど、なるほど。そこまで考えてませんでした（笑）。

二郎 作り方は自由ですよ。目立ちたいなら、センスのいいのを書くか、色で攻めるか……って感じですかね。ただ、あんまり大きいボードを上げてたり、試合中もずっと上げてたりすると、後ろの人がリングを見られなくなっちゃうから。だんだん後ろの席からブーイングが起こってくるんです。

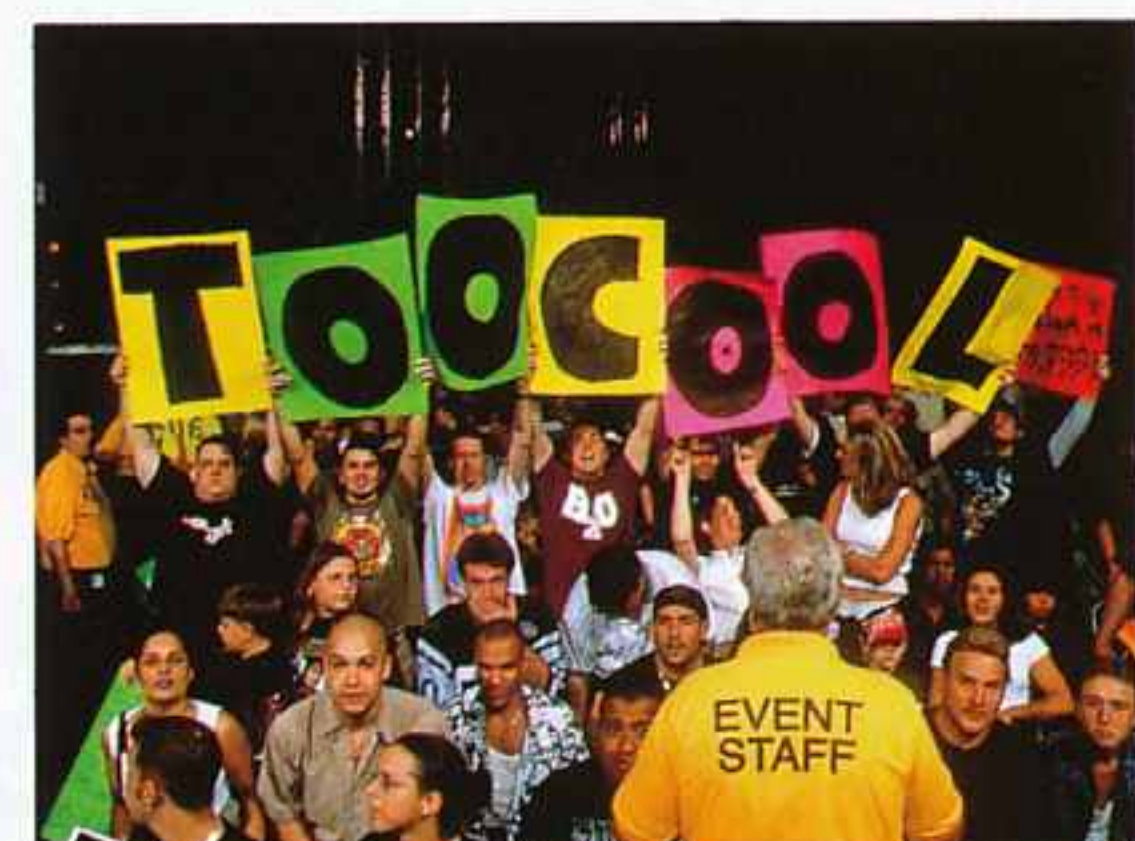
——「見えねぇぞ!」って?

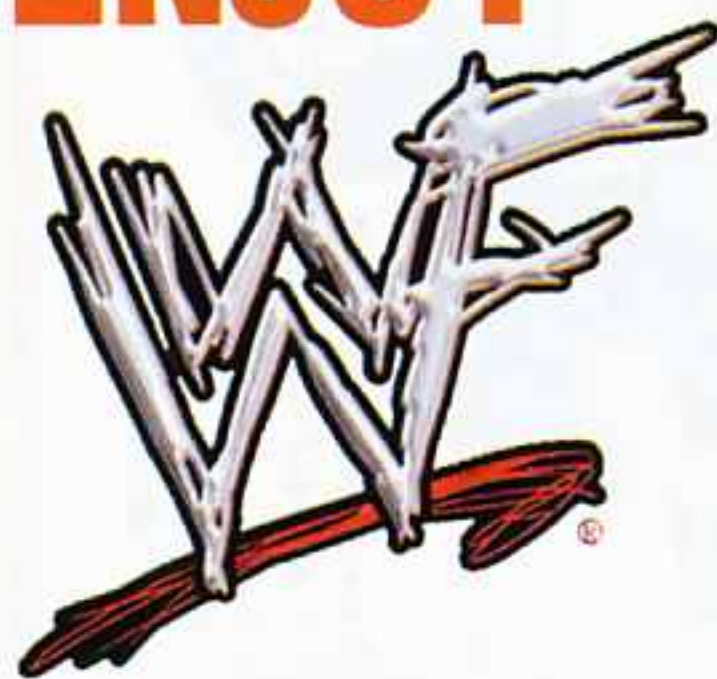
二郎 そうです。やっぱりマナーは大切だと思うんです。モーニング娘。のライブで、大きなうちわを前のヤツが振ってると、見えなくて迷惑するのと一緒ですから（笑）。

——深刻な問題ですね（笑）。

二郎 日本のプロレスファンは、カ

TOO COOL

EVENT STAFF

なるほど、確かに蛍光色は目を奪われる。連係プレーもポイント高し。なおかつ応援してるのがTOO COOLとは泣かせる。発想とデザインと人選が勝負の分かれ目だろう。

HOW TO ENJOY WWF

メラマンがリングに立っただけで「見えねぇぞ！」って怒るじゃないですか？　だから、あんまりデカいボードだと怒られるかもわからないです。このピンナップはちょうどいい感じじゃないですかね？

――ボードはどのタイミングで上げるのが正しいマナーなんですか？

二郎　入場シーンだけでいいと思うんですよ。もしくは、その選手の決まり技が出そうな時ぐらいでしょう。やめてほしいのはカメラに映ることだけが目的の人。アメリカの会場でも2時間ズーッと自分の名前を挙げてるおばさんとかいるんですよ。

――痛い絵ですね、それも。

二郎　でも、よくよく考えてみたら、カメラが来た時に「田中→」とか自分の名前を紙に書いて上げてた昔の新日ファンと一緒なんですよね、やってることは（笑）。

――アハハハハ！　いましたねぇ、そういうヤツ。

二郎　今回はTV中継もあるんで、そういう人もいるんでしょうね。そういうのはちょっと止めてもらいたいですね。あくまでも応援ボードですから！……とは言ってみたものの、よく考えてみたら、そういうファン層がいるっていうことは、それだけ人気があるってことなんですよね。

見てみ、この色とりどりなボード！　この中からTVカメラに、ほんの一瞬でも写してもらうのが観客として最高に名誉なことなのだ。これが、もしすべて日本語ボードで埋め尽くされたら……想像するだけで鳥肌が立つ壮観な絵だ！

――人気の裏返しなんでしょうね。みんながみんな、自分の名前を挙げてたら困っちゃいますけどね（笑）。ちなみに、これは未確認なんですけど、米軍関係者がかなりの枚数のチケットを購入しているという情報もあるんですよね。

二郎　アメリカ人がいっぱいいれば、会場の雰囲気に関しては安心できますね。でも、アメリカ人は、いいボードを挙げてくるかもわかんないんで、われわれ日本勢も気の効いたボードを上げたいですよ！

――そうですね。日本のプロレス会場にボード文化がないからこそ、挑戦したいですね。

ボードを上げましょう！ ただ、後の人のことも考えてあげよう!!（ハチミツ）

二郎　ちなみに、ステファニーは「あばずれ」だろうが何を言われようが平気だったのに、「ペチャパイ！」ってボードに書かれて、本気で豊胸手術したっていう話がありますからね。フミ斉藤さんのコラムに書いてありましたけど（笑）。

――それ、いい話ですよね！　選手がマジでカチンと来たら、ボード冥利に尽きますよ（笑）。

二郎　（急に落ち込んで）オレはでも、豊胸手術したのはイヤだったんですけど……。

――たしかに「前の微妙な感じの方がよかった」っていう声もありますよね。

二郎　（さらに落ち込み）そうスね……。

――これ以上落ち込まれても困っちゃいますんで、話題を変えましょう（笑）。今回、ボードでツッコミどころのある選手はいますかね？

二郎　（気を取り直して）いま一番ツッコめるのがアングルなんですけどね。で、一番応援できるのが、HHHで。その2人が来てないんですよね、残念ながら。

――他にも一番コール&レスポンスができるはずのRVDとか、ストーンコールドも来てないし。

二郎　「What？」じゃなくて「はぁ？」とか「何？」とかいうボードを挙げたかったんですけどねぇ（しみじみ）。おとなしく見てると次にWWFが日本に来ないかもわかんないんで、おとなしく見る人もせめてボードだけでも上げといてもらいたいですよ（笑）。ただし、さっきも言いましたけど、上げっぱなしはやめましょう！　タイミングを見て上げましょう！っていうことで。

――やっぱり最高の雰囲気を作って、楽しく観戦したいですからね。

二郎　とにかく上げどころはTAJIRIと船木ですよ！　日本人なりの応援をしましょう！

急げ！書道三段のハチミツが次ページで模範ボード作成！

3・1当日の夜、新宿ロフトプラスワンにてハチミツ二郎も出演するイベントがあります。当日チケットを買えなかった人も集合!!

実践!
和風板(ボード)のつくり方

「俺は日本語でWWFを熱烈歓迎したい!」ハチミツ二郎、かく語りき!というわけで、

用意するもの

【日本語を筆で書く! これぞ和風だ。習字セットはマストだろう。ぶ厚いスケッチブック（B3サイズ）に書けば墨汁も染みないし、デカいし、最適だが、本番では今号の折り込みボードを使え!!

書く前に

精神統一のために瞑想に入るハチミツ二郎。たとえ頭の中にモー娘。の加護ちゃんと辻ちゃんがいても、無理矢理WWFのことを考えるべし!

もし間違えたら

ビリビリっと一枚破って、グチャグチャに丸めてきちんとゴミ箱に捨てよう。恥ずかしい失敗作は他人に見られる前に葬り去るのが鉄則!

横浜アリーナを日本語で塗り潰せ!!

いまや統一チャンピオン! ジェリコの場合

ライオン道

日本でキャリアを積んでいたクリス・ジェリコ。だが、日本人は知っている! 彼が冬木軍の一員だったことを。道の「はらい」の長さに彼の歩んだ道程へのリスペクトを込めた傑作。

今大会の主役ザ・ロック大応援の場合

ロック様

グラサンは必須だろう。出来れば眉毛をピクリと動かしながら上げたいところ。Jスカイスポーツでおなじみの字幕で「ロック様」とぶっとい筆文字で書くべし! 書くべし!

日本が誇る神秘の男TAJIRIの場合

田尻

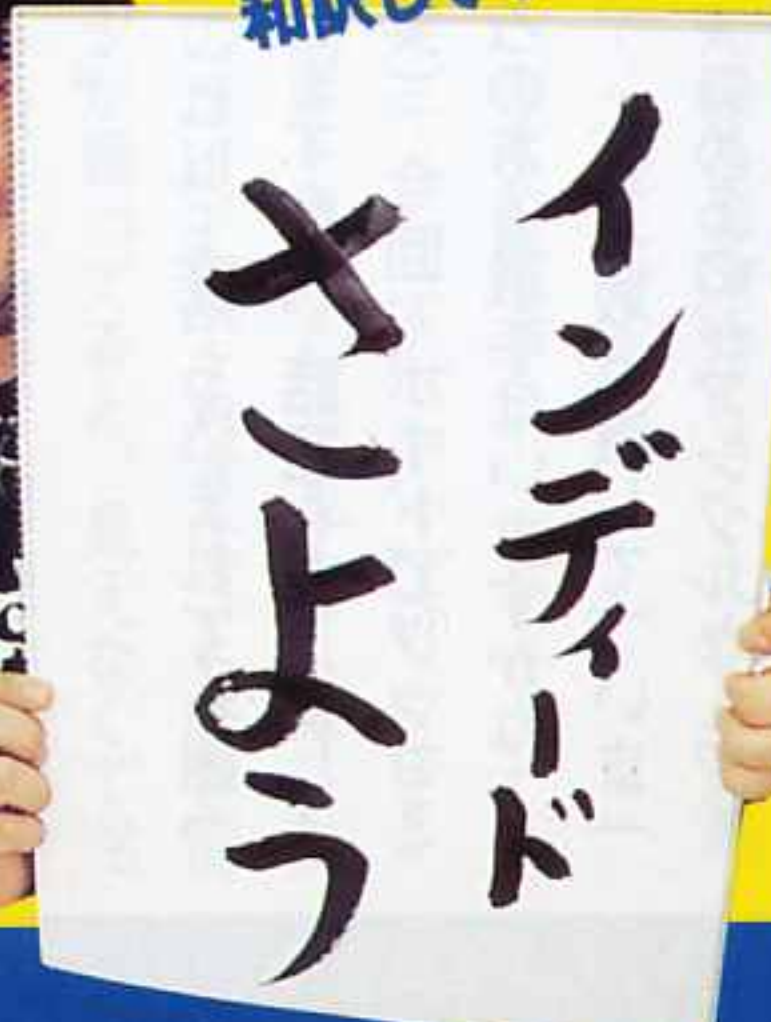
日本が生んだ神秘のプロレスラー・TAJIRI。WWFごと日本に帰ってきてくれるのはホントに嬉しい限り。緑の毒霧を白い部分に吹きかけてから書いてみるのも面白いかも。

イラストよりも水墨画! ロック様の場合PART2

ファイナリー ザ・ロック
イズ カミング バック
トゥ ジャパ〜ン

アメリカでもイラスト入りのボードは多く見受けられる。しかし、墨でもイラストは描ける! というわけで、二郎さん渾身の水墨画! 「ファイナリー……」はロック様の決めセリフだ。

FUNAKIの決めゼリフを和訳してボードに書く場合

インディード
さよう

吹き替えキャラが大ヒットしたKAIENTAIの決めゼリフが「Indeed!（=さよう!）」。そんなセリフを抜き出してボードに書くのも面白い。他の選手のセリフでも試してみよう!

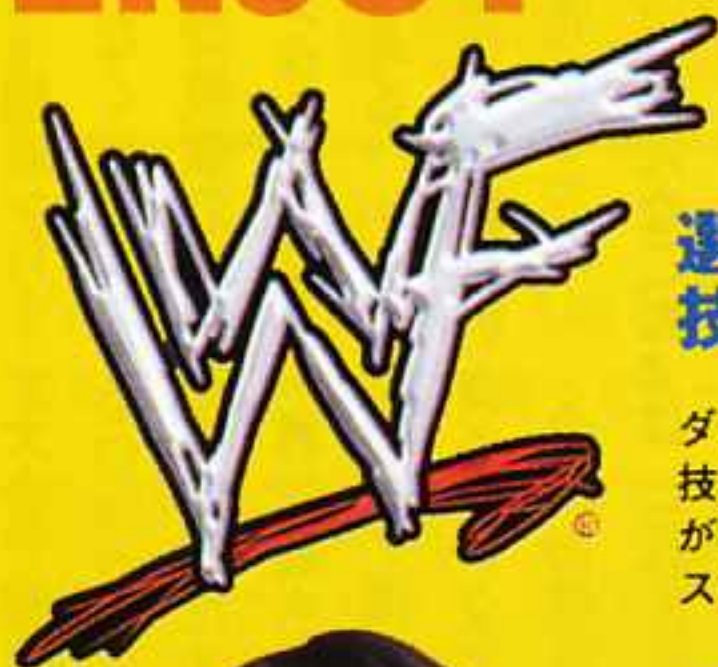
ついに凱旋するショー船木を日本流に熱烈歓迎する場合

船木

KAIENTAIも見たかった。「海援隊」のボードで応援したかった……が、凱旋帰国を果たす船木に日本のファンの気持ちを伝えろ!!

HOW TO ENJOY WWF

ハーディーズ&リタを当て字で歓迎する場合

若さ溢れる彼らには、日本のユースカルチャー「ヤンキー」で対応。難しくて凶暴な漢字を使おう。そういえばハーディーズの指のサインは、ヤンキーが写真に写るときのそれに似ている。

覇出威暴椅子
&
梨多

選手の得意技をリクエスト! 技が出る直前に出す場合

ダッドリーズの得意技はテーブル・ショッツ。技が炸裂する前に必ず「Get the table!」の声がかかる。それを和訳したのがこれ。Jスカイスポーツ版の広島弁和訳を忠実に再現。

テーブルじゃ!

ビンス、来日の可能性大!? 俺らは大歓迎だぜ!な場合

尻野郎

ビンス登場時、「Ass Hole! Ass Hole!（=尻の穴）」の大合唱に会場全体が包まれる。客に喧嘩を売り、地元を罵るビンスこそ本物。ビンスの怒りに火をつけるため下品なボードも必要。

ハチミツ二郎、芸人根性炸裂!

HONEY
↓

さっきは散々、「目立つだけのボードはやめよう」と言っていたのに「ビンスが来るかも」と聞いた瞬間、「ビンスにアピールしなきゃ」と書いたのがこれ。芸人としての性が、そうさせるのか。

これはNG!?

ひねりとアイデアは大事 ストレートな直訳は……

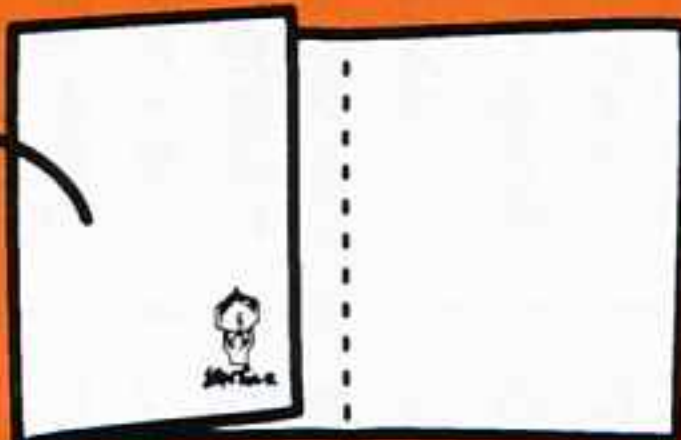
「テスト=試験じゃん」そう、それは決して間違いじゃない。きっと小学生でも知ってる数少ない英単語だ。それを堂々と掲げちゃう? 痛くない? とか思ってたら、結局テストは来日しないのね。

試験
テスト

今号の特別付録「手書き用ボード」の使い方

「今号はいつもと違うピンナップが挟まってるなぁ」と思った、そこのあなた! 鋭いです。そう、今号のピンナップは3・1横浜アリーナ大会で、思う存分WWFを満喫していただくための応援ボードなのです。ハチミツ二郎さんの指導どおりに書くもよし、好き勝手なことを書くもよし、とにかく会場に持っていって広げて使ってください。

はずす

ひろげる

できあがり!!

ロック様

ホッチキスの針をはずすヤツなどを活用してピンナップを取り外してください。リングおじさんが書いてある方が表です。お好きなようにメッセージを書いてください。

二郎さんからプレゼント

3・1、この和風Tシャツを着て行こう! 胸に「京都」とあるけど、「東京ダイナマイト」のオリジナルTシャツ。Lサイズを2名様に（色は黒orピンク）。応募方法はP159を参照。

中川画伯も緊急参戦!!

お馴染み中川画伯にも特別に和風板（ボード）を作ってもらいました。もちろんイラストレーターだけに、カッチョイイ、ロック様のイラスト付きでズバリ『妙技』! こちらの中川画伯特製の和風板を『紙プロ』読者1名様にプレゼントします。応募方法はP159を参照!

二郎さんが着ているTシャツは東京ダイナマイトのオフィシャルHPで購入可能。URLはhttp://www.tokyodynamite.com/

童貞喪失から打ち合わせまで……ロック様すべてを語る!!

3・1横浜アリーナ大会で間違いなく主役となるロック様。地球規模の人気を獲得したスポーツ・エンターテイメント界で最もシビれる男である。そんなロック様の「People's自伝」が絶妙のタイミングで日本でも発売となった！　少々お値段は張るものの、そんなこたぁは「Itdoesn't matter!」な抜群の内容である。

詳しい内容は次号以降の『書評の星座』で紹介すると思うので割愛する。が、若き日のロック様の14歳のときに経験した童貞喪失（しかも青姦！）まで も赤裸々にカミングアウトしている衝撃的な内容だ。まさにシュート活字（この場合のシュートは「発射！」な意味）なプロレス本だと言えるだろう。

ちなみに「シュート活字」の意味がわからない人のために説明しておくと、「プロレスはエンターテイメントである」という観点から、タブー視されていた領域にまで踏み込んでプロレスを語ること。そう、じつはこの本、かなりのシュート活字な内容なのだ。アメリカでは10年以上前にビンス・マクマホンが「我々がやっていることはエンターテイメントである」と宣言して以来、選手、団体ともにプロレスの情報公開には積極的な立場を取り続けており、この本も同様のスタンスで書かれているのだ。

その一例を挙げてみよう。幼い頃から父親であり、往年の名レスラーでもあるロッキー・ジョンソンの試合を観て育ってきたロック様は、なんと！　13歳の頃に「ベルトのドロップ（つまり王座交代）を拒んだ」レスラーに対して、「この仕事はつくりごと（ワーク）なのに！」と食ってかかる。他にもオースチンとの打ち合わせの模様や快く負け役を引き受けたアンダーテイカーのちょっといい話、ロック様自身の「自分はレスラーよりもエンターテイナーだ」という言葉もサラッと掲載されているので驚かされる。

日本でも昨年末にミスター高橋著『流血の魔術　最強の演技』（講談社刊）が発売となり、今まで決して書かれることのなかった舞台裏が克明に描写されて大いに話題を呼んだ。しかし、ここでロック様が書いているのは、過去の「ネタばらし」ではない。WWFで行われていることが、いかなるものなのかを詳細に説明しているのだ。「俺たちは生の芝居、すごく肉体的で、男性指向の強いメロドラマを製作してる。監督はビンス・マクマホン。そういう見方をするべきなんだし、その上で判断してほしいと思う」とズバリ書いている。

そう、3・1横浜アリーナにやってくるのはロック様曰く「メロドラマ」なのだ！　よく「連続ドラマを1話だけ見せられても、意味がわかんない」という話を聞くが、WWFという名の大河ドラマのロック様という世紀の主人公を知るには最適の教科書である。3・1を楽しむためには必読の一冊だ。If you smell what the Rock is Writin'!!

「ザ・ロック」（白夜書房）

この自伝の著者は「ロック様」と素顔の「ドゥエイン・ジョンソン」。2人は文体も、発想も、言葉遣いも全然違う。裏も表も両方堪能出来るのが嬉しい。日本語版の解説は「映画秘宝」参謀・町山智浩氏。アメリカ在住の町山氏ならではの濃厚なWWF情報満載で、こちらも必読！　定価￥3800円（税抜）はちょっと高いが読み応えはバッチリだ。

3・1横アリ直前の予習はもう済んだか!? 読んで泣け!! 見て震えろ!!

実録 史上最凶の舞台裏

昨年末、日本のプロレス界を席巻したミスター高橋本も、WWFがなければ誕生しなかっただろう。そのWWFでもリングの上では洗練されまくった演出空間がめくるめく展開されているが、舞台裏は壮絶かつ泥臭い空間だ。「みんなが騒いでいるから」「チケットが一瞬でなくなったから」とかいうアホみたいな理由でWWFを有り難がってはいけない。壮絶な舞台裏を見て、どれほどの時間とカネと人材を注ぎ込んだのかを知ってから、WWFを観て頂きたいと本誌は思うのだ。　文・スモーノブ

ディレクターズ・カットで浮き彫りになる「極悪人ビンス」

昨年夏、日本に上陸してプロレスファンの話題をかっさらった問題映画『ビヨンド・ザ・マット』のDVDが、このたび発売された。しかも、同時に超豪華なボックス・セットも登場！　プロレスをエンターテイメントという側面から鋭くえぐると同時に、そこでもがき苦しむプロレスラーの素顔に焦点を当てた傑作中の傑作である。まだこの作品を観ていない人はもちろん、すでに劇場で映画を見た人も、このDVDは必見だ。なぜなら……このDVDに収録されているのが、劇場版とは異なるディレクターズ・カットだからだ。

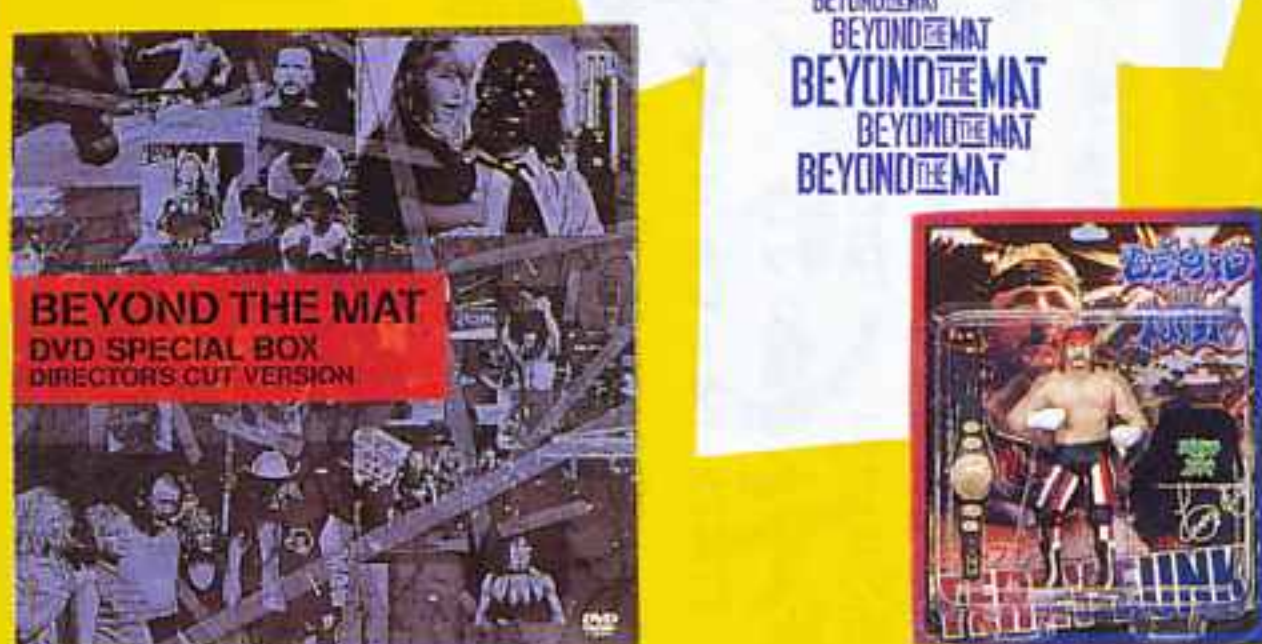
この作品、じつはWWFに徹底的によって圧力がかけられた経緯がある。しかも、この作品に関してのコメントは禁じられているとか。1月18日に来日会見を行ったWWFEのロジャー・マーメント副社長も「見てません」と含みのある笑みを浮かべながらコメントしていたのが印象的だ。WWFの意向に沿った作品ではない、ということらしい。

そんなわけで、このディレクターズ・カットには監督のビンスに対する意趣返しのような映像が追加編集されていた。ジャスティン・クレディブル、アファ（サモアンズ）、ココ・B・ウェアなどが、いかにしてWWFからクビを切られたのかを吐露するシーンだ。「人生最大の過ちはWWFに入ったことだ」などと口々に言う。こうした映像の後に、ビンスの邪悪な笑顔が出てくるので、結果的には〝極悪人・ビンス〟を浮き彫りにしているのだが。

しかし、ジャスティンなどはECW崩壊後はWWFに復帰して、いいポジションで試合をしている。長い目で見るとビンスはホントに凄い。「プロレスとは底が丸見えの底なし沼である」とは活字プロレスの哲人・井上義啓氏の名言だが、「プロレス」の部分に「ビンス」や「WWF」という単語を当てはめてみても何ら遜色がないのだ。その底なし沼に史上初めて深く潜り込んだ、この作品はプロレス映画の金字塔だ!!　これを観る前と観た後では、きっとWWF……いやプロレスに対する考え方が変わるはずだ。

「ビヨンド・ザ・マット」DVD SPECIAL BOX

他にもDVDだけの映像特典が満載！　追加取材したテリーやミックのインタビューも収録している。DVDのみだと¥4700（税抜）。ボックスセットは¥10000（税抜）。ちなみにボックスセットはネット通販のみの限定販売！　購入希望の方は欄外のURLに急いでアクセス！　（クロックワークス）

1名様にプレゼント!!

超豪華ボックスセットには、ビヨンド・ザ・マットTシャツ、史上初のテリー・ファンク特製フィギュア、そしてDVDが入っている！　応募のあて先はP159参照。【提供・クロックワークス】

ビヨンド・ザ・マット　オフィシャルサイト　http://www.klockworx.com/beyond/

グッズも日本侵略中！ 今すぐ駆け込み手に入れろ！

WWF SHOP

関連商品取り扱い

HOW TO ENJOY WWF

膨大な数のフィギュアが陳列！
「NON STOP」

某「グレート●ントニオ」と同じ通りに店舗を構える「NON STOP」にはアメプロフィギアがたくさんあるぞ！ 買っても買ってもキリがない。それでも全部集めるんだよ！ お店に寄ったら一体は必ず買おう！

見ていても飽きない品揃え。いつの間にかレジに持っていってしまう。そんなお店だ。

【場所】東京都千代田区神田錦町3-6 NSビル1F
【アクセス】新御茶ノ水駅（JR）・小川町駅（新宿線）・新御茶ノ水駅（千代田線）・神保町駅（半蔵門線/三田線/新宿線）
【営業時間】12:00〜21:00
【URL】http://www.nonstop.co.jp/

WWFオフィシャル・オンラインショップ

【URL】
http://store.wwfshopzone.com/

当たり前の話だが、オフィシャル・オンラインショップだけに最新グッズがすぐに手に入る「shopzone」。全て英語表記なので英語力がある友達を呼ぶか辞書を片手に挑戦しよう。もしくは勢いで買ってみよう！（責任は一切持ちません）。クレジットカード（ビザ＆マスター＆アメリカンエクスプレス）と出来るだけ新しいブラウザソフトも必要（各自調査）。準備が整ったら早速アクセスだ！

ロック様の最新ビデオも自宅にいながら手に入るぞ！

WWFの話をしたい人は大歓迎！「Big Blue」に集合！ 語るんだ！

【場所】東京都港区浜松町2-5-1石渡ビル2F
【アクセス】大門駅（地下鉄浅草線・大江戸線）・芝公園駅（地下鉄三田線）
【営業時間】月〜金／10:00〜21:00
土日祝日／11:00〜17:00
【TEL】03-3435-2883
【URL】http://s-ovation.com/bigblue.html

WWFが来襲する3・1はなんとオールナイト営業するぞ！ 横浜の帰りには絶対寄りたい浜松町の「Big Blue」！ グッズの安さ、入手の早さには自信アリ！ リアルタイムでWWFを感じろ！ お台場帰りの際にも寄ってみよう。

ビデオ・DVDは現地と同時リリース！
「Big Blue」

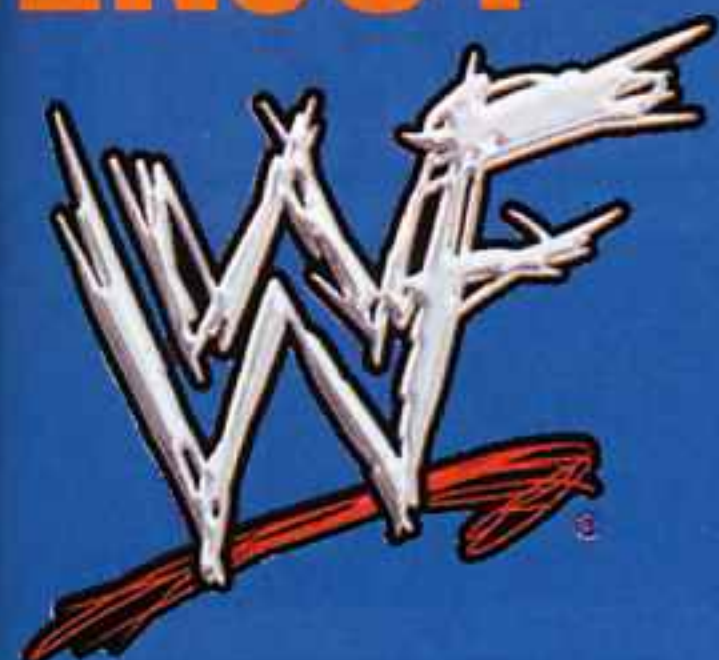
ビンスのマスクを発見！ さっそく被ってケツにキスをしよう！

【場所】東京都杉並区高円寺北2-3-3澤井ビル2F
【アクセス】高円寺駅（JR）
【営業時間】12：00〜20：00 毎週火曜定休
【TEL】03-5327-4878

本場アメリカにスタッフが駐在しており、大々的には売り出されてないグッズが充実している「PYSCHO TOYBARN」。もちろんTシャツやフィギアもしっかり充実しているぞ！ マメに足を運びチェック！ 友達に差をつける店だ！

「shopzone」で手に入らない小物も！
「PYSCHO TOYBARN」

P158でWWFグッズ大量放出！ プラチナチケットもGETだ！

HOW TO ENJOY WWF

3・1大フィーバーで来日が内定!?
ビンス・マクマホンの次なる野望は
日本プロレス界の制圧なのか？

プロレスを通じての世界征服だ!!

「利益があったら、どんどん進出してくるのがWWFだよ」

これは武藤敬司が『週刊ゴング』1月10日&17日号で語った言葉である。そして迎えた1月20日、WWF3・1横浜アリーナ大会のチケットは一瞬でソールドアウトとなった。チケットを求める声は、いまだ各方面から編集部に舞い込んでくる。もはや完全にWWFフィーバー状態だ。

この状況を耳にしたのか、ビンス・マクマホンがどうやら来日に向けて動き出したらしいという情報がまことしやかに囁かれている。武藤の言葉を信用すれば、遂にWWFが日本進出に本腰を入れ始めたということだろう。94年『マニアツアー』以降の空白の8年間、日本は完全にWWFのビジネスの視界には入っていなかった。しかし、来たる3・1横浜アリーナ大会を契機にWWFが一気に日本プロレス界を侵攻してくるかもしれない。

そもそもWWFは日本でPPV放送の有料化を狙っているという話だ。そして、アメリカと同様に『RAW』と『SMACK DOWN』を別々の放送局で放送させて、アメリカと同じような視聴方法を導入するのが狙いだという。

それに合わせてTシャツ、ビデオなどの関連商品を扱うショップが進出してくるだろう。現在、日本で買えるWWFのグッズは小売店を通じて輸入されたものであり、オフィシャルに輸入されているものではないのだ。3・1横浜アリーナでWWFグッズが飛ぶように売れれば、きっと本格的にグッズ方面でも侵攻が始まる。

さらに、とてつもない話が飛び込んできた。WWFが日本のプロレス団体買収に乗り出すかもしれない、という話だ。某団体幹部が極秘渡米を果たし会合を持ったという。元々、日本のプロレス・レベルの高さはWWF幹部も認めているだけに、選手育成とトップ選手の調整のために下部組織を日本に置くことも検討されている。さらに、日本の有能な人材を一軍のWWFに送り込むための機関としても活動していく予定だとか。

いかがだろう？ ここまでくれば「日本進出」といった穏やかな話ではなくなってしまう。「日本侵攻」と言ってもさしつかえないだろう。日本のプロレス界に入ってくるべきお金や人材が、どんどん海外……というかビンスの懐に流失していくことになる。

アメリカ国内でも、WCWが完膚なきまでに叩き潰されて貴重な人材や資料を吸い上げられたのは記憶に新しい。WCWの象徴として、リング上からビンスに対して「我々を支配することは出来ない!」とまで言っていたリック・フレアーは今や完全にWWFに取り込まれた。そして、今度はnWo旋風を巻き起こしてWWFを土俵際まで追い詰めたケビン・ナッシュ、スコット・ホール、そしてあのハルク・ホーガンまでもが、2月のPPV大会『No Way Out』でWWFのリングに上がってくる。このままだと、すべてのプロレスはWWFに取り込まれてしまうのではないかと思うほどの勢いだ。

誰がこの状況を敏感に察知しているのか、P34～35のコメント集を見ていただければ一目瞭然だ。「ガハハハハハ！」とビンスが笑いながら横浜アリーナのリングに登場したら、大歓声が起こるのだろうか？ それともブーイングだろうか？

結局、本気になって日本乗っ取りを考えている団体はWWF以外に存在しないのだろう。日本の各団体とも現状維持で精一杯といったところだ。そんな時期にWWFだけが、観客や視聴者の目を釘付けにするために、あらゆる手段を駆使して、カネも時間も人材も惜しみなくつぎ込んで楽しませてくれる。昨年、WWFの人気が落ち込んだと言われた時期もあったが、そうした声に敏感に反応してストーリーをテコ入れしてくるから抜け目がない。日本のプロレス団体にはない柔軟さで、WWFは日本のプロレス界をも包み込もうとしているのだ。

果たして武藤が言っているように「どんどん進出してくる」のかどうか、すべては3・1の成否にかかっている！ 新たなる歴史の第一歩となるのか？『マニアツアー』のように歴史の徒花となってしまうのか？ 日本のプロレスファンならば決して見逃すことの出来ない大きな意味を持つ大会となるだろう。

文／スモーノブ

紙の新聞 ミニ

2月号

●マット界の1ヶ月がちょっとわかる●

編集長／堀江ガンツ
助っ人／ささきぃ

今月は新日関係でニュースが頻発！ それをまとめたP.18からの記事があるので、縮小版でお届けします。

番外

【悲しき天才興行】

ジニアス新団体名は“悲しき天才興行”

「1・23レインボープロ大会の試合後、あっちゃんは対戦を受諾するだけでは飽きたらず、同じジムでいつも一緒にトレーニングしているという暴言を吐いたな!? 一緒にトレーニングしてるんじゃなくって、よく会うってだけだろ!! 一緒にトレーニングしてるなんて言ったら俺がトレーニングしてないみたいに思われるじゃねえか!!」とのFAXを送ってきたジニアス。新団体名は聞いてビックリ“悲しき天才興行”。注目の3・24ディファ有明大会はワンマッチ興行で、ジニアス対Xが決定！ Xは後日改めて発表…って大仁田じゃないのかよ!? 謎だらけ！

2/16

【FMW】

マット界にまたもや激震!! FMW倒産!!

これまで経営危機が伝えられてきたFMWだが、2月15日に今月2度目の不渡りを出し、ついに経営が破たん。億単位の負債を抱え、この日団体の倒産がほぼ確実となった。突然の倒産劇で、すでに発表になっている3月の興行は予定通り開催するかどうか未定。所属選手の今後についても、これから協議される。昨年からハヤブサが試合中にけいつい損傷で入院、ミスター雁之助も試合中の負傷で戦線離脱するなど、団体の経営悪化に主力選手の負傷続出、これが観客動員の減少につながる悪循環となり、大仁田が5万円から始めたFMWも遂に終焉を迎えてしまった。

2/3

【訃報】

輪島とシャムロックの師匠ネルソン・ロイヤル死去

かつて長らくNWA世界ジュニアヘキー級王座を独占した実力者、ネルソン・ロイヤルが2月3日（現地時間）、アメリカ・ノースカロライナ州の自宅で心臓発作のため亡くなった。享年70歳。ネルソン・ロイヤルは本物のカウボーイだったところをザ・バイキングにスカウトされプロレス入り。ダニー・ホッジ後のジュニアヘビー級で一時代を築いた名レスラーだった。引退後はプロレスラー養成ジムを開設。あのケン・シャムロックや輪島大士（写真）にプロレスの手ほどきをした。得意技はテキサスブロンコ・バックブリーカー。

番外

【リングスUK】

ハスデルの次なる戦場はホントに戦場だ！

2月1日、SBのリングで感動的な闘いぶりを見せたリー・ハスデルがなんとエンセンより先に、イギリス軍の兵士としてアフガンに行くことが決定した！ なんでもハスデルは昨年6月に予備役として軍と契約、そこで兵士に格闘技を教えたりしていたのだが、その3ヶ月後にあのNYのテロがあり、戦争に突入。この度警備兵としてアフガンに行くことなったという。整備兵なので実際に闘うわけでなく、現地で道を作ったりするそうだが、とにかく、無事でまた会えるよう、ハスデル頑張れ！

2/15

遂に“ミスター・キャッチレスリング”こと横浜の大将が立ち上がった！ ルチャvsみのるは見逃せない！

【DEEP2001】 横浜・パンクラスism

さらにDEEPに！ ルチャvsみのる実現！

決定分対戦カード

ドス・カラスJr.	vs	謙吾
佐々木有生	vs	グスタボ・シム
村浜武洋	vs	ジョン・ホーキ

「DEEP」が1年ぶりに名古屋へ「帰ってきたぜぇ〜!!（鈴木みのる風）」3月30日、愛知県体育館で開催される「DEEP4th」。今回、謙吾vsドス・カラスJr.のリベンジ戦をメーンに据えた前代未聞の「日本選抜vsルチャリブレ」5対5決戦が行われる。このほか、K−1中量級で魔裟斗とほぼ互角の勝負を繰り広げた大阪プロレス・村濱武洋も出場。ジョン・ホーキとのリベンジ戦が決定した。また、佐々木有生vsリングスで活躍したグスタボ・シムなど、全12試合を予定している。今回の会見では、健吾のほかに日本選抜として、なんと“横浜の大将”鈴木みのると近藤有己の参戦が発表された（対戦相手は未定）。最初はルチャリブレ勢との闘いについて、あまり乗り気がしなかったという大将だったが、謙吾が負けたあとのルチャ勢のコメントを聞き出場を決意したという。さらに大将は「僕の目から見て、あきらかに偶然に起こったアクシデントを持ちだして“秘伝”とか“必殺技”とか言われちゃうと、ちょっと違うんじゃないかと思った」と、ドスカラスJr.に向けての挑発ともとれる発言。そのうえ「マスクをかぶっていたら、中身が違っていてもわからないしね」とも語った。この大会には「横浜の大将、出て来い!! 」と鈴木に対戦表明をしている坂田亘の参戦も予定しているため、こちらの動向も非常に気になるところ。なお「東京からのお客さんも最終の新幹線で帰れるように」と、試合開始は17:30というDEEPな親切ぶりだ！

2/1

【リングス シュート・ボクシング】

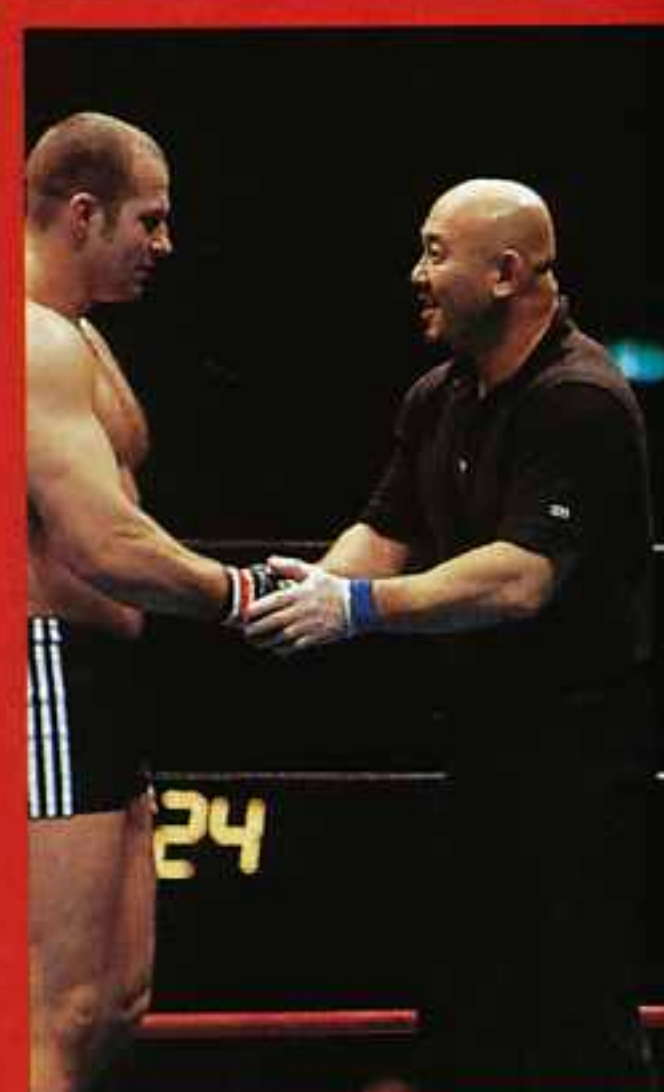
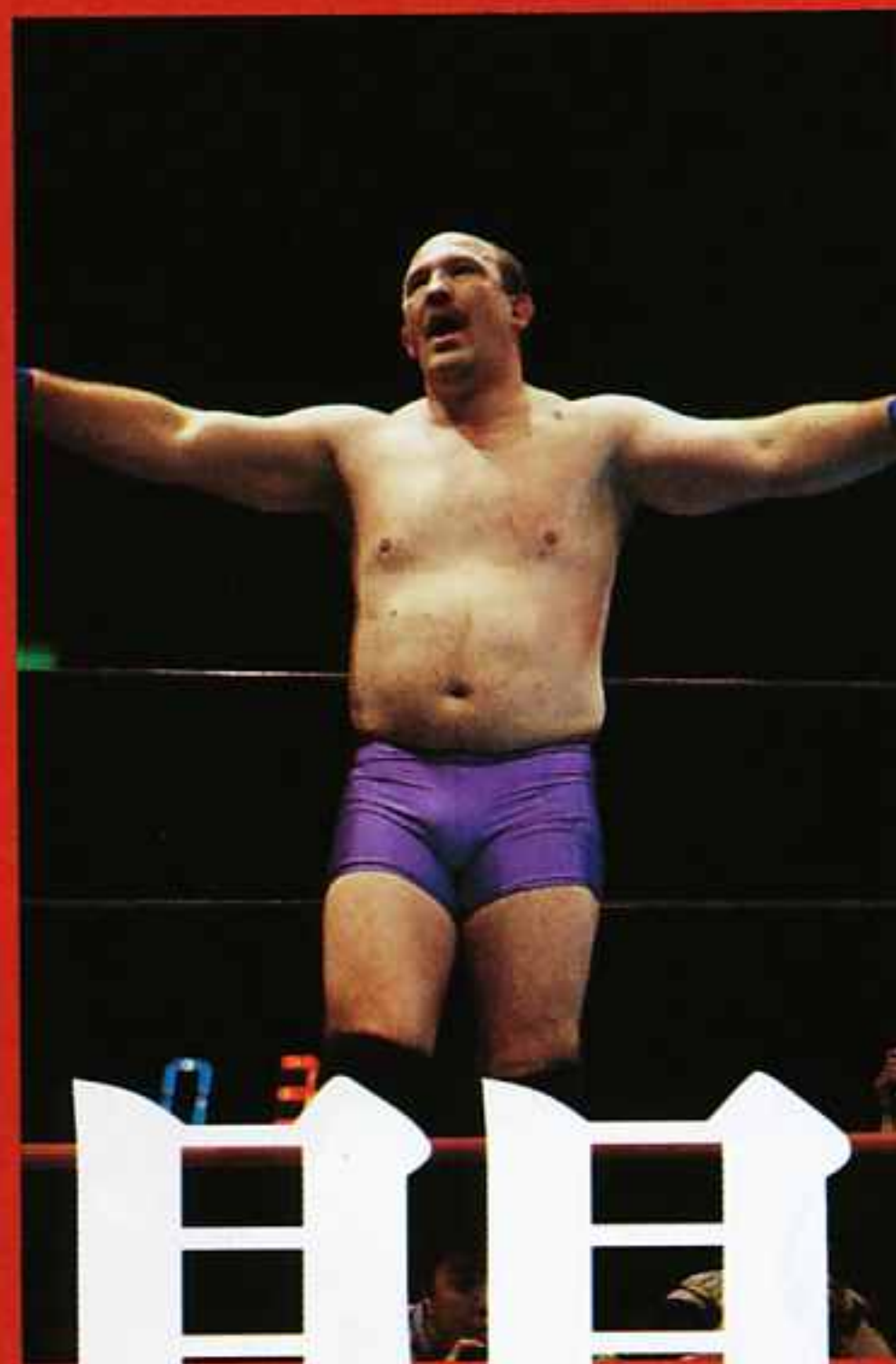
リングスの今後の活動、発表第1弾!!

リングスは死なず！ 2月15日以降のプランの一部として、シュートボクシング（SB）と提携関係を結ぶこと、またSB・シーザー武志会長との話し合いを進めていき、両団体の技術交流、選手育成、また相互主催による大会開催も視野に入れていることが発表された!! シーザー会長も「SB主催興行でKOKルールの試合を組んでもいい。立ち技バーリ・トゥードの大イベント『グラウンド・ゼロ』内でリングスの試合を組むことも考えている」と具体的な案を出すなど大いにノリ気。今後、SBのリングで“リングス”が見られることが確定的となってきた。ハスデルに続いて、リングス魂をSBで爆発させてくれるのはいったい誰だ!!

え〜、本日はご来場並びに選手の応援ありがとうございました。
1991年、旗揚げをしたファイティング・ネットワーク・リングスの
リングス・ジャパンは、今日の大会を持ちまして、
一時興行活動を休止いたします。
後に経営形態、その他すべてのシステムを刷新し、
みなさまの前に再びお会いするもあると思います。
そのときは以前と同じご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

2月15日
横浜文化体育館

リングス第一章
閉幕

そして
それぞれの出発

FIGHTING NETWORK RINGS

前田日明はつねに「訂正」を求める。それでいいのだ!!

文／山口日昇

designed by さおとめの事務所

2月15日深夜、ボクは〝第一次リングス〟の最後の大会から編集部に帰ってきて、週刊誌をパラパラとめくっていた。

目が止まったのは〝Gスポット〟に関する記事だったわけだが、まぁ、それ自体はリングスとは関係ない。

その記事には「快感とは薄められた苦痛である」という、マルキド・サドの言葉が載っていた。そのフレーズが、やけに目に飛び込んできてしまったのである。

ズバリ言って、2・15を見ていても〝快感〟は襲ってはこなかった。

それはマルキド・サド風に過剰に言い換えれば、〝苦痛〟を感じなかったとも言えるわけだ。

たしかに、旧リングスルールのエキシビションとして行われたTK vs 宇野薫戦。その2人のノーグローブ、レガース姿。特別ルールによるヴォルク・ハン vs アンドレィ・コピィロフ戦。その2人のマイクを持ってのメッセージ。最後の前田日明の挨拶。そして『キャプチュード』が流れるなか、「マエダコール」で送られ去っていく前田日明。

こういった場面には、ノスタルジックな思いや、複雑な思いも絡まって、ちょっとウルッとくるものもあったが、それでも〝快感〟はなかった。

つまり、それはたぶん、〝リングスはもう本当に最後だ、終わりだ〟という苦痛はなかったということである。

前田総帥は、「秋くらいから〝背水の陣〟というつもりでやる」と言っていたが、〝第二次リングス〟が、どういう形で現れるのか、いまのところはまったくわからない。

極真空手と組んだ新プロジェクトが始動するのか？　シュート・ボクシングとの提携を強化して新組織を形成するのか？

〝リングス軍団〟あるいは〝前田軍〟として『PRIDE』に乗り込むなんてことがあったら最高なんだが、いまのところはまったくわからない。

でも、今度〝リングス〟がボクらの前に現れるときには、きっとなにかしらの変化が見れるはずだ。

ボクの敬愛する科学者&フリー解剖学者&虫博士の養老猛司さんは、ある本でこんなことを書いている。

科学の結論は、常に暫定的なものだと私は考えている。

暫定的であるからこそ、たえず経験によって、つまり実験や観察によって吟味し直され、それゆえに、まだるこしいが、進歩するのである。

断定すれば、すっきりはするが、それでおしまいである。話はそれっきり進まない。断定したのだから、当然である。

しかし、科学は本質的には正当化を求めない。むしろつねに訂正を求める。

だからこそ、いつまでたってもやっている、あるいはやっていけるのだ。

●

養老さんによると、科学とは常に「訂正」を求めるということだ。この〝科学〟の箇所を〝リングス〟に置き換えるとこうなる。

リングスの結論は、常に暫定的なものだと前田日明は考えている。

暫定的であるからこそ、たえず経験によって、つまり実験や観察によって吟味し直され、それゆえに、まだるこしいが、進歩するのである。

断定すれば、すっきりはするが、それでおしまいである。話はそれっきり進まない。断定したのだから、当然である。しかし、リングスは本質的には正当化を求めない。

むしろつねに訂正を求める。だからこそ、いつまで経ってもやっている、あるいはやっていけるのである。

「俺は朝起きてから、夜眠るまで、24時間前田日明だよ」

「変わらないことが俺の哲学！」

と言い切る前田日明だが、今回の「活動休止宣言」は、前田日明の「訂正宣言」とも受け取れる。

つまり、前田日明は「断定する人」というイメージが強すぎるが、実は科学者なのである。

プロレスも暫定的だった。UWFも暫定的だった。そしてリングスも暫定的だった。

前田日明の〝芯〟の部分は変わらなくても、科学を追求する男として「訂正」は当然だったのだ。むしろ、前田日明はつねに訂正を求める。だからこそ、いつまでたってもやっている、あるいはやっていけるのである。

これでいいのだ。2・15に〝苦痛〟がなかったことが解けた。リングスが終わるという苦痛はない。

前田日明がいる。金原弘光がいる。高阪剛がいる。滑川康仁がいる。ヴォルク・ハンがいる。そしてもちろん、ほかにも凄くて、強くて、おもしろいヤツらがいっぱいいる。その人たちがいる限り、リングスは続くのである。

でしょ？

2月15日　横浜文化体育館
リングス
第一章閉幕
そしてそれぞれの出発

リングスという種

2月15日　横浜文化体育館
リングス
第一章
閉幕
そしてそれぞれの出発

文・ターザン山本

前田という生き方

種の保存。または種を保存せよ。リングスについて言えることは、そのことに尽きる。幸い前田日明は2月15日、横浜文化体育館のリングで〝第1次リングス〟という言い方をした。つまり、リングスはまだまだ終わったわけではないと言っているのだ。

前田日明は〝一代限り〟の男である。その前田が作り上げてきたリングスは、マット界という生態系を彩る一方の種だった。それがなくなることは、生態系のバランスがわるくなる。

絶対に滅んではいけないのだ。なくなってはならないのだ。しかし時代はリングスという種を必要としなくなっている。それではたしていいの？ いいわけないじゃないか！

前田は資本主義に敗れた。その資本主義に背を向けた形で誕生したのが、リングスだった。資本主義とは一言（ひとこと）で言ってしまうと、利益と利潤を追求していく思想のこと。格闘技の世界では今、それが支配的になっている。

『PRIDE』と『K—1』は資本主義的イデオロギーがもたらした産物である。つまり〝強さ〟と〝最強〟を求める闘いであると同時に、裏では金銭という利益と利潤がともなっている。

勝てばお金と名誉を共に手にすることができる。非常にわかりやすい世界だ。『PRIDE』と『K—1』には、そういった資本主義的匂いがぷんぷんしている。ファイトマネーの圧倒的魅力。賞金制度がそれを物語っている。前田は感覚的に肌が合わない。

だからロシアを中心にした東ヨーロッパの国々に注目し、そこから選手を集めてきた。リングスが打ち出した「ファイティング・ネットワーク」という考え方は、いわば反資本主義同盟みたいなもの。こういう発想をする人は、マット界では前田日明しかいない。

だが、今、時代はまさに資本主義全盛の世の中である。世にいうところのグローバルスタンダードとは、利益（欲望）の追求を〝是〟とする思想なのだ。グローバルスタンダード＝アメリカンスタンダード＝資本主義。これですべてが見えてくる。わかってくる。

グローバルという言葉の中には「華やかな舞台を提供する」というもう一つの意味がある。4年に1回開催されるオリンピックやサッカーのワールドカップは、共に凄いお金が動くイベント。選手にとってもそこは最高の舞台でもある。あれも資本主義と合体することで、ビッグになっていった。

ハンとコピィロフは最後まで リングスに残った。それだけで十分である

ビッグイベント、ビッグビジネスという意味での〝ビッグ〟である。グローバルスタンダードと資本主義は、この〝ビッグ〟であることが譲れない条件なのだ。

リングスのコンセプトは私流の解釈をすると「反資本主義」「反グローバルスタンダード」「反ビッグ主義」となる。その証拠に利益を求めたい。グローバルな存在になりたい。ビッグになりたいと思った連中は、みんなリングスを去っていった。ギルバート・アイブル、ダン・ヘンダーソン、ヴァレンタイン・オーフレイム、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ。彼らはすべて資本主義の〝申し子〟たちである。リングスをステップ台として『PRIDE』に行って当然である。資本主義のもう一つの理念は「快楽をエスカレートする」ことである。

〝利益〟と〝快楽〟を二大〝是〟とする思想。それが資本主義である。快楽には物質的な面と精神的な面の二つがある。アイブル、ヘンダーソン、オーフレイム、ノゲイラは、この二つの快楽を求めて『PRIDE』に移っていったのだ。

こうして前田日明とリングスは、資本主義につぶされたのだ。たとえていうなら、リングスはオリンピックやワールドカップの横で、〝前田ワールド〟を作って、それに反抗していたようなもの。

もちろん『PRIDE』と『K—1』はオリンピック的なるものもある。まさに時代に逆した生き方。背を向けた生き方。それでリングスは11年も貫いてきたのだから、さすが前田日明と言うしかない。

資本主義は利益にならないもの、ビッグでないものは平気で無視、または置き去りにしていく。踏みつぶしていく。それも種であるという思想がないのだ。生存競争、自然淘汰という考えは、同じ種の中で起こることを指して言っているのだ。自然界には種の共存はあっても、種が他の種を滅ぼすという発想はない。

歴史上、唯一それを否定するものとして出現したのが資本主義である。利益優先、快楽優先だから、そうした自然の法則を壊していくのは当然なのだ。種の保存は資本主義を捨てることによってしか実現しない。

今の人類にそれはできない。2月15日、横浜文化体育館。そこで最もファンの心に響いたシーンはそこにヴォルク・ハンとアンドレイ・コピィロフの二人がいたことである。

彼らの存在はどう見ても資本主義を連想させない。この二人がお互いにマイクを取って「前田さん、ありがとう。リングス、ありがとう」と言ったのは、私的には大変救いになった。

ハンとコピィロフは最後までリングスに残った。もう、それだけで十分である。それ以上、何が必要なのか？ 言葉なんていらない。昨年、アメリカと資本主義に反発してテロが起こった。リングスの活動休止宣言と、あのテロ事件がオーバーラップして仕方がないのだ。

前田日明を見よ。真にピュアな、前田日明を！

RINGS LAST MESSAGE

FEBRUARY 15 YOKOHAMA

〝第一次〟リングスの最後のマットに足跡を残した選手や、その最後の光景を目にした関係者たちは一体、どんな想いでその時を過ごしたのだろうか？　この想いの数々は、ファイテングネットワーク・リングスへの、そしてそれを愛したファンへの〝ラストメッセージ〟として、心に焼き付けてほしい。

構成／ジャン斉藤

高阪 剛

【試合後リング上で】94年8月19日、この横浜文化体育館のこのリングで自分はデビューしたんです。いろんな選手と試合したり、いろんな大会で経験を積ませてもらったり、前田さんに叱咤激励してもらったり、先輩に指導されながらここまでやってこれました。今日、ここで第一次リングスっていうのは終わってしまいますが、みなさん、安心してください！　自分が試合をするところは全部リングスです！

滑川康仁

みんな「最後、最後」って言いますね。前田さんも入場の時に言いましたけど、第1次リングスは一応終わりですけどまた次が必ずあるんで。それを信じてこれからもやっていきます。どうしても勝ちたかったですね、今日は。悔しいです。

エメリヤーエンコ・ヒョードル

格闘技をこれからもやっていきます、ただ、どの団体でやるかはいまのところ未定ですが、この世界で一流選手と言われる人と戦いたいですね。

クリストファー・ヘイズマン

●ヒョードルに敗れたヘイズマンは、バックステージに戻ると壁を思い切り叩くなど悔しさいっぱい。それでも荷物をまとめ会場を後にする際、関係者と談笑していたヒョードルを見つけて何か耳打ちしながら抱擁。そんな感慨深い光景を残し、ヘイズマンはリングスの歴史に一区切りをつけた。

アンドレイ・コピィロフ

私にとってはリングスというものは人生そのものでした。素晴らしい思い出は総てリングスと結びついています。一時的にせよ今日で最後ということを考えるだけで大変残念です。私が“残念”という言葉を使っても、その一言で自分のいまのこの寂しい気持ちを言い表すことはできないのですが……。これまで私は勝ったり負けたりしてきました。負けたときの気持ちは悔しいのですが、どこかで非常に気持ちよかったりするのです。それはリングスで試合をすることで、ファンのみなさんが素晴らしい闘いを楽しんでもらったのではないか、という思いからです。それが、これから、できなくなるというのが……本当に“残念”なのです。長い間リングスを応援してくださって、本当にありがとうございました。リングスがなくなっても、ファンの方々の心の中にリングスが残ることを願っています。これからも“リングス魂”というものを心に持ち続けて闘っていきたいと思います。それでは、お元気で。

2月15日 横浜文化体育館

リングス第一章閉幕

そしてそれぞれの出発

金原弘光

【試合後リング上で】
ボクはリングスに入って4年間でしたけど、本当にありがとうございました！ 前田さん、本当にありがとうございました！

【試合後コメント】
寂しい気持ち……でも、まだそんなに実感ないんですよ、道場がなくなったら“あぁァ”て思うんでしょうけど。（リング上でのマイクは） ホントは勝ってガッツポーズしたかったんですけど。（リングスでの一番の思い出は） 2回目のKOKトーナメント。あれで燃え尽きて1年ぐらい休みたいと思いましたからね。いまはとにかく休みたいですね、しばらく。心も身体も疲れているんで。（リングスの中でやり残したことは） ベルトが欲しかったですね。それだけが……タイトルマッチとかしたかったですけどね。
（今後の予定は） そっちの方（『PRIDE』）になると思いますね。いい話が良ければどこでも上がりたいですけど。 とりあえず怪我が治り次第ですね

伊藤博之

最後くらいは勝ちたいって思いが非常に強かったんですけど、こんな結果になってしまって……。
思い出って言われてもいっぱいあり過ぎて。約2年間のつらい、つらいとは思わなかったですけど、新弟子から……（言葉に詰まって）一言では言えませんね。

横井宏孝

リングスが最後っていうことで、どうしても勝ちたいっていう気持ちが出てきてしまったんですよね。それがいつもの自分らしくなくて、プロとして失格です。アマチュアですね。自分が格闘技をやってまだ全然ですけど、こうやって日の目を見ることができたのはリングスのおかげです。その団体がなくなるのは寂しい気持ちでいっぱいです。そこで最後の試合であんなことしてしまって、前田さんに本当に申し訳ありませんっていう気持ちでいっぱいです。（前田との思い出は）練習では厳しくて、終わったあとの優しさっていうのが思い出に残っています。

和田良覚レフェリー

寂しい。ホントに寂しい。道場の練習も昨日でお終いだったんですよ。昨日も寂しかったですよね……。ホントに寂しい、それしか言葉が見つからないです。

矢野卓見

第2次リングスに呼んでもらえれば

DEEP佐伯代表

ラスト興行といっても、（秋には再始動という話もあって） まだわからないんですよね。でも、寂しいですよね。ちょうど格闘技界がいいかんじの時期でのことですから。

アレクサンダー大塚

ボクも三度ほど（リングスに）お世話になってるんで、残念と言えば残念ですけど。でも、前田さんのことなんで新たなことをやってくれるんじゃないかなと楽しみにはしてる部分はあります。リングスの名前も残るということなんで、これからだと思いますよ。

門馬秀貴

リングスルールはやっていて面白かったんで（昨年9月に行われた伊藤戦で、新世代時代到来を思わせる熱戦を展開）またあるときは呼んでくれたらなと思います。他からもオファーがあるので、リングスさんで経験したことを活かしていきたいですね。

FIGHTING NETWORK RINGS

高山善廣

（満員になった会場を見渡しながら） 活動中止になってから、急にこんなに来やがって、「バカヤロウ！」ってかんじです（笑）。（リングスの） 選手は、いまはいろんなリングがあって自由に暴れ回るチャンスでもあるから、頑張ってほしいですね。

宇野 薫

また復活してくれればと思いました。また自分が時間のある時は必ずお力になります。慧舟會の人も力になると思いますけど。

島田裕二レフェリー

昔のリングスの写真を見るたびにさ、若かりしころのオレが写っていて「ああ、こういう試合もあったな」って懐かしいんだよね。やっぱり、“世界のレフェリー”になったいまでもね、リングスに育ててもらった恩を感じますよ。だから、リングスにレフェリーとして恩返しをしたかったなって思ったんだけど。また再開するときには声が掛かれば、やってみたいね。

鈴木邦夫

寂しいよね。海外のネットワークも作って、日本人の若手だって随分成長してたじゃないですか。もったいないですよね。なんとか活かしてきってほしいですよ。これからを期待してます。

塩崎啓二レフェリー

まだ、自分が（レフェリーの）駆け出しのころにリングスさんに呼ばれたんですけど、KOKルールはレフェリングが難しいじゃないですか？ それで勉強させて頂いて、かなり自信がつきました。再開するときはいつでも声を掛けて頂ければ協力します！ （興行の感想は） メインが強い外人同士で終わって、最後までリングスらしかったですよね（ニッコリと）。

前田日明「ノーコメント」

大会開始前と全試合終了後のリング上からは言葉を発っした前田だったが、それ以外では口を固く閉ざしたまま。最後はノーコメントという無言のメッセージとなった。

2月15日　横浜文化体育館

リングス第一章閉幕

そしてそれぞれの出発

ヴォルク・ハン

THE LAST MESSAGE OF VOLK HAN

ファンに最も愛され、リングスを最も愛した男、ヴォルク・ハン。インタビューのためにホテルの彼の部屋を訪ねると、いつも陽気な男がこの日は様子が違った。明らかに怒っていた、悔しがっていた、寂しがっていた。「リングス活動休止」の報を聞いて、我々が心の奥に押しとどめようとしていた感情をハンは隠そうとしていなかった。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／平工幸雄

ハン　私に何が聞きたいんですか？　もうこんな状況になってしまったのだから、私に聞くことなどないでしょう。

——いえいえ、ハン選手には聞きたいことがたくさんあるんで、よろしくお願いします！　まず、昨日でひとまずリングスは終焉を迎えてしまったわけですけど、いまの感想を聞かせてください。

ハン　物事には、始まりと終わりが必ずあるから。始まりは10年前、終わりが昨日だったと、そういう感じですね（淡々と）。

——昨日（2・15）の大会でリングスが活動休止するという話は、ハン選手はいつ頃知ったんですか？

ハン　正式に聞いたのは今回来日してからだよ。一ヶ月前にパコージン（リングス・ロシア代表）から「ひょっとしたらリングスがあと一ヶ月でクローズされるかもしれない」というニュアンスのことを伝えてもらっていたけど、私は信じなかった。信じなかったけれど、ひょっとしたら最後かもしれないという思いもあったので、そうしたらやっぱり行かないとダメだ、と。それで今回日本に来たわけです。やはりリングス・ジャパンには私の多くの弟子たちの将来が結びついているからね。ただ、私は活動休止をしたなんていまだに信じていないよ。

——信じられないという感じですか？

ハン　昨日のイベントだって何か一つの試合が終わっただけの雰囲気だから、本当にリングスがこれで終わりなのか、ちょっと私は信じられない。ただ非常に残念な気持ちでいっぱいだよ。

——やっぱり、最初にリングスがクローズされるって聞いたときは、相当なショックを受けましたか？

ハン　私はそれを聞いたときに、ショックというより「なぜなんだ」という思いの方が強かったね。「活動休止」という極端な結論を選ばなくとも、その他の道がいっぱいあるんじゃないか、と。例えば、ＴＶの視聴者にリ

リングスを最も愛した男の
“怒り”と“悲しみ”

ングスを面白くするにはどうすればよいか聞いたり、ファンや関係者の意見を踏まえてリングスを改革していけば、まだリングスは中身が終わってるわけじゃないから、再生の道はあったと思う。しかし、日本に来てみたら、氷が溶けて流れたような状況なっていた……。ああ、もう遅かったかなぁと……。

——昨日、ハン選手は試合後のコメントで、「今日は私にとってスポーツのお葬式だ」と言ってましたけど、それはどういった意味だったんですか？

ハン やはりこの10年間、リングスと一緒に生きてきたわけだから、我々にとってそれは一つの人生なんだ。だから、そういう表現をとらせてもらったんだよ。

——では、「現役引退」という意味ではないんですね？

ハン 私はまだまだ辞められないね。なぜならば、私の道場にはいま練習に励んでいる若い選手たちがたくさんいる。彼らは私の顔を見ながら、私の活躍ぶりを見ながら育っていくわけだから、私にはまだ続けなければいけない責任があるんだよ。

——今回リングスが活動を休止したことで、そのお弟子さんたちの闘う場所も減ってしまったわけですよね。彼らの今後を考えると、今後どのような選択肢があると思いますか？

ハン それを考えるのは私がやるべきことではないね。私の仕事は選手を強くすることだから、その選手の今後の活用の仕方についてはパコージンが考えてくれてると思う。ただ実際、私が育て上げた若い選手というのはリングスの為に育てたんだよ。

——では、他団体に上げることも視野には入っていますか？

ハン いや、例えばの話、他団体で他のルールで試合をやるとやるとしよう。そうするといまの練習ではダメなところも必ず出てくる。だからそうなると、せっかくリングスルールに勝つために育てた選手の練習方法や戦略を変えないといけなくなるんだ。

リングスは単なる株式会社じゃない だから簡単に辞めてはならないんだ

――やはりそのルールにあった練習が絶対に必要だ、と。

ハン　その通り。それはロシア以外のネットワーク選手を見れば一目瞭然でしょう。ブルガリアやグルジアは、選手にこのルールのための準備をほとんどさせないでリングスの舞台に連れてきているから、いつもあっけなく負けていた。それじゃダメなんだ。それぞれの競技に合った練習を重ねなければどんな素質がある選手でも勝てるわけがないんだよ！

――確かにヴォルク・ハン格闘術（ハン道場の選手と、他の国の選手では、成長のスピードが明らかに違いますもんね。

ハン　だから彼らにも早くそれに気づいてほしい。実を言えば私だってかつて過ちを犯しているんだ。レフ・バルカーラとアリョール・ベーコフという、レスリングとサンボのチャンピオンを「こいつなら通用する」と思って日本に連れていったのだが、結果は試合にもならなかった（※両選手ともアイブルにKO負け）。

――あぁ、確かにそうでしたね。

ハン　それを見て私も自分なりに分析して、やはりサンボ、柔道、フリースタイルとグレコローマンのレスリング、それからボクシング。これを一つにしないと勝てないと思ったんだ。これまではサンボや柔道という〝一本の指〟で闘ってようなものだったが、そうじゃなくて5本の指を一つにして闘う。そうすると強くなって勝てることに気づいたんだ。そして〝5本の指〟を一つにするための道場が当然必要になってきたんだよ。

――それが「ヴォルク・ハン格闘術」ですね。

ハン　そう。そしてどんなに才能がある選手でも最低7ヶ月から8ヶ月の練習期間を設けて、このルールに合った闘い方を身につけさせたんだ。

――いまのヒョードル選手やアターエフ選手の活躍は、それがようやく実を結んだ結果なわけですね。

ハン　でも、せっかく実を結んだと思ったらリングスがこんな状況になってしまったんだよ。それが一番悔しい！　本当に強いチームができてアターエフやヒョードルが活躍している。それを見て、さらに若い弟子が「それなら我々にも出来るんじゃないか」と一層練習に励む。波が波を起こして、いい人材が育ち始めたところでこんな結果になってしまって……私にはどうしたらいいかわからないよ。ロシアに帰って彼らにどう説明すればいいのか……。弟子だけじゃない、私の道場はトゥーラ（ハンの地元）の知事、市長も巻き込んでやっていたわけだから、彼らにも合わせる顔がない。

――さまざまな人に影響が出てしまうわけですね。

ハン　要するに「リングス」というのは単なる株式会社ではなく、世界中に影響を及ぼすイベントでありネットワークなんだよ。株式会社のメンタリティーだったら、会社のことを考えてクローズするのもいいことかもしれないが、リングスは世界中に何百万人ものフ

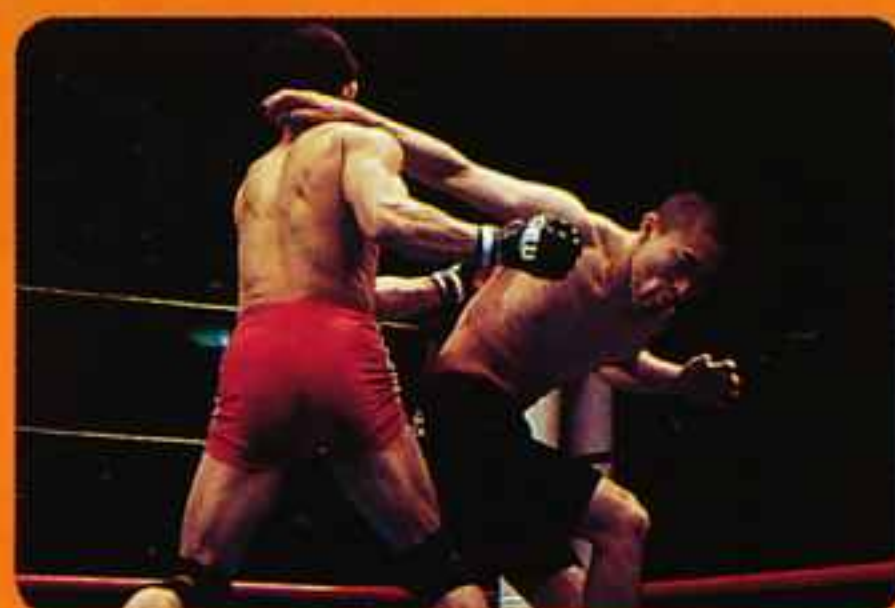
リングス第一章のラストに相応しいハンとコピィロフの対戦。10年間に渡りリングスと共に歩んでいた二人だけに、入場時にはこの日一番の大歓声が上がった。試合はなつかしの旧リングスルール。これまで何度も見てきたこの対戦、最後はハンが十字で極めて終った。そして試合後、ハンとコピィロフはマイクを握りファンに感謝のマイク。「我々の試合が見たかったらいつでも呼んで下さい。兵隊のようにすぐに飛んできます！」（ハン）

2.15 RINGS WORLD TITLE SERIES "GRAND FINAL" PUTI REVIEW

伊藤博之（リングス・ジャパン）
● 3R　判定0－2 ○
矢野倍達（RJW/CENTRAL）

デビュー2戦目、最後になんとか初白星が欲しい伊藤だったが、矢野倍達の強固な牙城を崩すことはできず。再三に渡る矢野のタックルからのテイクダウン攻撃の前に無念のタイムアウトとなった。伊藤にはおなじみとなった「心は山本、技は金原、体は和田、生き様は前田」のフレーズを胸に、新たなる闘いのステージで初勝利を期待したい。

吉信（四王塾）
● 1R1分41秒　裸絞め ○
小谷直之（ロデオスタイル）

ヤノタクの誰もが驚く打撃が火を噴いたものの、盛り上がりに欠けた第一試合だったが、その空気を断ち切ったのはリングスライト級では顔になりつつある小谷直之。弱冠19歳とは思えぬ落ち着いた試合運びを見せ、テイクダウン、パスガード、チョークスリーパーと、教科書通りの攻めで吉信を圧倒。吉信もなんとか耐えたが、そのままチョークに切って落とされた。

松本秀彦（SKアブソリュート）
● 3R　ポイント判定 ○
矢野卓見（烏合破門会）

サンボ王者・松本とヤノタクが激突というマニアにはたまらない一戦は、ヤノタクお得意の半身の構えから、なんとバックブローを松本に炸裂させ場外まで吹っ飛ばすという、観客はもちろんのことヤノタク本人も多分にビックリする意外な始まりとなった。なんとか松本は立ち上がり、ヤノタク生涯初の打撃によるKO勝ちに至らなかったが、そのポイントが決め手になり、判定でヤノタクに凱歌が挙がった。

ァンがいるのだから、まずそのファンの気持ちに立って考えてほしかった。そう考えると今回の決断は残念で残念でならないよ。

――今回、日本に来て、すでに前田さんとはお話はされましたか?

ハン いやまだ。彼はリングスでは神のような立場にいるしね(笑)。

――あ、なるほど(笑)。

ハン 我々だって盲目なわけじゃないから、当然、リングスの人気が下がっていたのは見え見えだったし、どこで過ちを犯してそうなってしまったかもわかっていた。そしてこのようなプロ格闘技というのは、やはり時代と共に一緒に歩まないといけないこともわかっていたんだ。

――ハン選手は、ちょっとリングスが時代にそぐわなくなってきたというのを感じていたわけですか?

ハン もちろん。それはよく見えたよ。

――それはいつ頃から感じましたか?

ハン やはりマエダさんが引退したとき。リングスが第一の大打撃を受けたのはその時だと思う。リングスはマエダさんのファンが非常に多かったから、彼がいなくなったら観客数が減るのは目に見えていたのに、その後の対応が十分じゃなかった。やはり本来、偉大な選手は偉大な弟子を育てなきゃいけない義務があるのだけれど、マエダさんはいろいろなことに追われすぎて、その義務を果たせたとは言い難い部分があると思う。

――後継者作りが不完全だった、と。

ハン 実際、タムラという優秀な選手はいたけれど、マエダさんは彼に対して厳しい試練を課しすぎた。私も弟子には厳しいが、私から見ても10kgどころか20kg以上体重差のある選手と対戦させるのは厳しすぎる。その結果、負けが続いてしまい、リングスにサクラバ選手のような存在を生むチャンスを逃してしまった。やはり日本でやる以上、観客は当然日本人を応援したいのに、応援すべきリーダーがいないことが大きなマイナスだったと思う。

――確かにそれはありますね。

ハン そして、もう一つ大きかったのは、海外から呼んだ選手にレベルに問題があったと思う。

――え!? 選手のレベルは高かったと思いますけど……。

ハン いや、ブルガリアやグルジアはハッキリ言ってレベルの低い選手が多かった!(キッパリ)。ただ、誤解してほしくないのは「このルールにおいて」ということだよ。ブルガリアやグルジアの選手は実力はある。非常に優秀な選手であることは間違いない。なんといってもオリンピックや世界選手権のメダリストばかりなんだからね。しかし、このルールでちゃんと闘えるだけの準備は誰もできていない。我々はプロなのだから、ファンに面白い試合を提供しなくてはならないのに、プロとアマチュアの違いをよくわからずに、ただ呼ばれて来た選手がいかに多かったことか! その他にいろんなマイナス要素がドンドンと集まってきて、大きなバブルになって弾けてしまったんじゃないかと思うよ。

――リングスというものを、イージーというか、甘く考えていた人が、正直言って多かったという感じでしょうか?

ハン そうだろう。実際、1年前にグルジアから呼ばれたボクシングの銅メダリストがい

2月15日 横浜文化体育館

リングス第一章閉幕

そしてそれぞれの出発

試合後、最後のコメントを出すヴォルク・ハン。こんなにさみしげな表情をしたハンは初めて見た。

ヴォルク・ハン 試合後のコメント

私はリングスについて忘れてしまったものなど一つもない

――今日でリングス最後の試合ですが。

ハン 私にとって今日は格闘技のお葬式という言葉が相応しいと思われます。今とても悔しいのは、沢山の弟子を育ててリングスで闘わせてきたのですが、彼らをこれからどういった方向に導いていけばいいのか迷っています。このままでは、ある人がコップに水を入れたのにそれをほかの人間にのまれてしまう、つまりリングスのために注いできたコップの水が他の人に飲まれてしまう。それが悔しいですね。

――この10年間で一番記憶に残っているのはなんですか?

ハン それは質問がちょっとおかしいかと思います。むしろあなたに聞きたい。リングスについてなにか忘れたことはありますか? リングスは私の一部でした。それこそ寝ても醒めてもリングスのことばかり考えていました。例えばこの会場ではこういったファンがいるからこんな技を使ってこういう試合展開にすればもっと喜んでもらえるだろうとかです。

――ファンにメッセージをお願いします。

ハン 私はファンのみなさんとずっと一緒でした。自分が思っていること、持っている技術の総てを出し切ったつもりです。そして私の弟子たちもみなさんの為に育てたのです。ただこれで人生が終わるわけではないので、またどこかの団体のリングでみなさんに素晴らしい試合をお見せしたいので、その時はまた応援して下さい。

金原弘光(リングス・ジャパン)
△ 3R 判定0-1 △
イリューヒン・ミーシャ(リングス・ロシア)

金原は4年前、リングスデビュー戦の相手となったミーシャとの対戦。誰もが金原のスカッとした勝利を期待していたが、前の試合を終えたばかりのハン、コピィロフに先導されて登場したミーシャはやる気満々! リングスの先輩としての意地を見せドローに持ち込んだ。試合はテンションが低い内容となったが、「金ちゃん、こんなもんじゃない!」というファンの叫びは、きっと次なる舞台での活躍で消えることにだろう。

高阪剛(リングス・ジャパン)
△ エキシビジョンのため勝敗無し △
宇野薫(和術慧舟會東京本部)

リングス初登場となった宇野は赤いタイツとレガース装着という“船木調”な出で立ちで登場。高阪とUWFチックなめまぐるしい攻防を展開し、満員の観客に感嘆の声を挙げさせた。5分エキシビジョンながらも両者ともヒザ十字でエスケープを一度ずつ取り合うなど緊張感漲るこの一戦は、UWFの息吹を脈々と感じさせる、最後に相応しいメモリアルマッチとなった。また、高阪は檻の中、もとい、UFCに戦場を移す考えを明らかにした。

滑川康仁(リングス・ジャパン)
● 2R4分53秒 裸絞め ○
サム・ネスト(リングス・オーストラリア)

試合後のコメントでは明らかにされなかったが、1週間前に交通事故、2日前には足の小指を骨折した状態のまま試合に臨んだ滑川。しかし、そのなんとしてでも出場し、勝利で最後を飾りたいというその想いは初参戦となったサム・ネストの前に打ち砕かれた。未知の強豪は珍しくないリングス外人勢ではあるが、ネストも“当たり”の外人。滑川に何度も極めかけながら、驚異的に脱出をはたし、逆転勝利で観客を沸かした。

藤井克久(V-CROSS)
● 3R分秒 判定3-0 ○
横井宏考(リングス・ジャパン)

パンクラスヘビー級ランキング1位の藤井克久を相手に迎え、“パンクラスvsリングス”最終戦争に望んだ“怪物君”こと横井。ラストマッチということで勝利に拘り過ぎ、内容では「0点」と反省することしきりの横井だったが、グランウドの攻防では藤井を見事なまでに完封。終盤、藤井の打撃に押される局面もあったが、あらためて怪物ぶりを印象づけた。それにしても、デビュー半年とは思えない、末恐ろしい新人である。

リングスを復活させるというのは、超能力が必要なくらい大変な作業だよ

たが、彼は何の準備もせずにリングに上がり40秒で負けてしまった。見に来ているファンの中には2万円もの大金を出して来る人もいるのに、何にも見せないで負ける選手っていうのは、私は本当に許せないんだ！　私は自分で稼いだお金を全部道場に使って選手の訓練に当てているんだよ。そうやって強い選手をリングスに送り込んでいるんだ。なぜ、それを私だけがやらなければならないのか？　グルジアはどうなのか？　ブルガリアは？　何の準備もせずに出てきて、あっけなく負けているだけじゃないのか？　それはプロとして無責任だと言いたいよ！

――ご、ごもっともです！

ハン　それからもう一つ大事なことがある。マエダさんもファンがやってほしいと思っていることよりも、自分のやりたいことを優先してなかったか。私はそう問いかけたい。なぜリングスがこうなってしまったのか、ネットワーク全員が考え直さなければならないと思う。

――では、前田さんは、「リングス第一章が終わり。これから復活させる意思はある」ということを言ってるんですけども、それについてはいかがですか？

ハン　まぁ、どうなるか見てみましょう。あり得ないことではないと思う。いまあるイメージを変えることよりは、新しいイメージから入ったほうが、もしかしたらやりやすいかもしれないからね。ただ、さっき言ったような意識改革がなければ、まず成功は難しいだろう。どんな有名な歌手でも同じ歌だけを何年も歌い続けることは、まずできない。その時代の流れに合わせた曲を出していかないとならないんだ。そしてそのアプローチも、新しいアプローチを身に付けないとダメなんだよ。だから現状を見る限り、もう一回新しいリングスを生むとには、正直言って超能力が必要だと思う。

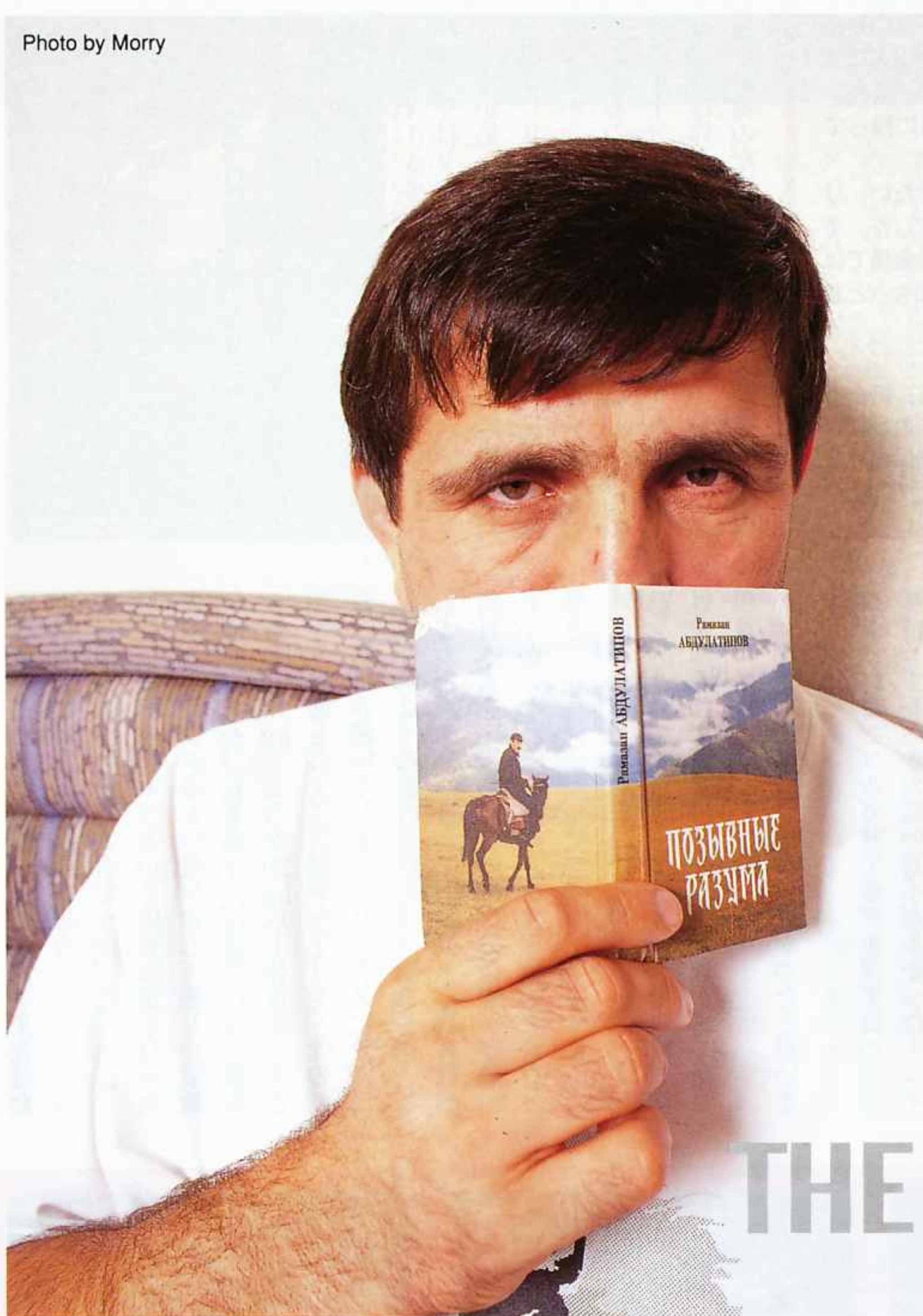
Photo by Morry

THE LAST MESSAGE OF VOLK HAN

――超能力が必要ですか！

ハン　少なくとも私は、いま以上何をしたらいいのか、頭の中には浮かばない。私財を投入して強い選手を作る以上にどんなことができるのか、それは考えもつかない。だから超能力が必要だと言うんだよ！

――では、リングス・ジャパンはともかく、ロシア本国での試合の活動と道場はこれからも続けていくつもりなんでしょうか？

ハン　私はロシアでリングスをやめるつもりは毛頭ないよ。リングス・ジャパンのようにクローズするのは簡単かもしれないけど、ロシアでそれをやったら、誰もついていけない！　誰も理解してくれない！　だから、私はこれからも道場を構えて練習を続けるし、弟子も育て続けるつもりだ。それから、試合もロシア国内のいろんなところで開催する方針でいるよ。

――昨日もロシアの選手に対しては、日本人選手以上と思えるぐらいに大きな声援が飛んでたぐらい、リングスファンはロシアの選手がすごく好きなんですけども。またハン選手の弟子たち、それからハン選手本人の試合が日本で見れる可能性というのはあるんでしょうか？

ハン　私も含めて、リングス・ロシアの選手は、みんなリングスをいままで誠実に支えてきた。おそらくリングス・ネットワークの中で一番マジメに、誠実に尽くしてきたんじゃないかと思う。ファンの皆さんもそれをよく理解してくれて、我々の一生懸命さを認めてくれたからこそ尊敬してくれてるんじゃないか、と。私はそういう風に解釈している。ただ、もう私の道場も含めた、リングス・ロシアという機関車は走っているわけですから、この機関車を簡単には止められないし、レールがなくなったら、機関車が止まらない為の手段というか方法も新たに考えないといけない。だから、様子見ながら今後もいろんなアクションを取っていくつもりだよ。

――なるほど、では我々もこれからの動向を見守らせてもらいます。

ハン　ただ、ひとつ言えることはロシアのことわざで言うところの「袋に入った猫を飼うわけにいかない」ということだよ。

――どんな意味なんですか？

ハン　これは袋に入った猫がいくらネズミをたくさん捕まえる猫だと言われても、本当にちゃんと捕まえられるかはわからないということさ。やはり不確かなものに頼りすぎるわけにはいかないんだよ。だからこそ一刻も早くマエダからの確かな知らせがほしいんだ！

【02年2月16日／都内・某ホテルにて収録】

リングスの最後の日に

文・ささきぃ

売店のブースは人が行列をなしていて、紙プロの売店もおかげさまで大盛況で、試合開始まで、ホントに目の回るような忙しさだった。自分が大好きな団体の最後の日で、ロビーのすみで、自分がその最後の日の一部分となって売店をやっているということが、とても不思議だった。

会場内から聞こえてくるアナウンスで、選手たちが入場したことを知った。

人が居なくなったロビーはさむかった。

ヤノタクの試合を見に会場へ入った。当然、満員だと思っていた観客席は、アリーナに、いくつも穴があいていた。

その光景は残酷で、そのさまを、スタンドをほぼ埋め尽くしたファンが見ているということが、さらに、胸に痛かった。

バトジェネではとてもあざやかだったヤノタクの試合が、今日はあざやかじゃなかった。バックブローには驚いたけど、仕掛けようとして、相手がのらなくて、うまく回らないヤノタクの試合は、そのまま、もがいていたリングスのようでもあるようで、物事がうまくいかなくて、もがいている自分のさまでもあるように感じた。

そのまわりに、最後だというのに満員にならないアリーナがあって、その光景から読み取れることは、人の気持ちは離れていくのだということ、面白い試合というのは奇跡のように難しいのだということ。そしてなによりも、とてもとても、現実というのはきびしいんだということだった。

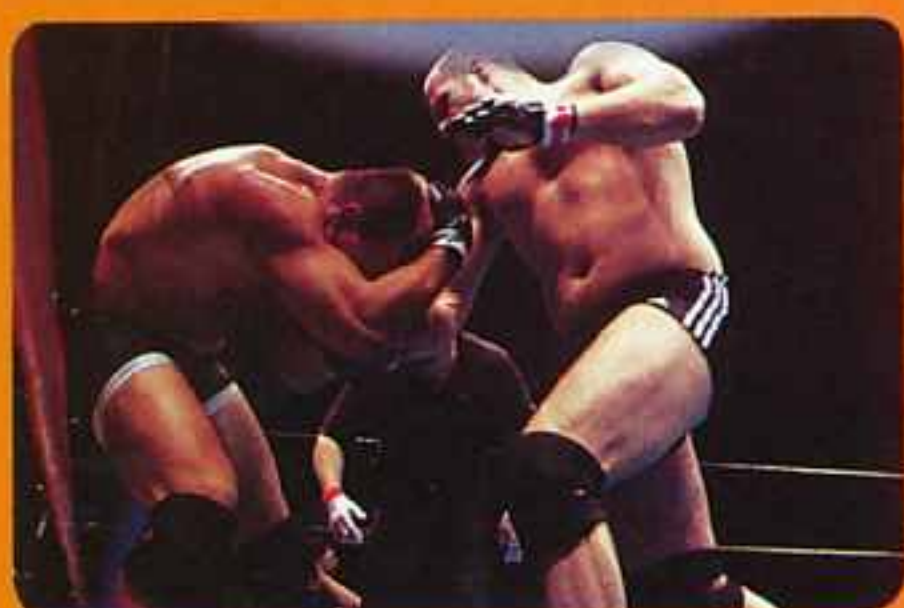
今日これから見るのは、大団円でもなく、大盛り上がりでもなく、涙のサヨナラでもなく、あるひとつの理想をもった団体が行き着いた、ただの風景なんだと思った。

私は、リングスという列車の、ほんとうに最後のあたりしか見ていないけど、深い思想も持たず、ただその列車の何かにひかれて乗った人間でしかないけれど。

まるで、地名もしらない、面白そうな店もない、美しいといわれる風景もない、そこに行ったからといって特に人に語れるわけでもない駅についてしまったような、そういう気持ちになったのだけど。

最後だというのに、ときおりあくびが出そうだと思うくらい退屈だった試合さえあってしまったこの光景が、自分の好きな列車の行き着いた先だったから。

その列車がとりあえず行き着いたこの場所のこの光景を、泣いたりせずにきちんと見ておこうと思った。

これが現実なんだ。おまえはどうするんだ。そう言われているような気持ちになった。

クリストファー・ヘイズマン
(リングス・オーストラリア)

●1R2分50秒 ポイントアウト(ダウン→エスケープ→ダウン)○

エメリヤーエンコ・ヒョードル
(リングス・ロシア)

リングスの"世界最強の男はリングスが決める"というキャッチフレーズに相応しい王者が最後に誕生した。アローナ、ババルといった強豪を難なくクリアしてきたヒョードルは、ヘイズマンも苦にもせず撃破。スタンドでは、開始早々カウンターストレートでダウンを奪い、グラウンドでもフロントネックロックでエスケープに追い込むなど、全てにおいてパーフェクト。ズバリ、ノゲイラに勝てる男、イヤ、勝つ男は、このヒョードルだ！

世界最強の男をリングスが決めた！
その男の名は
エンリヤーエンコ・ヒョードル！

次号でインタビュー掲載決定
お楽しみに

リングスは死なず！　その遺伝子は世界に受け継がれる

前田道場 青い瞳の卒業生

“リングスのポリスマン”と呼ばれ、常に他団体や新参選手からリングスを守る防波堤となってきたリー・ハスデル。2・1シュートボクシング。リングス活動休止が発表されてから初めてリングスの選手が他流試合を行った場でも、出てきたのはやはりこの男だった。ハスデルは絶対不利な立ち技ルールにも関わらず、2メートルの身長を誇るWKA世界ヘビー級王者シリル・ディアバデに対し、自らの経験への自信と気骨を胸に真っ向から立ち向かい、そして玉砕。しかし、どんなに殴られても蹴られても、鼻の骨を折られてもひたすら立ち向かうハスデルの姿はまさにリングスそのものであった。そして試合後、「なぜそこまで頑張るのか？」と聞かれたハスデルは腫れ上がった顔で微笑みながらこう言った。「だって私は前田道場で根性を学んだ男だから」

リー・ハスデル

聞き手／堀江ガンツ　撮影／松本崇　designed by さおとめの事務所

——昨日のシリル・ディアバデ戦（シュートボクシングルール）は凄まじい試合でしたけど、ダメージの方はいかがですか？

ハスデル　今日の昼間に病院へ行ってCTスキャンを受けてきたけど、鼻柱が折れてただけだよ。

——折れてた「だけ」ですか！

ハスデル　顔は腫れてるけど、たいしたことじゃないさ。ドクターは手術が必要だと言うんだけど、それはただ単にドクターが鼻を真っ直ぐにしたいだけで、私は曲がったままでも別にいいからね（笑）。

——ハスデル選手的には曲がったままでもOK、と（笑）。それにしても昨日の試合で、どんなにディアバデの強烈な打撃を喰らってダウンしても、そのたびに立ち上がって向かっていくハスデル選手の姿には驚きましたよ。「どうしてこの人はこんなに頑張ってるんだろう？」って。

ハスデル　リングス・ジャパンがこんなことになってしまった直後だからね。リングスのためにも負けるわけにはいかないと思ったし、ましてや試合を途中で諦めるなんてことはできなかったよ。

——やっぱりリングス・ジャパンの活動休止には衝撃を受けましたか？

ハスデル　ああ、すごく悲しかったね。初めて日本に来てから6年、私の生活はリングスを中心に回っていたし、リングスに私の生活を捧げたという言い方をしてもいいと思う。だからいまは何と言っていいかわからないよ。

——そういえば、ハスデル選手は前田道場に自費で留学していたことがあるんですよね。それはどういったいきさつで行くことになったんですか？

ハスデル　私は95年の9月にK―1の選手として初めて日本に来たのだけれど（95年9月『K―1リベンジII』、バンダー・マーブにKO負け）、その時にナルセとホンマの試合（リングスルールで行われた成瀬昌由vs本間聡戦）を見て、非常に心を打たれたんだ。そ

前田道場のシゴキを英国で実践したら次々と生徒が辞めてしまった（笑）

れでなんとかして総合格闘技の技術を身につけようと思って、クリス・ドールマンに頼んで前田道場に留学させてもられることになったんだよ。

——では、それまでリングスや総合格闘技の存在は知らなかったんですか？

ハスデル あることは知っていたよ。93年にキックの大会で知り合ったボブ・シュライバーが「恐らく世界最強のファイターはクリス・ドールマンだ」と言っていたから、ドールマンという男に興味があったし、彼がやっているという「リングス」なる格闘技にも漠然とした興味はあった。でも実際に試合を見たのはナルセとホンマの試合が最初で、見た瞬間に「やってみたい」と思ったんだよ。

——前田道場にはどのくらいの期間留学していたんですか？

ハスデル 最初に行ったときは4週間。その後も何度も行って、おそらく10回は行ってるよ。ナメカワがまだ入門したばかりの新弟子で、私のコックだったころだよ（笑）。

——コック？ あ、チャンコ番ですね（笑）。

ハスデル 練習生や若い選手と一緒に合宿所に泊まって毎日毎日道場に通ったんだ。ヘイズマンと一緒だったこともある。そのころはまだマエダサンも現役で、道場にもよく来ていたんで、もの凄くしごかれたよ。

——まさに「前田道場」を体験した、と（笑）。

ハスデル 私は日本に行ったらすぐにでも寝技や総合のテクニックを教えてくれるものだと思っていたんだが、最初はとにかく基礎体力の運動をこれでもかというくらいにみっちりやらされたんだ（苦笑）。何回も何回もスクワットやプッシュアップをしたり、「ダッグウォーク」で延々と土手を歩いたり、そのたびにマエダサンは「もっと深くスクワットやれ！」と檄を飛ばすんだよ。毎日歩けなくなるくらいにね（苦笑）。

——ハスデル選手も〝昭和式〟トレーニングの洗礼をしっかり受けていたんですね（笑）。

ハスデル でも、おかげでどんなに苦しい場面にも耐えられる根性が身についたよ。だからこそ、昨日の試合だって最後まで決して諦めずに闘い抜くことができたんだ。これは前田道場で培ったネバーギブアップ精神さ。

——なるほど。そういうものは科学的なトレーニングではなかなか身につけられないでしょうからね。

ハスデル あんなに苦しい練習は初めての経験だったからね。でも私は苦しいからこそ「これが本当の格闘技の練習だ」と思い、イギリスの自分の道場にも前田道場のやり方を持ち帰って、ジムの生徒たちを「もっとプッシュアップやれ！ もっとスクワットやれ！」としごいたんだ。そしたら見る見るうちに辞めていってしまった（笑）。

——ガハハハハハ！ とんでもないものを持ち帰ってしまいましたね（笑）。

ハスデル でも私はこのやり方を変えるつもりはないよ。だから、いまは主に私の弟子が生徒を教える形になっているんだが、私が道場に行くと生徒はみんな「やばい！ しごかれる！」って、私をさけて逃げるんだよ（笑）。

——ガハハハ！ まさにイギリスの前田さん状態なんですね（笑）。前田道場では基礎運動しかやらせてもらえなかったんですか？

ハスデル いや、もちろんその後でさまざまなテクニックを教えてもらったよ（笑）。特にTKはグラウンドも英語も上手いから、凄くお世話になったね。それからカネハラサン。私は彼の大ファンなんだ。彼こそ寝技の達人で、一緒に練習するのが楽しくてしょうがなかった。いまの私があるのは本当に彼らのおかげだよ。

——そして日本で学んだ技術を基に、イギリスで総合格闘技を教えていると。

ハスデル そう。「新戦術」と名前を変えてね。

——「新戦術」ですか？

ハスデル うん。もともとは「トータルファイト」という名前がやっていたんだけど、英語ではピンと来ない言葉だから、なかなか浸透しなかったんだ。だから「新しい闘い」をアピールできる日本語の名前にしようと思ったんだ。なぜなら欧州の人にとって漢字が格

リングスが再開しタムラサンと闘える日が来る事を信じているよ

闘技のファッションになっているから、ビジュアル的にも漢字が必要だったんだよ。そこから「新戦術」という名前ができたんだ。でも、イギリス人が発音するには「新戦術」という名前は長すぎるんで、その頭文字をとって「SSJ」と呼んでいるよ。

――SSJ! カッコイイですねぇ（笑）。ではアメリカで総合格闘技をMMAと呼ぶように、イギリスではSSJと呼ばれているんですか？

ハスデル イエス。SSJと言ってくれたら今はかなり浸透しているし総合格闘技のひとつのブランドになってるよ。ダニー・バッテン（リングス・イギリス）なんかはSSJをやるために、200マイル離れたところからわざわざ引っ越してきたくらいだからね。

――ハスデル選手は今回のアブソリュート級トーナメントを最後に引退するという噂を耳にしたんですけど、今後は後進の指導に専念するつもりなんでしょうか？

ハスデル いや、まだ私は現役を続けるつもりだよ。でも年齢的に言って残された時間は短いことは確かだから、一戦一戦「これが最後」という気持ちでは闘っている。そしてそういう闘いをすればファンも喜んでくれると思うしね。私は以前、選手にとって戦績こそが一番大事だと誤解していたんだ。でも、そうじゃなかった。観客からお金を取ってファイトを見せるのなら、観客を満足させるいい試合こそが必要だったんだ。

――そういう意識に変わったのは、何かきっかけがあったんですか？

【99年9月15日、後楽園ホール】KOK移行前、最後の旧リングスルールでの大会となったこの日、ハスデルは久々のリングス登場となる本間聡を迎え撃った。寝技と総合力で上回る実力者・本間に対し、ハスデルは打撃にこだわった闘いでドローにもちこんだ。当時はわからなかったが、ハスデルにとっては目標としていた選手との対戦だったのだ。

ハスデル 第1回のKOKトーナメントでババルに負けたときだね。あのとき私は1回戦で靱帯を痛めてしまい、2回戦のババル戦に出られる状態じゃなかった。でも、痛み止めの注射を打って、足が動かない中でフルラウンド全力で闘った。そうしたら結果は判定負けを喫してしまったのに、試合後マエダサンに凄く誉められたんだよ。マエダサンは厳しい人だから、私は練習でも試合でも一度も誉められたことなんかなかったのに、この時は負けたにも関わらず誉めてもらえた。そのとき私は初めて〝プロ〟になれたんだと思う。

――勝った負けた以上に大事なものを見つけたわけですね。

ハスデル それまでは、マエダサンに認めてもらいたい一心で、とにかく負けない試合を心がけていたけど、それは違ったんだ。だから私は身体が続く限りファンに全力ファイトを約束するよ。

――今後のことで言うとハスデル選手はプロレスにも興味があると聞いたんですけど？

ハスデル できればやってみたいよ。私が一番好きなのはUWFスタイルだからね。ショウテイも好きだし、ロープエスケープ、5ダウンのルール、そしてコスチュームも好きだ。

――ではプロレスがやりたいと言っても、WWFみたいなのがやりたいんじゃないんですね（笑）。

ハスデル ああいうスタイルには興味がないね。私はシュートスタイルを愛しているんだ。だからいつかイギリスでUWFスタイルのイベントをプロデュースするのが私の夢だよ。受け入れられる土壌はあると思う。以前はイギリスでも「武士道（UWFインターの海外での名称）」のビデオがかなり広く流通していたからね。

――え!? 「武士道」はイギリスにも進出してましたか！

ハスデル だから「武士道」の選手はイギリスでもみんな有名だよ。カネハラ、タムラ、タカダ、ヤマザキ……そしてワダサン。

――和田さんまで！（笑）。

ハスデル ワダサンにはリングス・イギリス大会のレフェリーを努めてもらったんだけど、「武士道レフェリーが来た！」って客席から大歓声があがって、試合後はサイン攻めにあっていたくらいだからね（笑）。

――イギリスで和田さんがスターでしたか！（笑）。

ハスデル カネハラサンを招聘したのも同じ理由で、「武士道」のビデオを通じて、カネハラサンは格闘技ファンには知られた選手だったから呼んだんだ。いまイギリスにはK―1、リングス、修斗、バーリ・トゥードの大会が開かれているけど、まだUWFスタイルの大会は存在しないので、私はそれを広めたいね。その中にKOKルールの試合も組みたいし、ブラジリアン柔術の試合も組んでみたい。これはまだ私の中でのプランでしかないが、これからマエダサンと相談して成功させたいよ。

――ところでイギリスというと、前田さんが20年前にプロレスの修行でサーキットをしていたのは知ってますか？

ハスデル ああ、知っているよ。ウエイン・ブリッジ（イギリスで前田がホームステイさせてもらっていた名レスラー）はよき友人だからね。

昨年8月の「リングス10周年記念興行」で、リングス・イギリス代表として、前田CEOから感謝状を受け取ったハスデル。リングスにとって彼らネットワーク代表の尽力は本当に大きかった。

──え！　ウエイン・ブリッジを知ってるんですか！

ハスデル　98年のリングス・イギリス大会のときに私とマエダサン、カネハラサン、そしてウエイン・ブリッジさんと食事をしたんだ。その時以来だね。

──では、それまではキャッチとかプロレスについてはあまり知りませんでしたか？

ハスデル　いや、ダイナマイト・キッドやブリティッシュ・ブルドッグ（デイビーボーイ・スミス）はもちろん知っているよ。それから伝説のレスラー、ビリー・ライレーもね。

──ビリー・ライレー！「蛇の穴」を知ってますか！

ハスデル　ビリー・ライレー・ジムは、一般に開放しているわけでなく、シークレットで行っているジムだから、ウィガン（イギリスの地名）にあったこと以外詳しくは知らないけどね。いまはそういうスタイルのプロレスリングも存在しないし、一般の会員が習うようなジムではないから、恐らくなくなってしまったんだろう（※82年にビリー・ライレー死去。89年に放火でジムは全焼したらしい）。

──ビリー・ライレー・ジムはシュートファイティングの道場だったんですか？

ハスデル　シュートファイティングというかキャッチだね。でも、かなり厳しいトレーニングをしていたとは聞いているよ。

──いまイギリスでプロレスは行われているんですか？

リー・ハスデル■1966年12月13日、イギリス　ノーサンプトン出身。10歳からキックボクシングを始め、95年に総合格闘家に転向。地元では200名の生徒を指導している道場主でもある。ちなみに、「馬」のタトゥーはポニーテールにして、バックキックを得意としていたキックボクサー時代のアダ名。

ハスデル　一度廃れてしまったんだが、最近はインディペンデント団体が増えてきていて、だんだん活動が活発になってきているよ。実はイギリスの『EWW』というプロレス団体が私にやらないか？　とオファーをしてきているんだよ。

──どんな団体なんですか？

ハスデル　エクストリーム・レスリングだよ。机のブッ壊したり、高いところから飛び降りたり、バーブドワイヤーでブッ叩いたりね（笑）。

──ガハハハ！　じゃあ、もしかしたらハスデル選手もデスマッチをやる可能性もあるわけですか？

ハスデル　いやぁ、さすがにそういうのはね（笑）。でも、リー・ハスデルとしてではなく、マスクを被って別人になってならやってもいいかなという気持ちもあるよ。私の場合「馬」のタトゥーを隠すためにシャツも着ないといけないけど（笑）。

──2月でリングス・ジャパンの大会がなくなってしまうわけですけど、他団体に出てみたいという希望はありますか？

ハスデル　他の団体よりも、一刻も早くリングスが活動再開してくれることを願っているよ。あともう一つ、引退する前に一度タムラサンと闘ってみたいんだ。私が総合格闘技を始める前から彼の試合は見ていたから、私の一つの目標でもあるし。

──田村さんもUWFスタイルが一番好きだから、UWFルールでの田村vsリー・ハスデル戦実現の可能性は確かにありますね。

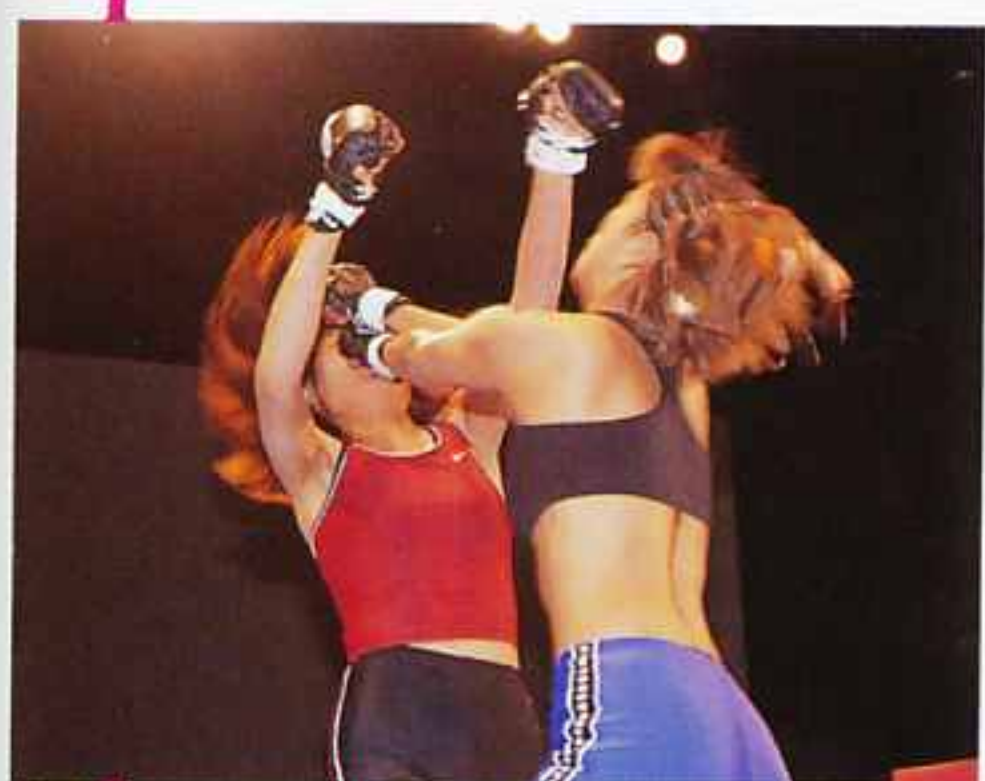
ハスデル　K－1ファイターとして、初めて日本に来て、そのときナルセvsホンマの試合を見て総合格闘技を始めた私が、その4年後に後楽園ホールでホンマサンと闘えるという夢が叶ったのだから、タムラサンと闘うという夢もきっと叶うと信じているよ。タムラサンがシウバ戦から生きて帰ってこれたらぜひ闘いたいね（笑）。

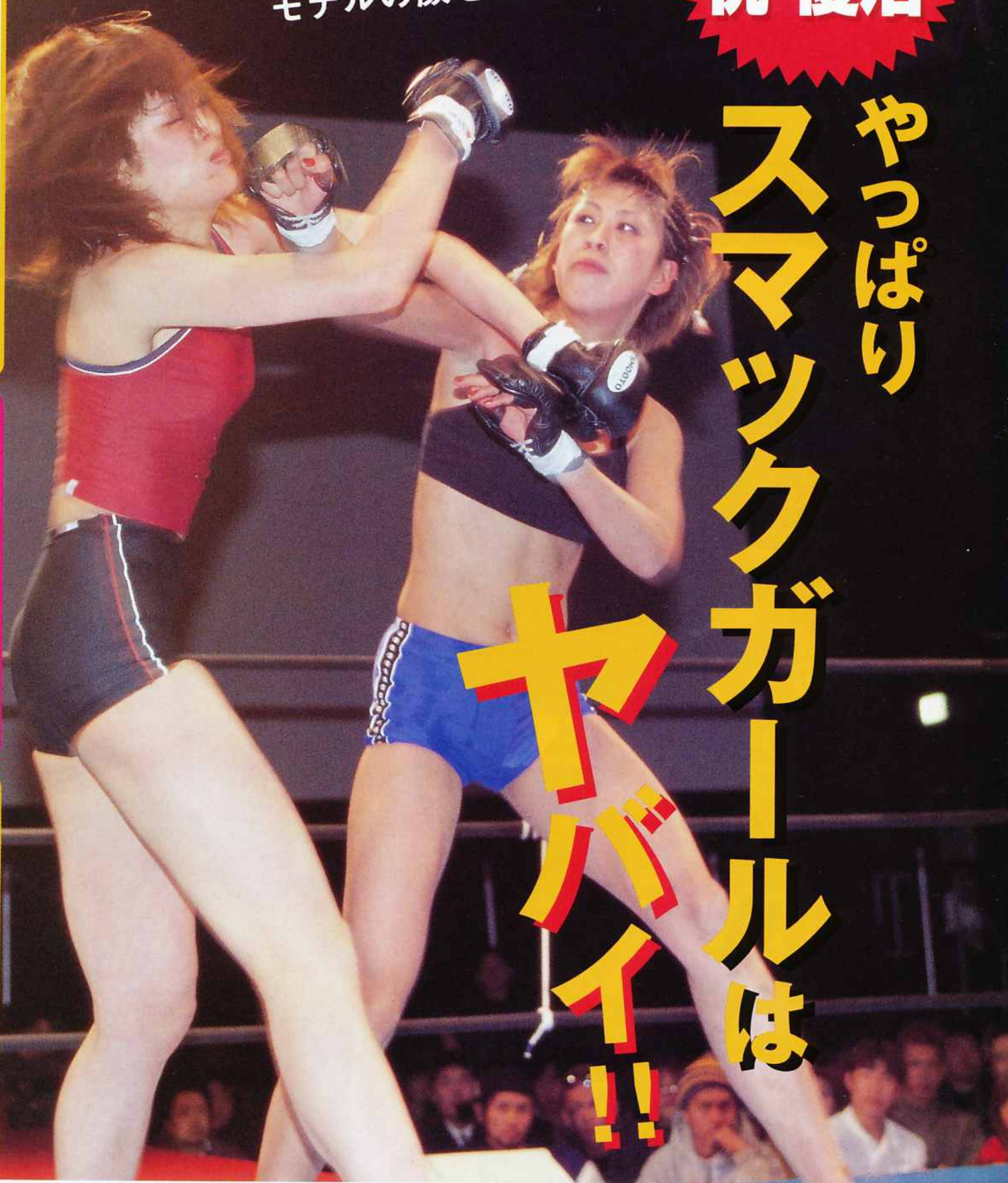
【02年2月2日／都内某ホテルにて収録】

祝・復活

やっぱりスマックガールはヤバイ!!

コンパニオンがモデルの顔を破壊！

禅道会所属の噂の現役モデル・中村珠美は、なんと花道を入場時にクルリとターンして、ボーズを決めてみせた!!　リハーサル時にはやらなかったが、本番になって「自分はモデルだ」と思い出したらしい。立派だ！

試合は開始早々からバチバチの殴り合いになった!!　技術的には甘いところが多数あったものの、いい女が互いの顔面を全力で殴り合うシーンに会場は騒然、イッキに盛り上がった！　まさにスマックガール!!

試合は判定で元コンパニオン・中嶋の勝利。２週間後にショーを控えている中村はボコボコに顔をはらしてしまったが、またやりたいと宣言。負けないという気持ちの見える闘いを見せてくれた中村、もう一丁!!

メインは篠原光がプロレスラーにラッパを吹かされ初黒星!

「ドレイクじゃなくて、ブサイク森松に改名してやる！」と挑発した篠原光。対する森松も「篠原、テメーの鼻を叩き折ってやるからな」と宣言。試合は序盤から互いのパワーがぶつかりあう激しい殴り合いに！

グラウンド状態ではやはりブサイク、じゃなかった（ごめんなさい）ドレイクが強さを発揮したが、中盤から篠原のストリートor体育館裏仕込みのヒザ蹴りが決まり出した!!　躊躇無くドレイクの身体にヒザ蹴りを叩き込んでいった!!

試合のペースがつかめたのか、2R開始直後、篠原の強烈なヒザ蹴りがドレイクを直撃！　さらにマァ☆ティンのアップルニュートンかと思わせる高い位置からのヒザ蹴り大連発!!　誰もが篠原が打ち勝つか?　と思ったのだったが……。

最後は篠原が82キロのプロレスラー・ドレイクにラッパを吹かされ、ギロチンチョークでタップ。やはりドレイク強し!!　初黒星に篠原は落ち込んでいるのでは…と心配したが、本人は笑顔で「重かった～」とコメント。そりゃそうだ。

女子格闘技を広め、新たなヒロインを発掘する目的で作られたイベント『SMACK GIRL』。昨年9月以来活動を休止していたが、装いも新たに2月3日、ディファ有明で大復活!!

雨にもかかわらず、スマックガール史上最高の580人の観客を集めて行われた。篠代表自身は「(仕切りの悪さもあって) 個人的には50点」とは言っていたが、どの試合も選手がイキイキと闘っていて、相当面白い興行となった。

大会終了後は、見ていた女性客からの出場要請が殺到した(中には「ナナチャンチンとならやりたい」という限定したものも多かったようだが)。大会終了後は、格闘技・プロレス専門誌だけでなく、他の世界からの反応も大きくなってきた! 篠原光のプライベート(?)がちょっとだけわかったスマックガール特集・2・11放送のテレビ朝日「スーパーJチャンネル」は、なんと視聴率11%を獲得した。さらに「エッチは好き?」という衝撃の書き出しで、これまた篠原光をメインに2・10「サンケイ新聞日曜版」に紹介されるなど、女子格闘技は、今はまだ物珍しさではあるものの、確実に世間の注目度があがりつつある。

女子格闘技は今後大きな盛り上がりになって、以前の女子プロレス以上の波になる予兆がいま確実にある。今、見始めれば、そのブームが盛り上がるまでの大きなうねりとワクワクをリアルタイムで体感できるのだ。自分が見つづけている団体・選手がドンドンビックになっていくという面白い体験ができるチャンスがここにあるのに「男じゃないから」「女子がやっているから」というだけで毛嫌いをするのは、あまりにももったいない話だと思うのだ。

スマックガールは毎月、ディファ有明で興行を行っていくという。次回第一試合は、ミニモニ。ファンも絶対チェック! おなじみ連敗記録絶賛更新中の147センチファイター・ナナチャンチンvs〝現役中学生〟Eikaの対決だ!

なんとEikaは拳士館に所属する現役中学生選手。彼女にとってこの大会は中学卒業記念試合。セーラー服で入場という、たまらない向きにはたまらない噂も入ってきた。いくらなんでも中学生に負けるのはプライドが許さないだろう! 頑張れ、ナナチャンチン!!

さらに、今回ドレイクに破れた、電撃ネットワーク・チーム南部のあねさん・篠原光の敵討ちに乗り出すのが、元レースクイーン・中嶋智希だ! 彼女のケンカ打撃が、ドレイクにどこまで通用するのか?

そしてメインには年末の『AX』で女子格闘技の星・マァ☆ティンこと星野育蒔を破った闇愚羅所属・辻結花がスマックガール初登場してしまう!! これをスマックで迎え撃つのが、いきなり篠原光だ!!

グラウンド技術ではどう考えたって辻が上の上の上(言いすぎではありません) ではあるが、その技術が篠原170センチ、65キロに対して辻は156センチ、54キロという体格差にどこまで通用するかがポイントとなる。打撃ではリーチの長さ・実戦経験から篠原がやや有利か?

体格差のある相手へのレスリングの技術という、まっとうな格闘技ファンにも絶対注目な闘いだ。3・2はスマックガールを選べ! 両国(ZERO-ONE) へもクローンを作って行かせたいくらい行きたいが……それでもディファ有明へ、女子格闘技を見に行け!! (ささきぃ)

3・2スマックガール その他のカード

★第一試合 ナナチャンチン(147cm/43kg/チーム南部)vs Eika(149cm/51kg/拳士館)
★第二試合 X(?cm/?kg/?) vs 金子真理(150cm/52kg/禅道会)
★第三試合 高橋千尋(157cm/49kg/フリー)&Lay-ho(155cm/50kg/ボディプラント)
vs 張替美佳(156cm/61kg/GF2)&市村幸恵(160cm/58kg/GF2)
★第四試合 中村珠美(180cm/58kg/禅道会) vs 照井和瑛(167cm/62kg/?)
★第五試合 石原美和子(155cm/74kg/禅道会) vs 金井広美(165cm/66kg/GF2)
★第六試合 しなしさとこ(150cm/44kg/GIRL FIGHT ACC) vs 瀧本美咲(155cm/49kg/禅道会)

※セミ、メイン以外にも注目カードが勢揃いの3・2スマック。中でも再注目は第一試合に登場のEika。彼女は現役中学生で数々の空手の大会で優勝している。そして彼女にとって今大会は中学卒業記念試合。もちろん、スマックガール史上最年少出場選手となる。対戦相手はこれまで全戦無勝のナナチャンチン。中学生相手に待望の初白星をゲットできるか? 注目だ!

■主催:スマックガール実行委員会(電話03-5447-8483)
■チケットに関する問い合わせは→オフィスT天王洲(電話03-5461-0276)

SMACK GIRL
~ Pioneering Spirit ~
2・3★ディファ有明

タッグマッチで女子プロコンビが泣かされる!

女子総合初のタッグマッチは、しなしさとこ＆福原邦子対坂口一美＆関口るみの一戦は、しなし組が、一方的に殴る蹴るの猛攻を浴びせ、最後は久々の試合となった関口を泣かせて終了！

見よ、この構え！ 気合い十分のナナチャンチン……だったが、この日も見事に秒殺！ しかし、その入場シーンだけでも見る価値有り！

戦隊モノのヒロインのようなニューコスチュームで登場し驚かせた久保田。この日も相変わらずのクールフェイスで金井広美を秒殺！

格闘エンタテインメント
SMACK GIRL
~ God bless you ! ~
2002・3・2(土)ディファ有明
18:30 START

篠原光(チーム南部) VS 辻結花

2度目のメインとなる篠原の相手は、昨年末のAXでマァ★ティンに初黒星を付けた辻ちゃんだ！

中嶋智希(チーム南部) VS ドレイク森松(フリー)

前回、篠原を倒したドレイクに挑むは、篠原と同じチーム南部所属の中嶋。姉御の仇を討てるか？

※スマックでは勝利者賞を提供してくれる人を募集中。金額は一口五千円として希望の試合に提供できるぞ。提供者の名前と(企業名も可)は試合前＆後に読み上げられる。受付は当日会場にて。

上になっているのが和術慧舟會の大室奈緒子(身長145cm)。セコンドには宇野薫も付いたが、残念ながら禅道会の小池亜伊子に僅差の判定で敗れた。

休憩時間中には、次回大会から参戦が決まった、宇野薫も所属するGCMコミュニケーションの選手が紹介された。試合をするのは、どの娘だ？

SUPER ULTRA DREAM PRESENT DYNAMITE

超限定 1 名様

即日ならぬ即時間完売！ 超プレミアムチケット！
チケットがまだ届かず、写真はナシ！

3/1WWFチケット

5分で完売し入手困難となっているWWF3・1横浜アリーナ大会プレミアチケット（S席）を、限定1名様にプレゼント！ 2月28日到着ハガキ分のみの抽選！ 当選者には本誌見習いのガイ子より受け渡しについての御電話があります。グフフ！【編集部提供】

WWFグッズの大行進！

各1名様

■VENGEANCE2001 ■CHRIS JERICHO
横浜に行けないアナタに送るWWFビデオ！ テープが擦り切れるまで見るんだ！ 【Big Blue提供】お問い合わせTEL.03-3435-2883

1名様 BACK FRONT

■バカ売れ！ Austin WHAT SUCALTシャツ
オースチンが来なくても着るんだよ！ ジャンパーなど上に着るんじゃないぞ！【Big Blue提供】

1名様 BACK FRONT

■アンダーテイカーTシャツ
アンダーテイカーが来なくても着るんだよ！ 寒さを気にせず走り回れ！
【PYCHO TOYBARN提供】

各1名様

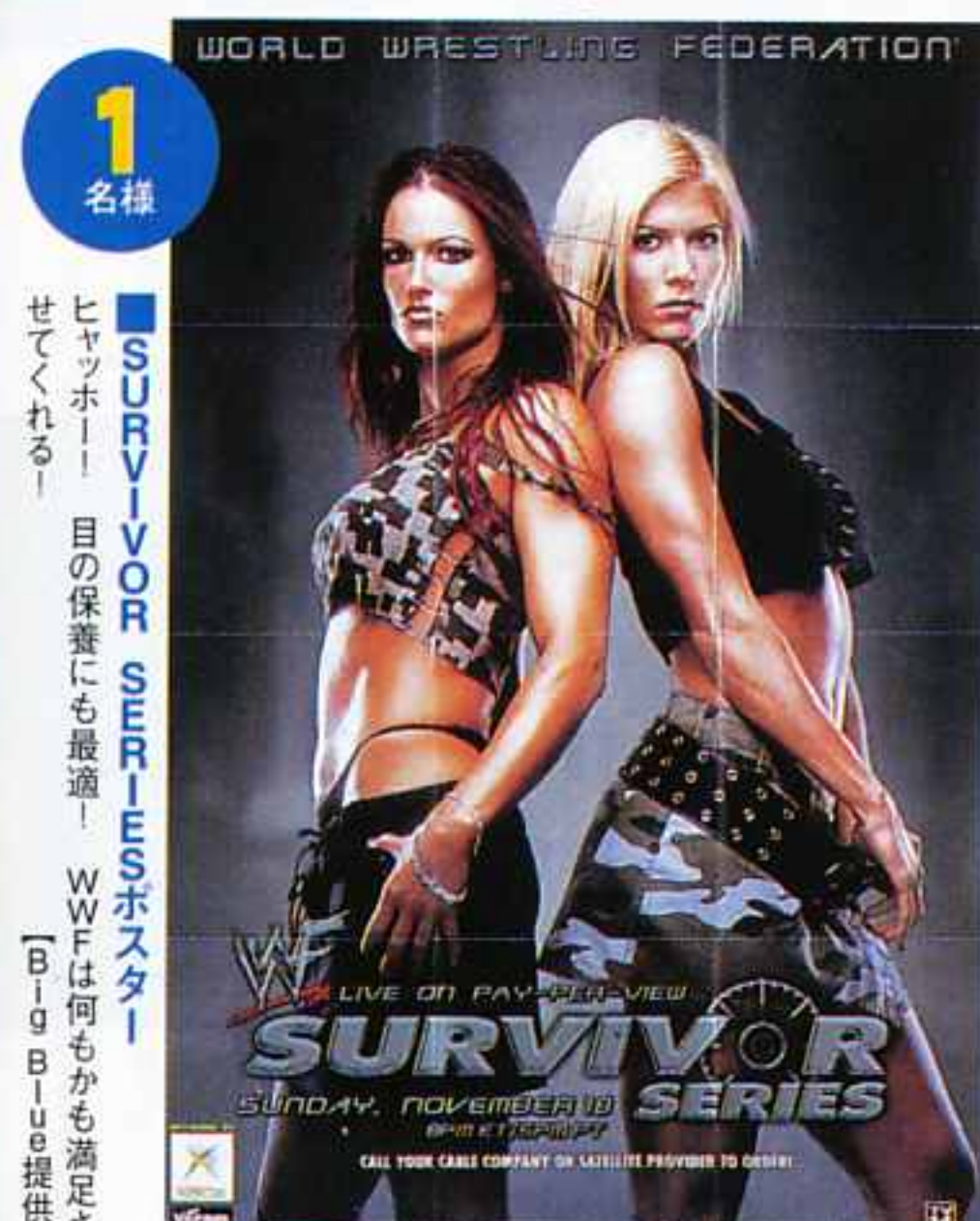
■ロック水筒&オースチン水筒
携帯必至のWWFスーパースターズ水筒！ 学校、職場の人気者になる一品だ！ 【Big Blue提供】

1名様 FRONT BACK

■ロックTシャツ
これを着てロック様をお出迎え！ 着てこないやつは死ね！（言い過ぎ）。
【PYCHO TOYBARN提供】

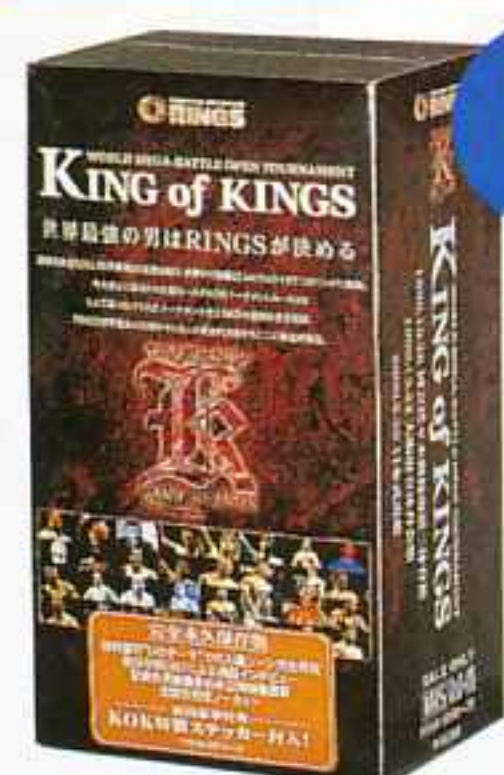
1名様

■Dボンフィギア
来日が決定しているダッドリー・ボーイズDボンのフィギア！ ぼんちゃんも泣いて喜ぶに違いない！
【PYCHO TOYBARN提供】
お問い合わせTEL.03-5327-4878

1名様

■SURVIVOR SERIESポスター
ヒャッホー！ 目の保養にも最適！ WWFは何もかも満足させてくれる！ 【Big Blue提供】

セットで1名様

■SMACK DOWNフィギアシリーズセット
面倒だからまとめてあげます！ 大事にしてね！ 【編集部提供】

リングスは永遠に不滅です！

3名様

■「第1回KOKトーナメント」ビデオ3本セット
田村の「Uのテーマ」に武道館が揺れた……。予選トーナメントもしっかり収録。信じられない豪華メンバーの激闘を見逃すな！　二度と手に入らないセットを3名に！【リングス提供】

3名様

■前田日明フィギュア（高貴なヒゲバージョン）
高貴なヒゲにファイティングポーズ！　最高だ！　金ちゃんも多分に欲しがるぞ！　【リングス提供】
お問い合わせ／キャラクタープロジェクト
TEL.03-5917-6210　¥1500（外税）

■リングスストラップ
リングスファンなら一生首に掛けていたいこのストラップ！　手に入れるのはいましかないぞ！【リングス提供】

1名様

キミは前号の「ファン列伝」を見たか!?

セットで1名様

FRONT　BACK

■RISING SUN Tシャツ&リストバンド
前号の「最狂ファン列伝」に登場したRISING SUNからのプレゼント！　アルバム「ATTITUDE」は自腹で買うんだ！　【RISING SUN提供】

思いっきりロゴパーカー

■少年ジェッター・パーカー
おなじみ「少年ジェッター」からの新作パーカー！　バックのロゴには『紙プロ』も登場しているぞ！　【少年ジェッター提供】
お問い合わせTEL.06-6541-3551

4名様

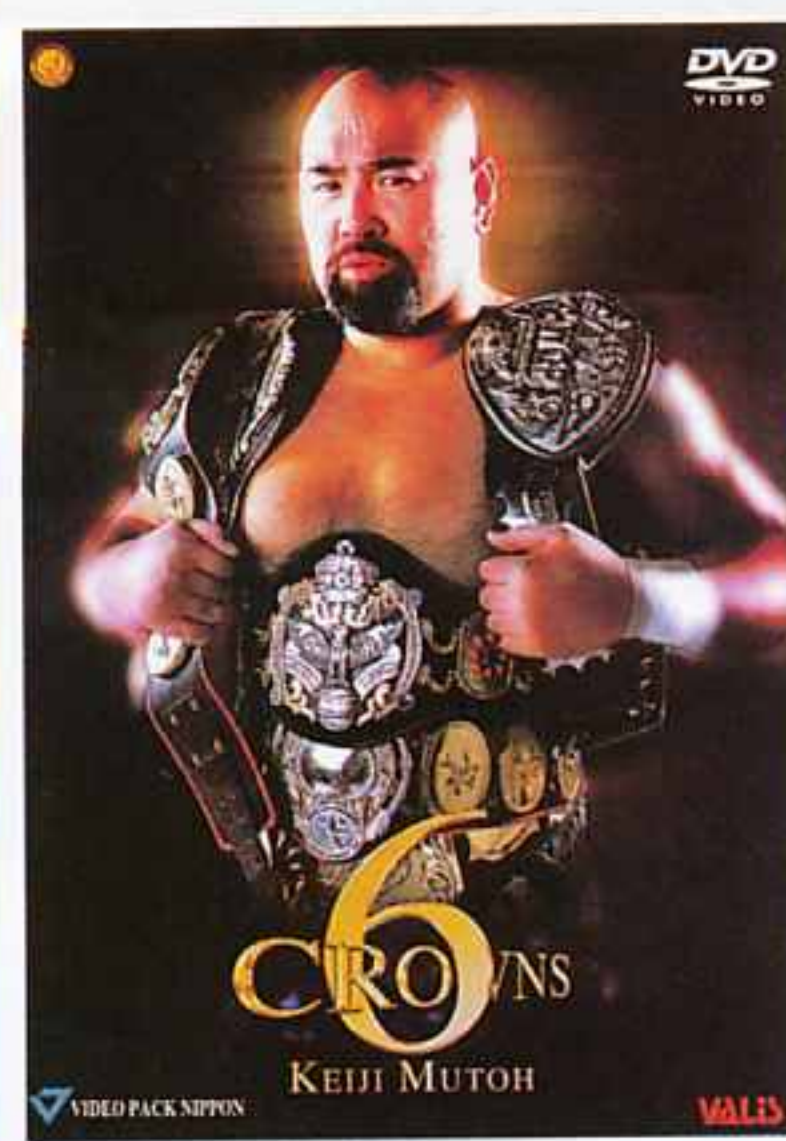
FRONT　BACK

今日からアナタもメキシカン

セットで1名様

■ヒゲ付きメヒコ製マスク&Tシャツ
謎の覆面イラストレーター、Rockin' Jelly Bean画伯のプロデュースによるブランド「Erosty Pop!」より、本人デザインのマスク（何とヒゲ付き!）とラメプリントのTシャツをセットでプレゼント！　早速、街を徘徊しろ！　【GATRAC SALES LTD提供】
TEL.03-5610-1781　http://www.gatracsales.co.jp

見て、聴いて、感じろ！

1名様

■6冠王・武藤敬司
もう二度と見られない6冠王の勇姿がビデオで蘇る！　3冠戦となったドラゴン戦は必見！　シャイニング・ドラゴンを見逃すな！【ヴァリス提供】
お問い合わせTEL.03-5351-5181

セットで1名様

■世界最強タッグ決定リーグ戦3枚組
昨年の世界最強タッグの激闘がDVDで堪能できる！　武藤&ケアはもちろん、天龍&冬木も大暴れ！　3枚組のボリュームを味わえ！　【ヴァリス提供】

3名様

■ウッキーッ！「葛西純スペシャルビデオ」
1本丸ごと葛西純！　ヒラデルヒアでの模様もしっかり収められてるぞ。まあ、俺っちのビデオを見ろってよ！　【大日本プロレス提供】
※価格：¥5,250　販売：氏名、電話番号を明記し、必ず現金書留（送料¥500同封）にて〒224-0053神奈川県横浜市都筑区池辺町4347四ツ葉工芸まで

■浅野"グレーズ"恵「あなたのハートに3カウント！」
あのビジュアル系レフェリーがここまで脱いだ!?　グレーズのプライベートがタップリ詰まったビデオ！　サイン付きだ！　【浅野"グレーズ"恵提供】
購入方法・sakazaki072@excite.co.jpにお名前、住所、電話番号を書き添えてメールで申し込んでください。電話で確認されしだい、代引き郵便で郵送いたします。料金は4,000円+1,000円（送料）です。

1名様

応募要項

応募券

❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名
❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼ミスター高橋本の感想をお聞かせ下さい

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「越谷ダイナマイト」係まで
※締切は2002年3月25日（月）当日消印有効

猪木！船木！

3名様

■船木誠勝主演「シャドー・フォリー」特製リストバンド
ムービースター、マサカツ・フナキが主演映画で着用している特製リストバンド！　明日またはめろ！　【スキップ提供】

1名様

■ギョ！　スポーツ平和党ポスター
国会に卍固めダーッ！　本誌・松澤チョロの机を整理していたら出てきたまさしく掘り出し物のポスター！　それでは貼りますかーッ!?　【チョロ提供】

5名様

■ジェット・シン熱唱CD！「愛が地球を救うのだ」
あのタイガー・ジェット・シンがなんと早口言葉にチャレンジし、「妖怪人間ベム」のテーマを浅野社長、松野氏と共に大熱唱！　これは歴史に残るCDだ！　一緒に歌わないやつは襲撃するぞ！　【IWA・JAPAN提供】

『紙のプロレス』旗揚げ10周年限定記念Tシャツ＆
RADICAL創刊5周年Tシャツ＆パーカーを買うともれなくついてくる

非売品

特製カンバッチを集めろ!

「リング・アフロ」or「Kapra」商品をお買いあげの方にプレゼント!
6種類のうちいずれか1個（選択不可です）。6個全て集めると神龍が現れます。多分にな。

紙のプロレス旗揚げ10周年限定記念Tシャツ

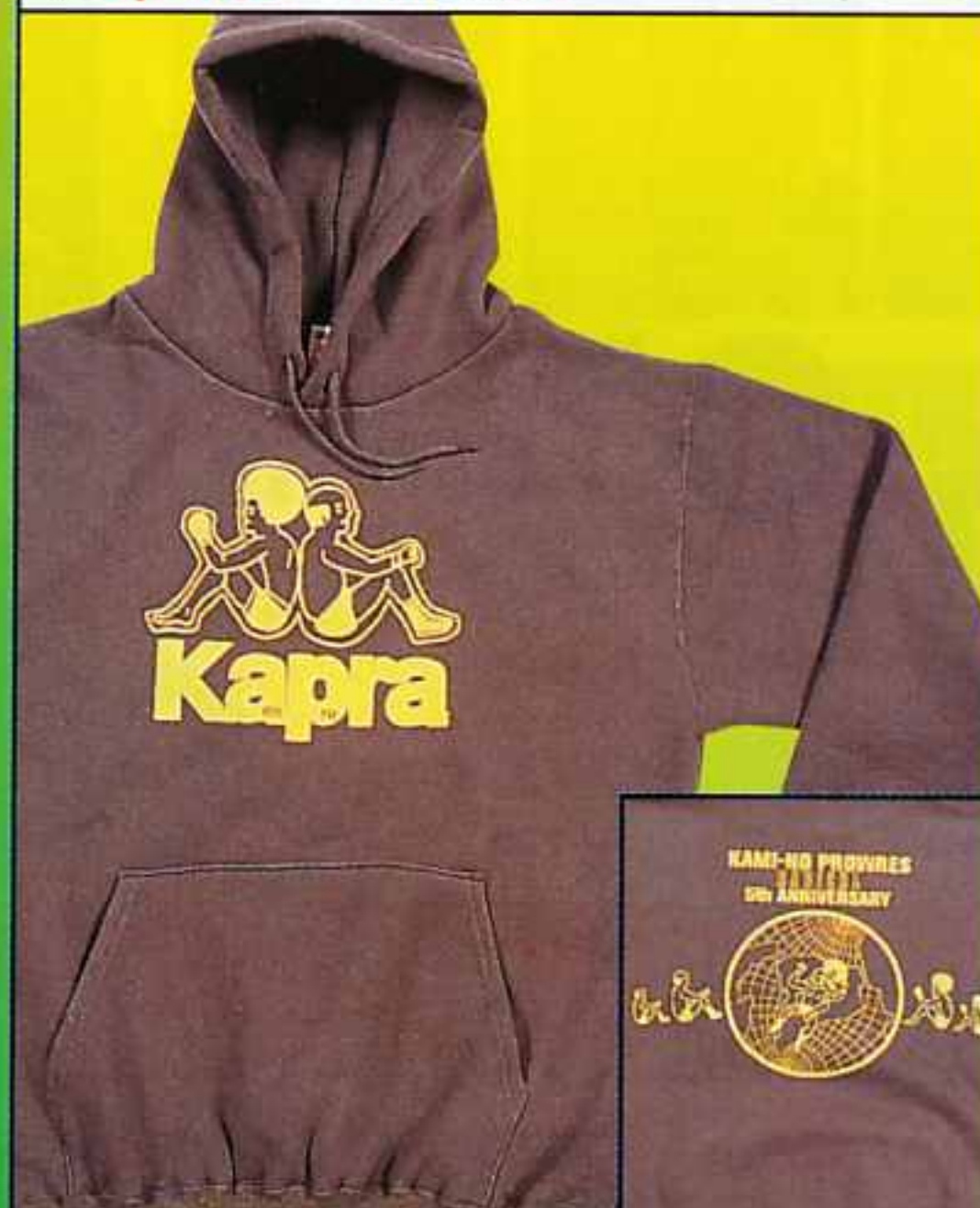
リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥4,500　S or M or L

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ〈黒×グレー〉
¥3,800　S or M or L

RADICAL創刊5周年Tシャツ＆パーカー

Kapra半袖Tシャツ〈白〉
¥3,500　S or M or L

Kapra半袖Tシャツ〈グレー〉
¥3,500　S or M or L

Kapraパーカー〈チャコールグレー〉
¥6,000　M or L　［残りわずか!］

Kapra半袖Tシャツ〈デニム〉
¥3,500　S or M or L

紙のプロレス RADICAL
No.47
2002年3月25日発行

No.48は
3月下旬発売予定!

※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇
編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（ソルトレーク五輪をTV観戦するためため非番）
編集見習い
スエヒロ・ガイ子

スーパーバイザー
吉田豪
スーパーイビキ助っ人
スモーノブ
助っ人
中村カタブツ君
IT事業部
佐藤耳夫
さささぃ
いづみちゃん

アートディレクター
出田さん（TwoThree）
デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん（以上TwoThree）
トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）
海老沢勇（Zero graphics）
石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫
試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

行方不明
ジャイ子
お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝
出前
出前持ち入江（TwoThree）
フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所
印刷
図書印刷株式会社
印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580　東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188（編集・制作）

 編集内容等に関するお問い合せは（株）ダブルクロスにぶつけろ!

「僕は自分の明るい未来が見えません!」

夢あるウェアがいっぱい

『紙プロ』通販で見つけろ、テメエで!

★★★リングおじさん引退! 早めにGETしろ!★★★

商品	価格・サイズ
リングおじさんパーカー〈黒〉	¥6,000 M or L
リングおじさんパーカー〈白×黒〉	¥6,000 M or L
SS Tシャツ半ソデ〈赤〉	¥3,500 ~~SOLD OUT~~ or M or L
SS Tシャツ半ソデ〈紺〉	¥3,500 ~~SOLD OUT~~ or M or L

★★★残りわずか! 大人気商品!★★★

商品	価格・サイズ
紙のプロレスRADICAL おもいっきりロゴT	¥3,800 S or ~~SOLD OUT~~ or ~~SOLD OUT~~
U.M.F. トリムシャツ〈白×黒〉	¥3,000 ~~SOLD OUT~~ or M or L
U.M.F. トリムシャツ〈白×青〉	¥3,000 ~~SOLD OUT~~ or M [残りわずか!] or L
紙プロネックピース	~~¥1,200~~ → 大特価 ¥600

残りわずか!

★★★大好評! クイック・キック・リーシリーズ★★★

18年の歳月を経て"クイック・キック・リー"が蘇る!
前田日明が新日時代、イギリス遠征で活躍していたあのキャラクターがTシャツになった!

©RINGS CO.,LTD TOUR DIRECTOR/DOUBLE CROSS INC.LEAD BUS DRIVER/GREAT ANTONIO

商品	価格・サイズ
クイック・キック・リーTシャツ〈黄〉	¥3,800 XS or S or M or L
クイック・キック・リーTシャツ〈白〉	¥3,800 XS or S or M or L

通販方法

希望商品の代金+送料¥500(何枚でも可・ネックピースだけなら¥300)を郵便振替か現金書留で下記の住所まで送るんだ! 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品(サイズとカラーを明記)を必ず表記してください! 記入しないと商品が発送できません。隣のページのTシャツの申込みもOK!

[郵便振替の宛先]
00130-3-769154

[現金書留]
〒151-0051東京都渋谷区
千駄ケ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス

[お問い合わせ先]
(株)ダブルクロス
03-3403-5188

※通販完売商品は直販店にある、多分にな、多分にだよ。

【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン東京(TEL.03-3221-6237)★チャンピオン大阪(TEL.06-6645-5186)★岐阜・バンザイ商会(TEL.0584-75-4966)★宮城・スクワット(TEL.022-264-8160)★大阪・少年ジェッター(TEL.06-6541-3551)★グレート・アントニオ(TEL.03-3219-9550)★大阪・バディスラム(TEL.06-6645-1378)

紙のプロレス RADICAL WANIMAGAZIN MOOK193 2002 NO.47
WWF上陸5秒前!! 邪悪なる足音!!
平成14年3月25日発行 編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体838円＋税

9784898296745
ISBN4-89829-674-2
雑誌 69862-93
C9476 ¥838E
1929476008381

印刷：図書印刷株式会社

V

RTS

m